

令和8年度

鈴鹿市水道工事設計及び施工管理基準書

鈴 鹿 市 上 下 水 道 局

目 次

第 1 章 鈴鹿市水道工事設計基準書

1. 測量及び設計図書の作成 < 1 - 2 >
2. 工法
 - A. 鋳鉄管 < 1 - 4 >
 - B. 配水用ポリエチレン管等 < 1 - 14 >
 - C. 共通 < 1 - 15 >
 - D. 給水管 < 1 - 18 >
 - E. 水道管近接工事に伴う移設（防護）基準 < 1 - 21 >
 - F. 仮設配管 < 1 - 24 >
 - G. 参考資料（異形管防護） < 1 - 25 >

第 2 章 鈴鹿市水道工事施工管理基準書

1. 検査 < 2 - 2 >
2. 書類 < 2 - 3 >
3. 現場 < 2 - 6 >
4. 出来形管理基準 < 2 - 10 >
5. 品質管理基準 < 2 - 11 >
6. 写真管理基準 < 2 - 11 >

第 3 章 鈴鹿市水道工事設計標準図集

1. 土工標準図 < 3 - 2 >
2. 土留め 標準工法図 < 3 - 3 >
3. ソフトシール弁設計寸法一覧表 < 3 - 4 >
4. 消火栓設計寸法一覧表（参考図） < 3 - 7 >
5. 空気弁設計寸法一覧表（参考図） < 3 - 11 >
6. ポリエチレンスリーブ法 < 3 - 15 >

第 4 章 給水管施工標準図集

第 5 章 配水用ポリエチレン管等標準配管基準書

- 第 5 章 - 1 水道配水用ポリエチレン管標準配管基準書 < 5 - 2 >
- 第 5 章 - 2 耐衝撃性塩化ビニル管標準配管基準書 < 5 - 16 >

第 6 章 配管詳細図（オフセット）作図、給水台帳及び弁栓台帳作成規定 < 6 - 2 >

第 7 章 配管詳細図（オフセット）作成用記号及び名称集 < 7 - 2 >

第 8 章 鈴鹿市水道工事承認資材一覧表 < 8 - 2 >

第 9 章 水道管接合部施工管理基準書 < 9 - 2 >

第 10 章 鈴鹿市水道用鉄蓋及び同用レジンコンクリート製下柵仕様書 < 10 - 2 >

第 11 章 付 属 資 料 < 11 - 2 >

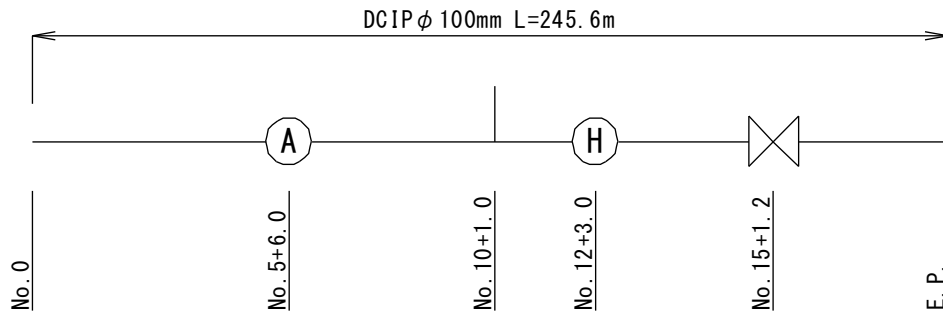
第 1 章

鈴鹿市水道工事設計基準書

2026（令和 8）年 7 月
鈴 鹿 市 上 下 水 道 局

***** 1. 測量及び設計図書の作成 *****

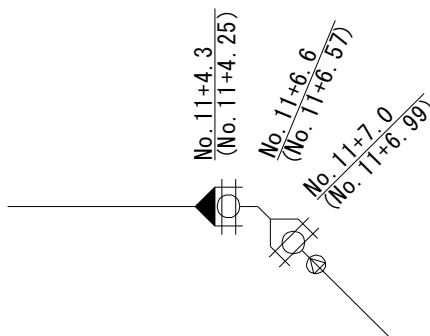
(1) 平面図 (R1)



- 管種・口径・延長を明示する。
- 測点は起終点、No.測点、分岐点、IP 点、弁栓類設置点及びその他必要な変化点を設ける。
- No.測点は 20m ピッチを基本とする。
- 弁栓類（制水弁・消火栓・空気弁等）を図示する。
- 長さ（路線延長、測点、測点間距離等）は 0.1m 単位で表示する。必要な場合は 0.01 m 単位で表示する。
- 既設配管を図示する。

(2) 配管詳細図

(例) 曲管部 (No.11+4.3~No.11+7.0)



起終点及び IP 点を明示する。

測点には配管延長確認のため、0.01m 単位も記載する。

(3) 縦断面図及び横断面図 (R1)

- 横断面図は 20m ピッチを基本とし、現場に応じて変更してもよい。
- 長さ（距離、延長、測点、幅員等）は 0.1m 単位で表示する。必要な場合は 0.01m 単

位で表示する。

- c. 深さ（土被り、筐出来高等）と高さ（管天高、地盤高等）は 0.01m単位で表示する。
必要な場合は 0.001m単位で表示する。
- d. φ50mm 布設工事の場合、ケースに応じて縦断図の作成を省略してもよい。

（4） 図面（R1）

- a. 設計図書の各工種詳細図にも区間Noを入れ区間延長を記入する。また詳細図には、配管記号以外に役物についての名称を記入すること。
- b. 配管図は、既設管部分がわかるように表示し、既設管の付近状況の管種、口径を記入すること。
- c. 配管平面図を必ず添付し、設計ラインは赤で表示し制水弁、泥吐き等の各工種を記号で表示する。
- d. 図面に表示する数値は原則としてメートル表記とし、表示単位以下を四捨五入する。

***** 2. 工 法 *****

A. 鋳鉄管

(1) 鋳鉄管の管材（R7）

鋳鉄管の管材は次表を標準とする。

管径	配水管	送水管	導水管	場内配管
φ150	GX 形鋳鉄管	GX 形鋳鉄管	GX 形鋳鉄管	GX 形鋳鉄管
φ200～400	GX 形鋳鉄管	GX 形鋳鉄管	GX 形鋳鉄管	GX 形鋳鉄管
φ500 以上	NS 形鋳鉄管	NS 形鋳鉄管	NS 形鋳鉄管	NS 形鋳鉄管

- ・ 内面処理は全てエポキシ樹脂粉体塗装とする。
- ・ 部分的な補修、連絡工事、搬入不可の現場、腐食性が極端に大きい土質、水管橋、ドレーン（弁の2次側）等は別途検討する。

(2) 切管の長さ（鋳鉄管）（H26）

- a. 切管の最低寸法は施工及び維持管理上支障のない長さ（原則として 1.0m 以上）とする。なお、口径が大きいものは最小切管寸法が 1.0m 以上に設定されているものがあるため注意すること。

（例）NS 形φ500 乙切管 L=1010 GX 形φ400 乙切管 L=1020

- b. 切管の最長寸法は以下とする。

呼び径	甲切管	乙切管
75～250	有効長－200 mm	有効長－500 mm
300～1000	有効長－200 mm	有効長－1000 mm

- c. 切管を行う場合、切管用の管を用いる。
- d. 水路横断工・曲管工・制水弁工・丁字管工の前後は、1 本ものを極力使用する。（φ200 以下）
- e. これによりがたい場合は監督員と協議すること。

(3) 異形管防護（継手の離脱防止）

- ・ 異形管防護は、離脱防止継手で一体化し、適切な一体化長さを確保することによって行うことを原則とする。
- ・ 適切な一体化長さを確保が困難な場合、防護コンクリートの適用を検討する。
- ・ 既設管との連絡等、部分的にK形管を使用する際の異形管防護は、3DkN の離脱防止性能を持つ特殊押輪の使用を基本とするが、継続して耐震管に更新する予定がある場合等は別途考慮する。

- a. 耐震形継手管GX・NS・SⅡ形管の一体化長さは「G：参考資料（異形管防護） 第G－1章」を参照のこと。

- b. A・K・T形管の特殊押輪による離脱防止延長は「G：参考資料（異形管防護） 第G－2章」を参照のこと。

- ・ A・K・T形管のT字管の場合の本管側と受側の離脱防止延長の取り方について（H11）

本管側は2.0m 両側を確保する。

受側の離脱防止延長は施工管理基準により確保する。ただし、消火栓、空気弁については本管側も拘束長には含まない。

継ぎ輪は拘束長に入らない場合、特押を設置しなくてもよい。

（4） 直管の管種について （H27）

GX形はS種管を使用する。

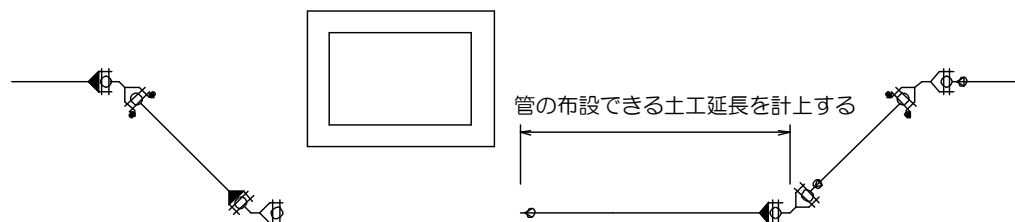
NS形の $\phi 500\text{mm}$ 未満は3種管を、 $\phi 500\text{mm}$ 以上はS種管を使用する。

上記以外で交通量の多い道路の横断箇所、水路横断箇所、挿口加工を行う箇所は1種管を使用する。

直管の挿し口を切管で形成する場合、日本タタイル鉄管協会の便覧を確認して切用管を採用すること。

（5） 水路横断工

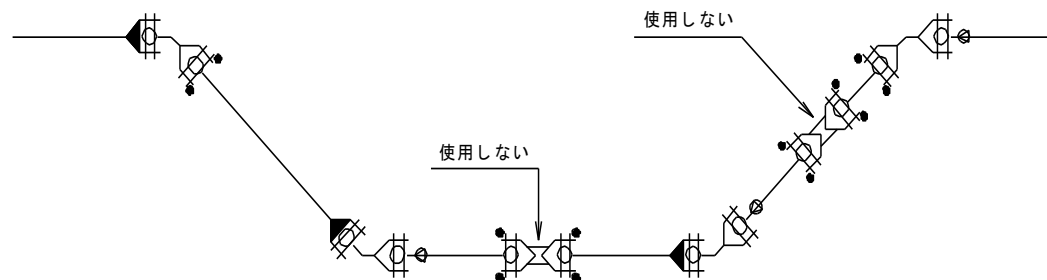
- a. 水路の底に入れる管の延長分だけ余分に掘削を見込む。



- b. 曲管は、 45° 曲管の使用を基本とする。

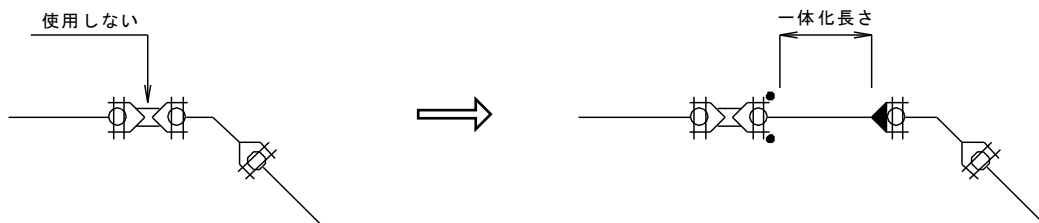
水路が浅い場合は、 $22^\circ 1/2$ 曲管を使用してもよい。

- c. 水路下と立ち上がり部は維持管理上、継ぎ輪を使用しないこと。

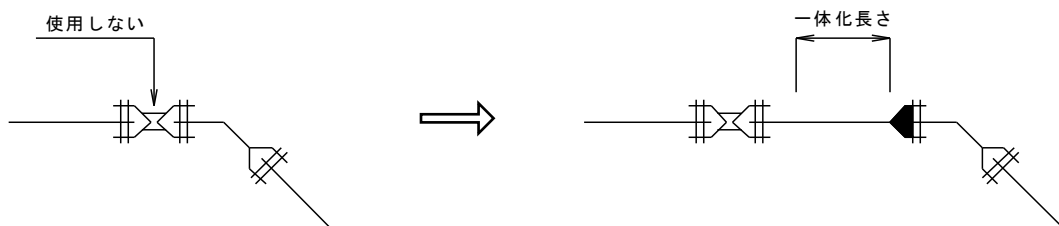


(6) 継ぎ輪に直接異形管挿し口を接続してはならない。

(例) GX 形 曲管工



(例) NS 形 曲管工



原則として、継ぎ輪は一体化長さの範囲外に設けること。

一体化長さの範囲内で使用する場合、

GX形 → G-Link を使用する。

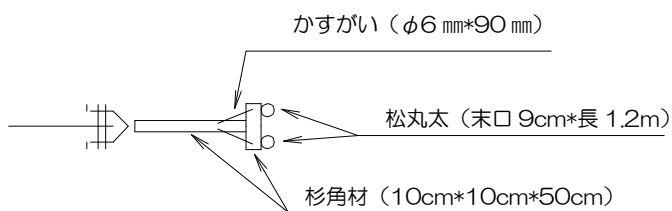
または

継ぎ輪用離脱防止金具を使用する。(挿し口が必要)

NS 形 → 継ぎ輪用離脱防止金具を使用する。

(7) 末端保護工

修繕等で既設の離脱防止が確認できない場合、末端保護工を施すこと。



(8) 消火栓及び空気弁の仕様について (H5.6)

消火栓 --- 内外面粉体塗装のワトソール[®]を使用する。

空気弁 --- 内外面粉体塗装[®]を使用する。

資材指定メーカーで吐出量が JWWA B 137 の基準を上回っている製品については青銅鑄物(BC6)製の小型空気弁を使用することができる。(φ13-25)

補修弁 --- 内外面粉体塗装[®]を使用する。

(9) 泥吐管及び消火栓設置に使用する資材の選定と泥吐管口径について (H30)

次表を標準とする。

本管径	泥吐管分岐部	消火栓取付部	泥吐管口径
φ50	チーズ		φ50
φ75~100	チーズ	渦巻き式 F 付丁字管	φ50
φ150~250	二受丁字管	渦巻き式 F 付丁字管	本管径の 1/2
φ300 以上	排水丁字管 ※	F 付丁字管	排水丁字管の 吐口先口径

a. 泥吐管分岐部に使用する資材又は工法は現場条件によって最終決定すること(割丁字管等)。

b. 本管径φ300以上の泥吐管分岐部に使用する資材は排水丁字管を優先する。

c. 消火栓の設置条件は本章「C. 共通 (10) 消火栓の設置条件について」による。

d. 渦巻き式 F 付丁字管は特注品であるため、使用の際は納期等に注意すること。

e. 泥吐管口径は上表を標準とするが、放流先の水路断面等を考慮し最終決定すること。

※ 口径により排水丁字管がない場合は、二受丁字管を使用すること。

(10) 耐震管でのフランジ継手について (H23)

・ 耐震管路においては、可能な限りフランジ継手を用いないこと。(消火栓、空気弁の設置を除く)

・ やむを得ずフランジ継手を用いる場合、GX 形等の耐震性を有する短管 1 号又は短管 2 号を RF-GF 接合し、管路接続を行うことを標準とする。

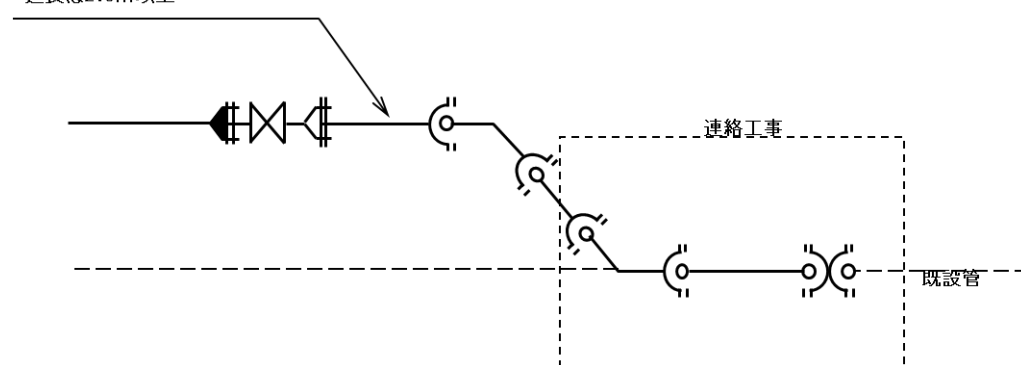
(11) NS形、GX形の連絡時の配管について (H20)

NS形、GX形のようなロックリングを有する管路は、解体矢を用いて解体することが非常に困難であるため、以下の配管例を示す。

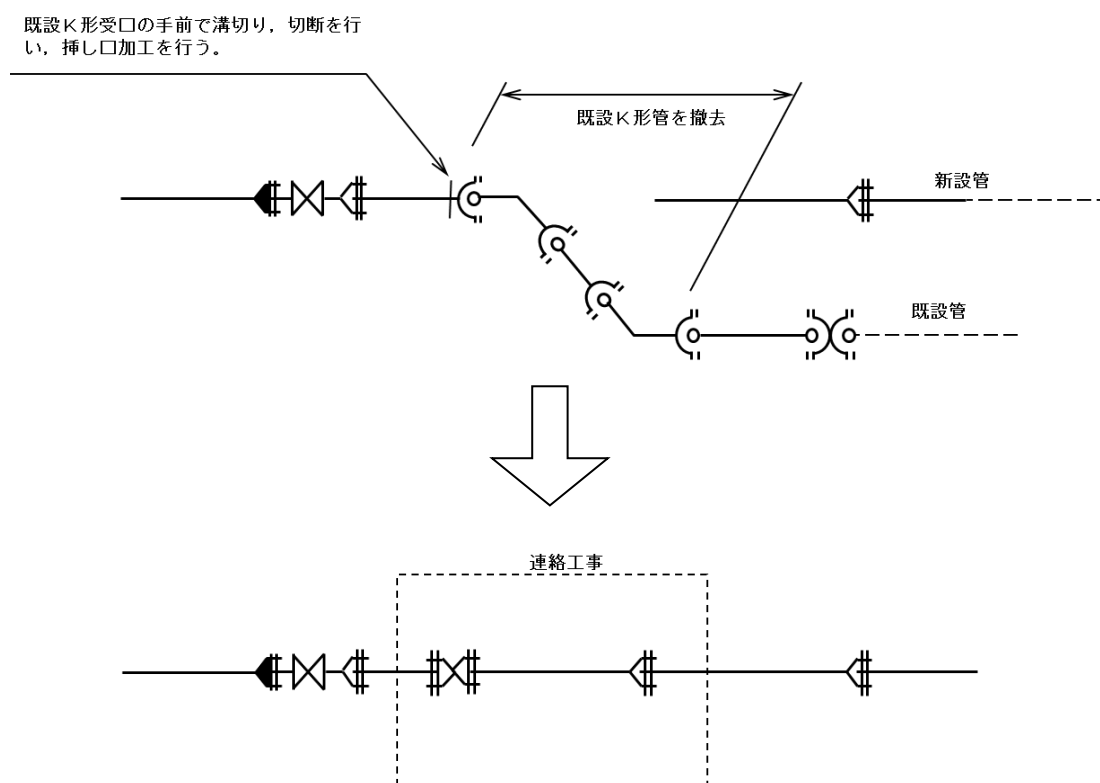
NS形

I. 標準工法

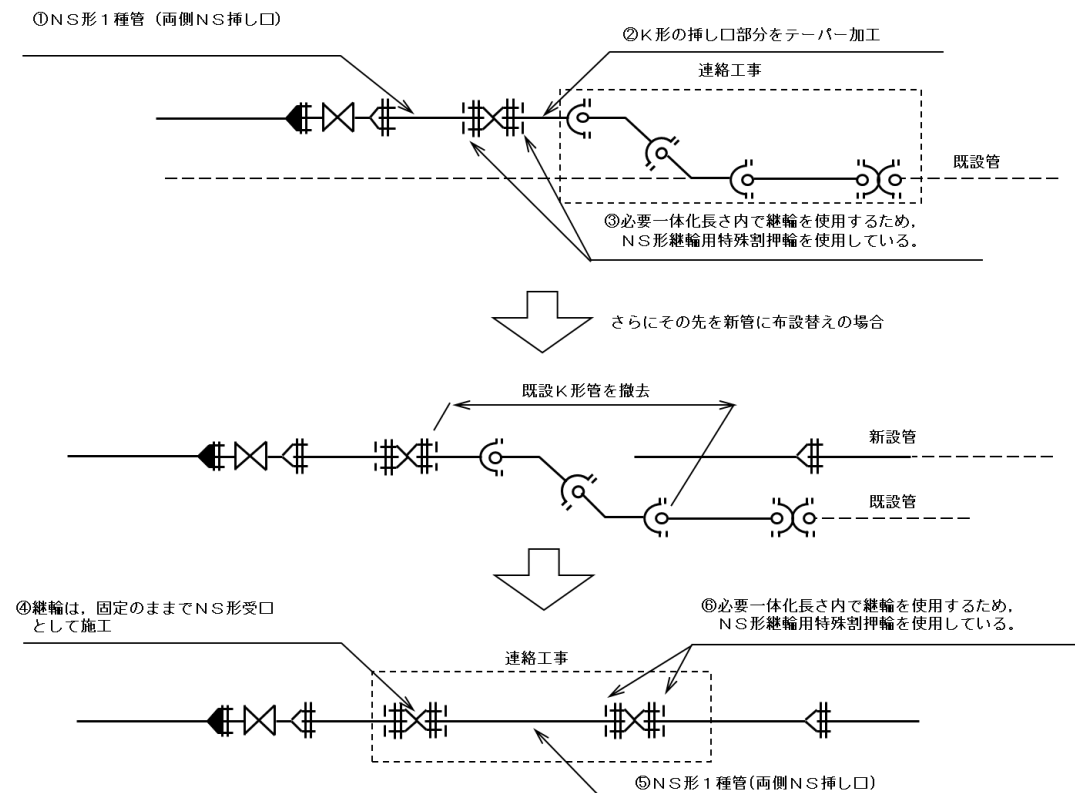
K形1種管 (K-NS)
延長は2.0m以上



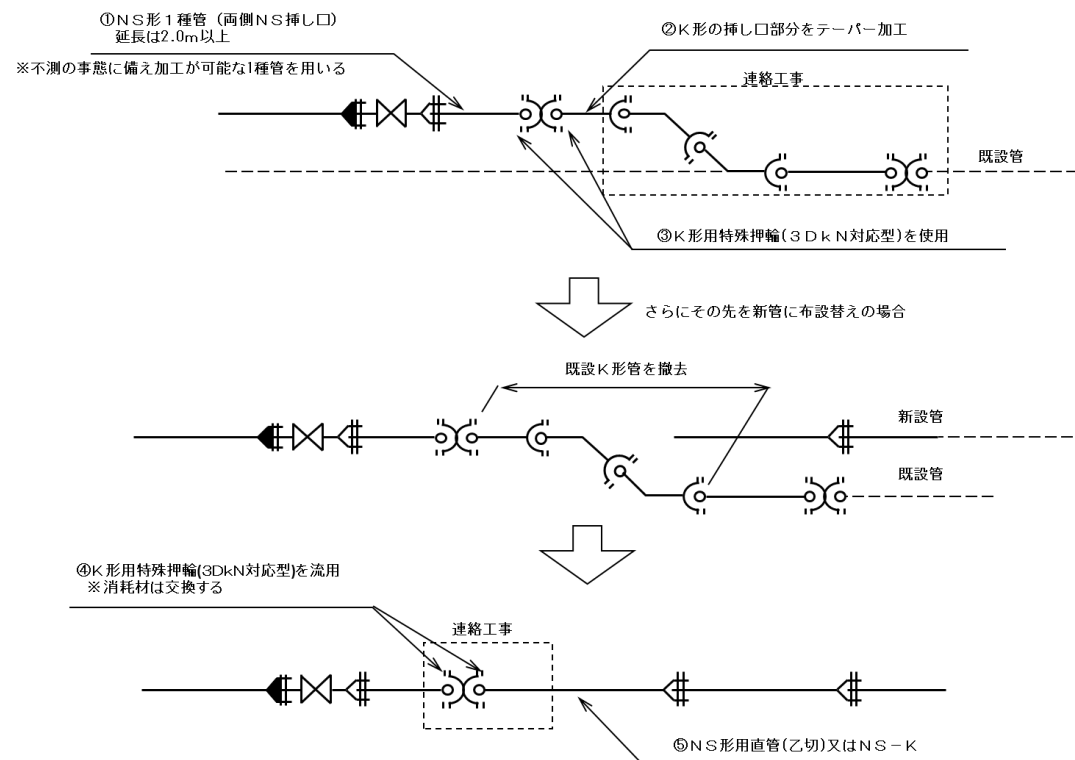
さらにその先を
新管に布設替え
の場合



Ⅱ. 標準工法以外での方法（この方法も採用可能）

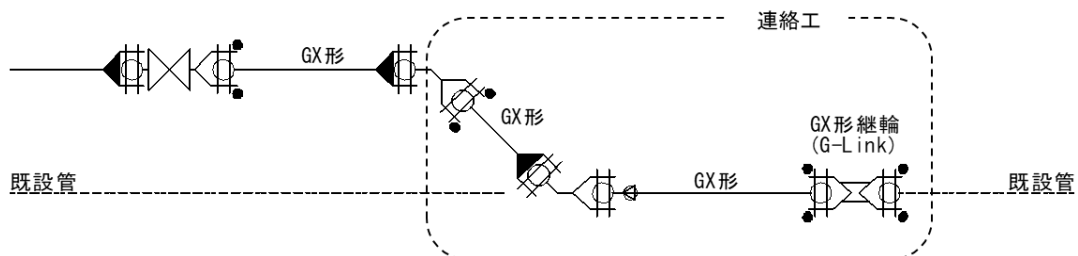


Ⅲ. 時間的制約等により特に迅速な作業が必要となる場合（H23）

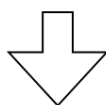
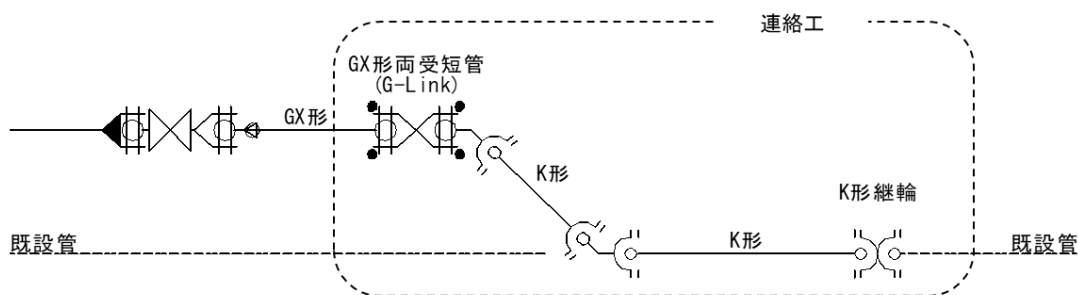


GX 形

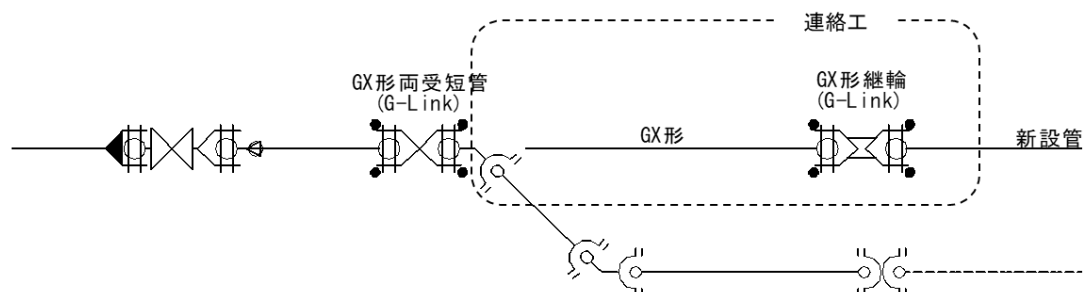
I. 耐震管路等に接続し、将来的に連絡部が残る可能性が高い場合



II. 耐震管路以外に接続し、将来的に布設替え等で連絡部が残らない可能性が高い場合



さらにその先を新管に布設替えの場合



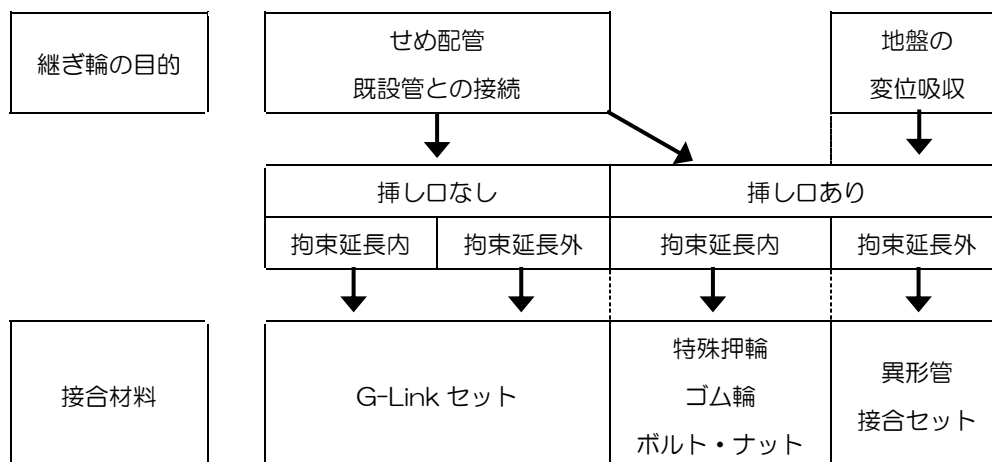
- ・ GX 形管と異なる铸铁管を接合する際は、適切な接続方法を選定すること。
- ・ 連絡箇所は可能な限り GX 形铸铁管及び関連資材で設計すること。
- ・ 平成元年度以降に布設された既設管と連絡する場合、接合部は離脱防止性能 A 級となるよう設計すること。
- ・ ただし、II のような布設替えが計画されている場合などは、無駄にならないよう別途考慮する。

なお、II において G-Link の取外しが困難と思われる場合は、両受短管ごと切取るとも視野に入れて設計すること。

- ・ GX 形継ぎ輪と直管を接合する場合における接合材料の関係性は以下のとおりである。

なお、GX 形異形管と GX 形継ぎ輪を直接接合してはならない。

GX 形継ぎ輪と直管を接合する場合における接合材料の関係性



(12) 既設管から分岐する際に使用する割丁字管について

既設管から分岐を行う場合に使用する割丁字管は、以下の条件を基本とする。

なお、配水管は必要に応じて導水管または送水管と読み替える。

表 1 割丁字管の選定

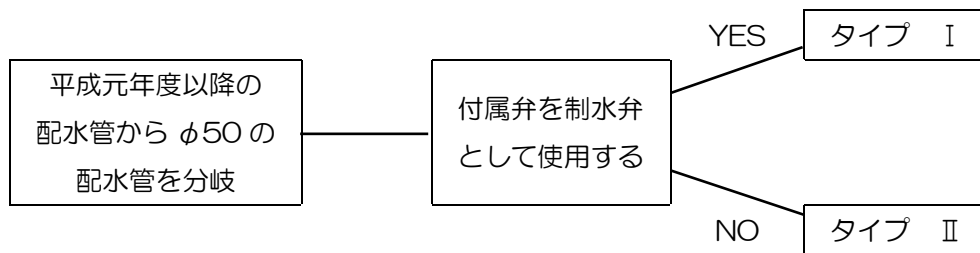
分岐元	分岐先	割丁字管
耐震管	φ40 以上の給水管	捨てバルブ型
	φ50 の配水管	
	φ75～100 の配水管	通常型
非耐震管	φ150～300 の配水管	耐震型※1
	φ40 以上の給水管	捨てバルブ型
	φ50 の配水管	
	φ75～300 の配水管	通常型

※1 令和 8 年度は移行期間につき、可とう割丁字管へ変更してもよい。

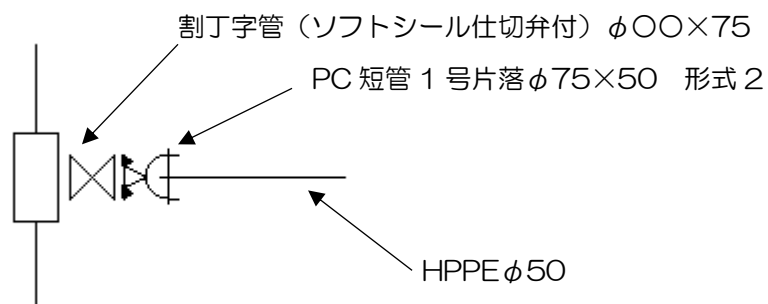
表 2 割丁字管の種別

割丁字管	付属弁	分岐先の継手
捨てバルブ型	簡易弁	フランジ
通常型	ソフトシール仕切弁	フランジ
耐震型	ソフトシール仕切弁	K 形受、挿し口

※1 分岐先が $\phi 50$ の場合の選定フロー

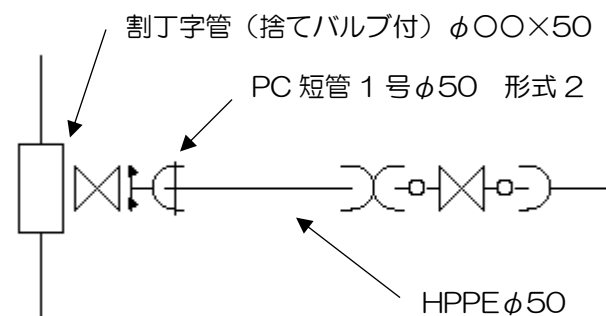


タイプⅠ --- 通常型の割丁字管を使用し、 $\phi 75$ で分岐後、 $\phi 50$ に縮小する。



※SP フランジ短管 ($\phi 75$) → EF レデューサー等も可。

タイプⅡ --- 捨てバルブ型の割丁字管を使用し、 $\phi 50$ で分岐後、別途制水弁を設ける。



※制水弁は基準書で定める位置に設けること。

割丁字管の設計、施工における留意事項

- ・ 分岐元が $\phi 50$ の場合、分岐は割丁字管を用いず切取りで対応すること。
- ・ 割丁字管の付属弁を制水弁として使用する場合、筐積を行い、弁栓番号を割り当て管理すること。
- ・ 割丁字管の付属弁を制水弁とした場合、「弁の操作が危険である箇所」または「弁の操作により交通に大きな影響を与える箇所」であるときは、基準書で定める位置に別途

制水弁を設置することができる。

- ・ 国道、県道及び片側 2 車線以上の市道に設置する場合、筐積の有無に関わらず維持管理 G と協議すること。
- ・ 割丁字管の付属弁を制水弁として使用しない場合、近接工事による破損防止措置を講じること。（付属弁が横倒しできるものは、横倒しするなど）
- ・ 割丁字管、付属弁及び本管接続部等の鋳鉄部は、ポリスリーブで被覆すること。
- ・ 既設管への継手補強は、その目的が耐震補強であるのか、離脱防止であるのかを検討して、材料の選定を行うこと。

(13) GX 形管の接合について

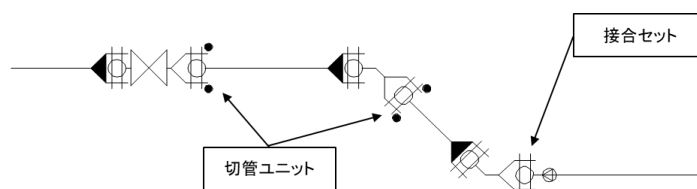
1 切管接合

- 1.1 A、K、T、NS、GX 形の切管を GX 形の直管受口と接合する場合、原則として挿し口加工及び GX 形切管用挿し口リングを用いる。
- 1.2 前項の規定は、挿し口加工及び GX 形切管用挿し口リングに対応した管種（主に 1 種管）の場合に適用する。
- 1.3 切管の管種が前項の既定に合致しない場合、または施工条件等により上記方法での施工が適当でないと判断される場合、P-Link を採用する。
- 1.4 A、K、T、NS、GX 形の切管を GX 形の異形管受口と接合する場合、原則として G-Link を用いる。
- 1.5 施工条件等により前項の方法での施工が適当でないと判断される場合、挿し口加工及び GX 形切管用挿し口リングを採用する。

2 異形管の接合セットについて

- 2.1 GX 形異形管の受口 1 箇所につき 1 組、以下の接合セットを使用する。

- ① 切管挿し口への接合 : 切管ユニット (G-Link セット)
- ② 上記以外 : 接合セット (異形管・ソフトシール弁用)



2.2 接合部材について

- ① 切管ユニット (G-Link セット) 及び接合セット (異形管・ソフトシール弁用) の使用箇所が適切であるか使用前に必ず確認すること。
- ② 本設部分に使用する接合部材は、必ず新材を用いること。
仮設部分においてやむを得ず再利用する場合、その都度部材に欠品や破損がないか

確認すること。

欠品や破損がある場合や正しい組合せとならない場合、再利用してはならない。

B. 配水用ポリエチレン管等

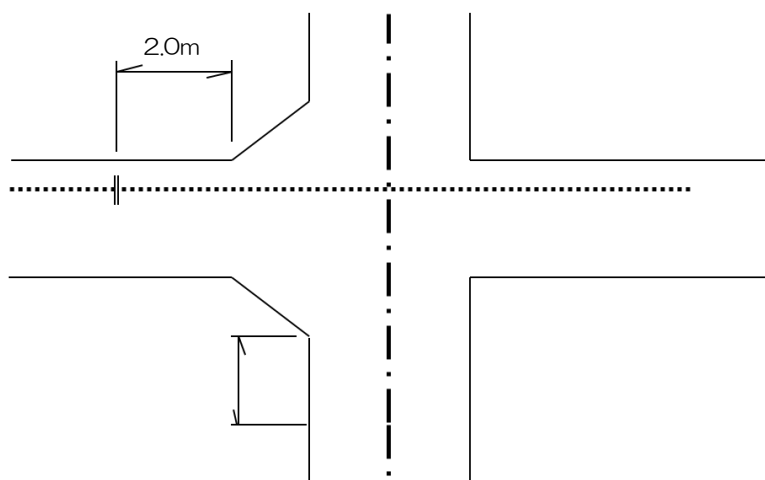
I. $\phi 50 \sim 100$ mmの配水管は配水用ポリエチレン管の使用を標準とする。

その施工については「第5章-1 水道配水用ポリエチレン管標準配管基準書」を参照のこと。

II. 既設管の修繕や部分的な布設換え等により耐衝撃性塩化ビニール管（H I V P）を使用する際は「第5章-2 耐衝撃性硬質塩化ビニール管標準配管基準書」を参照のこと。

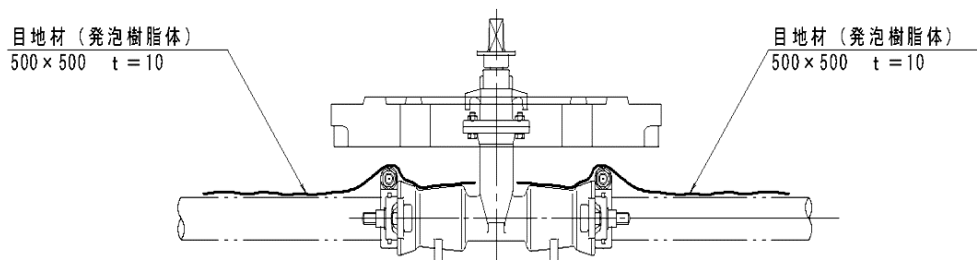
C. 共通

(1) 弁類の位置（既設道路の場合）



(2) 制水弁の使用形式について

- a. ソフトシール弁は $\phi 50 \sim \phi 350 \text{mm}$ までの口径とし、 $\phi 400$ 以上はバタフライ弁を標準とする。（H28）
- b. $\phi 300$ 及び 350 のバタフライ弁はハイスランド型を使用する。
新設するソフトシール弁は一体式(受挿、両受、両挿口型)を標準とする。
- c. 塩ビ管用及びHPP E用ソフトシール仕切弁については、筐下部の碎石と水道管とが直接接触しないように目地材の樹脂発泡体（ $50\text{cm} \times 50\text{cm}$ $t=10\text{mm}$ ）を仕切弁継手上部に布設すること。（H24）



(3) 分岐工設計時の口径について（H30）

分岐工(道路横断部分)の取り出しで交通量の多い道路について、将来水需要の増加が考えられる場合、制水弁までの口径を大きくすることを検討する。

(4) 最小口径

新設、布設替給水管は1栓につき $\phi 20 \text{mm}$ を、配水管は $\phi 50 \text{mm}$ を最小口径とする。但し修繕等を除く。

- (5) SUS304製のボルト又はナットのねじ部への焼付防止処理について
焼付防止処理方法及びメーカーの一覧を以下に示す。

処理方法	メーカー名	適用
SDC 加工	(株) SDC 田中	(H9.7 承認)
DM コート	(株) 三笠鋳螺	(H9.7 承認)
TOM コート	(株) 巴製作所	(H10.7 承認)
KDC 処理	岸和田ステンレス(株)	(H27.4 承認)
モリブデンコート	日本鋳螺(株)	(H31.4 承認)

- (6) 水管橋塗装色について

水管橋塗装色は、「マンセル No.10B5/10 (水色)」とする。

- (7) 空気弁の適用口径について(H16)(R5)

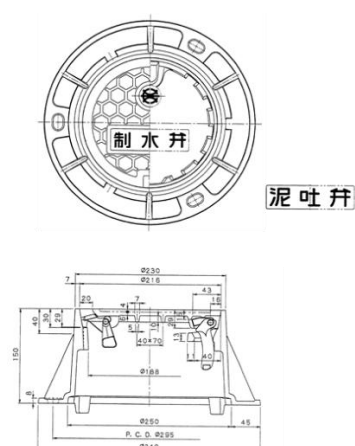
空気弁の適用口径は次表を標準とする。

本管口径	空気弁口径	補修弁口径	摘要
φ50	φ13		水管橋用
φ75	φ20	φ75	
φ100-300	φ25	φ75	
φ350-800	φ75	φ75	

- (8) 制水弁・泥吐弁鉄蓋及び空気弁・消火栓・ハイスランド型バタフライ弁鉄蓋の形状について (H11.7)

本書第 10 章「鈴鹿市型消火栓・空気弁・バタフライ弁鉄蓋φ500 同鉄蓋φ500レジンコンクリート製下樹仕様書」に準拠した製品を使用すること。

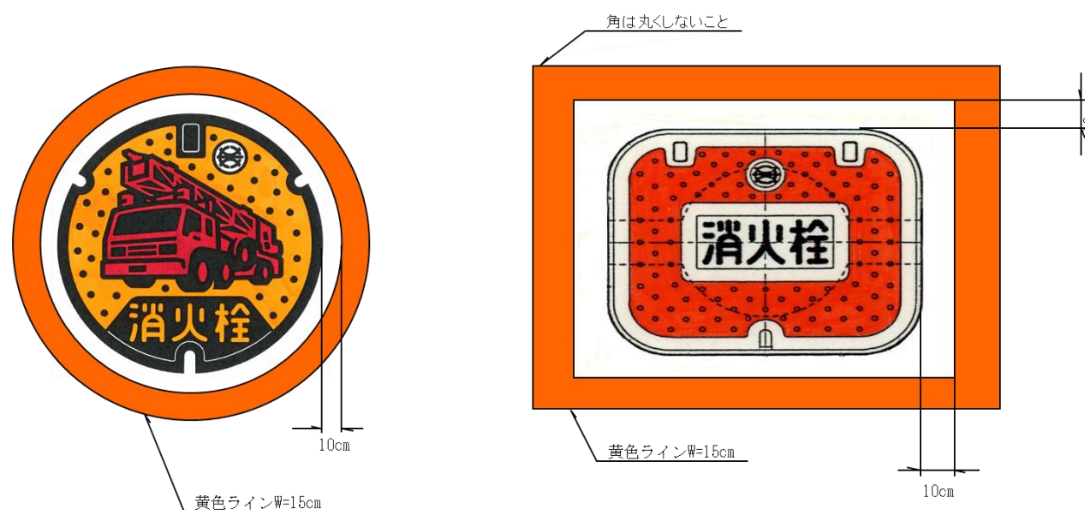
制水弁・泥吐弁鉄蓋



空気弁・消火栓・バタフライ弁鉄蓋



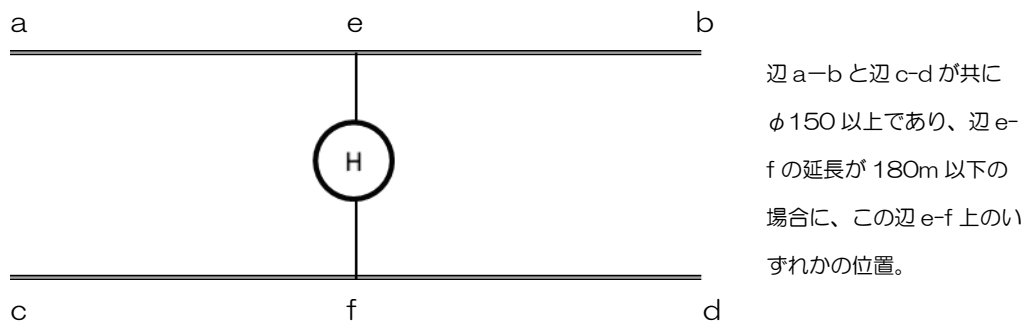
(9) 消火栓筐へのライン設置方法



(10) 消火栓の設置条件について (H30)

- 消火栓は呼称 65mm のものを使用し、その設置間隔は半径 120m 以内とする。
- 消火栓は $\phi 100$ 以上の配水管に設置する。ただし「既存配管が $\phi 150$ 以上で、管網において 1 辺が 180m 以下に配管されている場合」は $\phi 75$ の配水管に設置することができる（消防本部通達：開発事業に伴う消防水利等に関する指導基準による）。

（消火栓が設置できる $\phi 75$ 配水管の例）



※上記以外の形態で配管されている $\phi 75$ に消火栓を設置する場合、水道施設設計指針や消防水利の基準などを参照し設置の可否を判断すること。

D. 給水管

水道本管布設に伴い行う給水管の布設替え工事等について定める。

(1) 給水管の材料

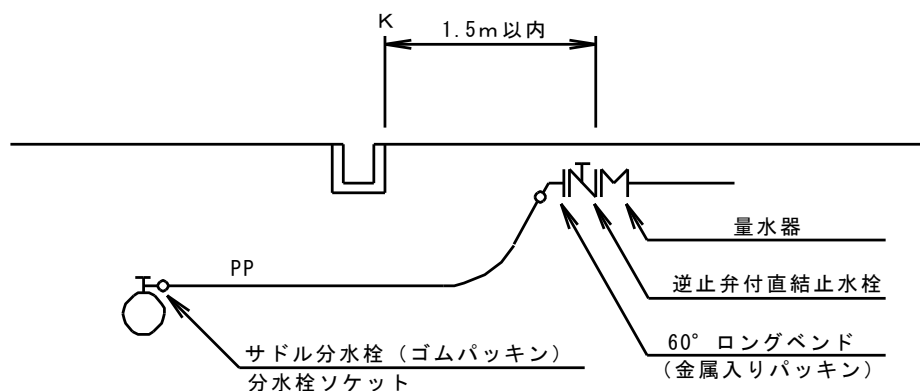
- ・ 給水管はポリエチレン管 1 種 2 層管 ($\phi 13 \sim 30$) を使用するものとする。
- ・ 継手は、上下水道局の承認を受けた部材を使用する。
- ・ 継手部のゴムパッキンは、サドル分水栓と量水器を除く直結止水栓までの一次側は金属入りゴムパッキンを使用する。

(2) 給水管の切替え

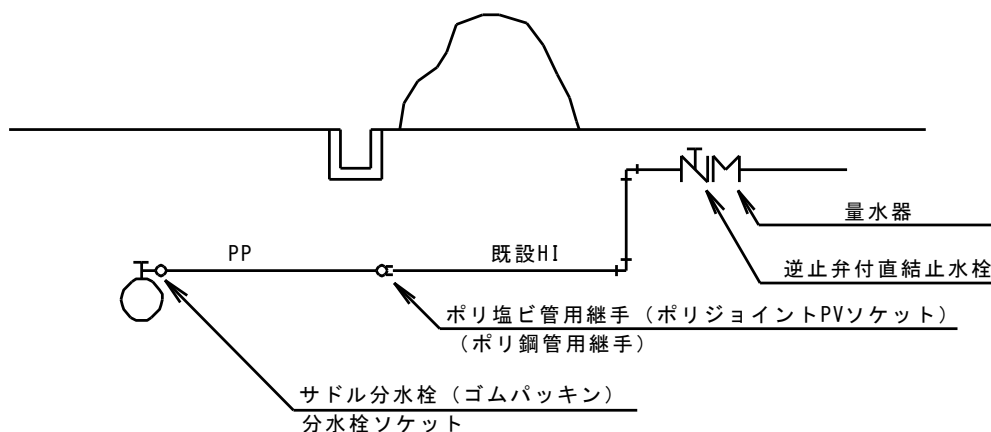
- ・ 給水管切替えは、メーターまで行うものとする。
ただし、民地側の状況によりメーターまで施工することができない場合は、その限りではない。その場合の接続箇所は、極力官民境界付近とする。

給水工事管標準図

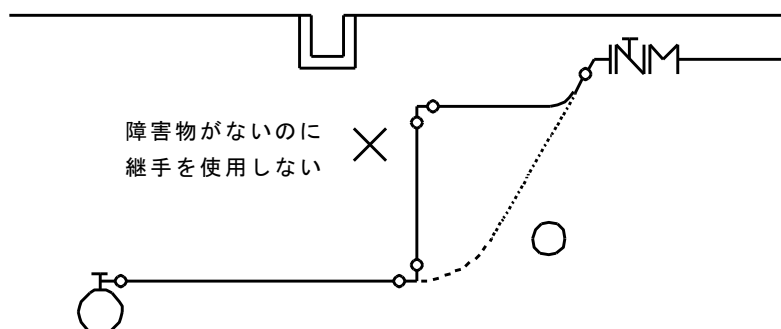
標準図Ⅰ (メーターまで布設替え出来る場合)



標準図Ⅱ (メーターまで布設替え出来ない場合)



- ・ 障害物がない場合、極力継手を使用せずメーターまで布設替えを行うこと。



- ・ 道路内における給水管の最低土被りは、第3章 土工標準図に記載のとおりとし、官民境界での土被りも60cm以上確保すること。
また、構造物との離隔についても本管同様0.3m以上確保すること。

(3) 給水管の取出し

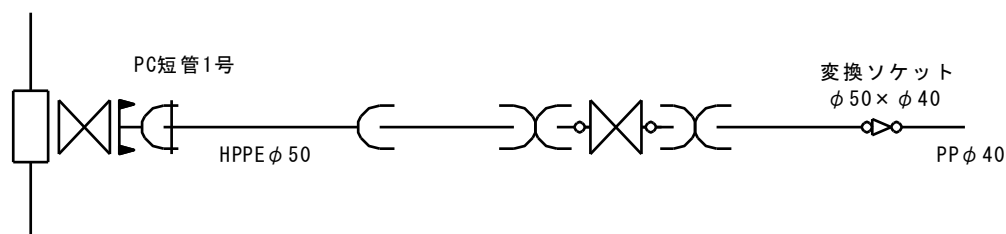
- ・ サドル分水栓による取出しは、 $\phi 30\text{mm}$ までとし $\phi 50\text{mm}$ 以上の取出しは給水管施工標準図による。
- ・ 交差点内からの取出しは避けること。やむを得ず行う場合は、直管部から取り出すこと。
- ・ 割丁字管による取出しは本管から直角方向に行い、その制水弁は官民境界から1.5m以内に設置すること。

(4) 給水管切替え時の給水管口径

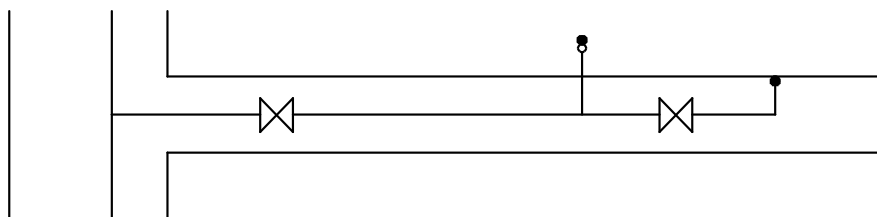
- ・ 既設管と同口径とすることを基本とする。ただし、既設管の口径が $\phi 13\text{mm}$ である場合は $\phi 20\text{mm}$ とし、異径直結止水栓（異径継手）で接続する。

(5) $\phi 40\text{mm}$ 公道給水管への接続

既設管がポリエチレン管 $\phi 40\text{mm}$ の場合



本管工事に伴い布設替えを行う場合、末端に泥吐管を設置すること。



- (6) 本管の近くに障害（下水道管等）があり、サドル分水栓から給水管を迂回させる場合
の使用材料と工法について(H17)

袋ナットになっていないインコア式のエルボで曲げるのを基本とする。

また、ポリエチレン管の最低長さは、300mmとする。

E. 水道管近接工事に伴う移設（防護）基準（R2）

水道管の維持管理、事故防止の観点から以下のように定める。

これにより難しい場合は、当局と協議を行うこと。

（１） 水道管の埋設位置（R2）

水道管の標準土被りは次表のとおりとし、維持管理に配慮した土被りとする。

口径	土被り(m)
給水管	0.6
φ 50	0.7
φ 75-150	0.9
φ 200-250	1.2
φ 300-350	1.3
φ 400-450	1.4
φ 500-800	1.5

なお、道路に埋設される管路の最低土被りは最下層路盤の底面+30cmと GL から 60cm の大なる方とする。

（２） 水道管との離隔基準

a. 水道管と立体交差するとき

水道管と立体交差して他の埋設管を布設する時は、構造物とクロスする箇所には継手は置かずに管外側から上下とも 30cm 以上の確保を原則とする。

b. 水道管と並行近接するとき

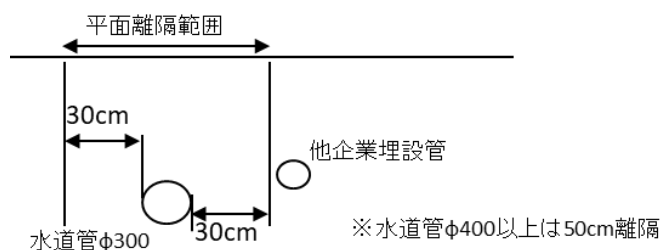
1. 並行近接する埋設物が管路のときは、水道管の口径により次の間隔とすること。

① 350mm 以下のときは継手やく物の外側 30cm 以上の確保を原則とする。

② 400mm 以上のときは継手やく物の外側 50cm 以上の確保を原則とする。

2. 並行近接の埋設物が人孔等の構造物のときは継手やく物の外側 30cm 以上の確保を原則とする。

3. 上記間隔を確保されていても、水道管平面離隔範囲内には埋設しないこと。



c. 水道管に近接する杭・矢板打ち工事をするとき

水道管に近接する杭・矢板打ち工事の試掘は、『人力掘』で管の上端から管径 1/2 以上掘り下げて確認のうえ、落下物等に対する保護をしてから行うこと。

なお、杭・矢板との間隔は次のとおりとする。

- ① 350mm 以下のときは継手やく物の外側 30cm 以上の確保を原則とする。
- ② 400mm 以上のときは継手やく物の外側 50cm 以上の確保を原則とする。

d. 水道管に隣接して工事するとき

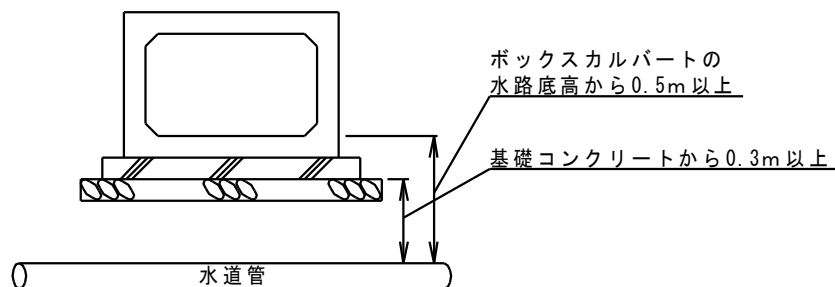
水道管に並行かつ接近して埋設工事を行う場合、現場条件（土質等）によっては掘削時に水道管へ影響が及ぶ恐れがある。

その場合は土留工や離脱防止等の対策を講じ、漏水事故防止を図ること。

なお、水道管を露出させる場合や異形管部分の防護については、別途防護基準による。

e. ボックスカルバート等の離隔について（H17）

ボックスカルバートの水路底高から 0.5m 以上かつ基礎コンクリートから 0.30m 以上離隔を確保すること。



※ 離隔を 30cm 以上確保しなければならない理由は、漏水修繕等が必要となった場合袋ジョイントを設置するのに最低 30cm は施工幅が必要となるため。

(3) 吊り・受け防護基準

大規模工事等によりやむを得ず掘削坑内に水道管が露出するときは、工事中は主として吊り防護、工事完成後は受け防護によって管を防護すること。

工法については、工事の規模、水道管の管種、管径により工事ごとに事前協議のうえ、図面にて当局の承認を得ること。

一般的な基準は次のとおりとする。

a. 吊り防護工

管の吊り防護には必ず吊り桁を設置し、桁の支持は土留杭又は単独杭による。吊り具は形鋼か角材を用い所要の断面を有するボルトで、吊り桁に固定するとともに有効な

振れ止め装置を設ける。吊り具の間隔は 1.5m とし、張力が均一になるようターンバックル等にて調節出来るようにする。又、振れ止装置は両端及び 3.0m 間隔の設置を原則とする。

b. 受け防護工

吊り防護工が施工された掘削坑を埋め戻すときは原則として受け防護工を行い、構造は鉄筋コンクリート製の床板方式等とする。

いずれにしても、将来とも地中に残るものであるから管の維持管理上支障のない方法を講ずること。

また、管の下端から掘削深さが 0.5m 以下の場合には省略してもよい。

(4) 異形管部の防護基準

管路の分岐、曲り及び管末又は管径の変化する箇所には必ず異形管が使用されている。

異形管には水圧により常に抜け出す力が作用している。この力には、通常背後の土圧及び特殊押輪で抵抗しているが、工事中にこの背面の土砂を掘削することは非常に危険である。

この対策については現場の地耐力等から十分検討したうえ、抜け出しの方向に正しく抵抗させる支持工を施工しなければならない。

a. 水平支持工

水平曲管、T字管の附近を掘削する場合は、水圧により管が離脱しやすいので管が露出する前に横梁又は切梁を施すこと。

既設の防護コンクリートは一度に取除かず、掘削、取壊し、横梁、(又は切梁)の順序で片側に交互に行い、最後に中心部に至るように施工すること。

b. 垂直支持工

縦型曲管、S型曲管等は横梁、切梁が不可能に近いのでその都度上下水道局と打合せをすること。

F. 仮設配管

(1) 仮設配管工

- a. 仮設ポリ本管は、 $\phi 50$ 及び $\phi 25$ とする。 $(\phi 40、\phi 30、\phi 20、\phi 13$ は使用しない。)
- b. 積算は、 $L=1.0m$ 当りとする。
- c. 仮設配管の取り出しについては、スリースバルブ又はポリ管の手前まで表示をして積算する。ただし、図面等で表示した場合のみ積算する。
- d. 仮設配管末端には、必ずドレーンを設置する。口径については、仮設本管と同口径か若しくは本管口径の $1/2$ 以上の口径とする。この条件を備えていないものは給水管とみなす。

また仮設給水管で長い距離を配管せずに、仮設本管でメーター直前の公道まで配管すること。(H7.6)

- e. 仮配管 ($\phi 50mm$ 以下) 用継手材は、インコア型(JIS B-116)とする。(H7.6)

(2) 仮設給水管

- a. 仮設ポリ給水管は、 $\phi 50、\phi 25、\phi 20$ とする。 $(\phi 40、\phi 30、\phi 13$ は使用しない。メーター手前の口径が、 $\phi 40、\phi 30$ の場合は $\phi 50$ で施工、 $\phi 13$ の場合は $\phi 25、\phi 20$ で施工する。 $\phi 13$ は絶対に使用しないようにする。)
- b. 積算については、メーター口径別で 1.0 箇所当りとする。(メーター口径が、 $\phi 25$ の場合 $\phi 25$ で計上、 $\phi 20 \cdot \phi 13$ の場合は $\phi 20$ 以下で計上する。)
- c. 仮設給水管の取り出しについては、ポリチーズ、サドル分水栓のどちらを使用してもよい。(仮設本管 $\phi 25$ については、ポリチーズとする。)
- d. メーター手前に、止水栓又はスリースバルブを必ず設置する。

G; 参考資料(異形管防護)

第G－1章 耐震形継手管GX形管の一体化長さ早見表

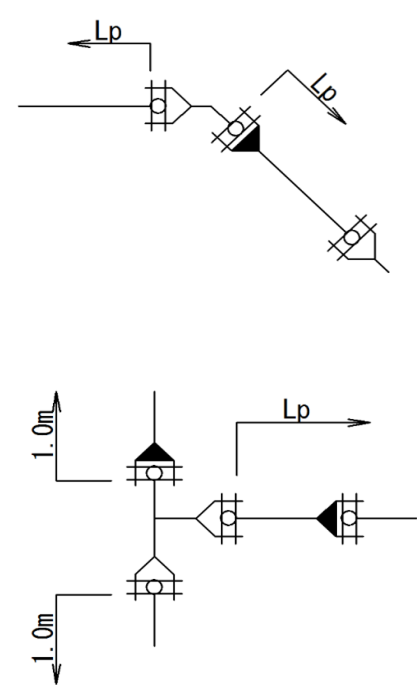
ここでは、JDKA T 57「GX形 ダクタイル鉄管管路の設計」に掲載されている一体化長さを表に示す。

① 計算条件他

- 早見表は、以下の条件で計算されている。
また、計算結果は0. 5m単位で切り上げとなっている。
- (1) 土の単位体積重量 $\gamma = 16\text{kN/m}^3$
 - (2) 管と土との摩擦係数 $\mu = 0. 3$ (ポリエチレンスリーブあり)
 - (3) 土被り 0.6m以上
 - (4) 埋戻条件 一般的な埋戻土でN値5程度以上の締固めによる
- ※ 一体化長さ(Lp)に異形管の長さは含めない。
※ 異形管前後の一体化長さの合計が50mを超えるものについては、原則として防護コンクリートを併用する。

※上記設計条件から外れる場合はJDKA T 57「GX形ダクタイル鉄管管路の設計」最新版を参照すること

② 曲管部及び丁字管部の一体化長さ



(表1)曲管部及び丁字管部の一体化長さ(φ 75～300)

単位：m

呼び径	土被り 0.6m以上								
	曲管部 1)						丁字管部 2)		
	22.5° 以下		22.5° を超え 45° 以下		45° を超え 90° 以下				
	設計水圧 (MPa)		設計水圧 (MPa)		設計水圧 (MPa)		設計水圧 (MPa)		
	0.75	1.30	0.75	1.30	0.75	1.30	0.75	1.30	
φ 75	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	4.0	1.0	1.0	
φ 100						5.0			
φ 150					4.0	6.0			6.0
φ 200						8.0			
φ 250				2.0	6.0	11.0	2.0	7.0	
φ 300				2.0	7.0	7.0	16.0	7.0	13.0

(表2)曲管部の一体化長さ(φ 400) 1)

単位：m

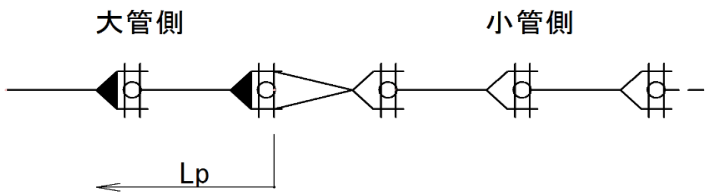
呼び径	22. 5° 以下		22. 5° を超え 45° 以下		45° を超え 90° 以下	
	設計水圧 (MPa)		設計水圧 (MPa)		設計水圧 (MPa)	
	0. 75	1. 30	0. 75	1. 30	0. 75	1. 30
φ 400	土被り 1. 2m					
	1. 0	2. 0	4. 0	7. 0	9. 0	17. 0
	土被り 1. 5m					
	1. 0	2. 0	4. 0	7. 0	8. 0	15. 0

(表3)丁字管部の一体化長さ(φ400) 2) 3)
単位：m

本管 側 呼び 径	枝管 側 呼び 径	土被り 1.2m		土被り 1.5m	
		設計水圧 (MPa)		設計水圧 (MPa)	
		0.75	1.30	0.75	1.30
φ 400	φ 300	6.0	12.0	5.0	10.0
	φ 400	7.0	16.0	7.0	15.0

- 注 1) 単独曲管部では曲管の両側に一体化長さを確保する。
2) 枝管の呼び径で判断し、枝管側に表中の一体化長さを確保する。なお、本管側の一体化長さは呼び径によらず両側とも1mとする。
3) 枝管が表3に示す呼び径より小さい場合、表2の値を用いる(割丁字管等使用時)。
- 備考 1) 表中の設計水圧0.75MPaは0.75MPa以下の場合に、1.30MPaは0.75MPaを超え1.30MPa以下の場合に適用する。なお、設計水圧は静水圧と水撃圧を加えたものとする。
2) ポリエチレンスリーブの有無に関わらず、上表の値を適用する。
3) 曲管が2個以上の複合曲管部で90° を超え112.5° 以下の角度であれば表1、表2の「45° を超え90° 以下の曲管部の一体化長さ」をそのまま適用できる。ただし112.5° を超える角度については管端部の一体化長さをを用いる。

③ 片落管部の一体化長さ



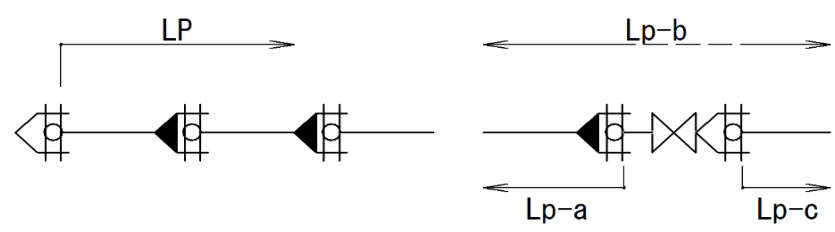
(表4)片落管部の一体化長さ

単位：m

呼び径 (大管→小管)	土被り0.6m		土被り0.8m		土被り1.0m		土被り1.2m		土被り1.4m	
	水圧 (MPa)		水圧 (MPa)		水圧 (MPa)		水圧 (MPa)		水圧 (MPa)	
	0.75	1.30	0.75	1.30	0.75	1.30	0.75	1.30	0.75	1.30
100→75	3.5	6.0	3.0	4.5	2.5	4.0	2.0	3.5	1.5	3.0
150→100	6.5	11.0	5.0	8.5	4.0	7.0	3.5	6.0	3.0	5.0
200→150	6.5	11.0	5.0	8.5	4.0	7.0	3.5	6.0	3.0	5.5
250→200	6.5	11.0	5.0	8.5	4.5	7.0	3.5	6.0	3.0	5.5
300→100	18.0	31.5	14.5	25.0	12.0	20.5	10.5	17.5	9.0	15.5
300→150	15.5	26.5	12.0	21.0	10.0	17.5	8.5	15.0	7.5	13.0
300→200	11.5	19.5	9.0	15.5	7.5	13.0	6.5	11.0	5.5	9.5
300→250	6.5	10.5	5.0	8.5	4.0	7.0	3.5	6.0	3.0	5.5
400→200	-	-	-	-	-	-	11.0	19.0	9.5	16.5
400→300	-	-	-	-	-	-	6.5	11.0	5.5	9.5

- 備考 1) 土被りは大管側の土被りとする。
2) Lpはポリスリーブ有りの値である。

③ 管端部及び仕切弁部の一体化長さ早見表



(表5)管端部及び仕切弁部の一体化長さ早見表

呼び径	土被り0.6m		土被り0.8m		土被り1.0m		土被り1.2m		土被り1.4m	
	水圧(MPa)		水圧(MPa)		水圧(MPa)		水圧(MPa)		水圧(MPa)	
	0.75	1.30	0.75	1.30	0.75	1.30	0.75	1.30	0.75	1.30
φ 75	7.5	12.5	5.5	9.5	4.5	8.0	4.0	6.5	3.5	5.5
φ 100	9.0	15.5	7.0	12.0	5.5	9.5	5.0	8.0	4.0	7.0
φ 150	12.5	21.0	9.5	16.5	8.0	13.5	6.5	11.5	6.0	10.0
φ 200	15.5	26.5	12.0	20.5	10.0	17.0	8.5	14.5	7.0	12.0
φ 250	18.5	31.5	14.5	25.0	12.0	20.5	10.0	17.5	9.0	15.0
φ 300	21.0	36.0	16.5	28.5	14.0	24.0	12.0	20.5	10.5	17.5
φ 400	—	—	—	—	—	—	15.0	25.5	13.0	22.5

- 備考
- 1) 土被りは大管側の土被りとする。
 - 2) L_p はポリスリーブ有りの値である。
 - 3) 仕切弁部の一体化長さを確保する位置は L_{p-a} 、 L_{p-b} 、 L_{p-c} いずれの場所でもよいが、 L_{p-b} の場合は弁筐等による土圧低減が予想されるため L_{p-a} 、 L_{p-c} が望ましい。なお L_{p-b} とする場合、 L_p に短管1号、仕切弁、短管2号の長さは含めない。
 - 4) 近く連絡工事等でこの制水弁を閉める事が決定している場合、 L_{p-a} 、 L_{p-c} 両方で一体化長さを確保しておく事が望ましい。

G; 参考資料(異形管防護)

第G－2章 耐震形継手管NS・SⅡ形管の一体化長さ早見表

ここでは、JDKA T 35「NS形・S形 ダクタイル鉄管管路の設計」に掲載されている一体化長さ早見表を示す。

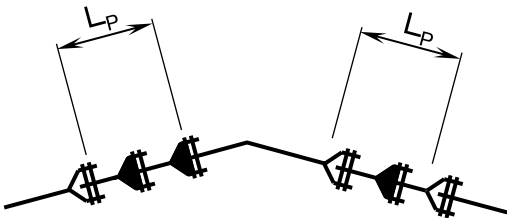
① 計算条件他

早見表は、以下の条件で計算されている。
また、計算結果は0.5m単位で切り上げとなっている。

- (1) 土の単位体積重量 $\gamma = 16\text{kN/m}^3$
- (2) 土の内部摩擦角 $\phi = 30^\circ$
- (3) 管と土との摩擦係数 $\mu = 0.3$
- (4) 地盤反力係数 $k = 3,000\text{kN/m}^3$

※上記設計条件から外れる場合はJDKA T 35「NS形・S形ダクタイル鉄管管路の設計」最新版を参照すること

② 水平曲管部



- 凡 例
- NS形継手
 - NS形継手 (ライナ取付)

(1) NS形(φ75～1000)・ SⅡ形(φ75～450)

(φ75～300)		単位 m	
曲管角度	呼び径(φ)	土被りh=0.6m以上	
		水圧(Mpa)	
		0.75	1.3
45°を超え 90°以下	75	1.0	4.0
	100	1.0	5.0
	150	4.0	6.0
	200	4.0	8.0
	250	6.0	11.0
	300	7.0	16.0
22.5°を超え 45°以下	75	1.0	1.0
	100	1.0	1.0
	150	1.0	1.0
	200	1.0	1.0
	250	1.0	2.0
	300	1.0	7.0
22.5°以下	75	1.0	1.0
	100	1.0	1.0
	150	1.0	1.0
	200	1.0	1.0
	250	1.0	1.0
	300	1.0	2.0

(φ350～450)

単位 m

曲管角度	呼び径(φ)	土被りh=1.2m		土被りh=1.5m	
		水圧(Mpa)		水圧(Mpa)	
		0.75	1.3	0.75	1.3
45°を超え 90°以下	350	8.0	15.0	7.0	13.0
	400	9.0	17.0	8.0	15.0
	450	10.0	19.0	8.0	16.0
22.5°を超え 45°以下	350	3.0	7.0	3.0	7.0
	400	4.0	7.0	4.0	7.0
	450	4.0	9.0	4.0	9.0
22.5°以下	350	1.0	2.0	1.0	2.0
	400	1.0	2.0	1.0	2.0
	450	1.0	3.0	1.0	3.0

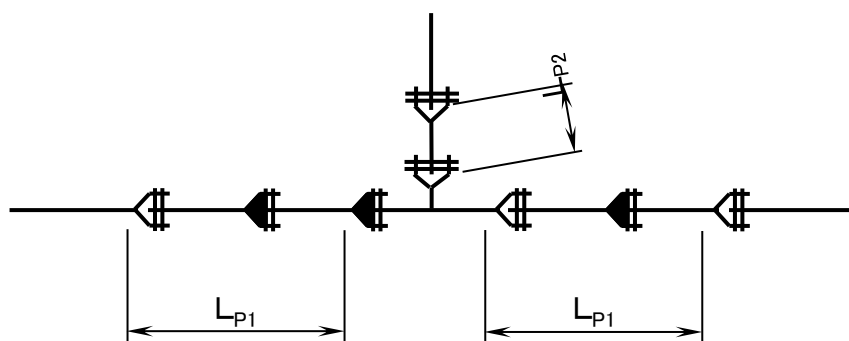
(φ500～1000)

単位 m

曲管角度	呼び径(φ)	土被りh=1.2m		土被りh=1.5m	
		水圧(Mpa)		水圧(Mpa)	
		0.75	1.3	0.75	1.3
90°	500	8.0	18.0	6.5	15.0
	600	9.5	21.0	8.0	17.5
	700	11.0	23.5	9.0	20.0
	800	12.0	—	10.5	22.5
	900	13.5	—	11.5	25.0
	1000	15.0	—	13.0	—
45°	500	2.5	8.5	2.0	7.5
	600	2.5	11.0	2.5	9.5
	700	3.0	12.0	3.0	10.5
	800	3.5	13.0	3.5	11.5
	900	4.0	14.0	3.5	12.0
	1000	4.0	18.5	4.0	17.0
22 1/2°	500	1.0	2.0	1.0	2.0
	600	1.5	2.5	1.5	2.5
	700	1.5	2.5	1.5	2.5
	800	2.0	3.0	2.0	3.0
	900	2.0	3.5	2.0	3.0
	1000	2.0	3.5	2.0	3.5
11 1/4°	500	1.0	1.0	1.0	1.0
	600	1.0	1.5	1.0	1.5
	700	1.0	1.5	1.0	1.5
	800	1.0	1.5	1.0	1.5
	900	1.0	2.0	1.0	2.0
	1000	1.0	2.0	1.0	2.0
5 5/8°	500	1.0	1.0	1.0	1.0
	600	1.0	1.0	1.0	1.0
	700	1.0	1.0	1.0	1.0
	800	1.0	1.0	1.0	1.0
	900	1.0	1.0	1.0	1.0
	1000	1.0	1.0	1.0	1.0

③ 水平T字管部

(1) NS形(φ75～1000)・SⅡ形(φ75～450)



備考:

枝管側を直管1本分とした場合の本管側の一体化長さを示す。本管側の計算値が発散した場合のみ必要最小の枝管側一体化長さに対する本管側一体化長さを示した。

(φ75～300)

単位 m

呼び径(φ)		土被りh=0.6m以上			
		水圧(Mpa)			
		0.75		1.3	
本管	枝管	Lp1	Lp2	Lp1	Lp2
75～300	75	1.0	1.0	1.0	1.0
	100	1.0	1.0	1.0	1.0
	150	1.0	1.0	1.0	6.0
	200	1.0	1.0	1.0	6.0
	250	1.0	2.0	1.0	7.0
	300	1.0	7.0	1.0	13.0

割丁字管にも適用する

※割丁字管の場合Lp1の起点は分岐部中心とする。

(φ350～450)

単位 m

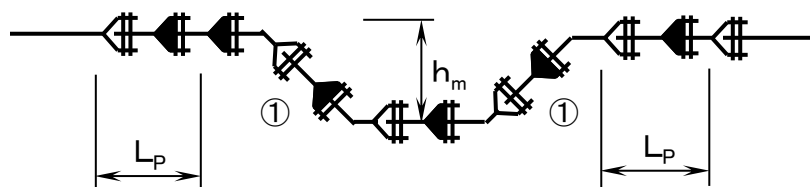
呼び径(φ)		土被りh=1.2m				土被りh=1.5m			
		水圧(MPa)				水圧(MPa)			
		0.75		1.3		0.75		1.3	
本管	枝管	Lp1	Lp2	Lp1	Lp2	Lp1	Lp2	Lp1	Lp2
350	350	1.0	7.0	1.0	14.0	1.0	7.0	1.0	13.0
400	300	1.0	6.0	1.0	12.0	1.0	5.0	1.0	10.0
	400	1.0	7.0	1.0	16.0	1.0	7.0	1.0	15.0
450	300	1.0	5.0	1.0	12.0	1.0	4.0	1.0	10.0
	450	1.0	8.0	1.0	18.0	1.0	8.0	1.0	17.0
500	350	1.0	6.0	1.5	6.0	1.0	6.0	1.5	6.0
	400	1.0	6.0	2.5	6.0	1.0	6.0	2.0	6.0
	450	1.5	6.0	3.0	6.0	1.0	6.0	3.0	6.0
	500	1.5	6.0	3.0	9.5	1.5	6.0	3.0	8.0
600	400	1.0	6.0	2.0	6.0	1.0	6.0	2.0	6.0
	450	1.0	6.0	2.5	6.0	1.0	6.0	2.5	6.0
	500	1.5	6.0	3.0	6.0	1.5	6.0	3.0	6.0
	600	2.0	6.0	3.5	11.5	2.0	6.0	3.5	10.0
700	450	1.0	6.0	2.0	6.0	1.0	6.0	2.0	6.0
	500	1.5	6.0	2.5	6.0	1.0	6.0	2.5	6.0
	600	2.0	6.0	4.0	6.0	1.5	6.0	4.0	6.0
	700	2.5	6.0	4.0	13.5	2.5	6.0	4.5	13.5
800	500	1.0	6.0	2.5	6.0	1.0	6.0	2.5	6.0
	600	1.5	6.0	3.5	6.0	1.5	6.0	3.5	6.0
	700	2.5	6.0	5.0	8.0	2.0	6.0	5.0	7.0
	800	3.0	6.0	5.0	15.0	3.0	6.0	5.0	13.0

(φ500～1000)

単位 m

呼び径(φ)		土被りh=1.2m				土被りh=1.5m			
		水圧(MPa)				水圧(MPa)			
		0.75		1.3		0.75		1.3	
本管	枝管	Lp1	Lp2	Lp1	Lp2	Lp1	Lp2	Lp1	Lp2
900	600	1.5	6.0	3.0	6.0	1.5	6.0	3.0	6.0
	700	2.0	6.0	4.5	6.0	2.0	6.0	4.0	6.0
	800	3.0	6.0	5.5	9.5	2.5	6.0	5.5	8.0
	900	3.5	6.0	5.5	16.5	3.5	6.0	5.5	14.0
1000	600	1.5	6.0	2.5	6.0	1.0	6.0	2.5	6.0
	800	2.5	6.0	5.5	7.0	2.5	6.0	5.0	6.0
	1000	4.0	6.0	5.5	20.0	4.0	6.0	5.5	17.5

④ 伏せ越し部



備考:

左右の土被りとモーメントアームが等しい場合を示す。表中の直結とは、45°曲管で曲管間の切管①がない場合を示す。また、水平切り回し部の一体化長さも全く同一となる。

(1) NS形(φ75～1000)・SⅡ形(φ75～450)

(φ75～300)

単位 m

曲管角度	呼び径(φ)	土被りh=0.6m以上	
		水圧(Mpa)	
		0.75	1.3
45°を超え 90°以下	75	1.0	4.0
	100	1.0	5.0
	150	4.0	6.0
	200	4.0	8.0
	250	6.0	11.0
	300	7.0	16.0
22.5°を超え 45°以下	75	1.0	1.0
	100	1.0	1.0
	150	1.0	1.0
	200	1.0	1.0
	250	1.0	2.0
	300	1.0	7.0
22.5°以下	75	1.0	1.0
	100	1.0	1.0
	150	1.0	1.0
	200	1.0	1.0
	250	1.0	1.0
	300	1.0	2.0

(φ 350～450)

単位 m

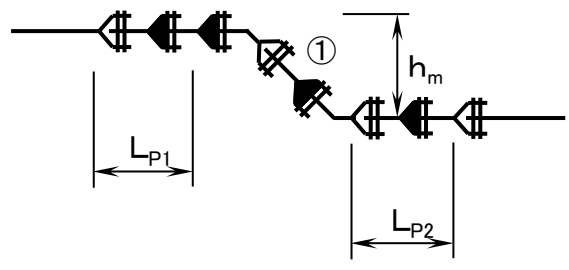
曲管角度	呼び径(φ)	土被りh=1.2m		土被りh=1.5m	
		水圧(Mpa)		水圧(Mpa)	
		0.75	1.3	0.75	1.3
45°を超え 90°以下	350	8.0	15.0	7.0	13.0
	400	9.0	17.0	8.0	15.0
	450	10.0	19.0	8.0	16.0
22.5°を超え 45°以下	350	3.0	7.0	3.0	7.0
	400	4.0	7.0	4.0	7.0
	450	4.0	9.0	4.0	9.0
22.5°以下	350	1.0	2.0	1.0	2.0
	400	1.0	2.0	1.0	2.0
	450	1.0	3.0	1.0	3.0

(φ 500～1000)

単位 m

モーメント アーム hm	呼び径(φ)	土被りh=1.2m		土被りh=1.5m	
		水圧(Mpa)		水圧(Mpa)	
		0.75	1.3	0.75	1.3
直結(45°)	500	1.0	2.5	1.0	2.5
	600	1.0	4.0	1.0	3.5
	700	1.0	5.5	1.0	5.0
	800	1.0	5.5	1.0	5.0
	900	1.0	9.0	1.0	8.0
	1000	1.0	14.5	1.0	12.5
2m	500	8.0	18.5	7.0	15.5
	600	9.0	21.0	7.5	17.5
	700	9.0	22.5	7.5	19.0
	800	9.0	23.5	7.5	20.0
	900	8.5	24.5	7.0	21.0
	1000	10.0	—	8.5	24.0
3m	500	10.0	20.5	8.5	17.0
	600	11.5	23.5	9.5	19.5
	700	12.0	—	10.5	21.5
	800	12.5	—	11.0	23.5
	900	13.0	—	11.0	24.5
	1000	14.5	—	12.5	—

⑤ 垂直Sベンド部



備考：
土被りはL_{p1}側を示す。なお、表中の直結とは、45°曲管で曲管間の切管①がない場合を示す。また、水平Sベンド部は左右ともL_{p1}を確保すればよい。

(1) NS形(φ75～1000)・SⅡ形(φ75～450)
(φ75～300) 単位 m

曲管角度	呼び径(φ)	土被りh=0.6m以上	
		水圧(Mpa)	
		0.75	1.3
45°を超え 90°以下	75	1.0	4.0
	100	1.0	5.0
	150	4.0	6.0
	200	4.0	8.0
	250	6.0	11.0
	300	7.0	16.0
22.5°を超え 45°以下	75	1.0	1.0
	100	1.0	1.0
	150	1.0	1.0
	200	1.0	1.0
	250	1.0	2.0
	300	1.0	7.0
22.5°以下	75	1.0	1.0
	100	1.0	1.0
	150	1.0	1.0
	200	1.0	1.0
	250	1.0	1.0
	300	1.0	2.0

(φ350～450) 単位 m

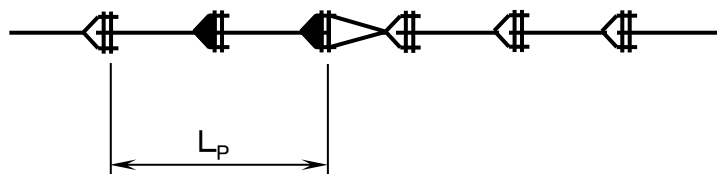
曲管角度	呼び径(φ)	土被りh=1.2m		土被りh=1.5m	
		水圧(Mpa)		水圧(Mpa)	
		0.75	1.3	0.75	1.3
45°を超え 90°以下	350	8.0	15.0	7.0	13.0
	400	9.0	17.0	8.0	15.0
	450	10.0	19.0	8.0	16.0
22.5°を超え 45°以下	350	3.0	7.0	3.0	7.0
	400	4.0	7.0	4.0	7.0
	450	4.0	9.0	4.0	9.0
22.5°以下	350	1.0	2.0	1.0	2.0
	400	1.0	2.0	1.0	2.0
	450	1.0	3.0	1.0	3.0

(φ 500～1000)

単位 m

モーメント アーム hm	呼び径(φ)	土被りh=1.2m				土被りh=1.5m			
		水圧(Mpa)				水圧(Mpa)			
		0.75		1.3		0.75		1.3	
		Lp1	Lp2	Lp1	Lp2	Lp1	Lp2	Lp1	Lp2
直結(45°)	500	2.5	2.0	3.0	2.5	2.0	2.0	3.0	2.5
	600	2.5	2.0	4.5	3.5	2.0	2.0	3.5	3.5
	700	3.0	2.5	5.5	4.5	2.5	2.5	5.0	4.5
	800	3.0	2.5	5.5	4.5	2.5	2.5	5.0	4.5
	900	3.5	3.0	9.5	8.0	3.0	3.0	8.0	7.5
	1000	3.5	3.0	14.5	12.5	3.5	3.0	12.5	11.5
2m	500	8.0	6.0	18.5	13.5	7.0	6.0	15.5	13.0
	600	9.0	6.5	21.0	15.0	7.5	6.5	17.5	14.0
	700	9.0	6.5	22.5	16.0	7.5	6.0	19.0	14.5
	800	9.0	6.0	23.5	16.5	7.5	6.0	20.0	15.5
	900	8.5	6.0	24.5	17.0	7.0	5.5	21.0	16.0
	1000	10.0	7.0	27.5	19.0	8.5	6.5	24.0	18.5
3m	500	10.0	6.5	20.5	13.0	8.5	6.5	17.0	12.5
	600	11.5	7.5	23.5	15.0	9.5	7.0	19.5	14.0
	700	12.0	7.5	25.5	16.0	10.5	7.0	21.5	15.5
	800	12.5	8.0	27.5	17.0	11.0	7.5	23.5	16.5
	900	13.0	8.0	—	—	11.0	7.5	24.5	17.0
	1000	14.5	8.5	—	—	12.5	8.5	27.5	19.0

⑥ 片落管部



備考：
一体化長さは呼び径に応じて決定されるため、接合形式にはよらない。

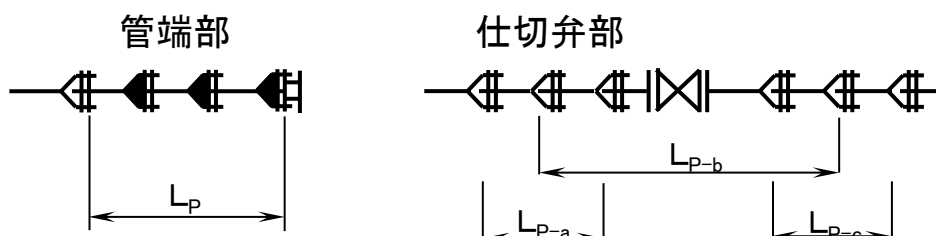
単位 m

呼び径(φ)		土被りh=0.6m		土被りh=0.8m		土被りh=1.0m		土被りh=1.2m		土被りh=1.5m	
		水圧(MPa)		水圧(MPa)		水圧(MPa)		水圧(MPa)		水圧(MPa)	
大管	小管	0.75	1.3	0.75	1.3	0.75	1.3	0.75	1.3	0.75	1.3
100	75	3.5	6.0	3.0	4.5	2.5	4.0	2.0	3.5	1.5	2.5
150	100	6.5	11.0	5.0	8.5	4.0	7.0	3.5	6.0	3.0	5.0
200	100	11.0	19.0	8.5	15.0	7.0	12.0	6.0	10.5	5.0	8.5
	150	6.5	11.0	5.0	8.5	4.0	7.0	3.5	6.0	3.0	5.0
250	100	15.0	25.5	11.5	20.0	9.5	16.5	8.5	14.0	7.0	11.5
	150	11.5	19.5	9.0	15.5	7.5	12.5	6.5	11.0	5.0	9.0
	200	6.5	11.0	5.0	8.5	4.5	7.0	3.5	6.0	3.0	5.0
300	100	18.0	31.5	14.5	25.0	12.0	20.5	10.5	17.5	8.5	14.5
	150	15.5	26.5	12.0	21.0	10.0	17.5	8.5	15.0	7.0	12.0
	200	11.5	19.5	9.0	15.5	7.5	13.0	6.5	11.0	5.5	9.0
	250	6.5	10.5	5.0	8.5	4.0	7.0	3.5	6.0	3.0	5.0
350	150	—	—	—	—	—	—	10.5	18.5	9.0	15.0
	200	—	—	—	—	—	—	9.0	15.0	7.5	12.5
	250	—	—	—	—	—	—	6.5	11.0	5.5	9.0
	300	—	—	—	—	—	—	3.5	6.0	3.0	5.0
400	150	—	—	—	—	—	—	12.5	21.5	10.5	18.0
	200	—	—	—	—	—	—	11.0	19.0	9.0	15.5
	250	—	—	—	—	—	—	9.0	15.5	7.5	12.5
	300	—	—	—	—	—	—	6.5	11.0	5.5	9.0
	350	—	—	—	—	—	—	3.5	6.0	3.0	5.0
450	200	—	—	—	—	—	—	13.0	22.5	11.0	18.5
	250	—	—	—	—	—	—	11.0	19.0	9.5	16.0
	300	—	—	—	—	—	—	9.0	15.5	7.5	13.0
	350	—	—	—	—	—	—	6.5	11.0	5.5	9.0
	400	—	—	—	—	—	—	3.5	6.0	3.0	5.0
500	250	—	—	—	—	—	—	13.0	22.5	11.0	19.0
	300	—	—	—	—	—	—	11.5	19.5	9.5	16.0
	350	—	—	—	—	—	—	9.0	15.5	7.5	13.0
	400	—	—	—	—	—	—	6.5	11.0	5.5	9.0
	450	—	—	—	—	—	—	3.5	6.0	3.0	5.0
600	300	—	—	—	—	—	—	15.5	26.5	13.0	22.0
	350	—	—	—	—	—	—	13.5	23.0	11.5	19.5
	400	—	—	—	—	—	—	11.5	19.5	9.5	16.5
	450	—	—	—	—	—	—	9.0	15.5	7.5	13.0
	500	—	—	—	—	—	—	6.5	11.0	5.5	9.0

単位 m

呼び径(φ)		土被りh=0.6m		土被りh=0.8m		土被りh=1.0m		土被りh=1.2m		土被りh=1.5m	
		水圧(MPa)		水圧(MPa)		水圧(MPa)		水圧(MPa)		水圧(MPa)	
大管	小管	0.75	1.3	0.75	1.3	0.75	1.3	0.75	1.3	0.75	1.3
700	400	—	—	—	—	—	—	15.5	26.5	13.0	22.5
	450	—	—	—	—	—	—	13.5	23.0	11.5	19.5
	500	—	—	—	—	—	—	11.0	19.5	9.5	16.0
	600	—	—	—	—	—	—	6.0	10.5	5.0	9.0
800	450	—	—	—	—	—	—	17.5	30.0	14.5	25.0
	500	—	—	—	—	—	—	15.5	26.5	13.0	22.5
	600	—	—	—	—	—	—	11.0	19.0	9.5	16.0
	700	—	—	—	—	—	—	6.0	10.5	5.0	9.0
900	500	—	—	—	—	—	—	19.0	33.0	16.0	28.0
	600	—	—	—	—	—	—	15.5	26.5	13.0	22.5
	700	—	—	—	—	—	—	11.0	19.0	9.5	16.0
	800	—	—	—	—	—	—	6.0	10.0	5.0	8.5
1000	600	—	—	—	—	—	—	19.0	32.5	16.5	28.0
	700	—	—	—	—	—	—	15.0	26.0	13.0	22.5
	800	—	—	—	—	—	—	10.5	18.5	9.5	16.0
	900	—	—	—	—	—	—	6.0	10.0	5.0	8.5

⑦ 管端部および仕切弁部



単位 m

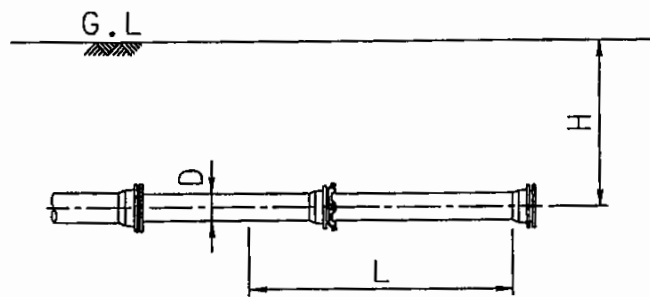
呼び径 (φ)	土被りh=0.6m		土被りh=0.8m		土被りh=1.0m		土被りh=1.2m		土被りh=1.5m		備 考
	水圧(MPa)		水圧(MPa)		水圧(MPa)		水圧(MPa)		水圧(MPa)		・一体化長さは呼び径に応じて決定されるため接合形式にはよらない。
	0.75	1.3	0.75	1.3	0.75	1.3	0.75	1.3	0.75	1.3	
75	7.5	12.5	5.5	9.5	4.5	8.0	4.0	6.5	3.0	5.5	・仕切弁部の一体化長さを確保する位置はLp-a、Lp-b、Lp-cいずれの場所でもよいが、Lp-bの場合は弁筐等による土圧低減が予想されるためLp-a、Lp-cが望ましい。なおLp-bとする場合、Lpに短管1号、仕切弁、短管2号の長さは含めない。
100	9.0	15.5	7.0	12.0	5.5	9.5	5.0	8.0	4.0	6.5	
150	12.5	21.0	9.5	16.5	8.0	13.5	6.5	11.5	5.5	9.5	
200	15.5	26.5	12.0	20.5	10.0	17.0	8.5	14.5	7.0	12.0	
250	18.5	31.5	14.5	25.0	12.0	20.5	10.0	17.5	8.5	14.5	
300	21.0	36.0	16.5	28.5	14.0	24.0	12.0	20.5	9.5	16.5	
350	—	—	—	—	—	—	13.5	23.0	11.0	19.0	
400	—	—	—	—	—	—	15.0	25.5	12.5	21.5	
450	—	—	—	—	—	—	16.5	28.5	13.5	23.5	
500	—	—	—	—	—	—	18.0	31.0	15.0	25.5	
600	—	—	—	—	—	—	20.5	35.5	17.0	29.5	・近く連絡工事等でこの制水弁を閉める事が決定している場合、Lp-a、Lp-c両方で一体化長さを確保しておく事が望ましい。
700	—	—	—	—	—	—	23.0	40.0	19.5	33.5	
800	—	—	—	—	—	—	25.5	44.0	21.5	37.0	
900	—	—	—	—	—	—	27.5	48.0	23.5	40.5	
1000	—	—	—	—	—	—	30.0	—	25.5	44.5	

第G－3章 A・K・T形管の特殊押輪による離脱防止延長

ここでは、既設(A・K・T形管)へ連絡する場合の拘束延長を早見表にしたものである。
 計算は、下記条件ですべて埋設された状態の管端部における拘束延長となっている。
 一体化された管路に働く摩擦力で離脱を防止する考え方であるため、連絡工等で
 露出する場合は、その延長も考慮して離脱防止延長を判断すること。

計算条件

設計水圧 $P : 0.75、1.30\text{MPa}$
 土の単位質量 $\gamma : 1600\text{kg/m}^3$
 管と土との摩擦係数 $\mu : 0.3$
 安全率 1.25
 摩擦力のみ作用するものとし、
 栓の背面受動土圧は見込まない。



単位:m

口径	土被り				
	0.9	1.0	1.2	1.5	1.8
75	4.9(8.5)	4.5(7.7)	3.8(6.5)	3.0(5.2)	2.6(4.4)
100	6.2(10.7)	5.6(9.7)	4.7(8.1)	3.8(6.6)	3.2(5.5)
150	8.6(14.9)	7.8(13.5)	6.6(11.4)	5.4(9.3)	4.5(7.8)
200			8.4(14.5)	6.8(11.8)	5.8(10.0)
250			10.2(17.6)	8.3(14.4)	7.0(12.2)

口径	土被り				
	1.3	1.4	1.5	1.8	2.0
300	11.0(19.1)	10.3(17.9)	9.7(16.8)	8.2(14.2)	7.5(12.9)
350	12.6(21.8)	11.8(20.4)	11.1(19.2)	9.4(16.3)	8.6(14.8)
400			12.4(21.5)	10.6(18.3)	9.6(16.6)

※()内は1.30MPaの値

第 2 章

鈴鹿市水道工事施工管理基準書

2026（令和 8）年 7 月
鈴 鹿 市 上 下 水 道 局

***** 1. 検 査 *****

(1) 段階確認

段階確認は、下表に示すものについて行う。

段階確認一覧

種別	細別	確認時期	確認項目	確認の程度
土工		掘削完了時	掘削断面寸法	1 回/1 工事
管布設工	材料検収		使用材料	1 回/1 工事以上
	管布設状況	管接合完了時	基準高※ 土被り オフセット	1 回/1 工事
	管接合状況	管接合完了時	第 9 章水道管接 合部施工管理基 準による	第 9 章水道管接 合部施工管理基 準による
	通水前確認	機材設置完了時	水圧試験	全数
不断水工	通水前確認	機材設置完了時	水圧試験	全数

※基準高は、設定されているものに限る。

※重点監督の場合は、この表によらない。

(2) 水圧試験について

A. 導・送・配水管における水圧試験

1. 鋳鉄管のみの場合

充水完了から 12 時間以上経過後 0.75MPa まで加圧し、1 時間後に水圧が低下していなければ合格とする。

水圧が低下した場合は、その原因を解明し対処したうえで再び水圧試験を行う。

原則として、1 回当たりの最大試験延長は 500m とする。

2. HPPE のみの場合

充水完了から 12 時間以上経過後、配水用ポリエチレンパイプシステム協会（POLITEC）が定める施工マニュアルに従い、試験を行う。

漏水ありと判定された場合は、その原因を解明し対処したうえで再び水圧試験を行う。

1 回当たりの最大試験延長は 500m とする。

3. 鋳鉄管と HPPE が混在する場合

この 2 種類は分けて試験を実施する。ただし、弁、栓等で区切ることができない等のやむを得ない事情により同時に試験を行う場合は、原則として HPPE の試験方法を採用する。なお、ドレン管は本管とみなさない。

B. 割丁字管及び不断水制水弁施工時の水圧試験

0.98 MPa で 3 分間保持し、0.98 MPa を下回らなければ合格とする。

これを下回った場合は、漏水箇所を補修し、再び水圧試験を行うこと。

なお、水圧試験確認時には監督員立会いのもと、水圧ゲージの写真を撮影すること。

***** 2. 書 類 *****

三重県公共工事共通仕様書に記載されている書類のほか、以下のものを提出すること。

(1) 使用材料一覧表

受注者は、使用材料一覧表に品質を証明する書類を添付し監督員に提出しなければならない。

なお、当局が承認している水道工事用資材は、品質を証明する書類の添付を省略できる。

(2) 管割図

受注者は管割図を作成し、施工計画書に含めて提出すること。

(3) 連絡工事計画書

受注者はφ75mm以上の断水を伴う連絡（分岐）工事について工事毎に提出すること。

監督員は実施までに課内決裁を受けること。

(4) 工事完成図書

受注者は、三重県公共工事共通仕様書に記載されるものの他、以下のものを提出する。

- ・配管詳細台帳（オフセット図）
- ・給水台帳

なお作成については、第 6 章、第 7 章の規定に従うこと。

(5) 量水器取付確認表

布設替え時の量水器の逆付けを防止するため、量水器取付確認表を利用しチェックすること。

(別紙)

量水器取付確認表

(逆付防止チェックリスト)

令和 年 月 日

工事名 _____

工事場所 _____

取付者名 _____

住 所	氏 名	水 栓 番 号	メーター番号	逆 付 防 止 確 認	確 認 日
				☐	
				☐	
				☐	
				☐	
				☐	
				☐	
				☐	
				☐	
				☐	
				☐	
				☐	
				☐	
				☐	
				☐	
				☐	

***** 3. 現 場 *****

(1) 弁筐及び鉄蓋のセット方法

- a. 舗装復旧時等の筐調整を容易に行えるよう、鉄蓋と A ブロックの間に 5 c m の嵩上げ用調整リングを 1 枚以上据え付けること。
- b. 路面と鉄蓋との高さの整合は、基本的に嵩上げ用調整リング（消火栓・空気弁用は、10mm、50mm、ソフトシール仕切弁は、10mm、30mm、50mm）及び傾斜嵩上げ用調整リング（3%、5%）を使用すること。
調整リングで調整しきれない場合は、無収縮モルタルを使用し調整すること。
- c. 鉄蓋と弁筐とはボルトによって固定すること。
- d. 基本的にシール材は施工しない。ただし、国道等交通量の多い路線で弁筐のずれが考えられる場合は、監督員と協議の上、シール材の施工について検討するものとする。

(2) 舗装復旧の影響範囲について

道路管理者等の占用条件に準じて舗装復旧を行うこと。
影響は原則として切ること。

(3) 連絡工事について

連絡工事は、仮復旧の施工完了をもって完了とする。
通水作業は、一体化長さを考慮して影響のないものは砂基礎の直上一層目の転圧完了後から開始してもよい。

(4) 保護砂について

すべての水道管において、管天から 30 c m、管底から 10 c m までをふるい砂に入れ替える。

(5) 空気弁・消火栓の深さ調整方法について

- a. 本管土被りが第 3 章に記載されているもの以外の場合においては、フランジ短管で調整し、空気弁、消火栓を所定の深さに設置すること。
- b. フランジ短管の長さは監督員の承諾を得ること。
- c. 底板は補修弁より下に設置すること。
- d. 弁室天端と空気弁、消火栓天端との間隔は、第 3 章 鈴鹿市水道工事設計標準図集に記載されている消火栓設計寸法一覧表及び空気弁設計寸法一覧表を参照すること。

(6) 泥吐管を L 型側溝用集水桝へ取り付ける場合の注意点について

- a. 泥吐管を L 型側溝用集水桝等の小型集水桝へ取り付ける場合は、エルボを壁面に近接させるなど、泥吐き作業や採水等の維持管理性を考慮すること。
- b. 側溝等の小断面水路の場合も同様とする。

(7) 埋戻工について

埋戻工は三重県公共工事共通仕様書の作業土工の埋戻しによるほか、以下に準じること。

- a. 保護砂の投入は配管した水道管をずらすことなく、管下回りへの充填、転圧が入念に行えるよう、バックホウ投入もしくは人力投入にて適切に行うこと。
- b. 水道管の周囲は空隙が生じないように入念に突き固めること。
- c. 埋戻の層厚については、水道管を埋設する個所の管理者が定める復旧基準に従い施工すること。

例) 市道	路床 (路盤下 1m まで)	1 層 20cm
	路体 (路盤下 1m 以深)	1 層 30cm

(8) メーターボックスの適正使用について

現在駐車場並びに将来駐車場になる造成地には「積載禁止」表示のあるメーターボックスを使用しないこと。またメーターボックスに車両荷重がかかる箇所には、材質及び構造を十分検討して選定すること。

(15) 内面エポキシ樹脂粉体塗装のダクタイル鋳鉄管の切管等について

切管時にはダイヤモンドブレード、穿孔時には粉体管用ドリルを使用すること。
また、切管端面 (溝・挿し口端面) は切管鉄部用塗料を塗布すること。

(16) 水道管の接合部管理について

「第 9 章 水道管接合部施工管理基準」により管理を行うこと。

(17) 消火栓の口金の確認について

監督員は、工事完成後に消火栓の口金にスタンドパイプを脱着し、接続不良がないか確認すること。

(18) サドル分水栓等の穿孔作業について

穿孔作業により生じる切断片を排水により管外へ排出させるため、管内に水がない状態で穿孔すること (空もみ) は許可しない。

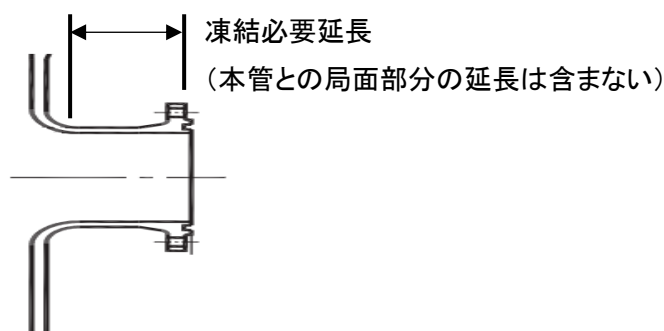
(19) 凍結工法について (H21)

枝管部分の直線において、凍結必要延長が確保できるなら凍結を行ってもよい。

凍結必要延長は、下表とする。

(mm)					
呼び径	50	75	100	150	200
凍結必要延長	120	180	200	200	200

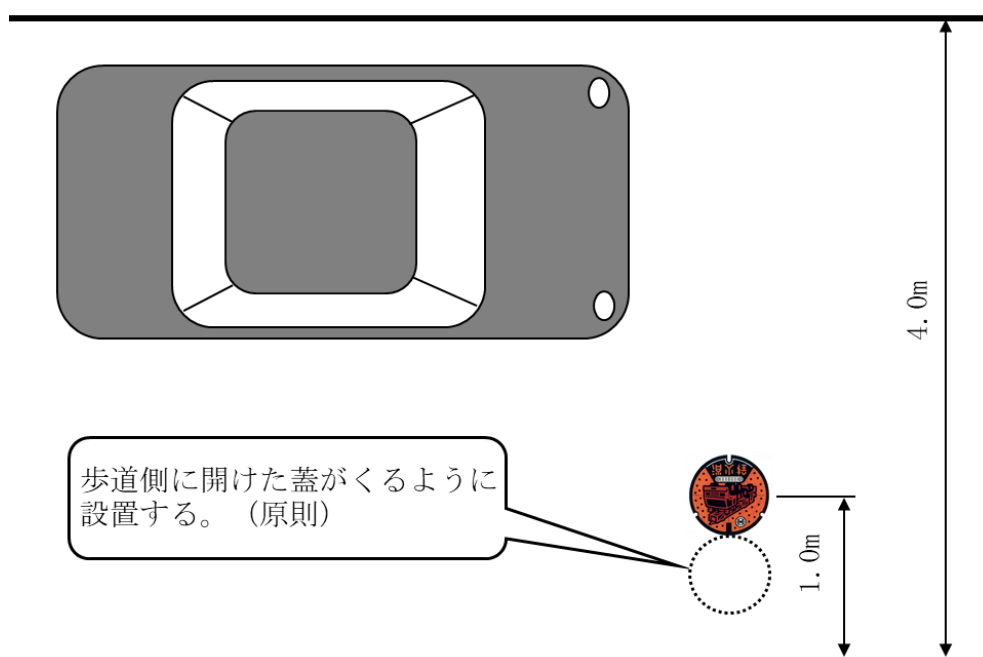
「名古屋市上下水道局 配水管ハンドブック 平成 18 年 4 月」より引用



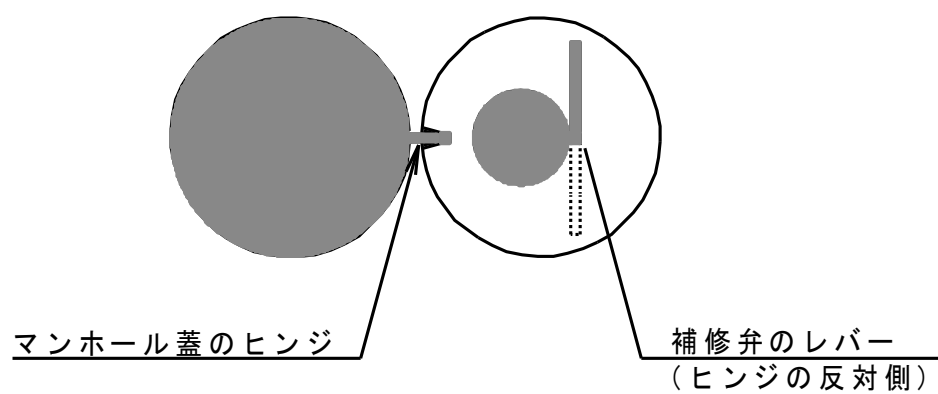
- a. T 型フランジ丁字管への凍結工法適用は不可とする。

(20) 丸形消火栓、空気弁蓋設置時の開閉方向と補修弁レバーの位置について (H20)

- a. 蓋は歩道側もしくは路肩方向に開くよう設置すること。ただし、障害物により開くことが困難となる場合や車両から危険になる場合は、監督員の判断で適切な方向に変更してもよい。



- b. 補修弁レバーの位置は、蓋のヒンジの反対側になるように設置すること。



******* 4. 出来形管理基準 *******

表-1 に規定するものを除き、「三重県公共工事共通仕様書及び同鈴鹿市の取扱い要領」による。

表-1 開削配管工事に関する出来形管理

工種	種別	測定項目	規格値	測定基準	摘要
土工	掘削	深さ	－50	40m毎	
		幅	－50	40m毎	
	埋戻	厚さ	－30	40m毎 1 層毎	
	砂基礎	厚さ	－30	40m毎	
管 布 設 工	管布設	基準高	±30	20m毎 伏越し、連絡等の変化 点	縦断図ありの場合
		土被り	±50	20m毎 伏越し、連絡等の変化 点	縦断図なしの場合
		オフセット	±100	20m毎 伏越し、連絡等の変化 点	
		延長 L < 20m	－50	可視構造物(制水弁筐 等) 間の延長	
		延長 L ≥ 20m	－100	可視構造物(制水弁筐 等) 間の延長	
	継 手 接 合	第 9 章 水道管接合部施工管理基準（継手チェックシート）による			
制 水 弁 等 設置工	消火栓 空気弁	C 寸法(路面～F 付丁字管天端)	±30	全箇所	既設管への不断水工法 による取付けの場合は 除く。
	制水弁	A 寸法(路面～ス ピンドル)	±30	全箇所	
		C 寸法(スピン ドル～筐積底板天 端)	±30	全箇所	
	筐、室	筐、室の高さ	－30	全箇所	舗装面と鉄蓋の段差が ±6mm以上の場合は手 直し
仮復旧	表層	幅	－50	80m毎	
		厚さ(下がり)	－9	80m毎	

※規格値単位：mm

******* 5. 品質管理基準 *******

表-2 に規定するものを除き、「三重県公共工事共通仕様書及び同鈴鹿市の取扱い要領」による。

表-2 開削配管工事に関する品質管理

工種	種別	測定項目	規格値	測定基準	摘要
管 布設工	鋳鉄管 (内面エポキシ樹脂粉体 塗装)	ピンホール	火花が出るような ピンホールがない こと	JWWA G 112 の規定による。	他現場からの流用 品のみ対象。
		塗膜厚さ	0.3mm以上		
管 布設工	埋戻 (路盤部)	現場密度	上記要領に準じ る。	上記要領に準じ る。	100m ² /工事未満 の場合、省略可。

******* 6. 写真管理基準 *******

表-3.1～3.3 に規定するものを除き、「三重県公共工事共通仕様書及び同鈴鹿市の取扱い要領」による。

表-3.1 開削配管工事に関する写真管理（共通）

区分	種別	撮影項目	撮影頻度【時期】	摘要
着手前・ 完成	着手前	全景（40m毎）	着手前 1 回【着手前】	
	完成	全景（40m毎）	施工完成後 1 回【完成時】	
安全 管理 写真	安全管理	各種標識類の設置状況	各種類毎に 1 回【設置後】	
		各種保安設備の設置状況	各種類毎に 1 回【設置後】	
		交通整理員の設置状況	各 1 回【作業中】	
		安全訓練等の実施状況	実施毎に 1 回【実施中】	
材料 検収 写真	使用材料	形状寸法	各品目に 1 回【使用前】	
		検査実施状況	各品目に 1 回【検査時】	

表-3.2 開削配管工事に関する写真管理（本線及び 20mを超える支線（分岐工・連絡工等））

区分	種別	撮影項目	撮影頻度【時期】	摘要
出来形 管理 写真	舗装切断	切断状況	1～2 回【施工中】	
	舗装取壊し	厚さ	80mに 1 回【施工中】 幅が変わる毎に 1 回【施工中】	
	掘削	深さ・幅	80mに 1 回【掘削後】	
	埋戻	巻出し厚、下がり	80mに 1 回、各層【巻出し後】	
		仕上り厚、下がり	80mに 1 回、各層【転圧後】	

		締固め状況	転圧機種毎に 1 回【施工中】	
	残土	残土処分状況	1 回以上【処分中】	
	管布設工	管割付	20mに 1 回、又は 1 掘削単位【布設後】	路線毎の測点、又は管番号が繋がるよう撮影すること。
		土被り・オフセット	20m毎 伏越し、連絡等の変化点【布設後】	伏越し等は他物件との離隔がわかるよう撮影すること。
区分	種別	撮影項目	撮影頻度【時期】	摘要
出来形 管理 写真	管切断	切管長さ	切管 1 本毎【切断後】	
	継手接合	接合状況	口径及び継手形式毎に 1 工事 1 回以上【施工中】	接合開始から完了までの作業手順を撮影すること。
		接合完了	第 9 章に定める「重要接合部」に該当する全ての箇所 【施工後】	近景、遠景を撮影する。 近景はボルトへのマキング、遠景は測点又は管番号が確認できるように撮影すること。（詳細は第 9 章を参照のこと）
			融着接合を行った全ての箇所（1 箇所につき 1 枚） 【施工後】	固定器具を取り外した後、測点又は管番号、冷却時間、インバーターの隆起が確認できるよう撮影すること。
	仮設配管	設置状況	40mに 1 回【設置後】	全景がわかるよう撮影すること。
	土留工	形状寸法	各品目に 1 回【使用前】	（指定仮設の場合）
		設置状況	土留めの種類毎の代表箇所 【設置後】	管布設工と同時撮影でよい。
	仮復旧	幅・厚さ（下がり）	80mに 1 回【舗設前】	

（注）撮影対象となる継手形式における接合開始から完了までは以下を標準とする。

EF 接合：スクレープ→融着面の清掃→ケーブルのセット→融着中→固定の解除

鋳鉄管（プッシュオン又はボルト接合）：

1. チェックシートにある作業・測定項目の確認状況
2. 挿し口挿入状況（接合器具を使用し挿入している状況）

表-3.3 開削配管工事に関する写真管理（20m以内の支線（分岐工・連絡工等））

区分	種別	撮影項目	撮影頻度【時期】	摘要
出来形 管 理 写 真	舗装取壊し	厚さ	2 箇所に 1 回【施工中】	
	掘削	深さ・幅	2 箇所に 1 回【掘削後】	
	埋戻	巻出し厚、下がり	4 箇所に 1 回【巻出し後】	
		仕上り厚、下がり	2 箇所に 1 回【転圧後】	
	管布設工	管割付	1 掘削単位【布設後】	表-3.2 に同じ。
		土被り・オフセット	伏越し、連絡等の変化点【布設後】	表-3.2 に同じ。
	管切断	切管長さ	切管 1 本毎【切断後】	
	継手接合	接合完了	表-3.2 に同じ。	表-3.2 に同じ。
			表-3.2 に同じ。	表-3.2 に同じ。
	仮設配管	設置状況	1 回【設置後】	表-3.2 に同じ。
	土留工	形状寸法	各品目に 1 回【使用前】	（指定仮設の場合）
		設置状況	土留めの種類毎の代表箇所【設置後】	表-3.2 に同じ。
	仮復旧	幅・厚さ（下がり）	2 箇所に 1 回【舗設前】	

注 1 給水管切替工について

- ①表-3.3 における「2 箇所に 1 回」を「4 箇所に 1 回」、「4 箇所に 1 回」を「8 箇所に 1 回」に読み替える。
- ②民地側の写真管理について、官民境界から民地側 50cm 以上で給水管を立ち上げた箇所の離れを撮影すること。

注 2 写真のとじ込み順序について

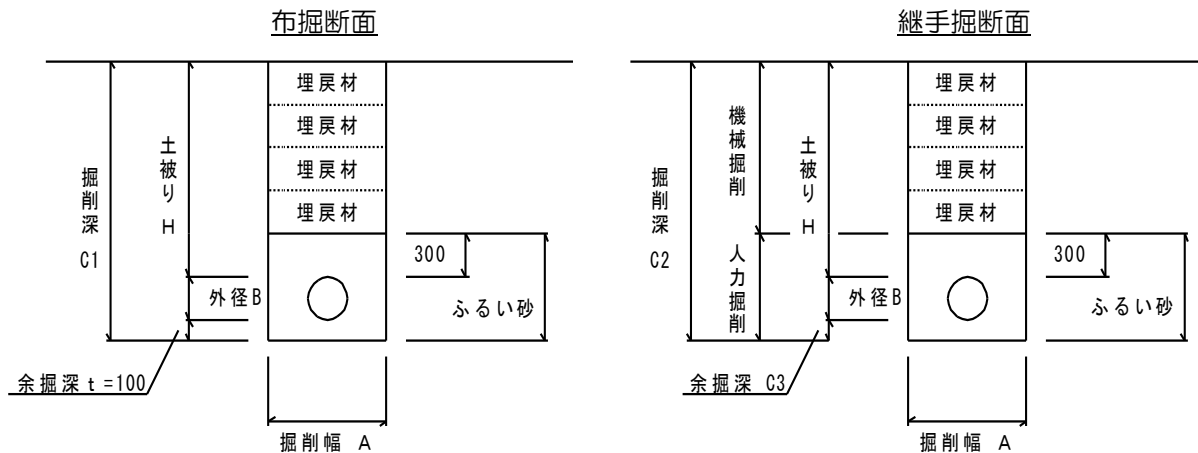
写真のとじ込み順序は、三重県公共工事共通仕様書のとおり分類し、工種毎に測点を合わせて整理すること。

第 3 章

鈴鹿市水道工事設計標準図集

2026（令和 8）年 7 月
鈴 鹿 市 上 下 水 道 局

***** 1. 土工標準図 *****



掘 削 断 面 寸 法 表

呼び径	標準	掘削幅		外径	布掘	継手掘		摘要
	土被り	A (mm)			掘削深	掘削深	余掘深	
	H (mm)	土留無	土留有	B (mm)	C1 (mm)	C2 (mm)	C3 (mm)	
50	700	600	900	60	860	860	100	B は設計 用数値 掘削深は 標準土被 りに対し て算出し た値
75	900	600	900	90	1090	1140	150	
100	900	600	900	120	1120	1170	150	
150	900	700	900	170	1170	1220	150	
200	1200	---	900	220	1520	1670	250	
250	1200	---	900	270	1570	1720	250	
300	1300	---	1000	320	1720	1870	250	
350	1300	---	1000	370	1770	1970	300	
400	1400	---	1050	430	1930	2130	300	
450	1400	---	1100	480	1980	2180	300	
500	1500	---	1200	530	2130	2430	400	
600	1500	---	1350	630	2230	2530	400	
700	1500	---	1550	730	2330	2630	400	
800	1500	---	1650	840	2440	2740	400	

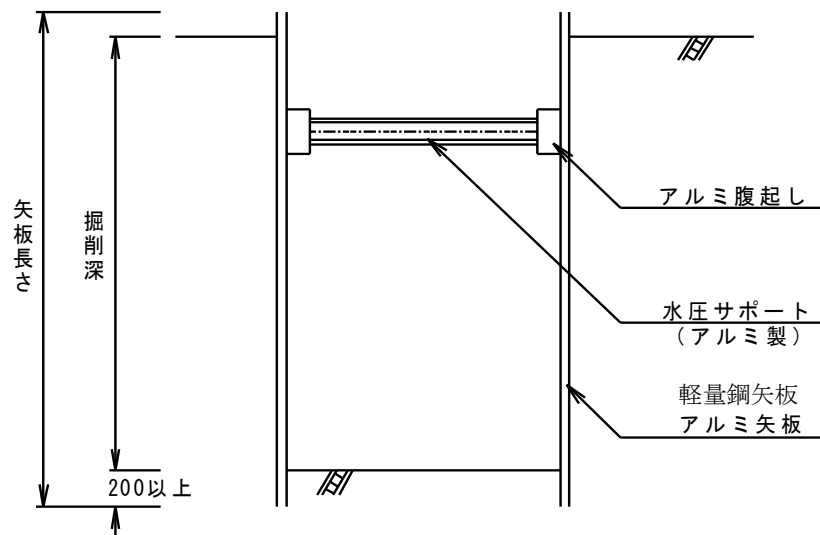
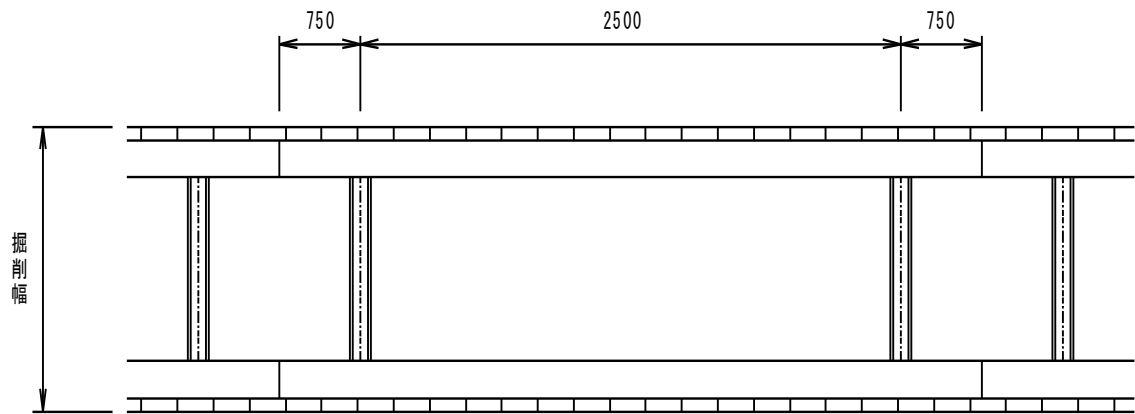
【土留工、掘削幅、土被りの考え方】

- (1) 布設土工において、掘削深 1.5m 超えかつ現場条件により土留めが必要な場合は、土留めの掘削幅 A の数値、そうでない場合は土留無の掘削幅 A の数値とする。
- (2) 当初設計で土留工を不要とした現場において施工時に土留工が必要となった場合、又はその逆となった場合、掘削幅を上記 (1) のとおりに変更して布設土工作業を行う。
- (3) 土被りは、他の埋設物等の状況など現場条件に応じて浅埋化を検討すること。なお、道路に埋設される管路の最低土被りは最下層路盤の底面+30cm と GL から 60cm の大なる方である（給水管含む）。また管路の土被りを設定する際は、既設構造物や同時期に施工する他占有者の施設等の位置及び深さを確認すること。

***** 2. 土留工標準工法図 *****

(参 考)

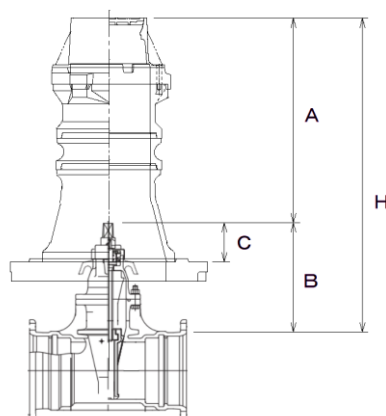
矢板幅 250 mm、または 333 mm



数 量 表

矢板長さ (m)	適用掘削深 (m)	支保工段数 (段)
1.50	1.30 以下	1
2.00	1.30 超え 1.80 以下	1
2.50	1.80 超え 2.00 以下	1
2.50	2.00 超え 2.30 以下	2
3.00	2.30 超え 2.80 以下	2
3.50	2.80 超え 3.30 以下	2
4.00	3.30 超え 3.50 以下	2
4.00	3.50 超え 3.80 以下	3

***** 3. ソフトシール弁設計寸法一覧表 *****



A. ソフトシール弁設計寸法一覧表 GX 形（受挿、両受）

呼び径	土被り	I			II			III			ブロック組合せ	筐積高
		A	B	C	A	B	C	A	B	C		
75	900	630	270	120	630	270	120	615	285	135	①⑩②③⑦⑬	750
75	1000	730	270	120	730	270	120	715	285	135	①⑩②⑤⑦⑬	850
75	1100	830	270	120	830	270	120	815	285	135	①⑩②⑥⑦⑬	950
75	1200	930	270	120	930	270	120	915	285	135	①⑩②③⑥⑦⑬	1050
100	900	595	305	105	595	305	105	595	305	105	①⑩⑩②⑦⑬	700
100	1000	695	305	105	695	305	105	695	305	105	①⑩②④⑦⑬	800
100	1100	795	305	105	795	305	105	795	305	105	①⑩②③④⑦⑬	900
100	1200	895	305	105	895	305	105	895	305	105	①⑩②④⑤⑦⑬	1000
150	900	545	355	105	545	355	105	533	367	117	①⑩②⑦⑬	650
150	1000	645	355	105	645	355	105	633	367	117	①⑩②③⑦⑬	750
150	1100	745	355	105	745	355	105	733	367	117	①⑩②⑤⑦⑬	850
150	1200	845	355	105	845	355	105	833	367	117	①⑩②⑥⑦⑬	950
200	1200	790	410	110	792	408	108	770	430	130	①⑩②③④⑦⑬	900
200	1300	890	410	110	892	408	108	870	430	130	①⑩②④⑤⑦⑬	1000
200	1400	990	410	110	992	408	108	970	430	130	①⑩②④⑥⑦⑬	1100
200	1500	1090	410	110	1092	408	108	1070	430	130	①⑩②③④⑥⑦⑬	1200
250	1200	725	475	125	724	476	126	711	489	139	①⑩②⑤⑦⑬	850
250	1300	825	475	125	824	476	126	811	489	139	①⑩②⑥⑦⑬	950
250	1400	925	475	125	924	476	126	911	489	139	①⑩②③⑥⑦⑬	1050
250	1500	1025	475	125	1024	476	126	1011	489	139	①⑩②⑤⑥⑦⑬	1150
300	1300	750	550	100	750	550	100	750	550	100	①⑩②⑤⑦⑬	850
300	1400	850	550	100	850	550	100	850	550	100	①⑩②⑥⑦⑬	950
300	1500	950	550	100	950	550	100	950	550	100	①⑩②③⑥⑦⑬	1050
300	1600	1050	550	100	1050	550	100	1050	550	100	①⑩②⑤⑥⑦⑬	1150

メーカー名 I --- (株) クボタ、角田鉄工 (株)、宮部鉄工 (株)
II --- (株) 栗本鐵工所、III --- 前澤工業 (株)

呼び径	土被り	Ⅳ			Ⅴ						ブロック組合せ	筐積高
		A	B	C	A	B	C					
75	900	630	270	120	625	275	125				①⑩②③⑦⑬	750
75	1000	730	270	120	725	275	125				①⑩②⑤⑦⑬	850
75	1100	830	270	120	825	275	125				①⑩②⑥⑦⑬	950
75	1200	930	270	120	925	275	125				①⑩②③⑥⑦⑬	1050
100	900	605	295	95	595	305	105				①⑩⑩②⑦⑬	700
100	1000	705	295	95	695	305	105				①⑩②④⑦⑬	800
100	1100	805	295	95	795	305	105				①⑩②③④⑦⑬	900
100	1200	905	295	95	895	305	105				①⑩②④⑤⑦⑬	1000
150	900	540	360	110	545	355	105				①⑩②⑦⑬	650
150	1000	640	360	110	645	355	105				①⑩②③⑦⑬	750
150	1100	740	360	110	745	355	105				①⑩②⑤⑦⑬	850
150	1200	840	360	110	845	355	105				①⑩②⑥⑦⑬	950
200	1200	770	430	130	790	410	110				①⑩②③④⑦⑬	900
200	1300	870	430	130	890	410	110				①⑩②④⑤⑦⑬	1000
200	1400	970	430	130	990	410	110				①⑩②④⑥⑦⑬	1100
200	1500	1070	430	130	1090	410	110				①⑩②③④⑥⑦⑬	1200
250	1200	705	495	145	705	495	145				①⑩②⑤⑦⑬	850
250	1300	805	495	145	805	495	145				①⑩②⑥⑦⑬	950
250	1400	905	495	145	905	495	145				①⑩②③⑥⑦⑬	1050
250	1500	1005	495	145	1005	495	145				①⑩②⑤⑥⑦⑬	1150
300	1300	740	560	110	737	563	113				①⑩②⑤⑦⑬	850
300	1400	840	560	110	837	563	113				①⑩②⑥⑦⑬	950
300	1500	940	560	110	937	563	113				①⑩②③⑥⑦⑬	1050
300	1600	1040	560	110	1037	563	113				①⑩②⑤⑥⑦⑬	1150

メーカー名 Ⅳ--- (株) キッツエスジーエス、Ⅴ--- (株) 清水鐵工所

B. ソフトシール弁設計寸法一覧表 HPPE (PE 挿し口付)

呼び径	土被り	I			II			III			ブロック組合せ	筐積高
		A	B	C	A	B	C	A	B	C		
50	700	450	250	100	445	255	105	450	250	100	①⑩②⑤⑭※	550
50	800	550	250	100	545	255	105	550	250	100	①⑩②⑦⑬	650
50	900	650	250	100	645	255	105	650	250	100	①⑩②③⑦⑬	750
50	1000	750	250	100	745	255	105	750	250	100	①⑩②⑤⑦⑬	850
75	900	630	270	120	615	285	135	630	270	120	①⑩②③⑦⑬	750
75	1000	730	270	120	715	285	135	730	270	120	①⑩②⑤⑦⑬	850
75	1100	830	270	120	815	285	135	830	270	120	①⑩②⑥⑦⑬	950
75	1200	930	270	120	915	285	135	930	270	120	①⑩②③⑥⑦⑬	1050
100	900	600	300	100	600	300	100	610	290	90	①⑩⑩②⑦⑬	700
100	1000	700	300	100	700	300	100	710	290	90	①⑩②④⑦⑬	800
100	1100	800	300	100	800	300	100	810	290	90	①⑩②③④⑦⑬	900
100	1200	900	300	100	900	300	100	910	290	90	①⑩②④⑤⑦⑬	1000

メーカー名 I --- (株) クボタケミックス、宮部鉄工 (株)、 II --- 前澤工業 (株)、
III --- (株) キッツエスジーエス

※AC ブロック使用時は、①⑩⑩⑩⑮⑬

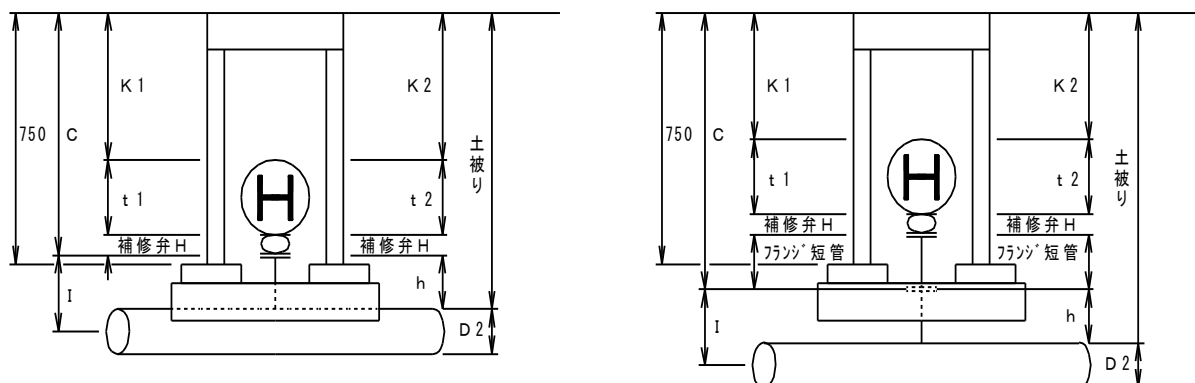
呼び径	土被り	IV			V			VI			ブロック組合せ	筐積高
		A	B	C	A	B	C	A	B	C		
50	700	430	270	120	460	240	90	445	255	105	①⑩②⑤⑭※	550
50	800	530	270	120	560	240	90	545	255	105	①⑩②⑦⑬	650
50	900	630	270	120	660	240	90	645	255	105	①⑩②③⑦⑬	750
50	1000	730	270	120	760	240	90	745	255	105	①⑩②⑤⑦⑬	850
75	900	625	275	125	620	280	130	622	278	128	①⑩②③⑦⑬	750
75	1000	725	275	125	720	280	130	722	278	128	①⑩②⑤⑦⑬	850
75	1100	825	275	125	820	280	130	822	278	128	①⑩②⑥⑦⑬	950
75	1200	925	275	125	920	280	130	922	278	128	①⑩②③⑥⑦⑬	1050
100	900	600	300	100	605	295	95	597	303	103	①⑩⑩②⑦⑬	700
100	1000	700	300	100	705	295	95	697	303	103	①⑩②④⑦⑬	800
100	1100	800	300	100	805	295	95	797	303	103	①⑩②③④⑦⑬	900
100	1200	900	300	100	905	295	95	897	303	103	①⑩②④⑤⑦⑬	1000

メーカー名 IV --- (株) 清水鐵工所、 V --- 清水工業 (株)、 VI --- 角田鉄工 (株)

※AC ブロック使用時は、①⑩⑩⑩⑮⑬

***** 4. 消火栓設計寸法一覧表（参考図） *****

1. K1 寸法は、250～350 の範囲を目標値とすること。
2. ※のある K1 寸法については、1 の結果を踏まえて監督員と協議のうえ決定すること。



① 浅層埋設対応 JWWA 規格消火栓 土被り 900

A. GX 形 渦巻式フランジ付丁字管

設計条件 本管口径 ϕ 75 土被り = 900

	単口消火栓		丁字管		寸 法					
	スベードル (t1)	口金 (t2)	呼び径	D2	K1	K2	l	h	H	C
(株) クボタ	300	275	75*75	93.0	246.5※	271.5	250	203.5	150	696.5
(株) ハズ	235	206			311.5	340.5				
前澤工業 (株)	250	244			296.5	302.5				
(株) キッツエスジーエス	255	239			291.5	307.5				
(株) 清水鐵工所	270	270			276.5	276.5				
清水工業 (株)	250	168			296.5	378.5※				
角田鉄工 (株)	255	248			291.5	298.5				
富士鉄工 (株)	255	230			291.5	316.5				
宮部鉄工 (株)	250	223			296.5	323.5				

設計条件 本管口径 ϕ 100 土被り = 900

	単口消火栓		丁字管		寸 法					
	スベードル (t1)	口金 (t2)	呼び径	D2	K1	K2	l	h	H	C
(株) クボタ	300	275	100*75	118.0	259	284	250	191	150	709
(株) ハズ	235	206			324	353※				
前澤工業 (株)	250	244			309	315				
(株) キッツエスジーエス	255	239			304	320				
(株) 清水鐵工所	270	270			289	289				
清水工業 (株)	250	168			309	391※				
角田鉄工 (株)	255	248			304	311				
富士鉄工 (株)	255	230			304	329				
宮部鉄工 (株)	250	223			309	336				

設計条件 本管口径 ϕ 150 土被り = 900

	単口消火栓		丁字管		寸 法					
	スベードル (t1)	口金 (t2)	呼び径	D2	K1	K2	l	h	H	C
(株) クボタ	300	275	150*75	169.0	254.5	279.5	280	195.5	150	704.5
(株) ハズ	235	206			319.5	348.5				
前澤工業 (株)	250	244			304.5	310.5				
(株) キッツエスジーエス	255	270			299.5	284.5				
(株) 清水鐵工所	270	270			284.5	284.5				
清水工業 (株)	250	168			304.5	386.5※				
角田鉄工 (株)	255	248			299.5	306.5				
富士鉄工 (株)	255	230			299.5	324.5				
宮部鉄工 (株)	250	223			304.5	331.5				

B. HPPE 用 PE 挿し口付渦巻式フランジ付丁字管

設計条件 本管口径 ϕ 75 土被り = 900

コスモ工機 (株)

	単口消火栓		丁字管		寸 法					
	スベードル (t1)	口金 (t2)	呼び径	D2	K1	K2	l	h	H	C
(株) クボタ	300	275	75*75	90.0	310	335	185	140	150	760
(株) ハズ	235	206			375※	404※				
前澤工業 (株)	250	244			360※	366※				
(株) キッツエスジーエス	255	239			355※	371※				
(株) 清水鐵工所	270	270			340	340				
清水工業 (株)	250	168			360※	442※				
角田鉄工 (株)	255	248			355※	362※				
富士鉄工 (株)	255	230			355※	380※				
宮部鉄工 (株)	250	223			360※	387※				

設計条件 本管口径 ϕ 100 土被り = 900

コスモ工機 (株)

	単口消火栓		丁字管		寸 法					
	スベードル (t1)	口金 (t2)	呼び径	D2	K1	K2	l	h	H	C
(株) クボタ	300	275	100*75	125.0	307.5	332.5	205	142.5	150	757.5
(株) ハズ	235	206			372.5※	401.5※				
前澤工業 (株)	250	244			357.5※	363.5※				
(株) キッツエスジーエス	255	239			352.5※	368.5※				
(株) 清水鐵工所	270	270			337.5	337.5				
清水工業 (株)	250	168			357.5※	439.5※				
角田鉄工 (株)	255	248			352.5※	359.5※				
富士鉄工 (株)	255	230			352.5※	377.5※				
宮部鉄工 (株)	250	223			357.5※	384.5※				

設計条件 本管口径 ϕ 75 土被り = 900 (株) 株式会社

	単口消火栓		丁字管		寸法					
	スレッド (t1)	口金 (t2)	呼び径	D2	K1	K2	l	h	H	C
(株) クボタ	300	275	75*75	90.0	245※	270	250	205	150	695
(株) ハズ	235	206			310	339				
前澤工業 (株)	250	244			295	301				
(株) キッツエスジーエス	255	239			290	306				
(株) 清水鐵工所	270	270			275	275				
清水工業 (株)	250	168			295	377※				
角田鉄工 (株)	255	248			290	297				
富士鉄工 (株)	255	230			290	315				
宮部鉄工 (株)	250	223			295	322				

設計条件 本管口径 ϕ 100 土被り = 900 (株) 株式会社

	単口消火栓		丁字管		寸法					
	スレッド (t1)	口金 (t2)	呼び径	D2	K1	K2	l	h	H	C
(株) クボタ	300	275	100*75	125.0	262.5	287.5	250	187.5	150	712.5
(株) ハズ	235	206			327.5	356.5※				
前澤工業 (株)	250	244			312.5	318.5				
(株) キッツエスジーエス	255	239			307.5	323.5				
(株) 清水鐵工所	270	270			292.5	292.5				
清水工業 (株)	250	168			312.5	394.5※				
角田鉄工 (株)	255	248			307.5	314.5				
富士鉄工 (株)	255	230			307.5	332.5				
宮部鉄工 (株)	250	223			312.5	339.5				

② 浅層埋設対応 JWWA 規格消火栓 土被り 1200

A. GX 形 渦巻式フランジ付丁字管

設計条件 本管口径 ϕ 200 土被り = 1200 フランジ短管 = 300

	単口消火栓		丁字管		寸法					
	スレッド (t1)	口金 (t2)	呼び径	D2	K1	K2	l	h	H	C
(株) クボタ	300	275	200*75	220.0	260	285	300	190	150	1010
(株) ハズ	235	206			325	354※				
前澤工業 (株)	250	244			310	316				
(株) キッツエスジーエス	255	250			305	310				
(株) 清水鐵工所	270	270			290	290				
清水工業 (株)	250	168			310	392※				
角田鉄工 (株)	255	248			305	312				
富士鉄工 (株)	255	230			305	330				
宮部鉄工 (株)	250	223			310	337				

設計条件 本管口径 ϕ 250 土被り = 1200 フランジ短管 = 300

	単口消火栓		丁字管		寸法					
	スレッド (t1)	口金 (t2)	呼び径	D2	K1	K2	l	h	H	C
(株) クボタ	300	275	250*75	271.6	255.8	280.8	330	194.2	150	1005.8
(株) ハズ	235	206			320.8	349.8				
前澤工業 (株)	250	244			305.8	311.8				
(株) キッツエスジーエス	255	250			300.8	305.8				
(株) 清水鐵工所	270	270			285.8	285.8				
清水工業 (株)	250	168			305.8	387.8※				
角田鉄工 (株)	255	248			300.8	307.8				
富士鉄工 (株)	255	230			300.8	325.8				
宮部鉄工 (株)	250	223			305.8	332.8				

③ 浅層埋設対応 JWWA 規格消火栓 土被り 1300

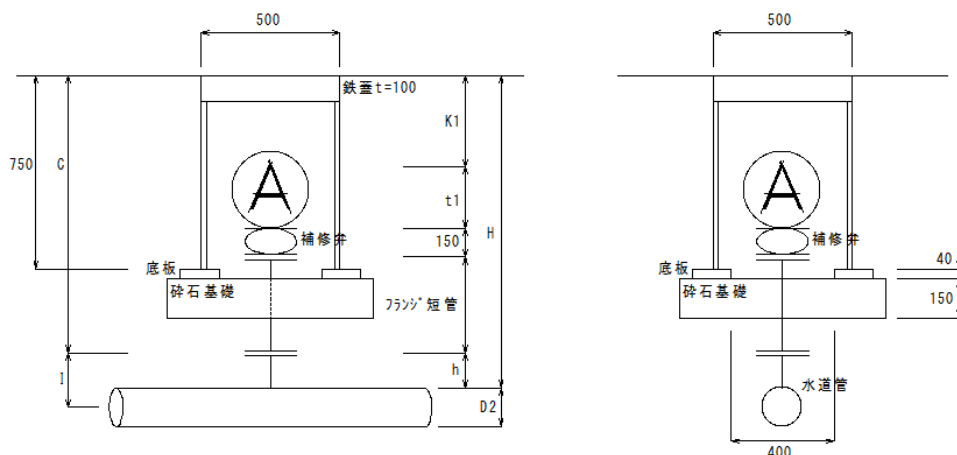
A. GX 形 フランジ付丁字管

設計条件 本管口径 ϕ 300 土被り = 1300 フランジ短管 = 500

	単口消火栓		丁字管		寸法					
	スレッド (t1)	口金 (t2)	呼び径	D2	K1	K2	l	h	H	C
(株) クボタ	300	275	300*75	322.8	211.4※	236.4※	300	138.6	150	1161.4
(株) ハズ	235	206			276.4	305.4				
前澤工業 (株)	250	244			261.4	267.4				
(株) キッツエスジーエス	255	239			256.4	272.4				
(株) 清水鐵工所	270	270			241.4※	241.4※				
清水工業 (株)	250	168			261.4	343.4				
角田鉄工 (株)	255	248			256.4	263.4				
富士鉄工 (株)	255	230			256.4	281.4				
宮部鉄工 (株)	250	223			261.4	288.4				

***** 5. 空気弁設計寸法一覧表（参考図） *****

1. K1 寸法は、250～350 の範囲を目標値とすること。
2. ※のある K1 寸法については、1 の結果を踏まえて監督員と協議のうえ決定すること。



① 浅層埋設対応空気弁 土被り 900

A. GX 形 フランジ付丁字管

設計条件		本管口径 φ 75		土被り = 900						
		急速空気弁		丁 字 管		寸 法				
		口径 φ	t 1	呼び径	D2	K1	l	h	H	C
(株)クボタ		20	-	75*75	93.0	-	200	153.5	150	746.5
(株)ハズ			-			-				
前澤工業 (株)			-			-				
(株)キッツエスジーエス			217			379.5※				
(株)清水鐵工所			240			356.5※				
清水工業 (株)			240			356.5※				
角田鉄工 (株)			277			319.5				
富士鉄工 (株)			312			284.5				
宮部鉄工 (株)			229			367.5※				

設計条件		本管口径 φ 100		土被り = 900						
		急速空気弁		丁 字 管		寸 法				
		口径 φ	t 1	呼び径	D2	K1	l	h	H	C
クボタ	25	-	100*75	118.0	-	200	141	150	759	
ハズ		333			276					
前澤工業		362			247※					
(株)キッツエスジーエス		228			381※					
清水鐵工		240			369※					
清水工業		224			385※					
角田鉄工		280			329					
富士鉄工		312			297					
宮部鉄工		231			378※					

設計条件 本管口径 ϕ 150 土被り = 900

	急速空気弁		丁字管		寸 法				
	口径 ϕ	t1	呼び径	D2	K1	l	h	H	C
クボタ	25	-	150*75	169.0	-	250	165.5	150	734.5
ハズ		333			251.5				
前澤工業		362			222.5※				
(株) キッツエスジーエス		228			356.5※				
清水鐵工		240			344.5				
清水工業		224			360.5※				
角田鉄工		280			304.5				
富士鉄工		312			272.5				
宮部鉄工		231			353.5※				

B. HPPE 用 PE 挿し口付フランジ付丁字管

設計条件 本管口径 ϕ 75 土被り = 900 フランジ短管 = 100

	急速空気弁		丁字管		寸 法				
	口径 ϕ	t1	呼び径	D2	K1	l	h	H	C
クボタ	20	-	75*75	90.0	-	140	95	150	805
ハズ		-			-				
前澤工業		-			-				
(株) キッツエスジーエス		217			338				
清水鐵工		240			315				
清水工業		240			315				
角田鉄工		277			278				
富士鉄工		312			243※				
宮部鉄工		229			326				

設計条件 本管口径 ϕ 100 土被り = 900 フランジ短管 = 100

	急速空気弁		丁字管		寸 法				
	口径 ϕ	t1	呼び径	D2	K1	l	h	H	C
クボタ	25	-	100*75	125.0	-	160	97.5	150	802.5
ハズ		333			219.5※				
前澤工業		362			190.5※				
(株) キッツエスジーエス		228			324.5				
清水鐵工		240			312.5				
清水工業		224			328.5				
角田鉄工		280			272.5				
富士鉄工		312			240.5※				
宮部鉄工		231			321.5				

② フランジ一体型急速空気弁 土被り 800

A. HPPE 用 PE 挿し口付フランジ付丁字管

設計条件		本管口径 ϕ 75		土被り = 800		フランジ短管 = 100				
		急速空気弁		丁字管		寸法				
		口径 ϕ	t1	呼び径	D2	K1	l	h	H	C
クボタ	25	-	75*75	90.0	-	-	140	95	150	705
ハズ		-			-	-				
前澤工業		-			-	-				
(株) キッツエスジーエス		135			320	-				
清水鐵工		130			325	-				
清水工業		-			-	-				
角田鉄工		172			283	-				
富士鉄工		-			-	-				
宮部鉄工		125			330	-				

設計条件		本管口径 ϕ 100		土被り = 800		フランジ短管 = 100				
		急速空気弁		丁字管		寸法				
		口径 ϕ	t1	呼び径	D2	K1	l	h	H	C
クボタ	25	-	100*75	125.0	-	-	160	97.5	150	702.5
ハズ		-			-	-				
前澤工業		-			-	-				
(株) キッツエスジーエス		135			317.5	-				
清水鐵工		130			322.5	-				
清水工業		-			-	-				
角田鉄工		172			280.5	-				
富士鉄工		-			-	-				
宮部鉄工		125			327.5	-				

③ 浅層埋設対応空気弁 土被り 1200

A. GX 形 フランジ付丁字管

設計条件		本管口径 ϕ 200		土被り = 1200		フランジ短管 = 300				
		急速空気弁		丁字管		寸法				
		口径 ϕ	t1	呼び径	D2	K1	l	h	H	C
クボタ	25	-	200*75	220.0	-	-	250	140	150	1060
ハズ		333			277	-				
前澤工業		362			248※	-				
(株) キッツエスジーエス		228			382※	-				
清水鐵工		240			370※	-				
清水工業		224			386※	-				
角田鉄工		280			330	-				
富士鉄工		312			298	-				
宮部鉄工		231			379※	-				

設計条件	本管口径 ϕ 250		土被り = 1200		フランジ短管 = 300				
	急速空気弁		丁字管		寸 法				
	口径 ϕ	t1	呼び径	D2	K1	l	h	H	C
クボタ	25	-	250*75	271.6	-	300	164.2	150	1035.8
ハズ		333			252.8				
前澤工業		362			223.8※				
(株) キッツエスジーエス		228			357.8※				
清水鐵工		240			345.8				
清水工業		224			361.8※				
角田鉄工		280			305.8				
富士鉄工		312			273.8				
宮部鉄工		231			354.8※				

④ 浅層埋設対応空気弁 土被り 1300

A. GX形 フランジ付丁字管

設計条件	本管口径 ϕ 300		土被り = 1300		フランジ短管 = 400				
	急速空気弁		丁字管		寸 法				
	口径 ϕ	t1	呼び径	D2	K1	l	h	H	C
クボタ	25	-	300*75	322.8	-	300	138.6	150	1161.4
ハズ		333			278.4				
前澤工業		362			249.4※				
(株) キッツエスジーエス		228			383.4※				
清水鐵工		240			371.4※				
清水工業		224			387.4※				
角田鉄工		280			331.4				
富士鉄工		312			299.4				
宮部鉄工		231			380.4※				

⑤ 浅層埋設対応空気弁 土被り 1400

A. GX形 フランジ付丁字管

設計条件	本管口径 ϕ 400		土被り = 1400		フランジ短管 = 500				
	急速空気弁		丁字管		寸 法				
	口径 ϕ	t1	呼び径	D2	K1	l	h	H	C
クボタ	75	286	400*75	425.6	326.8	350	137.2	150	1262.8
ハズ		257			355.8※				
前澤工業		250			362.8※				
(株) キッツエスジーエス		204			408.8※				
清水鐵工		245			367.8※				
清水工業		220			392.8※				
角田鉄工		256			356.8※				
富士鉄工		302			310.8				
宮部鉄工		200			412.8※				

***** 6. ポリエチレンスリーブ法 *****

1. ポリエチレンスリーブ施工方法は、日本水道協会発行「水道施設設計指針・解説」及び日本ダクタイル鉄管協会発行「ダクタイル鉄管用ポリエチレンスリーブ施工要領書（JDPA W 08）」に準拠し、同要領書に記載される A 法を標準とする。
2. 施工においては上記図書の最新版を適用する。
3. 上記要領書に記載のない事項を以下のように定める。
 - a. 制水弁部分のポリエチレンスリーブ施工において、ポリエチレンスリーブ 2 枚目については埋戻材等が入らないようにテープ等で密封すること。
 - b. 消火栓・空気弁部分のポリエチレンスリーブ施工において、フランジ付丁字管のフランジ部分で消火栓・空気弁筐内に露出しない部分はポリエチレンスリーブで保護すること。また、ポリエチレンスリーブ 2 枚目については埋戻材等が入らないようにテープ等で密封すること。

（参考）JDPA W 08・・・日本ダクタイル鉄管協会ウェブサイトで参照可能

第 4 章

給水管施工標準図集

2026（令和 8）年 7 月
鈴 鹿 市 上 下 水 道 局

給水管施工標準図

令和8年（2026年）
鈴鹿市上下水道局営業課

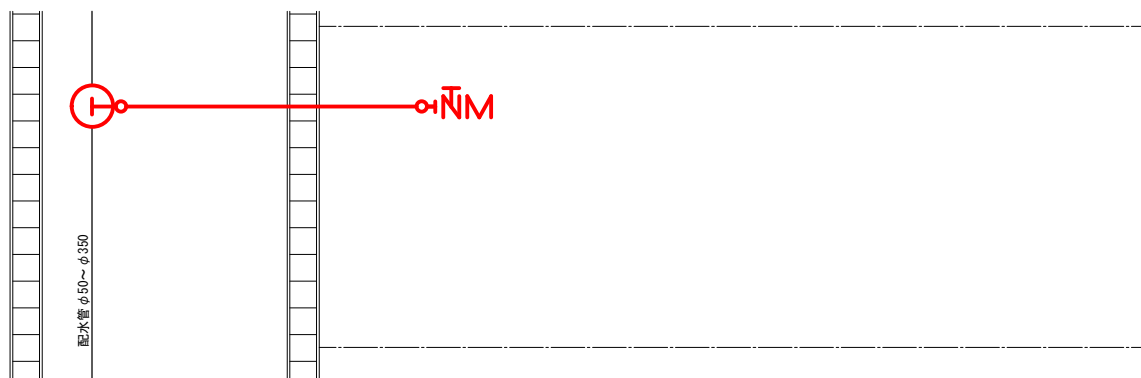
給水管施工標準図一覧

①	メーターφ13、20、25
②	メーター移設
③	メーターφ40（MBU）
④	メーターφ50（MBU）
⑤	メーターφ75（MBU）
⑥	複数メーターの給水管φ30
⑦-1 ⑦-2	複数メーターの給水管φ50
⑧-1 ⑧-2	前面道路に配水管がなく必要口径がφ50以上

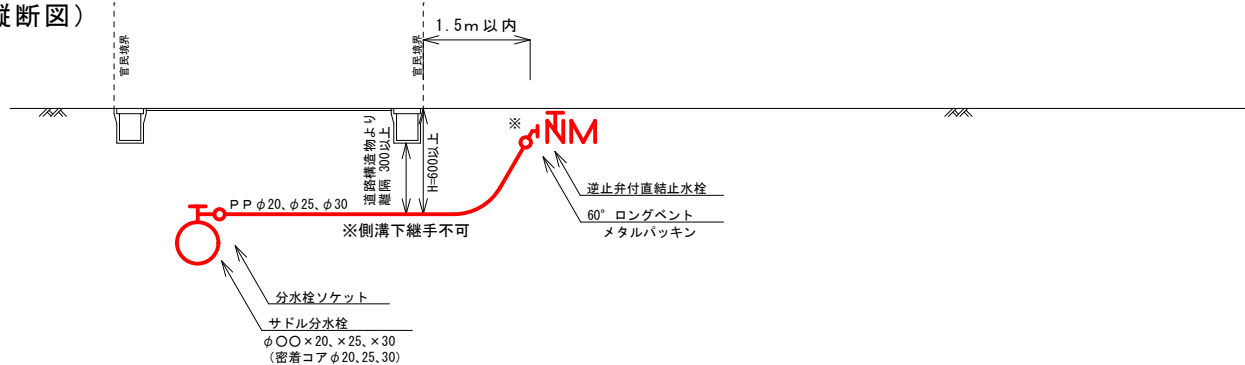
① メーターφ13、20、25の場合

分岐可能配水管 : 50～350
分岐方法 : サドル分水栓

(平面図)



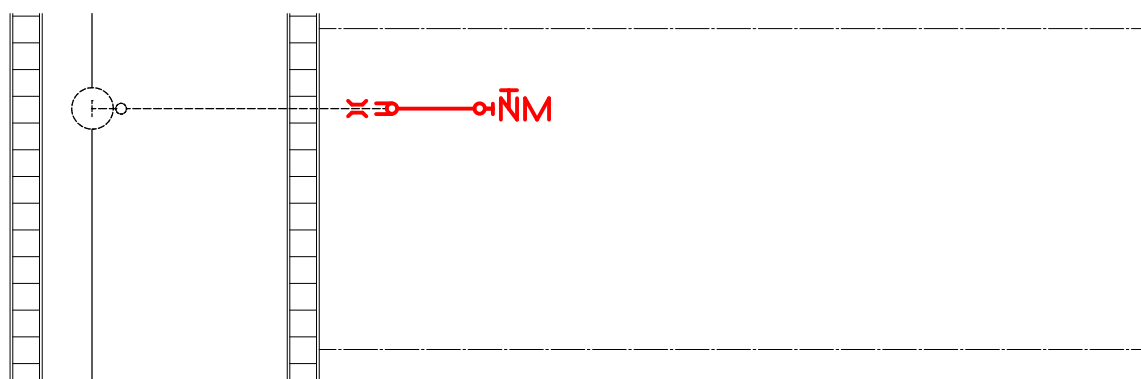
(縦断図)



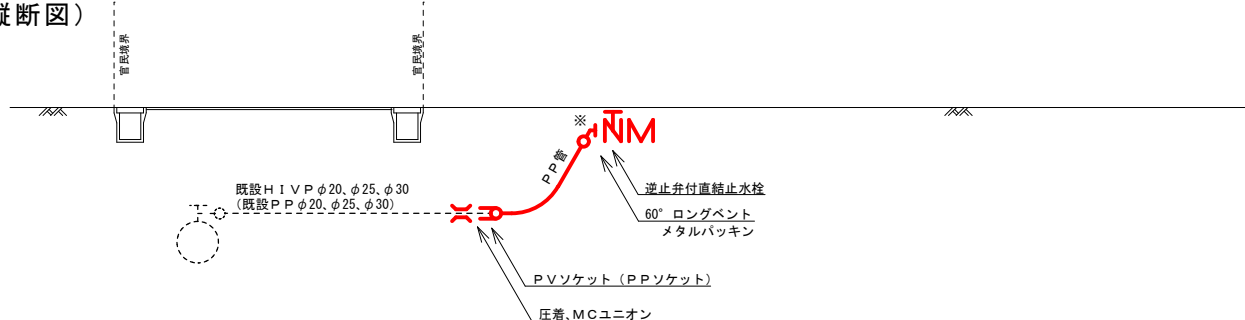
※減径する場合は、原則60° ロングベンド 又は、直結止水栓で行うこと。

② メーター移設の場合

(平面図)



(縦断図)



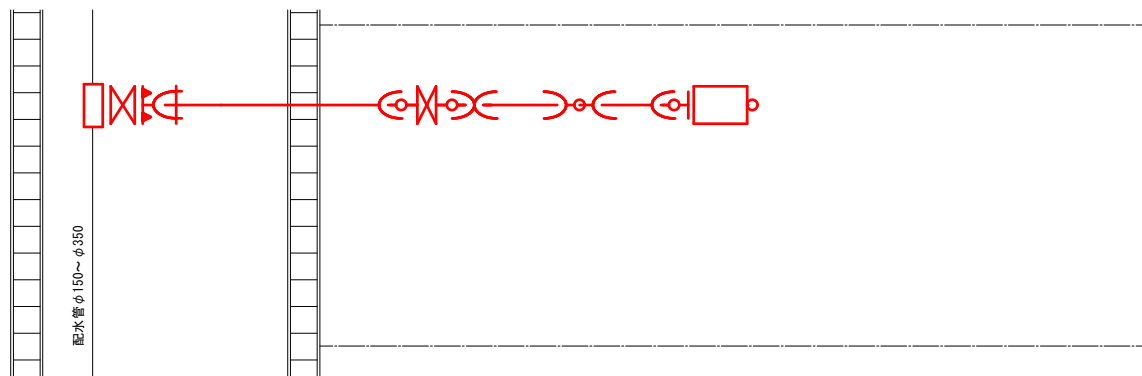
※減径する場合は、原則60° ロングベンド 又は、直結止水栓で行うこと。

※1 制水弁筐積標準図に準ずる
※2 最低切管寸法は50cmとする

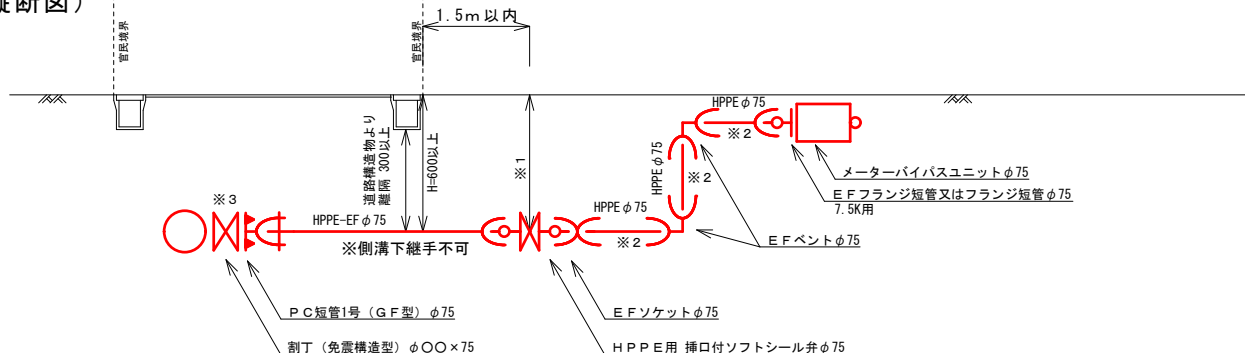
⑤ メーターφ75設置（MBU）の場合

分岐可能配水管 : 150～350
分岐方法 : 割丁字管（免震構造型）

（平面図）



（縦断図）



※3 施工方法について、鈴鹿市水道工事設計及び施工管理基準第1章2「既設管から分岐する際に使用する割丁字管について」参照

※1 制水弁筐積標準図に準ずる
※2 最低切管寸法は50cmとする

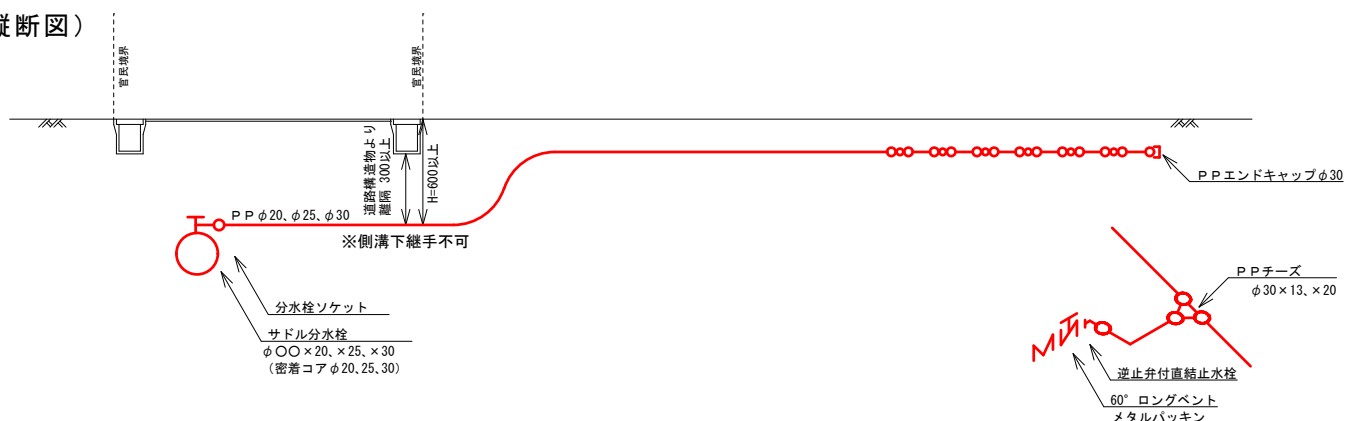
⑥ 複数メーター設置の給水管φ30の場合

分岐可能配水管 : 50～350
分岐方法 : サドル分水栓

（平面図）



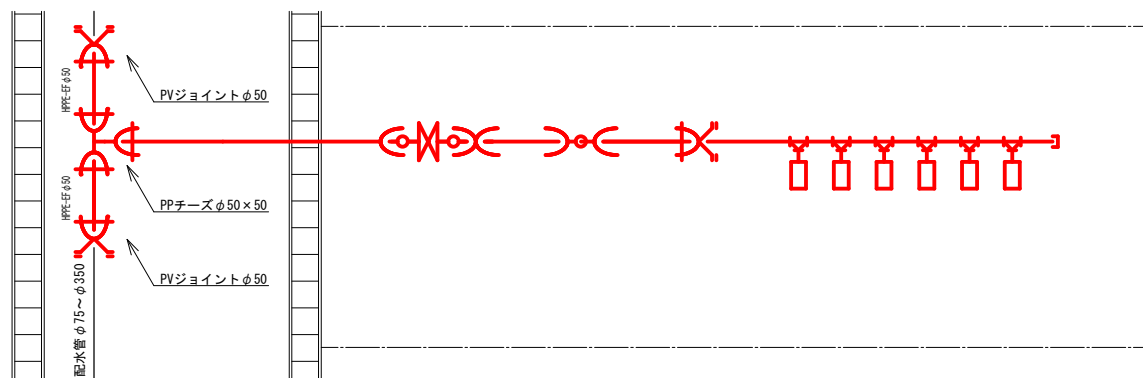
（縦断図）



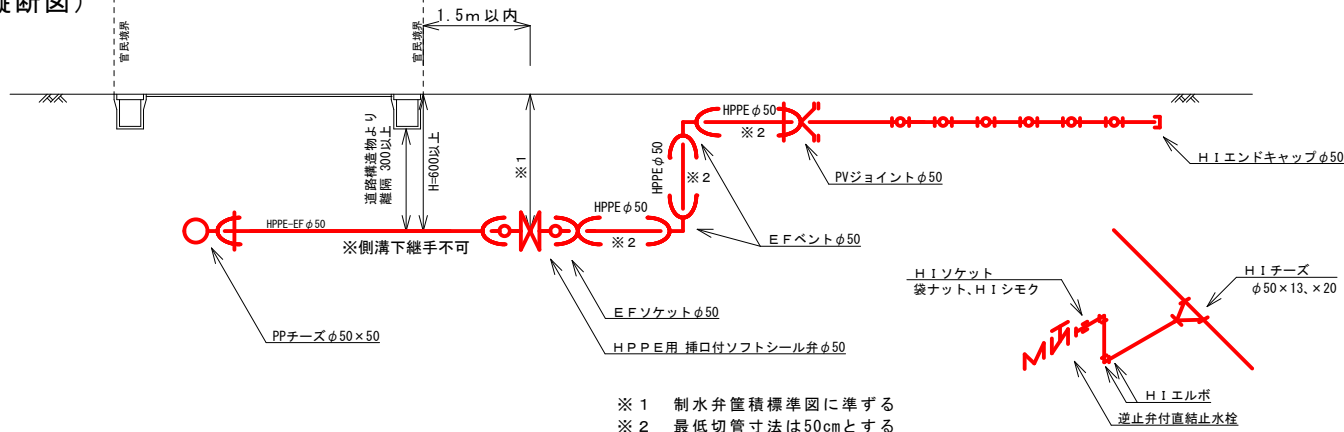
⑦-1 複数メーター設置の給水管φ50の場合

分岐可能配水管 : 50
分岐方法 : チーズ

(平面図)



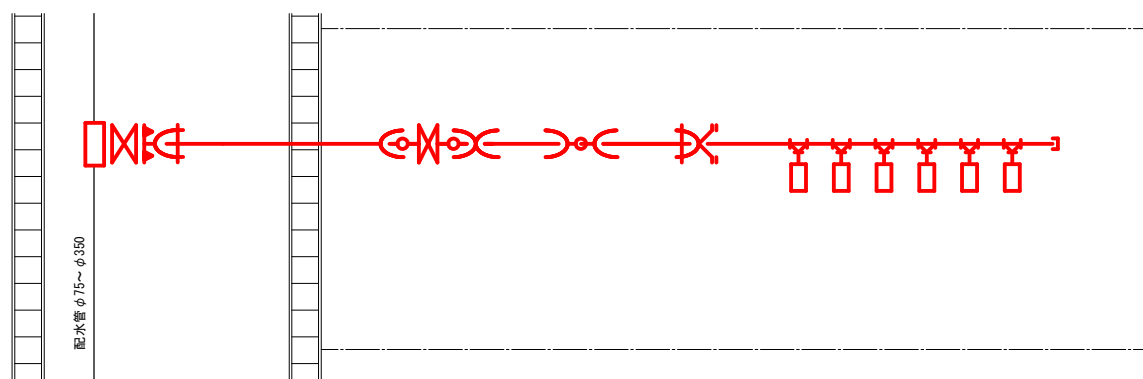
(縦断図)



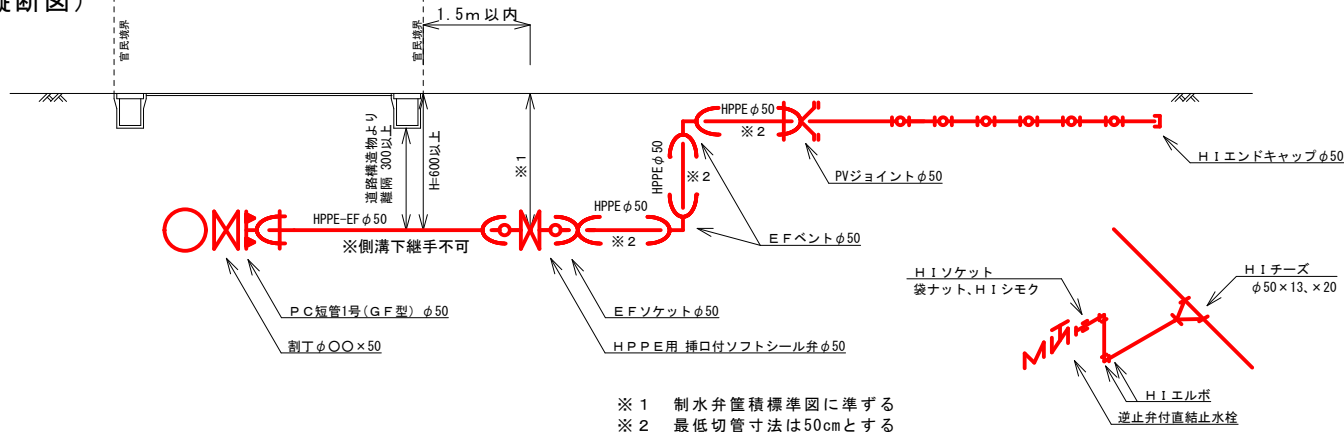
⑦-2 複数メーター設置の給水管φ50の場合

分岐可能配水管 : 75～350
分岐方法 : 割丁字管

(平面図)



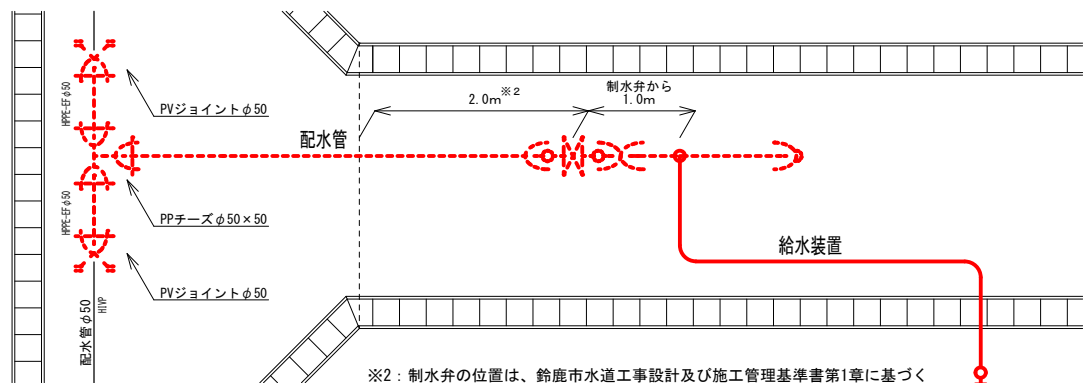
(縦断図)



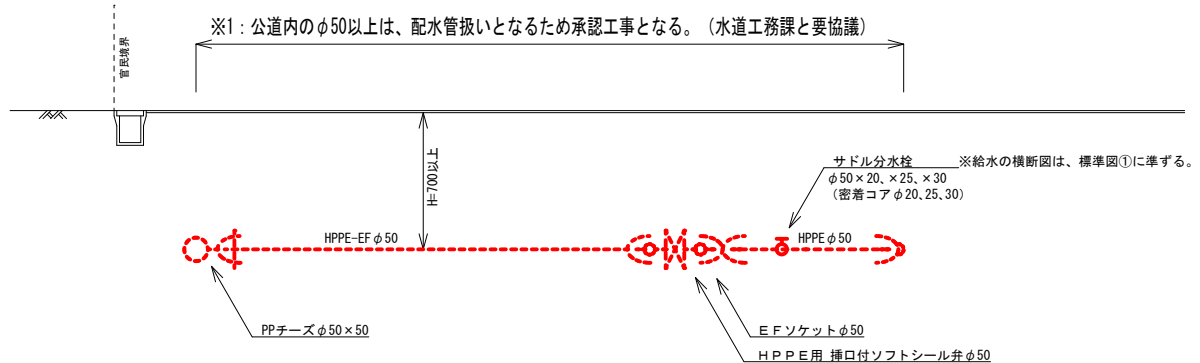
※1
⑧-1 前面道路に配水管がなく必要口径がφ50以上の管

分岐可能配水管 : 50
分岐方法 : チーズ

(平面図)



(縦断図)

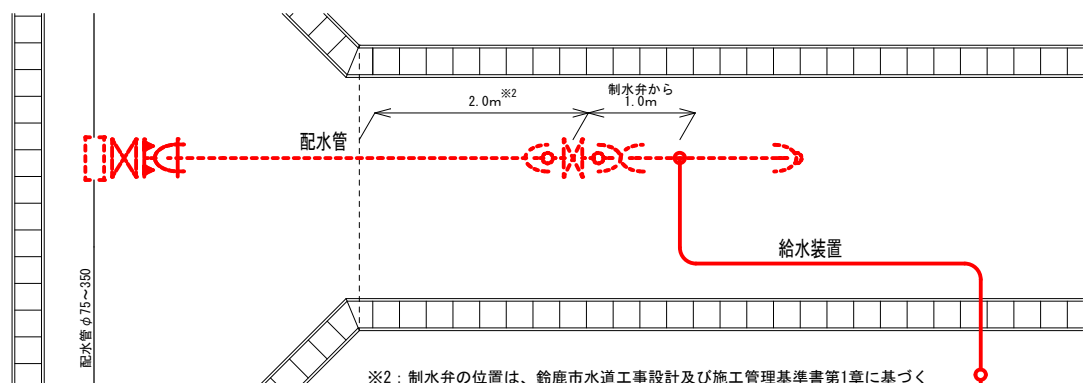


※施工方法については、鈴鹿市水道工事設計及び施工管理基準を参照

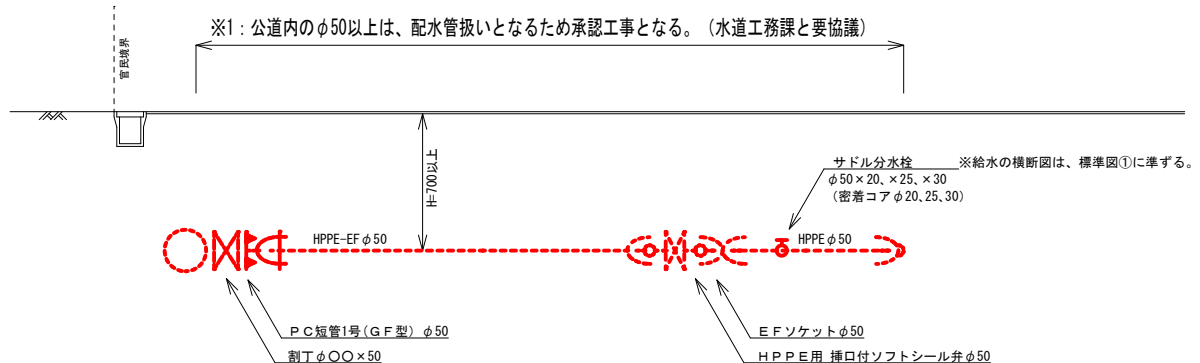
※1
⑧-2 前面道路に配水管がなく必要口径がφ50以上の管

分岐可能配水管 : 75~350
分岐方法 : 割丁字管

(平面図)



(縦断図)



※施工方法については、鈴鹿市水道工事設計及び施工管理基準を参照

第 5 章

配水用ポリエチレン管等標準配管基準書

第 5 章 - 1 水道配水用ポリエチレン管標準配管基準書

第 5 章 - 2 耐衝撃性塩化ビニル管標準配管基準書

2026（令和 8）年 7 月
鈴 鹿 市 上 下 水 道 局

第 5 章 - 1

水道配水用ポリエチレン管標準配管基準書

***** 水道配水用ポリエチレン管標準配管基準書 *****

本章は鈴鹿市内で行われる水道配水用ポリエチレン管（以下、HPPE とする。）の布設について基準を定める。

本章に定めのないことについては、以下の図書の最新のものを参考にすること。

- ・ 水道工事標準仕様書
- ・ 水道施設設計指針 （日本水道協会）
- ・ 水道配水用ポリエチレン管及び管継手 設計マニュアル
（配水用ポリエチレンパイプシステム協会）
- ・ 水道配水用ポリエチレン管及び管継手 施工マニュアル
（配水用ポリエチレンパイプシステム協会）
- ・ 鈴鹿市水道工事設計及び施工管理基準書
- ・ その他参考文献

なお、HPPE 管及び関連資材の接合は必ず鈴鹿市上下水道局が定める資格要件を満たす配水管技能者が行い、作業を担当する配水管技能者は常にその資格を証明するものを携行すること。

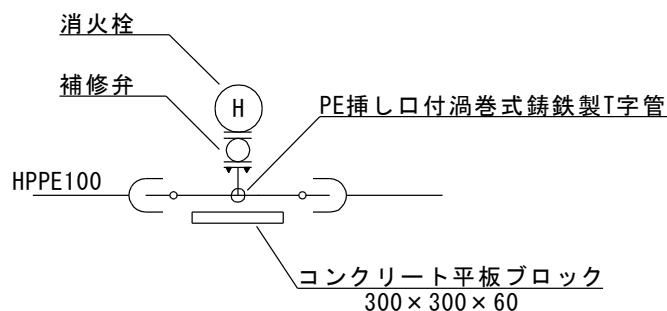
（１） 直管及び施工全般

- a. 直線管路部はHPPE 片受直管またはスピゴット（SP）直管+EF ソケットを使用し、配管検討時には現場条件、施工性、経済性を考慮する。
- b. HPPE 管の接合は地上または掘山内でのEF 接合を標準とし、荒天時にはテントなど防雨対策を、掘山内での接合の際に湧水がある場合は水替えを行い、接合部が水に濡れないよう注意すること。
なお、連絡時の既設管からの落ち水等で接合部が濡れる恐れがある場合や時間的制約がある場合（以下、特別な場合という。）はダクタイル鋳鉄製接合材を使用してもよい。
- c. 特に荷重の懸かる部分（許容たわみ率（外径の 5%）を超える部分）及び泥吐管の制水弁以降は鋼管（SGP-VB）とする。
泥吐管の施工例は「（５）泥吐管の施工方法」参照のこと。
※たわみ率については水道施設設計指針を参考のこと。

（２） 異形管

- a. HPPE の異形管は SP、EF 片受、EF 両受のいずれかの継手を持つ部材を使用し、配管検討時には現場条件、施工性、経済性を考慮する。
- b. HPPE から HPPE を分岐する際、SP チーズの使用は認めない。

- c. 異形管 EF 挿し口に直接メカニカル継手を使用すると、組合せによっては漏水の恐れがあるため避けること。やむを得ず使用する場合は、その組み合わせが問題ないことをマニュアルやメーカー聴き取り等を行い確認すること。
- d. 仕切弁は、HPPE用両挿口付ソフトシール仕切弁を使用する。
なお、口径 75、100 の場合は、コンクリート平板ブロック（300×300×60）を敷くこと。
- e. 消火栓はPE 挿し口付鋳鉄製渦巻き式 T 字管、空気弁は PE 挿し口付鋳鉄製 T 字管の使用を標準とする。
なお、口径 75、100 の場合は、コンクリート平板ブロック（300×300×60）を敷くこと。



- f. 筐積において、筐の基礎砕石がHPPEに直接接する場合は、管保護のため目地材（樹脂発泡体）を敷設する。
 - g. 異形管の離脱防止
 - ① HPPE管は接合方法の区別を問わず一体構造となるため拘束延長を考慮しない。
ただし 90° 曲管が連続するなど大きな不平均力が発生する配管は避けること。
 - ② コンクリート防護工、木杭等は特に必要と認められる場合のみ施工する。
- (3) 設計及び施工上の注意事項
- a. 鋳鉄管と HPPE を接合する場合
 - ① 施工には異種管継手、フランジ短管+レデューサ、PC ジョイント片落を用い、配管検討時には現場条件、施工性、経済性を考慮する。
 - ② 口径落としを行う際にフランジ接合となる箇所がある場合、RF-GF 接合とする。
 - b. 塩ビ管と HPPE を接合する場合
 - ① 施工には異種管継手、フランジ短管、PV ジョイントを用い、配管検討時には現場条件、施工性、経済性を考慮する。

② フランジ接合となる箇所がある場合、RF-GF 接合とする。

c. 鋼管と HPPE を接合する場合

PV ジョイントを使用する。

d. HPPE 直管の現場内流用及び残管の処分について

現場で発生した HPPE 直管の残管を同一現場内で流用してもよい。ただし、残管は使用まで適切な方法により保管すること。

他現場への残管の流用は禁止する。

同一現場で使用しない残管は、適切に処分すること。

e. HPPE 直管の切管について

① HPPE 直管の最低切管寸法は部材間の作業性・補修性を考慮し 50cm とし、止むを得ない場合はマニュアルを参照して適切に設定すること。

なお、補修材の余裕を見込む場合は、部材により異なるため注意すること。

またメカニカル継手を使用する場合は、挿し込み寸法を考慮し、ボルト締付などの作業が可能な寸法とすること。

② HPPE 切管時の面取り処理は適切に行うこと。

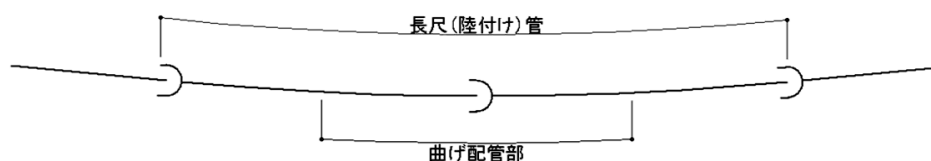
f. HPPE 直管の曲げ配管について

① 直線部で下表の最小曲げ半径以下で曲げ配管をしてもよい。ただし、EF 接合部を中心に屈曲させてはならない。

最小曲げ半径

呼び径	50	75	100
最小曲げ半径 (m)	5.0	7.0	9.5
1m区間の最大隙間寸法A (mm)	25	18	13

② 曲げ配管区間での接合作業は原則禁止とし、曲げ配管を行う路線においては事前に長尺（陸付け）管を準備すること。



- ③ 止むを得ず掘山内で接合部を含む曲げ配管を行う場合は冷却完了後にゆっくりと曲げ、E F 接続部やメカ接合部を曲げの軸点にしないこと。また、曲げ配管の端部を次のソケット又は受口に接続する時は、受口に対し管がまっすぐ挿入されている事を確認する。

g. 追い込み配管時の継手

- ① H P P E 同士の追い込み配管にはE F ソケットの中央部ストッパーを取り外して使用する。
特別な場合はダクティル鋳鉄製P P ジョイントとする事ができる。
- ② 異管種との追い込み配管には各種ダクティル鋳鉄製接合材を使用する。

h. 管の被覆保護について

H P P E に関係する被覆材には「ポリスリーブ」と「浸透防止スリーブ」がある。
ポリスリーブは配水管路線上の鋳鉄製部材の防錆、浸透防止スリーブはH P P E 管への有機溶剤浸透防止が目的であり、ポリスリーブと浸透防止スリーブは素材も全く別個のものであるので、設計や現場施工において混同しないよう注意すること。

- ① ポリスリーブの設置について
1. 鋳鉄製部材は全てポリスリーブ法（A法）で施工する。
 2. ポリスリーブは二重巻きとし、部材長+60cmで切断し、管端より30cm延ばす。
 3. ゴムバンドにより各層毎に継手の前後を固定する。
- ② 浸透防止スリーブの設置について
1. 鈴鹿市ではH P P E 管を既存の下記の施設に面した道路へ布設する際、浸透防止スリーブを設置する。
 - ・ 重化学工場
 - ・ ガソリンスタンド
 2. これ以外の箇所においても必要と認められる場合は設置する。
 3. 浸透防止スリーブの設置方法は原則としてポリスリーブ法（A法）で行う。

i. 注水加圧時期

連絡時に露出される管に不平均力が働く場合には、埋戻完了後に注水加圧すること。

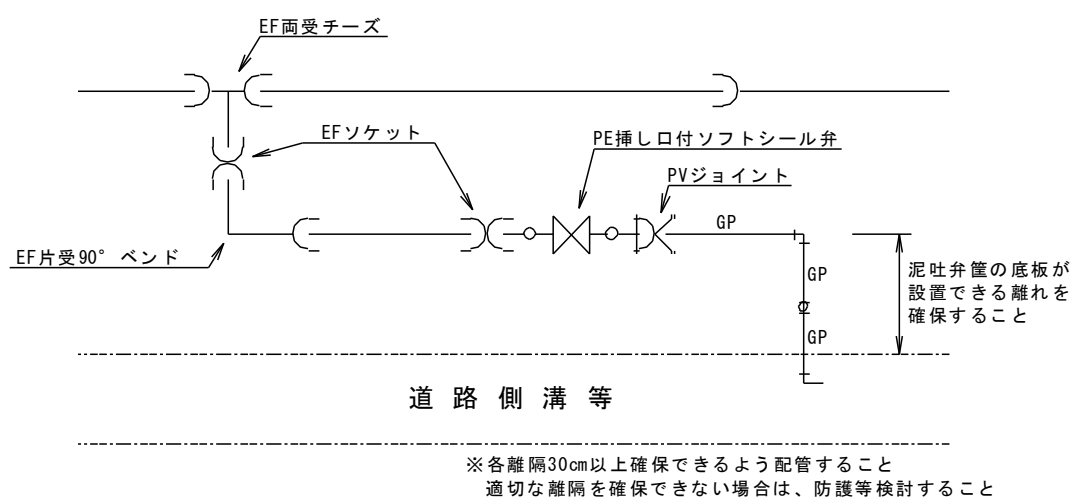
j. 水圧試験について

- ① 水道配水用ポリエチレンパイプシステム協会(POLITEC)が、施工マニュアルに定める方法により実施する。
- ② 充水完了後 12 時間以上経過したことを確認してから試験を開始する。

- ③ 1回の試験延長は500mを上限とする。
- ④ 同一路線で铸铁管とHPPEが混在する場合、この2管種は別々に試験を実施する。
ただし、この2管種が本管として直接接続され、かつ弁栓で区切ることが出来ない等の理由でやむを得ずこの2管種を同時に試験する場合、原則としてHPPEの試験方法を採用する（ドレン管は本管と看做さない）。

（4） 泥吐管の施工方法

泥吐管の配管方法は下記を標準とし、これにより難しい場合は現場条件に応じ配管方法を検討する。



（5） 分水栓について

分水栓は鈴鹿市上下水道局が承認した「铸铁製サドル付き分水栓」を標準とする。

「EFサドル付き分水栓」の使用が可能な箇所については、その使用を指導していく。

（6） HPPE管用記号及び名称

HPPE管のオフセット作成用記号及び名称については「配管詳細図（オフセット）作成用記号及び名称全集」を参照のこと。

（7） HPPE資材の設計寸法について

HPPE資材の一部は製造メーカーにより寸法が異なるため、鈴鹿市では当初設計に使用する数値を別表の通りに定める。

同表にないものは主要製造メーカーの寸法を使用すること。

なお、設計の部材寸法と現場で実際に使用されたメーカーの部材寸法が同一でない場合、実際に使用された寸法に変更しないと設計と現場が整合しない場合があるので注意すること。

※配管詳細図（オフセット図）には、直管は1本5mで記載する。

(8) HPPE 管に対して圧着を行った場合の処理について

HPPE 管に対して圧着を行った場合、圧着箇所に E F ソケットの中央部ストッパーを取り外したものを融着することを基本とする。

(9) 既設管路の部分的な補修について

漏水修繕や部分的な人孔迂回など既設管の一部を切除し再配管する場合、原則として既設管と同じ管種を使用すること。

ただし同一路線内で複数箇所が連続して再配管を行う場合は路線全体の布設換えも考慮し、布設換えを行う場合は設計時点で標準の新設管とされる管種を用いること。

(10) その他

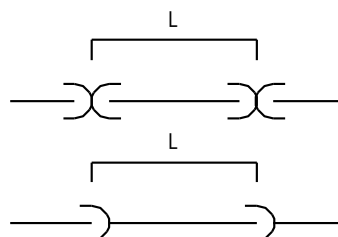
鈴鹿市上下水道局は H P P E 関連資材について、原則として日本水道協会または配水用ポリエチレンパイプシステム協会(ポリテック)の規格品またはそれに準拠したものを承認する。

当局が承認していない資材の使用については別途協議のこと。

(別表 HPPE 関連部材 鈴鹿市標準設計値)

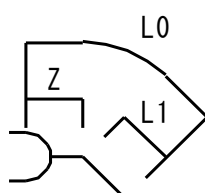
単位：mm

● 直管、EF 片受直管



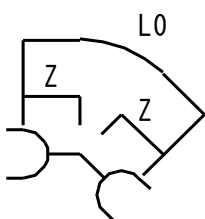
	φ50	φ75	φ100
外径	60	90	120
定尺長 L	5000	5000	5000

● EF 片受ベンド



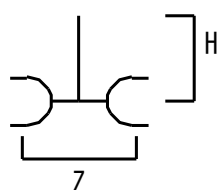
		90°	45°	22 1/2°	11 1/4°
φ50	Z	200	100	100	100
	L1	200	200	100	100
	L0	400	300	200	200
φ75	Z	200	200	100	100
	L1	300	300	200	200
	L0	500	500	300	300
φ100	Z	200	200	100	100
	L1	400	300	300	300
	L0	600	500	400	400

● EF 両受ベンド



		90°	45°	22 1/2°	11 1/4°
φ50	Z	200	100	100	100
	L0	400	200	200	200
φ75	Z	200	200	100	100
	L0	400	400	200	200
φ100	Z	200	200	100	100
	L0	400	400	200	200

● EF 両受チーズ



	φ50*50	φ75*50	φ75*75
H	200	300	300
Z	100	100	100

	φ100*50	φ100*75	φ100*100
H	300	300	300
Z	100	100	100

- SP レデュース

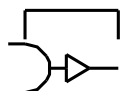
L0



	$\phi 75 \times 50$	$\phi 100 \times 50$	$\phi 100 \times 75$
L0	400	400	400

- EF レデュース

Z



	$\phi 75 \times 50$	$\phi 100 \times 50$	$\phi 100 \times 75$
Z	300	400	400

- SP キャップ

L0



	$\phi 50$	$\phi 75$	$\phi 100$
L0	100	100	200

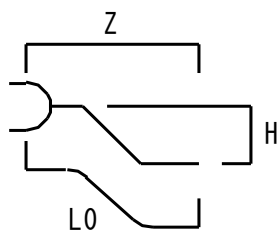
- EF キャップ

Z



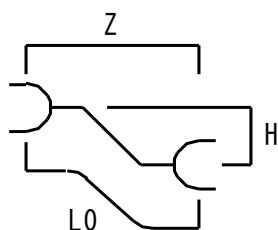
	$\phi 50$	$\phi 75$	$\phi 100$
Z	100	100	200

- EF 片受S ベンド



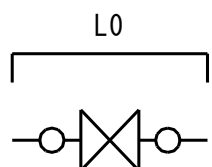
		H300	H450	H600
$\phi 50$	Z	600	700	900
	L0	700	900	1100
$\phi 75$	Z	800	900	1100
	L0	900	1100	1300
$\phi 100$	Z	800	900	1100
	L0	900	1100	1300

- EF 両受S ベンド

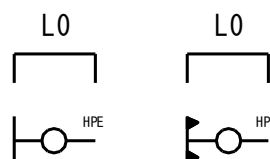


		H300	H450	H600
$\phi 50$	Z	500	700	800
	L0	600	800	1100
$\phi 75$	Z	700	800	1000
	L0	800	1000	1200
$\phi 100$	Z	700	800	1000
	L0	800	1000	1200

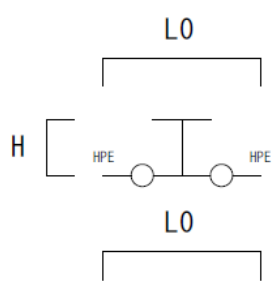
- PE 挿し口付ソフトシール弁

		$\phi 50$	$\phi 75$	$\phi 100$
L0		700	800	900

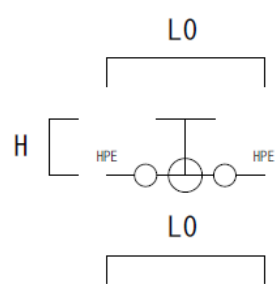
- PE 挿し口付鋳鉄製フランジ短管

		$\phi 50$	$\phi 75$	$\phi 100$
L0		400	400	500

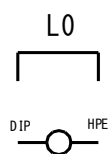
- PE 挿し口付鋳鉄製丁字管

		$\phi 75*75$	L0	700
			H	140
		$\phi 100*75$	L0	800
			H	160

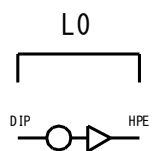
- PE 挿し口付渦巻式鋳鉄製丁字管

		$\phi 75*75$	L0	800
			H	220
		$\phi 100*75$	L0	800
			H	230

● DIP 用異種管継手

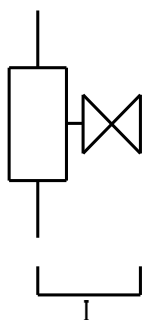


	$\phi 75$	$\phi 100$
K-HPE	600	700
NS-HPE	600	700
GX-HPE	600	700



	$\phi 75 \times 50$	$\phi 100 \times 50$	$\phi 100 \times 75$
K-HPE	700	800	800
NS-HPE	700	800	800
GX-HPE	600	800	800

● HPPE 用割丁字管



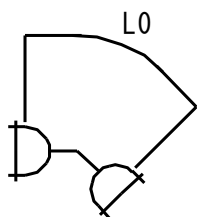
捨てバルブ付

	$\phi 75 \times 50$	$\phi 100 \times 50$
I	200	200

ソフトシール弁付

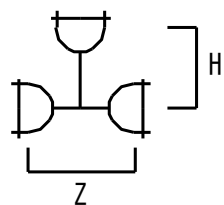
	$\phi 75 \times 75$	$\phi 100 \times 75$	$\phi 100 \times 100$
I	300	300	300

● PP ベンド



		90°	45°	22 1/2°	11 1/4°
$\phi 50$	L0	200	100	100	100
$\phi 75$	L0	200	100	100	100
$\phi 100$	L0	200	100	100	100

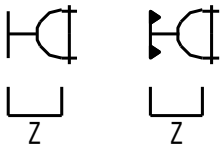
● PP チーズ



	$\phi 50 \times 50$	$\phi 75 \times 50$	$\phi 75 \times 75$
H	100	100	100
Z	100	200	200

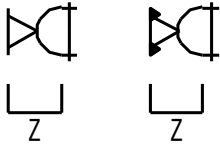
	$\phi 100 \times 50$	$\phi 100 \times 75$	$\phi 100 \times 100$
H	100	100	100
Z	200	200	200

● PC 短管 1 号



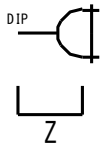
	$\phi 50$	$\phi 75$	$\phi 100$
Z	100	100	100

● PC 短管 1 号 (片落)



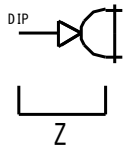
	$\phi 75 \times 50$	$\phi 100 \times 75$	$\phi 150 \times 75$	$\phi 150 \times 100$
Z	100	100	100	100

● PC 短管 2 号



	$\phi 75$	$\phi 100$
Z	300	300

● PC 短管 2 号 (片落)



	$\phi 75 \times 50$	$\phi 100 \times 50$
K-HPE	300	300

	$\phi 75 \times 50$	$\phi 100 \times 50$
NS-HPE	200	300

第 5 章 - 2

耐衝撃性塩化ビニル管標準配管基準書

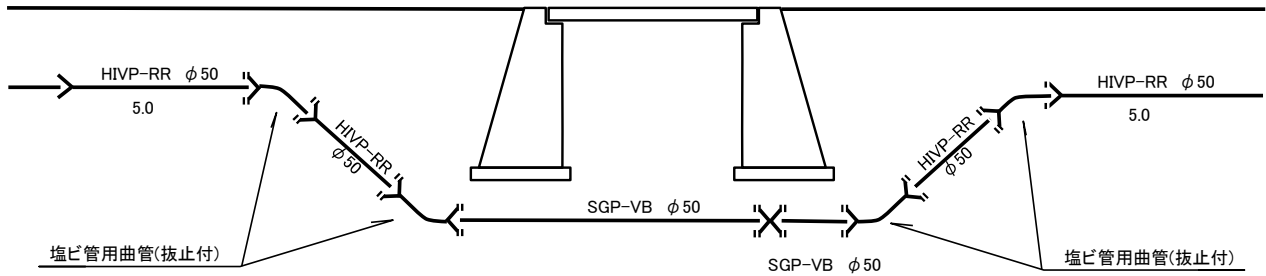
***** 耐衝撃性塩化ビニール管標準配管基準書 *****

1. 材料

(1) 直管

- a. 配水管の管種はHIVP-RR管とする。
- b. 特に荷重の懸かる部分(HIVP管での計算時の撓みが2%以上)、及び泥吐管の制水弁以降は、SGP-VB管とする。
泥吐管の施工例は「(5) 泥吐管の施工方法」参照のこと。

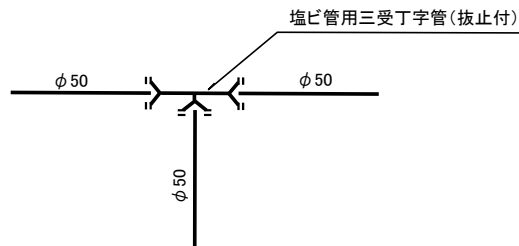
(図-1)



(2) 異形管

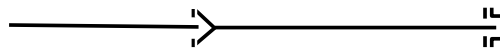
- a. チーズ管は、ダクトイル鋳鉄製チーズ管とする。塩ビ管用三受丁字管(抜止付)

(図-2)



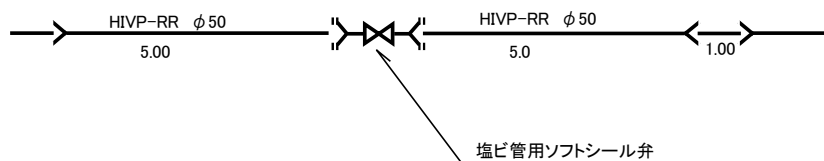
- b. 管端処理は、ダクトイル鋳鉄製塩ビ管用キャップ(抜止付)とする。

(図-3)



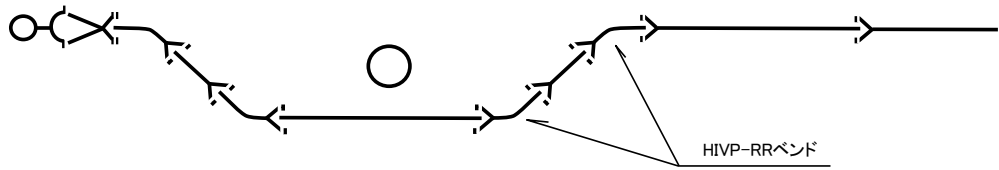
- c. 制水弁は、塩ビ管用ソフトシール仕切弁でHIVP-RR管と接合する。

(図-4)

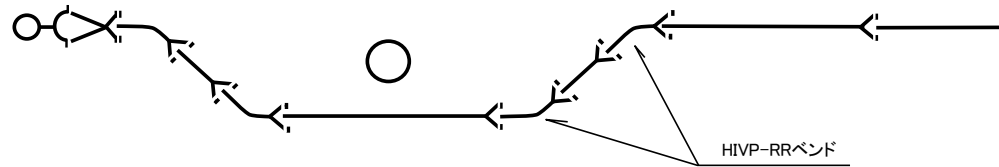


- d. HIVPのあぶり処理を禁止する。生曲げは厳禁とする。
 曲がり部分にはHIVP-RRベンド管(90°、45°、22°1/2、11°1/4、5°5/8)を用いる。
 ただし、距離の取れない場合は、ダクタイル鋳鉄製ベンド管とすることができる。
 この場合使用材料は、塩ビ管用曲管(抜止付)とする。

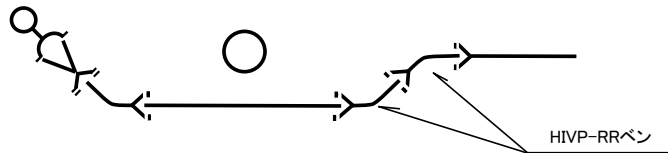
(図-5)



(図-6)

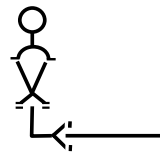


(図-7)

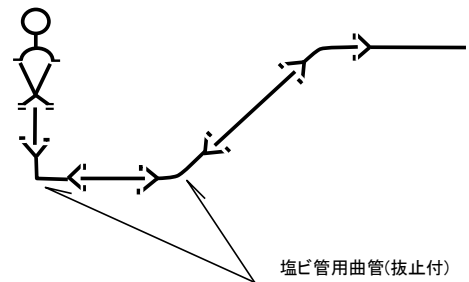
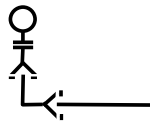


(図-10)

(図-8)



(図-9)



- e. 異形管の離脱防止

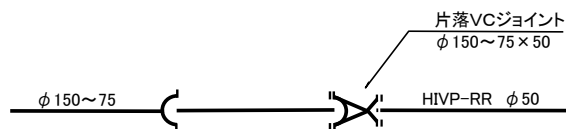
- ① 別紙拘束延長表に従い離脱防止金具を取り付ける。
- ② HIVP-RR管の離脱防止金具は、L型(RR受口後方で固定)とする。
- ③ コンクリート防護工、木杭等は、特に必要とならない限り用いない。

(3) 設計及び施工上の注意事項

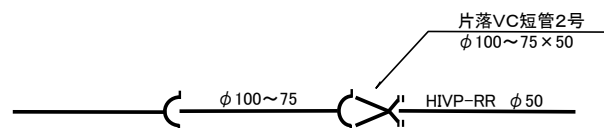
- a. HIVP-RR管への口径落とし方法

- ① (違径フランジ+鋼管+HILA)による口径落としを禁止し、離脱防止付き片落VCジョイントもしくは片落VC短管2号を用いる。

(図-11)

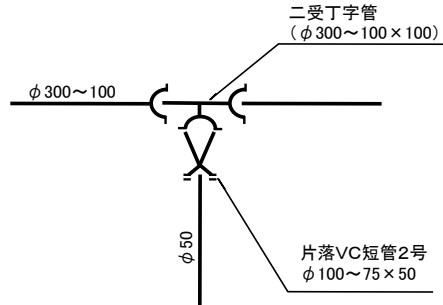


(図-12)

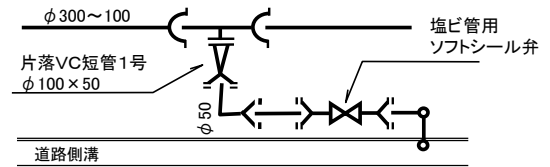


- ② $\phi 100\text{mm}$ 以上から $\phi 50\text{mm}$ を分岐する場合には、分岐口径 $\phi 100\text{mm}$ の二受丁字管＋片落VC短管2号 $\phi 100\text{mm} \times \phi 50\text{mm}$ による口径落としを原則とする。
ただし、距離の取れない所では、片落VC短管1号 $\phi 75\text{mm} \times \phi 50\text{mm}$ による口径落としも可とする。

(図－13)



(図－14)



b. 鋼管ネジ接合について

鋼管ネジ接合は禁止とする。
ただし泥吐管の制水弁以降の配管には鋼管ネジ接合で配管してもよい。
鋼管とHIVPとの接合は、ダクタイル鋳鉄異形管(K型両受口)を使用する。

c. HIVP－RR直管の現場内流用について

HIVP－RR直管の現場内残管の流用は、保管方法を適切に指示したうえで認めるが、他現場との流用は禁止し、残管の処分は業者の責務とする。

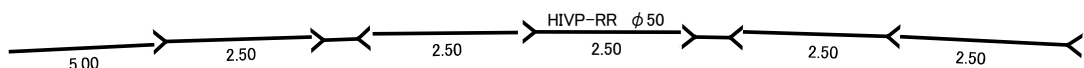
d. HIVP－RR直管の切管処理について

- ① HIVPの切管手間は計上しない。
ただし切管時の面取り処理は適切に指示すること。
- ② 継手手間、離脱防止金具等の費用比較のうえ、HIVP－RR両受ソケットを使用し乙切管処理を行う。
- ③ 直線部での距離調整は、異形管の直前の2本目を切管とする事により行い、異形管の前後1本は切管しない。
ただし直線区間長が短く、止むを得ず異形管の前後に切管が発生した場合や、不当沈下が予想され意図して短い切管を使用する場合には、別紙拘束延長表に従い離脱防止金具を取り付ける。

e. HIVP－RR直管の曲げ配管について

生曲げは、厳禁とする。
浅い角度の設定は、55/8°ベンドを使用することとするが、それ以上の浅い角度の場合は両受ソケットを使用する。
但し、継手位置での許容曲げ角は、2°(17.5cm/5m)とする。

(図－15)



f. HIVP－RR直管の積算における計上方法について

HIVP－RR直管の積算システムの計上単位は(本)とする。

g. 管路の方向について

管路受け挿しの方向は同一路線では統一をし、下記の順位に従い定める事とする。但し両受部材の下側1本は逆向きとする。

- ① 流向が定かである場合には、上流に受け口を向ける。
- ② 水源もしくは、配水池から近い方に受け口を向ける。
- ③ 標高の高い方に、受け口を向ける。
- ④ 布設順序については、逆挿しも差し支えない。

h. 追い込み時の継手

- ① 止むを得ず追い込みになる場合を除き、乙切り管+VSジョイント等は用いない。
- ② 追い込み時は、VSジョイント使用を原則とするが、直線部ではロングドレッサージョイントの使用も可とする。
- ③ HILAナットソケットの使用は禁止する。

j. ポリスリーブ設置方法

ポリスリーブの設置方法は以下のとおりとする。

- ① 鋳鉄部材及び離脱防止金具のみポリスリーブ法で防食する。
- ② A法に準じて行う。
- ③ ポリスリーブは二重巻きとし、部材長+60cmで切断し、管端より30cm延ばす。
- ④ ゴムバンドにより各層毎に継手の前後を固定する。
- ⑤ 計上は異形管1本に対して、φ50mm用のポリスリーブを1箇所計上する。
制水弁については2箇所計上する。

k. 鋳鉄部材の布設歩掛

鋳鉄部材据付けは、その延長をHIVP-RR管の延長と合計し、HIVP-RR管の据付け費を以て計上する。

l. I.P及びC.Pの明示

- ① 異形管の中心もしくは管端の位置を側点で明示する。
- ② 配管詳細図にては道路構造物よりのオフセットを出来るだけ明示する。

m. 注水加圧時期

連絡時に露出される管に不平均力が働く場合には、埋戻完了後に注水加圧すること。

n. 異形管仕様書表示方法

異形管仕様書表示方法の標準配管方法は別紙のとおりとする。

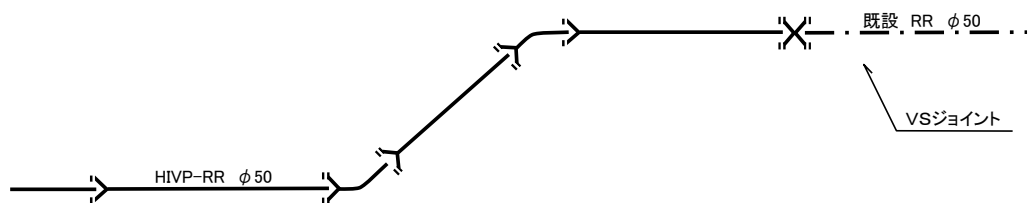
o. 丁字管の施工について

VCジョイント・VC短管2号の前後は1本もののHIVP-RRを使用する。
尚、使用出来ない場合は、5m以内の継手部に離脱防止金具を取り付ける。

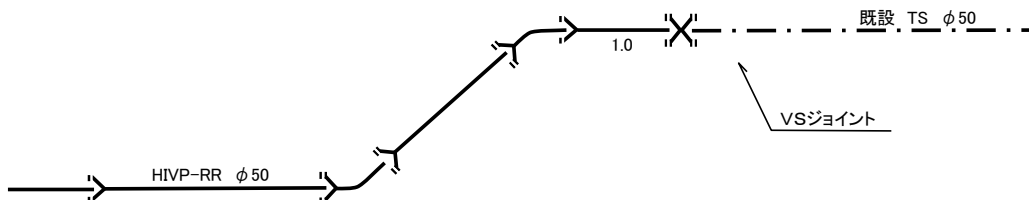
(4) 既設管連絡方法

既設管連絡の標準配管方法は下記のとおりとする。

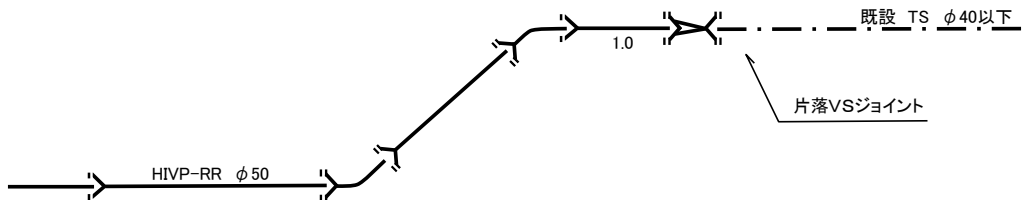
(図-16)



(図-17)



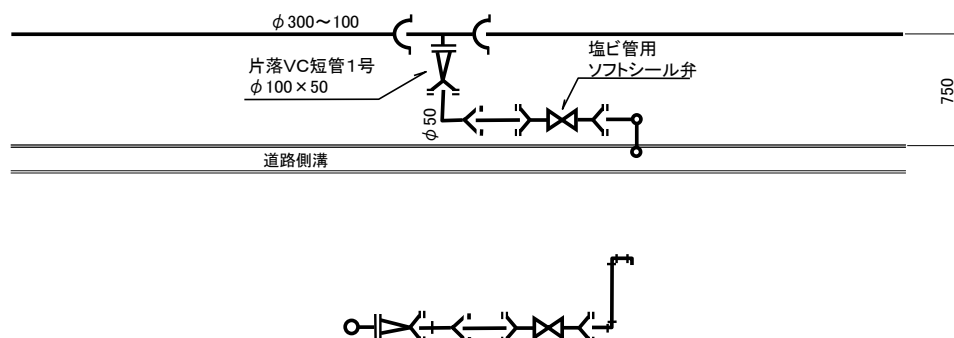
(図-18)



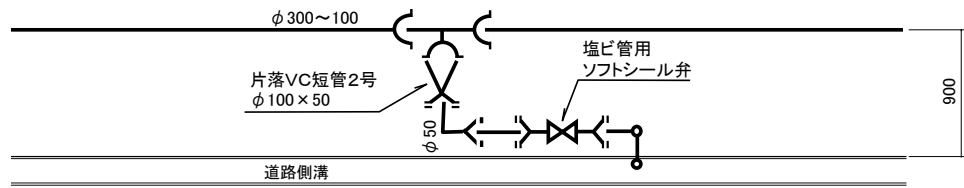
(5) 泥吐管の施工方法

泥吐管の標準配管方法は下記図面のとおりとする。

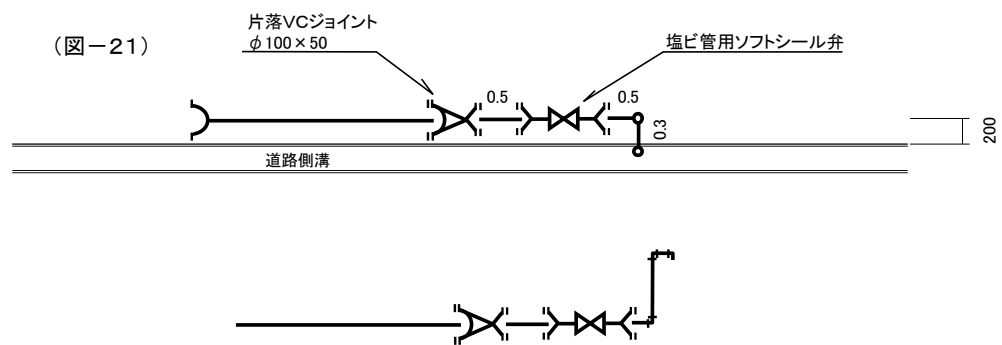
(図-19)



(図-20)



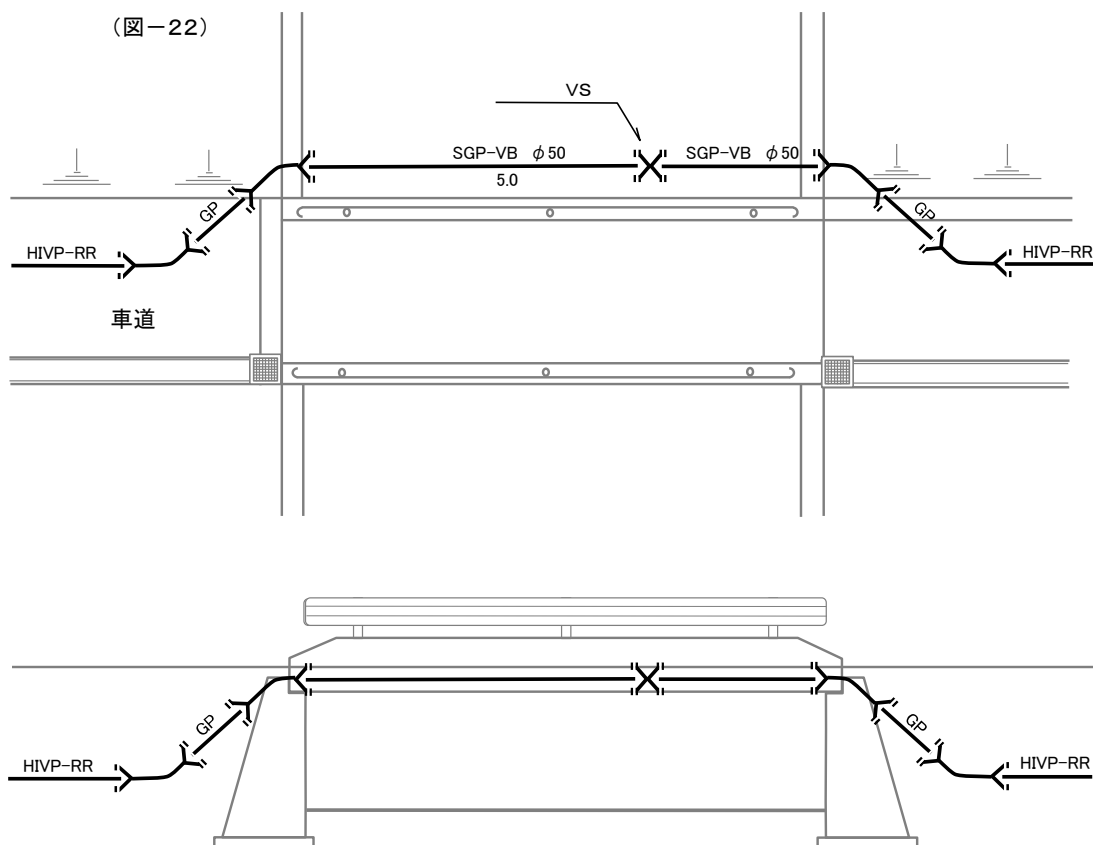
(図-21)

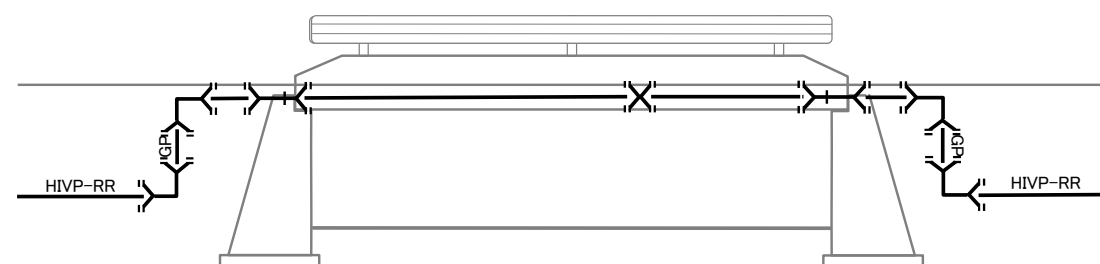
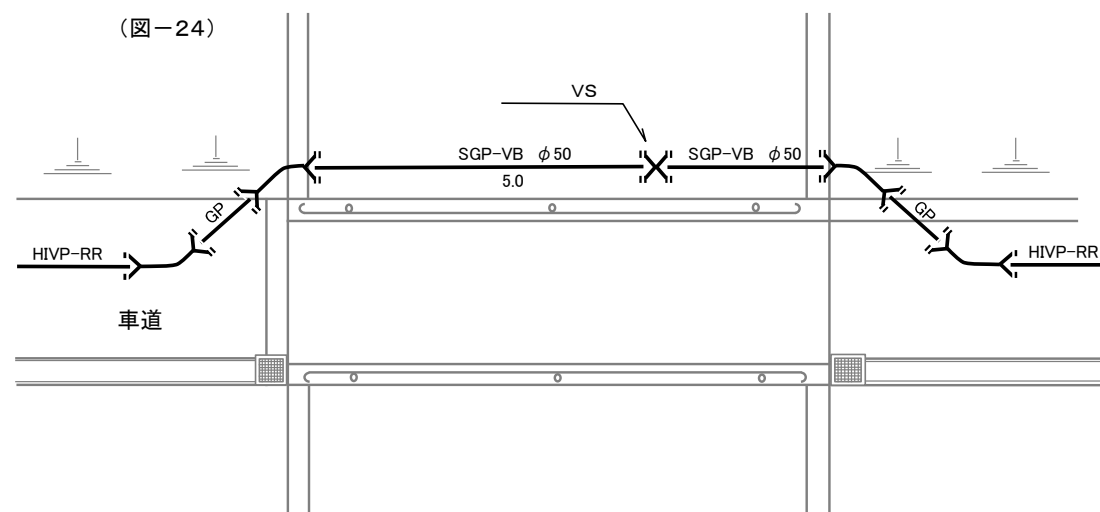
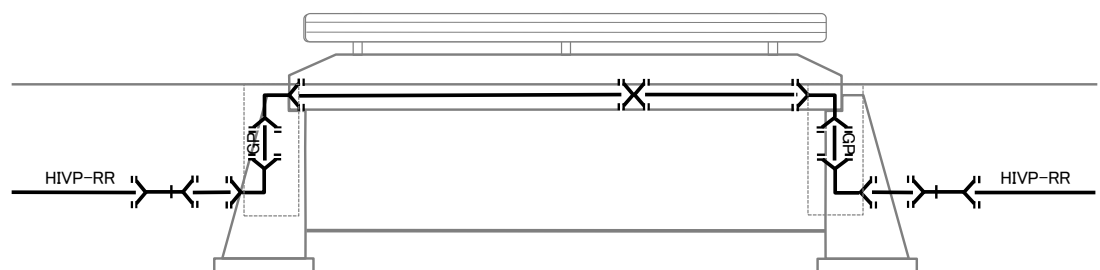
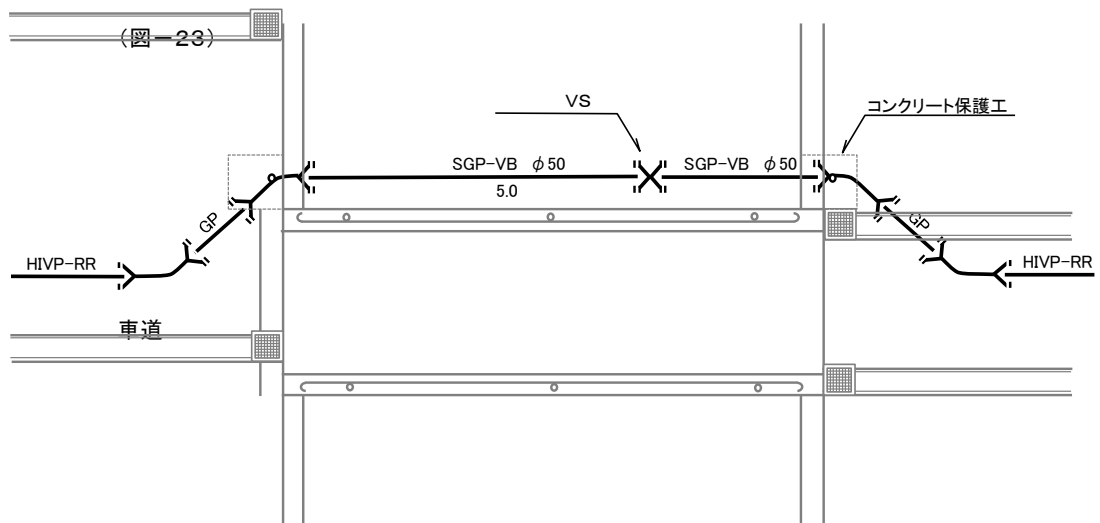


(6) 水路上越方法

水路上越方法の標準配管方法は下記図面のとおりとする。

(図-22)





(7) 拘束延長計算表

(新設用)

H=(m)	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2
栓	6.35	5.75	5.30	4.95	4.66	4.42	4.23
90°	4.93	4.34	3.93	3.73	3.56	3.42	3.31
45°	3.61	3.39	3.22	3.09	2.99	2.90	2.83
22°1/2	2.96	2.83	2.73	2.65	2.59	2.54	2.49
11°1/4	2.54	2.46	2.41	2.36	2.33	2.30	2.28
5°5/8	2.29	2.25	2.22	2.20	2.12	2.16	2.15

設計条件

水圧: $P=7.0\text{kgf/m}^2$
 管外形: $D=60\text{mm}$
 摩擦係数: $\mu=0.3$
 土の単位体積重量: $\gamma=1.6\text{t/m}^3$
 安全率: $S=1.25$
 試掘可能延長: $L=2.0\text{m}$ 加算する
 異形管背面土圧: 加算しない

(連絡等用)

H=(m)	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2
栓	4.08	3.49	3.04	2.68	2.40	2.16	1.97
90°	2.55	1.98	1.71	1.51	1.34	1.20	1.09
45°	1.38	1.16	1.00	0.87	0.70	0.67	0.60
22°1/2	0.73	0.60	0.50	0.42	0.36	0.31	0.26
11°1/4	0.30	0.23	0.18	0.13	0.10	0.07	0.04
5°5/8	0.06	0.02	---	---	---	---	---

設計条件

水圧: $P=7.0\text{kgf/m}^2$
 管外形: $D=60\text{mm}$
 摩擦係数: $\mu=0.3$
 土の単位体積重量: $\gamma=1.6\text{t/m}^3$
 安全率: $S=1.25$
 試掘可能延長: $L=2.0\text{m}$ 加算せず
 異形管背面土圧: 加算する

(8) 配水細管(φ50mm)用記号及び名称

配水細管(オフセット)作成用記号及び名称については配管詳細図(オフセット)作成用記号及び名称全集を参照のこと

第 6 章

配管詳細図（オフセット）作図、
給水台帳及び弁栓台帳作成規定

2026（令和 8）年 7 月
鈴 鹿 市 上 下 水 道 局

目 次

I 配管詳細図（オフセット）作図規定

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 適 用 | 〈 6-3 〉 |
| 2. 図面の大きさ及び紙質 | 〈 6-3 〉 |
| 3. 製図の文字及び線 | 〈 6-3 〉 |
| 4. 図面の構成 | 〈 6-3 〉 |
| 5. 完成図の提出 | 〈 6-4 〉 |
| 6. 縮 尺 | 〈 6-4 〉 |
| 7. 作図上の表示 | 〈 6-4 〉 |
| 8. 配管詳細図作成例 | 〈 6-5 〉 ～ 〈 6-15 〉 |
| 9. 耐震補強継手設置の配管詳細台帳作成例 | 〈 6-17 〉 ～ 〈 6-16 〉 |

II 給 水 台 帳 作 成 規 定

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. 給水台帳作成例 | 〈 6-17 ～ 6-18 〉 |
|------------|-----------------|

III 弁 栓 台 帳 作 成 規 定

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. 弁栓台帳作成例 | 〈 6-19 ～ 6-21 〉 |
|------------|-----------------|

1. 摘 用

- (1) この要項は鈴鹿市水道局の『配管詳細台帳』図の作図規定を定めるものである。
- (2) 製図一般・記号・線の一般的用法、その他、この要項に定めのないものについてはJISZ8310～Z8318、土木学会制定「土木製図基準」及びその他関係規格等によるものとする。

2. 図面の大きさ及び紙質

- (1) 図面の紙質 製図用ケント紙(連量225kg)
- (2) 図面の書式 黒枠(5mm) 青枠(1mm) 5mm方眼印刷(任意)
- (3) 用紙の大きさ A3サイズ(420×297mm)
- (4) 内図郭寸法 400×250mm

3. 製図の文字及び線

- (1) 製図は墨入れ又は電子製図とし、容易に消去できるものは認めない。かすれ線や太さの不平等がないよう明確に書くこと。
- (2) 線の太さは次のとおりとする。

摘要	太さ	単位
布設管(新設)	0. 5	mm
布設管(既設)	0. 1	mm
給水管	0. 3	mm
寸法線	0. 1	mm
断面図	0. 3	mm
地形線	0. 1	mm

- (3) 文字は横書きを原則とし明確に書き、数字は三桁ごとに間隔をあけて書くこと。
- (4) 文字(数字を含む)記号の大きさは原則として 5.0、4.0、3.0、2.5、2.2 ミリの5種類とする。
- (5) 数字表記は原則として小数点第2位まで(小数点第3位四捨五入)のメートルとし、この場合単位記号をつけない。

4. 図面の構成

完成図は工事の内容に応じ次にあげるものをもって構成する。

- (1) 表題欄

別表－1に示すものを表紙とする。

管種延長を記入する表には、管種・接合形式・口径別に分けて延長を記入し、また導水管・送水管・配水管の種別も監督員に確認してから分けて記入する。

- (2) 位置図

位置図(別表－2)は工事路線の所在地を示すもので『施設管理図(戸番図)』又は鈴鹿市ウェブサイトの地理情報にある地形図もしくは都市計画図等に工事箇所を明記し、目的物を適時記入すること。ただし『施設管理図(戸番図)』を使用する場合は、工事に関連する箇所以外の水栓番号及び使用者名は記載しないこと。(鈴鹿市ウェブサイト 地理情報 地形図の利用を推奨)

なお工事箇所については0. 9ミリ、寸法線については0. 5ミリの線の太さで(開始測点及び終了測点も)明記すること。

縮尺は表示しない(作図は1/1500～1/2500を目安とする)。

(3) 配管詳細図(H30)

- a. 別表－3に定める様式に作図する。なお作図に当たって管の形質寸法及び布設延長・占用位置・付属構造物の位置等を記入する。また、町名や目標となる建物等の名称、使用者の氏名など必要な事項を記入する。
- b. 工事始点・終点、または曲管、丁字管、平面的な折れや分岐箇所は近辺の永年埋設物・撤去される恐れのないマンホールの中心点・地先境界の角等から2点以上を定め水平距離を測定し記入する。なお曲管については、平面的な折れがある箇所のみ2点間距離を記入すること。
- c. 既設の制水弁及び消火栓・空気弁・既設配管等を図示する。
- d. 工事の実施に際し調査した、他占用者が管理する占用物件を図示する。

(4) 横断面図(H30)

- a. 作図例に基づき、新設管、他占用者の埋設物の形質寸法・占用位置・土被りを各路線の必要箇所ごとに明示する。
- b. 工事の実施に際し調査した、他占用者が管理する占用物件を図示する。

5. 完成図の提出

図面の順序は次の通りとする。

1. 表題欄
2. 位置図
3. 配管詳細図
4. その他必要図面

6. 縮 尺

縮尺については原則として1／300とする。

7. 作図上の表示

- (1) 図面は原則として『北』または『西』を上方にする。
- (2) 案内図(位置図)・配管詳細図には必ず方位を記入すること。
- (3) 平面図は南から北、または西から東へ図番が順番にくるようにし、用紙の右端と次頁左端がつながるように分かりやすく書くこと。
- (4) 作図に用いる管種及び接合形式の表記は以下の通りとする。

管種	接合形式	平面図での表記	横断面図での表記
DCIP(EP)	K形	K形	K形
	NS形	NS-1、NS-3、NS-S	NS形
	GX形	GX-1、GX-S	GX形
HPPE	EF	HPPE (HPPE-EF)	HPPE
GP	－	GP (SGP-PB)、 GP (SGP-VB)	GP
HIVP	RR	HIVP (HIVP-RR)	HIVP

－：空白とする

平面図での表記について、特に必要な場合は()を使用
上表に無いものは局担当者と協議のこと

- (5) 延長計上の統一
 - a. 泥吐管は平面延長(制水弁を含む)を計上する。
 - b. 片落管は大口径管の延長に加える。
- (6) 給水管の引込箇所、管種、口径を記入すること。
- (7) 止むを得ず旧様式(平成25年6月末までのもの)を使用する場合、表記内容について局担当者と協議を行うこと。ただし用紙サイズは本章第2項(3)に従うこと。
- (8) 弁栓類の竣工時又は修繕工事実施時に、弁栓属性情報(基準書P6-19参照)を作成する。

8. 配管詳細図作成例

配管詳細台帳 表紙（形状・寸法）

430

190

300

30

41

95

94

69

61

オフセット番号

(戸番図番号)

35

190

300

配管詳細台帳

137

52

令和 年度 () 第 号 鈴鹿市 事業

工事名

施工場所

165

85

管 種

接合形式

口径

延長

管 種

接合形式

口径

延長

163

190

183

192

80

監督員

工期

自 令和 年 月 日

至 令和 年 月 日

施工業者

370

73

51

監督員

監督員

監督員

監督員記名欄は、やむを得ない場合右記の表記も認める。

4.0mm

0.3mm

18.0mm

①

セット番号

R5 - 99

(戸番図番号)

H10 - 199

②

配管詳細台帳

4.5mm

0.3mm

令和⑤年度（ ）第999号 鈴鹿市 上水道 事業

工事名 ③④町配水管布設工事

施工場所 ⑤⑥町

4.0mm

0.3mm

2.5mm

0.3mm

管種	接合形式	口径	延長	管種	接合形式	口径	延長	
3.0mm ⑦ D20P(EP)	6X型	φ50	25.0	GP			6.2	
HPPE	EF	φ50	15.5					

7.5mm

7.0mm

4.0mm

3.0mm

0.3mm

⑧

担当者

⑨

期

自 令和⑤年 4 月 10 日

至 令和 5 年 5 月 20 日

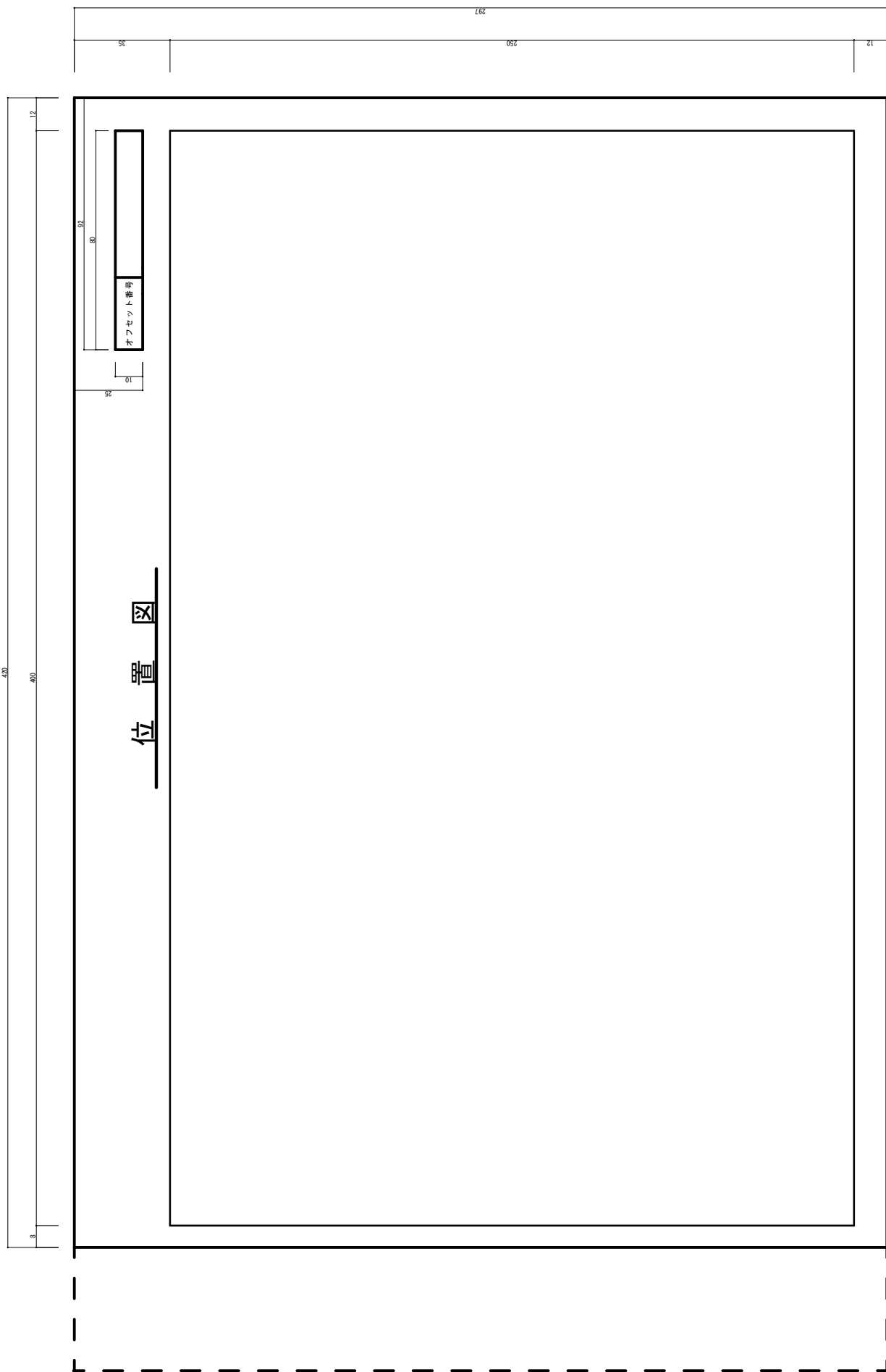
⑩

施工業者

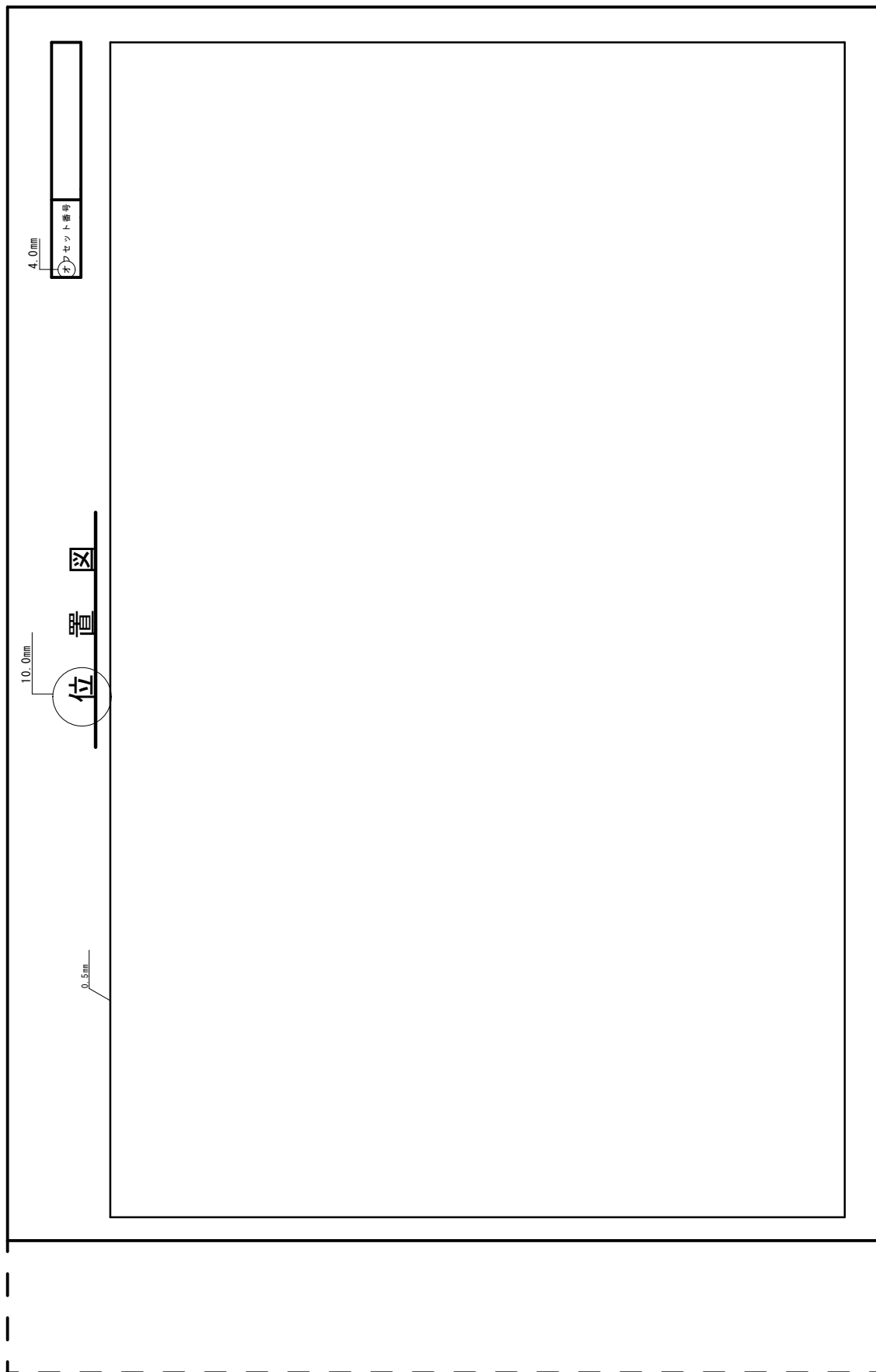
(6-6)

別表－1－2

位置図（形状・寸法）



位置図（文字）



平面図（形状・寸法）

400

8

400

12

12

11

170

12

22

30

22

30

図番	R - (/)	令和	年度 ()	第	号
地区	鈴鹿市	工事番号	工事名		

○号線

図線が正確に重なる場合、この位置に図線番号を置く

※平面図枠内の5mm方眼表記は任意とする。

250

297

12

35

10.0mm

平面図

4.5mm

中枠 (0.2mm)

外枠 (0.5mm)

図番	R - (/)	工事番号	令和	年度 ()	第	号
地区	鈴鹿市	工事名				

オフセット番号
R44-99
(戸番図番号)
92-4-01
92-4-02

配管詳細台帳

令和4年度()第720号	鈴鹿市	上水道	事業
工事名	〇〇ー丁目外配水管布設工事		
施工場所	鈴鹿市 〇〇ー丁目他		

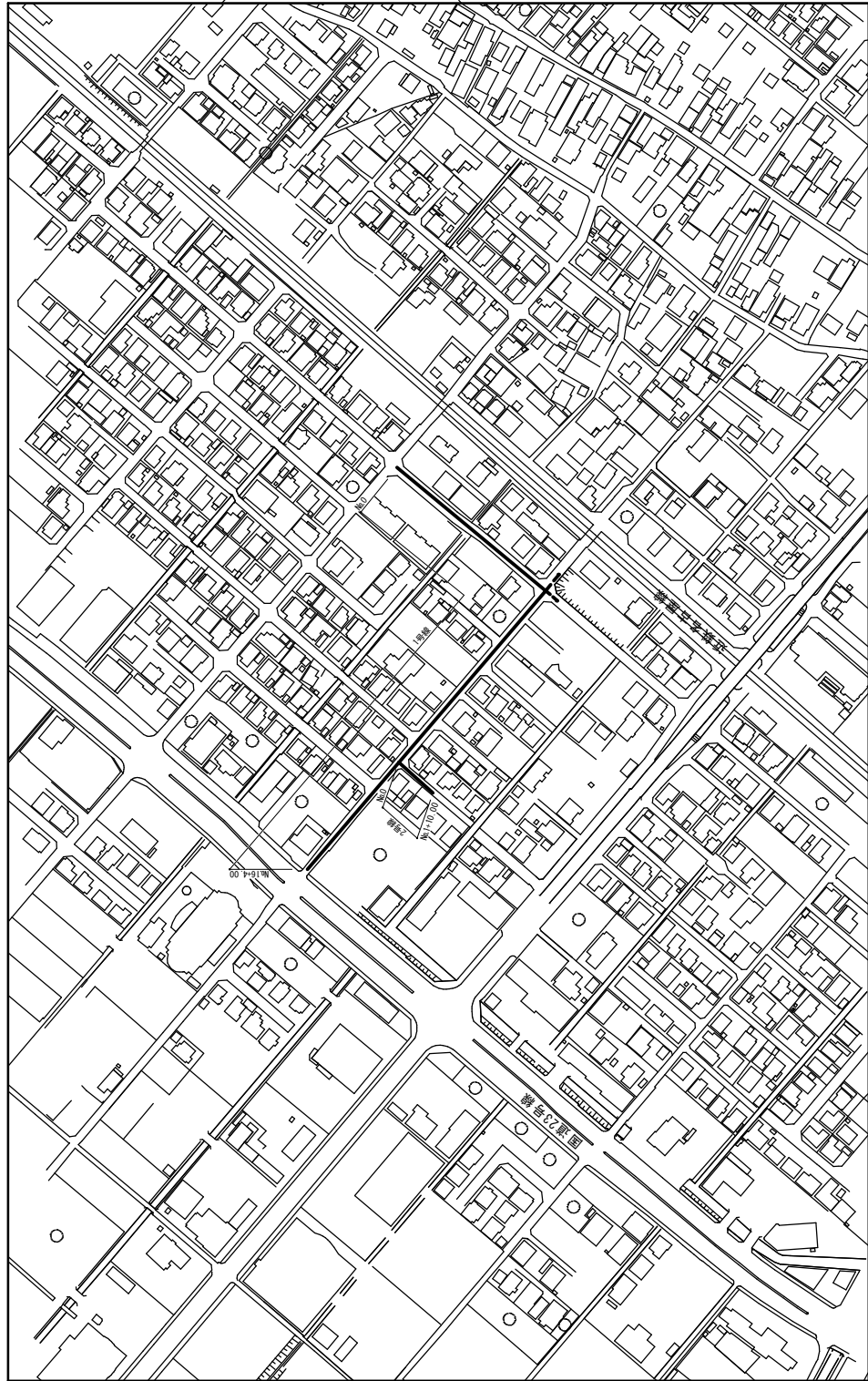
管 種	接合形式	口 径	延 長	管 種	接合形式	口 径	延 長
HPPE	EF	φ50	4010				
DCIP	GX形	φ700	3802				

※監督員が2名の場合は連名で表記

監督員	〇〇・〇〇	
工 期	自 令和4年	12月 10日
	至 令和5年	3月 10日
施工業者	〇〇建設㈱	

オフセット番号 R4-99

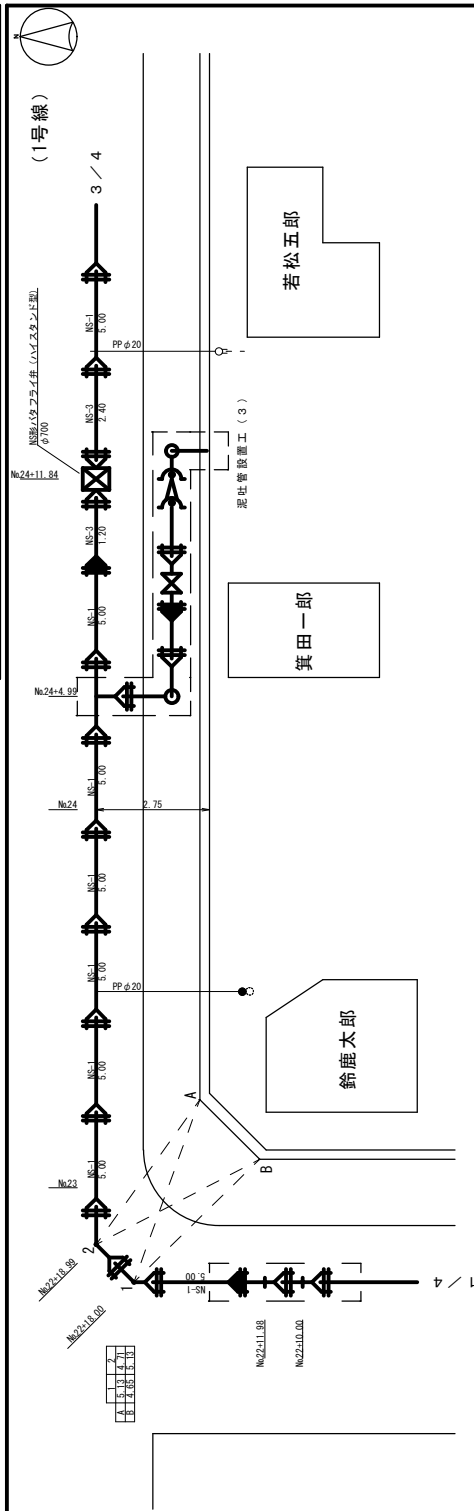
位置図



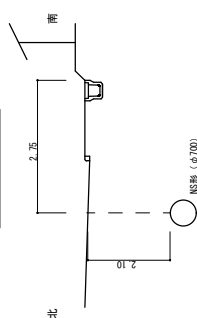
個人宅名称等が記入された位置図は使用しないこと。

平面図

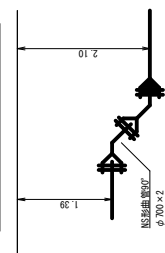
図番	R4 - 99 (2 / 4)	工事番号	令和 4 年度 () 第 270 号
地区	鈴鹿市〇〇一丁目他	工事名	〇〇一丁目他配水管布設工事



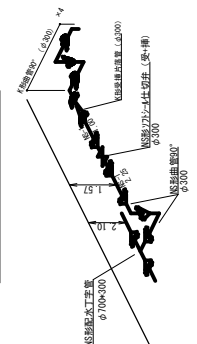
横断面図 (No.24)



No.22+10.00～No.22+11.98詳細図



配水管設断面工 (3) 詳細図



9. 耐震補強継手設置の配管詳細台帳作成図例

オフセット番号

(戸番図番号)

配管詳細台帳

令和 年度 () 第 号 鈴鹿市 事業

工事名

施工場所

管 種

接合形式

口径

延 長

管 種

接合形式

口径

延 長

配水管詳細台帳表紙に票を追加する

工事番号

工 事 名

継 手 補 強

業 者 名

監 督

監督員

工 期

施工業者

250

395

オフセット番号
(戸番図番号)

配管詳細台帳

令和 年度 () 第 号 鈴鹿市 事業
工事名
施工場所

管 種	接合部式	口 径	延 長	管 種	接合部式	口 径	延 長

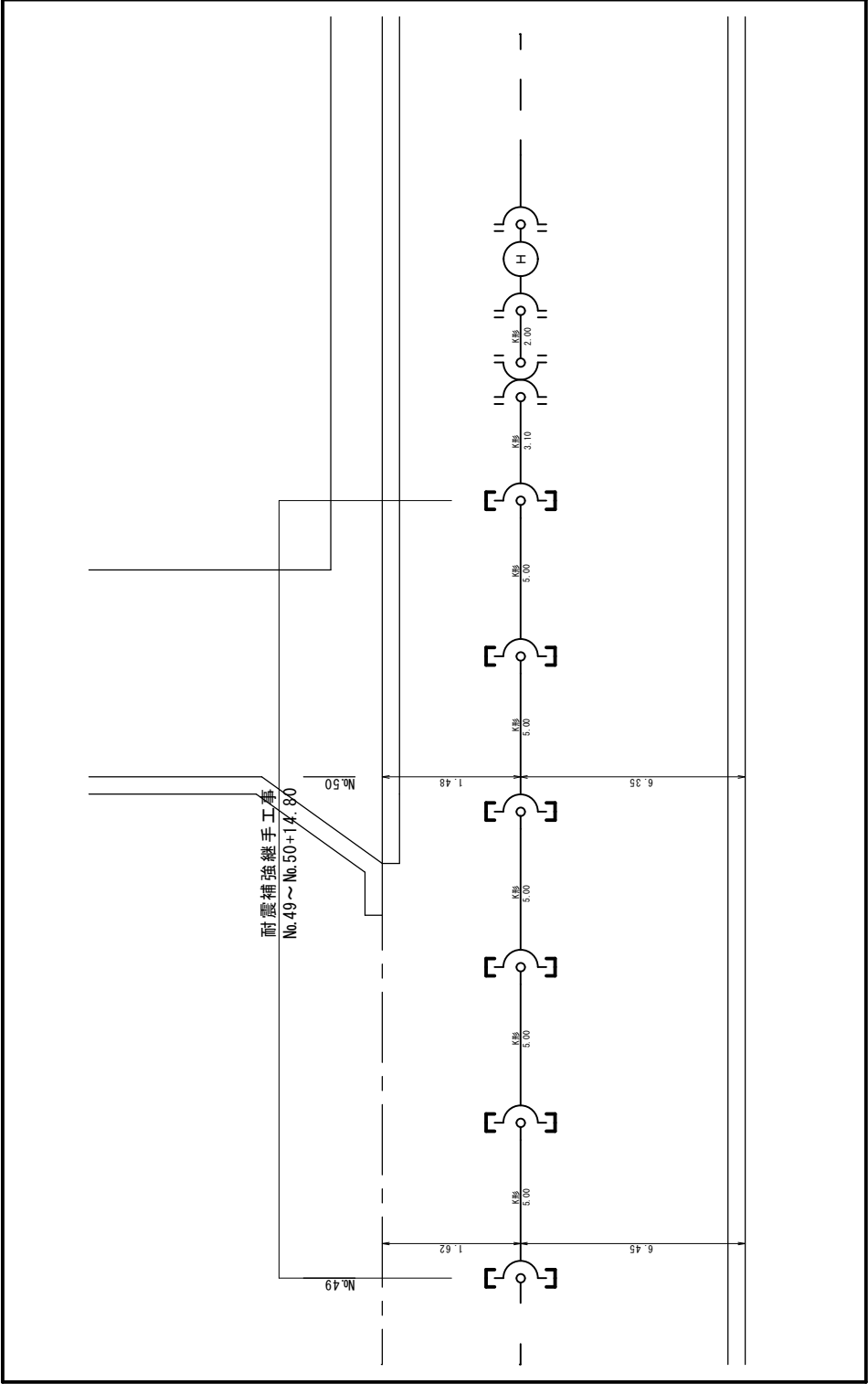
※監督員が2名の場合は連名で表記

工事番号	工 事 名	継 手 補 強	業 者 名	監 督
00-99	〇〇ー丁目配水管附帯補強工事	No.49~No.50+14, 80(6箇所)	〇〇工業㈱	〇〇 〇〇

監督員	自 令 和 年 月 日 至 令 和 年 月 日
工 期	
施工業者	

平面図

図番	R	-	(	/	)	工事番号	令和	年度	(	)	第	号
地区	鈴鹿市					工事名						



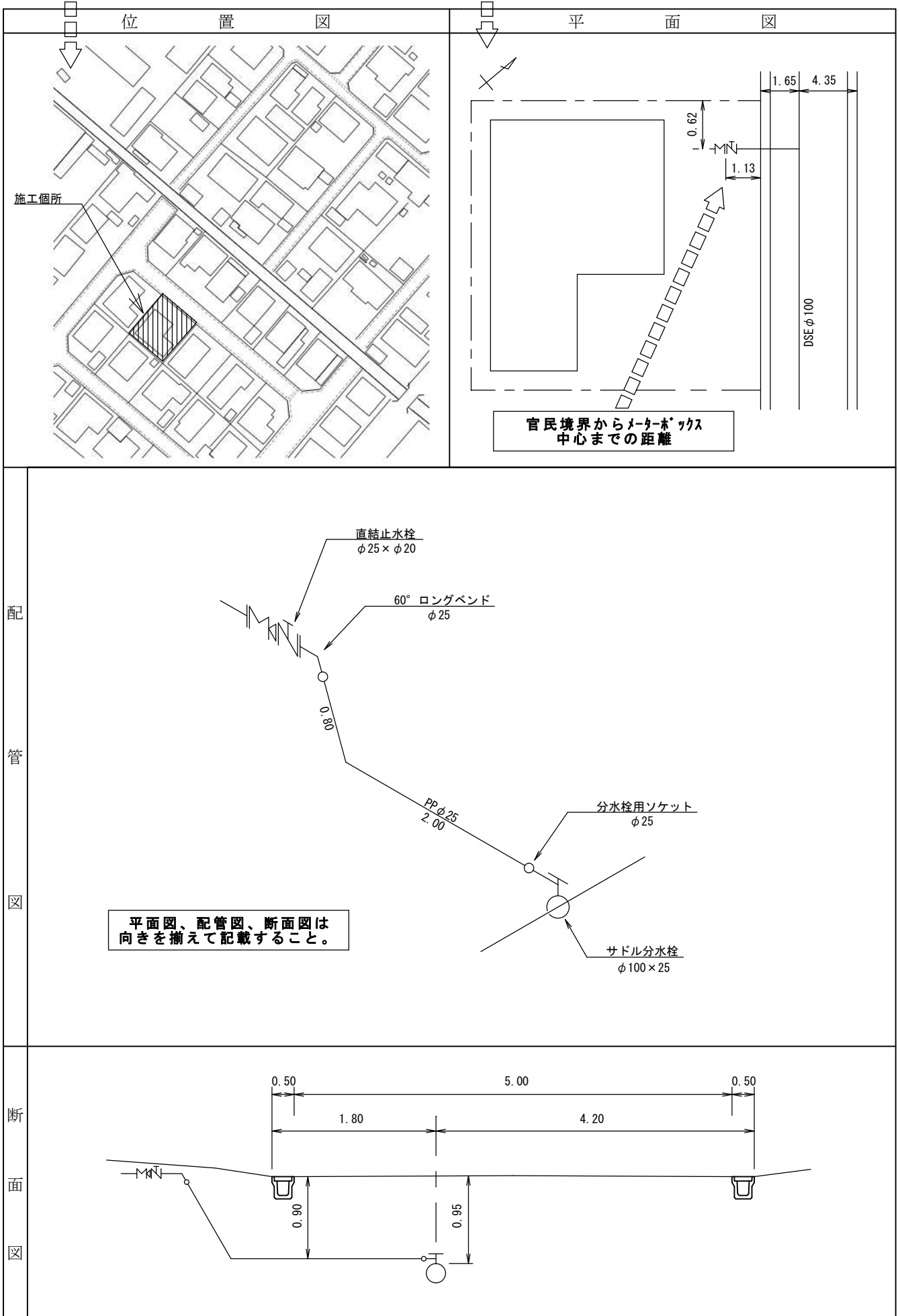
水栓番号

< 6-17 >

住宅地図は使用しないこと。

平面図に方角を記入すること。

水栓番号



弁栓属性情報

弁栓台帳

弁栓番号	
施工業者名	
メーカー名	
種類	
形式	
口径	
補修弁の有無	
完成(設置)年月日	
オフセット番号	
給水戸番図	
備考(筐蓋メーカー)	

修繕情報

整 理 番 号	年 月 日	内 容 と 施 工 者

その他の情報

開閉区分	
一次圧	
二次圧	
備考1	
備考2	
標高	
用途	
設置状態	
配水地区域	
関連図面及び水栓番号	

弁栓属性情報

弁栓台帳

新設時記入例(特殊な弁の場合の記入方法は監督員と協議)

弁栓番号	X 0 0 0 0 0 0 当局が割り当てる番号を記載
施工業者名	(株)〇〇工業
メーカー名	(株)〇〇製作所
種類	消火栓、空気弁、制水弁、泥吐弁、減圧弁 等
形式	単口、急速形、NS形ソフツール仕切弁(受+挿)、HPPE挿口付ソフツール仕切弁 等
口径	φ50(本管径 φ〇〇) ※消火栓、空気弁、減圧弁は本管径も記入。消火栓の口径はφ65
補修弁の有無	無し / 有り
完成(設置)年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日 工事完成日を記入
オフセット番号	H 3 0 - 9 9 9
給水戸番図	9 9 - 9 - 9 9
備考(筐蓋メーカー)	筐・蓋 (株)〇〇機器 ※筐と鉄蓋+受枠のメーカーを記載。筐と蓋メーカーが異なる場合は併記する。

修繕情報

整 理 番 号	年 月 日	内 容 と 施 工 者

その他の情報

開閉区分	全開 / 全閉 / 無し(消火栓、空気弁、減圧弁の場合)
一次圧	当局が管理する情報を記入
二次圧	〃
備考1	〃
備考2	〃
標高	〃
用途	〃
設置状態	〃
配水地区域	〃
関連図面及び水栓番号	〃

弁栓属性情報

弁栓台帳

修繕工事記入例

弁栓番号	修繕対象となる既存弁栓類の情報を記載
施工業者名	〃
メーカー名	〃
種類	〃
形式	〃
口径	〃
補修弁の有無	〃
完成(設置)年月日	〃
オフセット番号	〃
給水戸番図	〃
備考(筐蓋メーカー)	〃

工事内容を簡潔に書くと共に
施工者を記入する。

修繕情報

整 理 番 号	年 月 日	内 容 と 施 工 者
999999	平成〇〇年〇月〇日(実際の施工日)	筐調整 (株)〇〇工業

その他の情報

開閉区分	修繕対象となる既存弁栓類の情報を記載
一次圧	〃
二次圧	〃
備考1	〃
備考2	〃
標高	〃
用途	〃
設置状態	〃
配水地区域	〃
関連図面及び水栓番号	〃

第 7 章

配管詳細図（オフセット）作成用

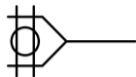
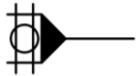
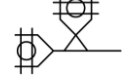
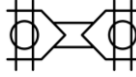
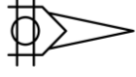
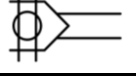
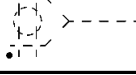
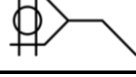
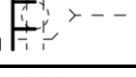
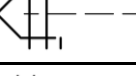
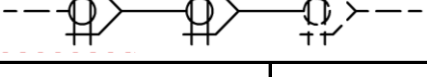
記号及び名称集

2026（令和 8）年 7 月
鈴 鹿 市 上 下 水 道 局

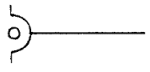
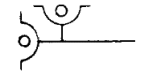
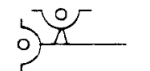
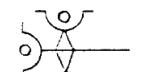
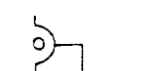
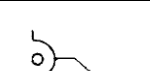
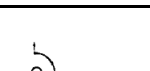
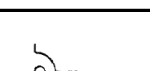
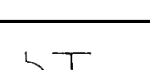
目 次

1. ダクタイル鋳鉄管類	〈 7-3 〉 ～ 〈 7-5 〉
2. 耐衝撃性塩化ビニール管類	〈 7-6 〉
3. ゴム輪型硬質塩化ビニール管類	〈 7-7 〉 ～ 〈 7-8 〉
4. 鋼管類	〈 7-9 〉 ～ 〈 7-10 〉
5. フランジ類	〈 7-11 〉
6. 鋳鉄弁類	〈 7-12 〉 ～ 〈 7-13 〉
7. その他の材料	〈 7-14 〉 ～ 〈 7-15 〉
8. 配水用ポリエチレン管関連資材	〈 7-16 〉 ～ 〈 7-17 〉

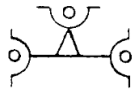
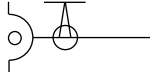
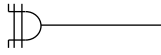
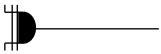
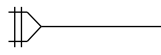
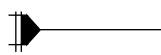
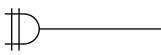
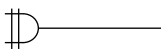
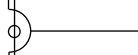
ダクトイル鋳鉄管類

品 名	オフセット記入名称	図面記号	備 考
直管	GX-1φ○○ GX-Sφ○○		
直管(ライナあり)	同上		
二受丁字管(同径)	GX形二受丁字管 φ○○×○○		
二受丁字管(異径)	GX形二受丁字管 φ○○×△△		
継ぎ輪	GX形継ぎ輪φ○○		
片落管	GX形受挿片落管 φ○○×△△		
	GX形挿受片落管 φ○○×△△		
両受短管	GX形両受短管φ○○		
乙字管	GX形乙字管 φ○○×H△△		
P-Link	GX形P-Linkφ○○		
G-Link			記号のみ記載する。
その他異形管	GX形(資材名)φ○○		左図は45° 曲管の例
制水弁(両受, 片受)	GX形ソフトシル仕切弁 φ○○		左図は両受の例
バタフライ弁(両受, 片受)	GX形バタフライ弁 φ○○		左図は両受の例
メカニカル栓	GX形メカ栓φ○○		
メカニカル帽	メカ帽φ○○		NS形と供用であるため形式を書かない。
接合部表記例			

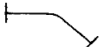
ダクタイル鋳鉄管類

品 名	オフセット記 入 名 称	図 面 記 号	備 考
直管1種	K-1△φ□□		接合形が違う場合は、それぞれの形を記入(KF, SⅡ等)。
直管3種	K-3△φ□□		接合形が違う場合は、それぞれの形を記入(KF, SⅡ等)。
二受丁字管	K形二受丁字管 φ□□×φ□□		接合形が違う場合は、それぞれの形を記入(KF, SⅡ等)。
	K形二受丁字管 φ□□×φ△△		又、二受の口径が同じ管は上段、 違う管は下段を記入。
三受十字管	K形三受十字管 φ□□×φ□□		接合形が違う場合は、それぞれの形を記入(KF, SⅡ等)。
	K形三受十字管 φ□□×φ△△		又、三受の口径が同じ管は上段、 違う管は下段を記入。
90°曲管	K形曲管 φ□□×90°		接合形が違う場合は、それぞれの形を記入(KF, SⅡ等)。
45°曲管	K形曲管 φ□□×45°		接合形が違う場合は、それぞれの形を記入(KF, SⅡ等)。
22°1/2曲管	K形曲管 φ□□×221/2°		接合形が違う場合は、それぞれの形を記入(KF, SⅡ等)。
11°1/4曲管	K形曲管 φ□□×111/4°		接合形が違う場合は、それぞれの形を記入(KF, SⅡ等)。
5°5/8曲管	K形曲管 φ□□×55/8°		接合形が違う場合は、それぞれの形を記入(KF, SⅡ等)。
受挿片落管	K形受挿片落管 φ□□×φ△△		接合形が違う場合は、それぞれの形を記入(KF, SⅡ等)。
挿受片落管	K形挿受片落管 φ□□×φ△△		接合形が違う場合は、それぞれの形を記入(KF, SⅡ等)。
フランジ付き丁字管	K形フランジ付き丁字管 φ□□×φ□□		接合形が違う場合は、それぞれの形を記入(KF, SⅡ等)。
	K形フランジ付き丁字管 φ□□×φ△△		又、受とフランジの口径が同じ管は 上段、違う管は下段を記入。

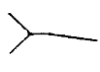
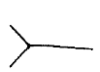
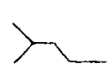
ダクトイル鋳鉄管類

品 名	オフセット記 入 名 称	図 面 記 号	備 考
排水丁字管	K形排水丁字管 $\phi \square\square \times \phi \triangle\triangle$		接合形が違う場合は、それぞれの形を記入(KF, SⅡ等)。
継ぎ輪	K形継輪 $\phi \square\square$		接合形が違う場合は、それぞれの形を記入(KF, SⅡ等)。
短管1号	K形短管1号 $\phi \square\square$		接合形が違う場合は、それぞれの形を記入(KF, SⅡ等)。
短管2号	K形短管2号 $\phi \square\square$		接合形が違う場合は、それぞれの形を記入(KF, SⅡ等)。
栓	K形栓 $\phi \square\square$		接合形が違う場合は、それぞれの形を記入(KF, SⅡ等)。
うず巻式フランジ付き 丁字管	K形うず巻式フランジ付き丁字管 $\phi \square\square \times \phi \triangle\triangle$		接合形が違う場合は、それぞれの形を記入(KF, SⅡ等)。
SⅡ形直管	SⅡ形－ $\triangle \phi \square\square$		管種は $\triangle$ に記入
			受口にライナを装着する場合は左図のように受口内を塗りつぶす。
NS形直管	NS形－ $\triangle \phi \square\square$		管種は $\triangle$ に記入
			受口にライナを装着する場合は左図のように受口内を塗りつぶす。
NS形帽	NS形帽 $\phi \square\square$		
S形直管	S形－ $\triangle \phi \square\square$		管種は $\triangle$ に記入
改良S形直管	改S形－ $\triangle \phi \square\square$		S形と改良S形の記号は同じで、名称を変える。
KF形直管	KF形－ $\triangle \phi \square\square$		管種は $\triangle$ に記入

耐衝撃性硬質塩化ビニール管

品名	オフセット記入名称	図面記号	備考
HIVP直管	HIVP φ□□		
HITSソケット	HIソケット φ□□		
HITS異径ソケット	HI異径ソケット φ□□ × φ△△		G異径ソケットと同じ記号なので 必ず名称を記入。
HITS90°ベンド	HIベント φ□□ × 90°		
HITS45°ベンド	HIベント φ□□ × 45°		
HITS22°1/2 ベンド	HIベント φ□□ × 22°1/2		
HITSエルボ	HIエルボ φ□□		GIエルボやフランジ曲管と同じ記号 なので必ず名称を記入。
HITSキャップ	HIキャップ φ□□		
HITS バルブソケット	HIバルブソケット φ□□		

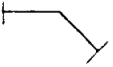
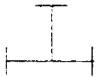
ゴム輪型硬質塩化ビニール管

品 名	オフセット記 入 名 称	図 面 記 号	備 考
HIVP-RR直管	HIVP-RRφ□□ HI-RRφ□□		レイアウト上の都合では、HI-RRφ□□でも可。
両受ソケット	RR両受ソケット φ□□×φ△△		
片受ソケット	RR片受ソケット φ□□		
異径ソケット (挿口×受口)	RR異径ソケット(挿口×受口) φ□□×φ△△		
異径ソケット (挿口×挿口)	RR異径ソケット(挿口×挿口) φ□□×φ△△		
90°ベンド	RRベンド φ□□×90°		
45°ベンド	RRベンド φ□□×45°		
22°1/2ベンド	RRベンド φ□□×22°1/2		
11°1/4ベンド	RRベンド φ□□×11°1/4		
5°5/8ベンド	RRベンド φ□□×5°5/8		
Sベンド	Sベンドφ□□		
ロングドレッサー ジョイント	ロングドレッサー ジョイントφ□□		
VAドレッサー	VAドレッサー φ□□		
VCドレッサー	VCドレッサー φ□□		
VSジョイント	VSジョイント φ□□		

ゴム輪型硬質塩化ビニール管

品 名	オフセット記入名称	図面記号	備 考
VCジョイント	VCジョイント $\phi \square \square$		
VC短管1号	VC短管1号 $\phi \square \square$		
VC短管1号 (ロング型)	VC短管1号L型 $\phi \square \square$		
VC短管2号	VC短管2号 $\phi \square \square$		
片落VC短管1号	片落VC短管1号 $\phi \square \square \times \phi \triangle \triangle$		
片落VC短管2号	片落VC短管2号 $\phi \square \square \times \phi \triangle \triangle$		
片落VSジョイント	片落VSジョイント $\phi \square \square \times \phi \triangle \triangle$		
片落VCジョイント	片落VCジョイント $\phi \square \square \times \phi \triangle \triangle$		
塩ビ管用曲管 (鋳鉄製-K形)	鋳鉄製VP用曲管 $\phi 50 \times \diamond \diamond ^\circ$		記号は角度に応じて記入。 左の記号は90° の例。
塩ビ管管末用キャップ (鋳鉄製)	鋳鉄製VP用キャップ $\phi 50$		
塩ビ管用丁字管 (鋳鉄製-K形)	鋳鉄製VP用丁字管 $\phi 50 \times \phi 50$		

鋼管類

品名	オフセット記入名称	図面記号	備考
鋼管 (SGP-PB) 鋼管 (SGP-VB)	GP φ□□		特殊な鋼管を使用した場合、その旨を別途記載すること。
90° エルボ	Gエルボ φ□□×90°		HIエルボやフランジ曲管と記号が同じなので必ず名称を記入すること。
45° エルボ	Gエルボ φ□□×45°		
異径エルボ	G異径エルボ φ□□×φ△△×90°		
チーズ	Gチーズ φ□□		
異径チーズ	G異径チーズ φ□□×△△		
六角ニップル	Gニップル φ□□		
プラグ	Gプラグ φ□□		
ソケット	Gソケット φ□□		
異径ソケット	G異径ソケット φ□□×φ△△		HI異径ソケットと記号が同じなので必ず名称を記入すること。
ブッシング	ブッシング φ□□×φ△△		
HIナットソケット	HIナットソケット φ□□		
HIナットチーズ	HIナットチーズ φ□□		

鋼管類

品名	オフセット記入名称	図面記号	備考
HIナット異径 チーズ	HIナット異径チーズ φ□□×φ△△		
HIナットエルボ	HIナットエルボ φ□□		

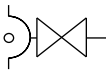
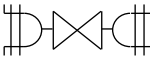
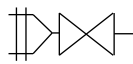
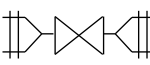
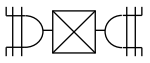
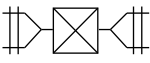
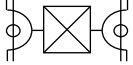
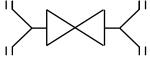
フランジ類

品名	オフセット記入名称	図面記号	備考
異径フランジ	異径フランジ $\phi \square \square \times \phi \triangle \triangle$		
フランジ曲管 (90°)	フランジ曲管 $\phi \square \square \times 90^\circ$		HIエルボやGIエルボと同じ記号なので 必ず名称を記入。
フランジ蓋	$\phi \square \square$		
合フランジ	合フランジ $\phi \square \square$		
フランジ短管	フランジ短管 $\phi \square \square \times H \nabla \nabla$		RF形－RF形
	フランジ短管 $\phi \square \square \times H \nabla \nabla$		RF形－GF形

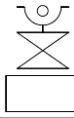
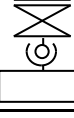
鑄鉄弁類

品 名	オフセット記入名称	図面記号	備 考
単口消火栓 (ソフトシールタイプ)	単口消火栓 φ75		
双口消火栓 (ソフトシールタイプ)	双口消火栓 φ100		
補修弁 (ボール式)	ボール式補修弁 φ□□×H▽▽		
補修弁 (水管橋用, スリース式)	スリース式補修弁 φ□□×H▽▽		
凍結防止急速空気弁 (水管橋用, エアリス型)	急速空気弁 (エアリス型) φ□□		
ソフトシール仕切弁	ソフトシール仕切弁 φ□□		
バタフライ弁	バタフライ弁 φ□□		
急速空気弁(甲型)	急速空気弁(甲型) φ□□		
急速空気弁(乙型)	急速空気弁(乙型) φ□□		
急速空気弁	急速空気弁 φ□□		
凍結防止 急速空気弁	凍結防止 急速空気弁 φ□□		
小型空気弁	小型空気弁 φ□□		
双口空気弁	双口空気弁 φ□□		
減圧弁	減圧弁 φ□□		

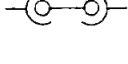
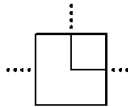
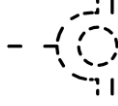
鑄鉄弁類

品名	オフセット記入名称	図面記号	備考
逆止弁	逆止弁φ□□		
スリースバルブ	スリースバルブφ□□		
丸ハンドルバルブ (ソフトシールタイプ)	2次側丸ハンドルバルブ φ□□		
K形ソフトシール仕切弁	K形ソフトシール仕切弁 φ□□		受挿し
SⅡ形ソフトシール仕切弁	SⅡ形ソフトシール仕切弁 φ□□		両受け
NS形ソフトシール仕切弁	NS形ソフトシール仕切弁 φ□□		受挿し
	NS形ソフトシール仕切弁 φ□□		両受け
SⅡ形バタフライ弁	SⅡ形バタフライ弁 φ□□		両受け
NS形バタフライ弁	NS形バタフライ弁 φ□□		両受け
KF形バタフライ弁	KF形バタフライ弁 φ□□		両受け
塩ビ管用ソフトシール仕切弁	塩ビ管用ソフトシール仕切弁 φ□□		
HPPE用ソフトシール仕切弁	HPPE用ソフトシール仕切弁 φ□□		挿口付

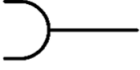
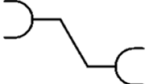
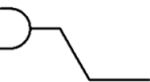
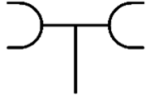
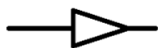
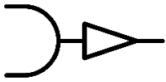
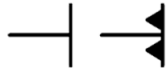
その他の材料

品 名	オフセット記 入 名 称	図 面 記 号	備 考
CAジョイント	CAジョイントφ□		
VAジョイント	VAジョイントφ□		
CIP用割丁字管 (捨バルブ付)	CIP用割丁字管φ□□ × φ△△(捨バルブ付)		異径も同径も同じ記号。
			※平成22年度削除
CIP用割丁字管	CIP用割丁字管 φ□□×φ△△		異径も同径も同じ記号。
耐震型割丁字管 (ソフトシル弁付)	耐震型割丁字管φ□□ × φ△△(ソフトシル弁付)		異径も同径も同じ記号。
可とう分岐割丁字管	可とう分岐割丁字管 φ□□×φ△△		異径も同径も同じ記号。
ビニールユニオン	ビニールユニオンφ□□		
エアーバック	エアーバック栓 φ□□		
ソケット (ポリエチレン管用継手)			
異径ソケット (ポリエチレン管用継手)			
ポリ・塩ビ管用継手 (ポリエチレン管用継手)			
異径ポリ・塩ビ管用継手 (ポリエチレン管用継手)			
逆止弁付直結止水栓			
量水器			

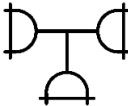
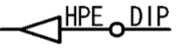
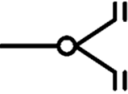
その他の材料

品名	オフセット記入名称	図面記号	備考
末端保護工			
ストレーナー	ストレーナーφ□□		
伸縮管	伸縮管φ□□		
ボール式 伸縮可撓管	ボール式 伸縮可撓管φ□□		
耐震補強継手	耐震補強継手 K形(A・T形)φ□□		
不断水弁	不断水弁φ□□		
不断水 切替弁(方向弁)	不断水切替弁(方向弁) φ□□×φ□□		□内のLは流向を表す
特殊押輪			

配水用ポリエチレン(HPPE)管 1

品名	オフセット記入名称	図面記号	備考
直管	HPPEφ□□		
EF片受直管	HPPE-EFφ□□		
EFソケット	EFφ□□、または EFソケットφ□□		
バンド	バンド φ□□×90°		90° ～11° 1/4 記号は角度に応じて記入。左記は90°
EF片受バンド	EF片受バンド φ□□×90°		90° ～11° 1/4 記号は角度に応じて記入。左記は90°
Sバンド	Sバンド Sバンドφ□□×H△△		
EF両受Sバンド	EF両受Sバンド EF-Sφ□□×H△△		
EF片受Sバンド	EF片受Sバンド EF-Sφ□□×H△△		
チーズ	チーズ φ□□, φ□□×φ△△		
EF両受チーズ	EF両受チーズ φ□□, φ□□×φ△△		
レデューサ	レデューサ φ□□×φ△△		
EFレデューサ	EFレデューサ φ□□×φ△△		
キャップ	キャップ φ□□		
EFキャップ	EFキャップ φ□□		
フランジ単管	フランジ単管 φ□□	形式1 形式2 	形式1:RF 形式2:GF

配水用ポリエチレン(HPPE)管 2

品 名	オフセット記 入 名 称	図 面 記 号	備 考
PPジョイント	PPジョイント $\phi \square \square$		
PPチーズ	PPチーズ $\phi \square \square, \phi \square \square \times \phi \triangle \triangle$		
PPベンド	PPベンド $\phi \square \square \times \bigcirc \bigcirc ^\circ$		90° ～11° 1/4 記号は角度に応じて記入。左記は90°
ダクタイル鋳鉄管用異種管継手	DIP継手 ※ $\phi \square \square \times \text{HPPE } \phi \square \square$		※: 管種(GX, NS, K, A等)
ダクタイル鋳鉄管用異種管継手(片落)	DIP継手 ※ $\phi \square \square \times \text{HPPE } \phi \square \square$		※: 管種(GX, NS, K, A等)
塩ビ管用異種管継手	PV継手 $\phi \square \square$		
変換ソケット	HPPE変換ソケット $\phi \square \square$		HPPE→PE PE用ソケットと同じ記号なので必ず名称を記入
異径変換ソケット	HPPE変換ソケット $\phi \square \square \times \phi \triangle \triangle$		HPPE→PE PE用ソケットと同じ記号なので必ず名称を記入

第 8 章

鈴鹿市水道工事承認資材一覧表

1. 承認資材リスト
2. 承認資材メーカー連絡先一覧表
3. 承認資材メーカー商標一覧表

2026（令和 8）年 7 月
鈴 鹿 市 上 下 水 道 局

令和8年度 内容変更箇所一覧表

[illegible]

A001 K形																		
単価番号	名称	規格	(1)クボタ	(2)日本鋼鉄	(3)栗本組工	(4)岡本	(5)ハズ	(7)通山組工所	(8)大成機工	(9)コスモ	(10)クロダイト	(19)イー・録造	(34)興和ゴム	(35)コ・キヤリタ	(44)城北化工	(49)サンエス建設	(53)山岡鉄管	(56)九州録鉄管
A0010001	K形録鉄管 φ75*4m	D水K-1内面EP	○	○	○													
A0010002	K形録鉄管 φ100*4m	D水K-1内面EP	○	○	○													
A0010003	K形録鉄管 φ150*5m	D水K-1内面EP	○	○	○													
A0010004	K形録鉄管 φ200*5m	D水K-1内面EP	○	○	○													
A0010005	K形録鉄管 φ250*5m	D水K-1内面EP	○	○	○													
A0010006	K形録鉄管 φ300*6m	D水K-1内面EP	○	○	○													
A0010007	K形録鉄管 φ350*6m	D水K-1内面EP	○	○	○													
A0010008	K形録鉄管 φ75*4m	D水K-3内面EP	○	○	○													
A0010009	K形録鉄管 φ100*4m	D水K-3内面EP	○	○	○													
A0010010	K形録鉄管 φ150*5m	D水K-3内面EP	○	○	○													
A0010011	K形録鉄管 φ200*5m	D水K-3内面EP	○	○	○													
A0010012	K形録鉄管 φ250*5m	D水K-3内面EP	○	○	○													
A0010013	K形録鉄管 φ300*6m	D水K-3内面EP	○	○	○													
A0010014	K形録鉄管 φ350*6m	D水K-3内面EP	○	○	○													
A0010017	二受丁字管 φ75*75	D水K内面EP I類			○	○	○	○				○						○
A0010018	二受丁字管 φ100*75	D水K内面EP I類			○	○	○	○				○						○
A0010019	二受丁字管 φ100*100	D水K内面EP I類			○	○	○	○				○						○
A0010020	二受丁字管 φ150*75	D水K内面EP I類			○	○	○	○				○						○
A0010021	二受丁字管 φ150*100	D水K内面EP I類			○	○	○	○				○						○
A0010022	二受丁字管 φ150*150	D水K内面EP I類			○	○	○	○				○						○
A0010023	二受丁字管 φ200*100	D水K内面EP I類			○	○	○	○				○						○
A0010024	二受丁字管 φ200*150	D水K内面EP I類			○	○	○	○				○						○
A0010025	二受丁字管 φ200*200	D水K内面EP I類			○	○	○	○				○						○
A0010026	二受丁字管 φ250*100	D水K内面EP I類			○	○	○	○				○						○
A0010027	二受丁字管 φ250*150	D水K内面EP I類			○	○	○	○				○						○
A0010028	二受丁字管 φ250*250	D水K内面EP I類			○	○	○	○				○						○
A0010029	二受丁字管 φ300*100	D水K内面EP I類			○	○	○	○				○					○	○
A0010030	二受丁字管 φ300*150	D水K内面EP I類			○	○	○	○				○					○	○
A0010031	二受丁字管 φ300*200	D水K内面EP I類			○	○	○	○				○					○	○
A0010032	二受丁字管 φ300*300	D水K内面EP I類			○	○	○	○				○					○	○
A0010033	二受丁字管 φ350*250	D水K内面EP I類			○		○	○				○					○	○

A001 K形

1/7

A001 K形																		
単価番号	名称	規格	(1)クボタ	(2)日本鋼鉄	(3)栗本組工	(4)岡本	(5)ハズ	(7)通山組工所	(8)大成機工	(9)コスモ	(10)クロダイト	(19)イー・録造	(34)興和ゴム	(35)コ・キヤリタ	(44)城北化工	(49)サンエス建設	(53)山岡鉄管	(56)九州録鉄管
A0010034	二受丁字管 φ350*350	D水K内面EP I類			○		○	○				○					○	○
A0010035	受挿片落管 φ100*75	D水K内面EP II類			○	○	○	○				○						○
A0010036	受挿片落管 φ150*100	D水K内面EP II類			○	○	○	○				○						○
A0010037	受挿片落管 φ200*100	D水K内面EP II類			○	○	○	○				○						○
A0010038	受挿片落管 φ200*150	D水K内面EP II類			○	○	○	○				○						○
A0010039	受挿片落管 φ250*100	D水K内面EP II類			○	○	○	○				○						○
A0010040	受挿片落管 φ250*150	D水K内面EP II類			○	○	○	○				○						○
A0010041	受挿片落管 φ250*200	D水K内面EP II類			○	○	○	○				○						○
A0010042	受挿片落管 φ300*100	D水K内面EP II類			○	○	○	○				○					○	○
A0010043	受挿片落管 φ300*150	D水K内面EP II類			○	○	○	○				○					○	○
A0010044	受挿片落管 φ300*200	D水K内面EP II類			○	○	○	○				○					○	○
A0010045	受挿片落管 φ300*250	D水K内面EP II類			○	○	○	○				○					○	○
A0010046	受挿片落管 φ350*150	D水K内面EP II類			○	○	○	○				○					○	○
A0010047	受挿片落管 φ350*200	D水K内面EP II類			○		○	○				○					○	○
A0010048	受挿片落管 φ350*250	D水K内面EP II類			○		○	○				○					○	○
A0010049	受挿片落管 φ350*300	D水K内面EP II類			○		○	○				○					○	○
A0010050	挿受片落管 φ100*75	D水K内面EP II類			○	○	○	○				○						○
A0010051	挿受片落管 φ150*100	D水K内面EP II類			○	○	○	○				○						○
A0010052	挿受片落管 φ200*100	D水K内面EP II類			○	○	○	○				○						○
A0010053	挿受片落管 φ200*150	D水K内面EP II類			○	○	○	○				○						○
A0010054	挿受片落管 φ250*100	D水K内面EP II類			○	○	○	○				○						○
A0010055	挿受片落管 φ250*150	D水K内面EP II類			○	○	○	○				○						○
A0010056	挿受片落管 φ250*200	D水K内面EP II類			○	○	○	○				○						○
A0010057	挿受片落管 φ300*100	D水K内面EP II類			○	○	○	○				○					○	○
A0010058	挿受片落管 φ300*150	D水K内面EP II類			○	○	○	○				○					○	○
A0010059	挿受片落管 φ300*200	D水K内面EP II類			○	○	○	○				○					○	○
A0010060	挿受片落管 φ300*250	D水K内面EP II類			○	○	○	○				○					○	○
A0010061	挿受片落管 φ350*150	D水K内面EP II類			○		○	○				○					○	○
A0010062	挿受片落管 φ350*200	D水K内面EP II類			○		○	○				○					○	○
A0010063	挿受片落管 φ350*250	D水K内面EP II類			○		○	○				○					○	○
A0010064	挿受片落管 φ350*300	D水K内面EP II類			○		○	○				○					○	○

A001 K形

2/7

A001 K形																		
単価番号	名称	規格	(1)クボタ	(2)日本鋼鉄	(3)東本組工	(4)岡本	(5)ハズ	(7)通山組工所	(8)大成機工	(9)コスモ	(10)クロダイト	(19)イー・録造	(34)興和ゴム	(35)コー・キヤリタ	(44)城北化工	(49)サンエス建設	(53)山岡鉄管	(56)九州録鉄管
A0010065	90° 曲管 φ75mm	D水K内面EPⅡ類			○	○	○	○				○						○
A0010066	90° 曲管 φ100mm	D水K内面EPⅡ類			○	○	○	○				○						○
A0010067	90° 曲管 φ150mm	D水K内面EPⅡ類			○	○	○	○				○						○
A0010068	90° 曲管 φ200mm	D水K内面EPⅡ類			○	○	○	○				○						○
A0010069	90° 曲管 φ250mm	D水K内面EPⅡ類			○	○	○	○				○						○
A0010070	90° 曲管 φ300mm	D水K内面EPⅡ類			○	○	○	○				○					○	○
A0010071	90° 曲管 φ350mm	D水K内面EPⅡ類			○		○	○	○			○					○	○
A0010072	45° 曲管 φ75mm	D水K内面EPⅠ類			○	○	○	○				○						○
A0010073	45° 曲管 φ100mm	D水K内面EPⅠ類			○	○	○	○				○						○
A0010074	45° 曲管 φ150mm	D水K内面EPⅠ類			○	○	○	○				○						○
A0010075	45° 曲管 φ200mm	D水K内面EPⅠ類			○	○	○	○				○						○
A0010076	45° 曲管 φ250mm	D水K内面EPⅠ類			○	○	○	○				○						○
A0010077	45° 曲管 φ300mm	D水K内面EPⅠ類			○	○	○	○				○					○	○
A0010078	45° 曲管 φ350mm	D水K内面EPⅠ類			○		○	○				○					○	○
A0010079	22° 1/2曲管 φ75	D水K内面EPⅠ類			○	○	○	○				○						○
A0010080	22° 1/2曲管 φ100	D水K内面EPⅠ類			○	○	○	○				○						○
A0010081	22° 1/2曲管 φ150	D水K内面EPⅠ類			○	○	○	○				○						○
A0010082	22° 1/2曲管 φ200	D水K内面EPⅠ類			○	○	○	○				○						○
A0010083	22° 1/2曲管 φ250	D水K内面EPⅠ類			○	○	○	○				○						○
A0010084	22° 1/2曲管 φ300	D水K内面EPⅠ類			○	○	○	○				○					○	○
A0010085	22° 1/2曲管 φ350	D水K内面EPⅠ類			○		○	○	○			○					○	○
A0010086	11° 1/4曲管 φ75	D水K内面EPⅠ類			○	○	○	○				○						○
A0010087	11° 1/4曲管 φ100	D水K内面EPⅠ類			○	○	○	○				○						○
A0010088	11° 1/4曲管 φ150	D水K内面EPⅠ類			○	○	○	○				○						○
A0010089	11° 1/4曲管 φ200	D水K内面EPⅠ類			○	○	○	○				○						○
A0010090	11° 1/4曲管 φ250	D水K内面EPⅠ類			○	○	○	○				○						○
A0010091	11° 1/4曲管 φ300	D水K内面EPⅠ類			○	○	○	○				○					○	○
A0010092	11° 1/4曲管 φ350	D水K内面EPⅠ類			○		○	○				○					○	○
A0010093	5° 5/8曲管 φ300	D水K内面EPⅠ類			○	○	○	○				○						○
A0010094	5° 5/8曲管 φ350	D水K内面EPⅠ類			○		○	○				○					○	○
A0010095	フランジ付丁字管 φ75*75	D水K内面EPⅡ類			○	○	○	○				○						○

A001 K形

3/7

A001 K形																		
単価番号	名称	規格	(1)クボタ	(2)日本鋼鉄	(3)東本組工	(4)岡本	(5)ハズ	(7)通山組工所	(8)大成機工	(9)コスモ	(10)クロダイト	(19)イー・録造	(34)興和ゴム	(35)コー・キヤリタ	(44)城北化工	(49)サンエス建設	(53)山岡鉄管	(56)九州録鉄管
A0010096	フランジ付丁字管 φ100*75	D水K内面EPⅡ類			○	○	○	○				○						○
A0010097	フランジ付丁字管 φ150*75	D水K内面EPⅡ類			○	○	○	○				○						○
A0010098	フランジ付丁字管 φ200*75	D水K内面EPⅡ類			○	○	○	○				○						○
A0010099	フランジ付丁字管 φ250*75	D水K内面EPⅡ類			○	○	○	○				○						○
A0010100	フランジ付丁字管 φ300*75	D水K内面EPⅡ類			○	○	○	○				○					○	○
A0010101	フランジ付丁字管 φ350*75	D水K内面EPⅡ類			○		○	○				○					○	○
A0010102	排水丁字管 φ200*100	D水K内面EPⅡ類			○	○	○	○				○						
A0010103	排水丁字管 φ250*100	D水K内面EPⅡ類			○	○	○	○				○						
A0010104	排水丁字管 φ300*100	D水K内面EPⅡ類			○	○	○	○				○					○	
A0010105	排水丁字管 φ350*150	D水K内面EPⅡ類			○		○	○				○					○	
A0010106	うず巻式フランジ付丁字管 φ75*75	D水K内面EP			○		○					○						
A0010107	うず巻式フランジ付丁字管 φ100*75	D水K内面EP			○		○					○						
A0010108	うず巻式フランジ付丁字管 φ150*75	D水K内面EP			○		○					○						
A0010109	うず巻式フランジ付丁字管 φ200*75	D水K内面EP			○		○					○						
A0010110	うず巻式フランジ付丁字管 φ250*75	D水K内面EP			○		○					○						
A0010111	うず巻式フランジ付丁字管 φ300*75	D水K内面EP			○		○											
A0010112	うず巻式フランジ付丁字管 φ350*75	D水K内面EP			○		○											
A0010113	継ぎ輪 φ75mm	D水K内面EPⅠ類			○	○	○	○				○						○
A0010114	継ぎ輪 φ100mm	D水K内面EPⅠ類			○	○	○	○				○						○
A0010115	継ぎ輪 φ150mm	D水K内面EPⅠ類			○	○	○	○				○						○
A0010116	継ぎ輪 φ200mm	D水K内面EPⅠ類			○	○	○	○				○						○
A0010117	継ぎ輪 φ250mm	D水K内面EPⅠ類			○	○	○	○				○						○
A0010118	継ぎ輪 φ300mm	D水K内面EPⅠ類			○	○	○	○				○					○	○
A0010119	継ぎ輪 φ350mm	D水K内面EPⅠ類			○		○	○				○					○	○
A0010120	短管1号 φ75mm	D水K内面EPⅠ類			○	○	○	○				○						○
A0010121	短管1号 φ100mm	D水K内面EPⅠ類			○	○	○	○				○						○
A0010122	短管1号 φ150mm	D水K内面EPⅠ類			○	○	○	○				○						○
A0010123	短管1号 φ200mm	D水K内面EPⅠ類			○	○	○	○				○						○
A0010124	短管1号 φ250mm	D水K内面EPⅠ類			○	○	○	○				○						○
A0010125	短管1号 φ300mm	D水K内面EPⅠ類			○	○	○	○				○					○	○
A0010126	短管1号 φ350mm	D水K内面EPⅠ類			○		○	○				○					○	○

A001 K形

4/7

A001 K形																		
単価番号	名称	規格	(1)クボタ	(2)日本鋼鉄	(3)栗本組工	(4)岡本	(5)ハズ	(7)通山精工所	(8)大成機工	(9)コスモ	(10)クロダイト	(19)イー・録造	(34)興和ゴム	(35)コ・キヤリタ	(44)城北化工	(49)サンエス護国	(53)山岡鉄管	(56)九州録鉄管
A0010127	短管2号φ75mm	D水K内面EP I類			○	○	○	○				○						○
A0010128	短管2号φ100mm	D水K内面EP I類			○	○	○	○				○						○
A0010129	短管2号φ150mm	D水K内面EP I類			○	○	○	○				○						○
A0010130	短管2号φ200mm	D水K内面EP I類			○	○	○	○				○						○
A0010131	短管2号φ250mm	D水K内面EP I類			○	○	○	○				○						○
A0010132	短管2号φ300mm	D水K内面EP I類			○	○	○	○				○					○	○
A0010133	短管2号φ350mm	D水K内面EP I類			○		○	○				○					○	○
A0010134	栓φ75mm	D水K内面EP 本体のみ			○	○	○	○				○						○
A0010135	栓φ100mm	D水K内面EP 本体のみ			○	○	○	○				○						○
A0010136	栓φ150mm	D水K内面EP 本体のみ			○	○	○	○				○						○
A0010137	栓φ200mm	D水K内面EP 本体のみ			○	○	○	○				○						○
A0010138	栓φ250mm	D水K内面EP 本体のみ			○	○	○	○				○						○
A0010139	栓φ300mm	D水K内面EP 本体のみ			○	○	○	○				○					○	○
A0010140	栓φ350mm	D水K内面EP 本体のみ			○		○	○				○					○	○
A0010155	T頭ボルトナット(φ75用)	D水K M16×85×4本	○		○						○							
A0010156	T頭ボルトナット(φ100用)	D水K M20×90×4本	○		○						○							
A0010157	T頭ボルトナット(φ150用)	D水K M20×90×6本	○		○						○							
A0010158	T頭ボルトナット(φ200用)	D水K M20×90×6本	○		○						○							
A0010159	T頭ボルトナット(φ250用)	D水K M20×90×8本	○		○						○							
A0010160	T頭ボルトナット(φ300用)	D水K M20×100×8本	○		○						○							
A0010161	T頭ボルトナット(φ350用)	D水K M20×100×10本	○		○						○							
A0010162	ゴム輪φ75mm	D水K	○		○								○	○	○	○		
A0010163	ゴム輪φ100mm	D水K	○		○								○	○	○	○		
A0010164	ゴム輪φ150mm	D水K	○		○								○	○	○	○		
A0010165	ゴム輪φ200mm	D水K	○		○								○	○	○	○		
A0010166	ゴム輪φ250mm	D水K	○		○								○	○	○	○		
A0010167	ゴム輪φ300mm	D水K	○		○								○	○	○	○		
A0010168	ゴム輪φ350mm	D水K	○		○								○	○	○	○		
A0010176	特殊押輪(半数型)φ75	D水K、R、B、NM16×85×4本、ゴム輪共							○	○	○							
A0010177	特殊押輪(半数型)φ100	D水K、R、B、NM20×90×4本、ゴム輪共							○	○	○							
A0010178	特殊押輪(半数型)φ150	D水K、R、B、NM20×90×6本、ゴム輪共							○	○	○							

A001 K形

5/7

A001 K形																		
単価番号	名称	規格	(1)クボタ	(2)日本鋼鉄	(3)栗本組工	(4)岡本	(5)ハズ	(7)通山精工所	(8)大成機工	(9)コスモ	(10)クロダイト	(19)イー・録造	(34)興和ゴム	(35)コ・キヤリタ	(44)城北化工	(49)サンエス護国	(53)山岡鉄管	(56)九州録鉄管
A0010179	特殊押輪(半数型)φ200	D水K、R、B、NM20×90×6本)、ゴム輪共							○	○	○							
A0010180	特殊押輪(半数型)φ250	D水K、R、B、NM20×90×8本)、ゴム輪共							○	○	○							
A0010181	特殊押輪(半数型)φ300	D水K、R、B、NM20×100×8本)、ゴム輪共							○	○	○							
A0010182	特殊押輪(半数型)φ350	D水K、R、B、NM20×100×10本)、ゴム輪共							○	○	○							
A0010183	特殊押輪(半数型)φ300	D水K、R、B、NM20×100×8本)、ゴム輪共							○	○	○							
A0010184	特殊押輪(半数型)φ350	D水K、R、B、NM20×100×10本)、ゴム輪共							○	○	○							
A0010185	φニカルジョイント形帽(K形特押付)	K形 φ75mm接水部EP							○	○								
A0010186	φニカルジョイント形帽(K形特押付)	K形 φ100mm接水部EP							○	○								
A0010187	φニカルジョイント形帽(K形特押付)	K形 φ150mm接水部EP							○	○								
A0010188	φニカルジョイント形帽(K形特押付)	K形 φ200mm接水部EP							○	○								
A0010189	φニカルジョイント形帽(K形特押付)	K形 φ250mm接水部EP							○	○								
A0010190	φニカルジョイント形帽(K形特押付)	K形 φ300mm接水部EP							○	○								
A0010191	φニカルジョイント形帽(K形特押付)	K形 φ350mm接水部EP							○	○								
A0010192	φニカルジョイント形帽(K形特押付)	K形 φ400mm接水部EP							○	○								
A0010193	特殊押輪(3DkN対応型)本体のみ	φ75							○	○								
A0010194	特殊押輪(3DkN対応型)本体のみ	φ100							○	○								
A0010195	特殊押輪(3DkN対応型)本体のみ	φ150							○	○								
A0010196	特殊押輪(3DkN対応型)本体のみ	φ200							○	○								
A0010197	特殊押輪(3DkN対応型)本体のみ	φ250							○	○								
A0010198	特殊押輪(3DkN対応型)本体のみ	φ300							○	○								
A0010199	特殊押輪(3DkN対応型)本体のみ	φ350							○	○								
A0010200	特殊押輪(3DkN対応型)本体のみ	φ400							○	○								
A0010201	特殊押輪(3DkN対応型)本体のみ	φ450							○	○								
A0010202	特殊押輪(3DkN対応型)本体のみ	φ500							○	○								
A0010203	特殊押輪ゴム輪(3DkN対応型)	φ75							○	○								
A0010204	特殊押輪ゴム輪(3DkN対応型)	φ100							○	○								
A0010205	特殊押輪ゴム輪(3DkN対応型)	φ150							○	○								
A0010206	特殊押輪ゴム輪(3DkN対応型)	φ200							○	○								
A0010207	特殊押輪ゴム輪(3DkN対応型)	φ250							○	○								
A0010208	特殊押輪ゴム輪(3DkN対応型)	φ300							○	○								
A0010209	特殊押輪ゴム輪(3DkN対応型)	φ350							○	○								

A001 K形

6/7

A001 K形																		
単価番号	名称	規格	(1)クボタ	(2)日本鋼鉄	(3)栗本鐵工	(4)岡本	(5)ハズ	(7)通山鐵工所	(8)大成機工	(9)コスモ	(10)クロダイト	(19)イー・鉄造	(34)興和ゴム	(35)コ・キヤリタ	(44)城北化工	(49)サンエス護国	(53)山岡鉄管	(56)九州鋼鉄管
A0010210	特殊押輪ゴム輪(3DkN対応型)	φ400							○	○								
A0010211	特殊押輪ゴム輪(3DkN対応型)	φ450							○	○								
A0010212	特殊押輪ゴム輪(3DkN対応型)	φ500							○	○								
A0010213	特殊押輪T頭鉄丸・ナナ(3DkN対応型)	φ75用(M16*85*4本)							○	○								
A0010214	特殊押輪T頭鉄丸・ナナ(3DkN対応型)	φ100用(M20*90*4本)							○	○								
A0010215	特殊押輪T頭鉄丸・ナナ(3DkN対応型)	φ150用(M20*90*6本)							○	○								
A0010216	特殊押輪T頭鉄丸・ナナ(3DkN対応型)	φ200用(M20*90*6本)							○	○								
A0010217	特殊押輪T頭鉄丸・ナナ(3DkN対応型)	φ250用(M20*90*8本)							○	○								
A0010218	特殊押輪T頭鉄丸・ナナ(3DkN対応型)	φ300用(M20*100*8本)							○	○								
A0010219	特殊押輪T頭鉄丸・ナナ(3DkN対応型)	φ350用(M20*100*10本)							○	○								
A0010220	特殊押輪T頭鉄丸・ナナ(3DkN対応型)	φ400用(M20*110*12本)							○	○								
A0010221	特殊押輪T頭鉄丸・ナナ(3DkN対応型)	φ450用(M20*110*12本)							○	○								
A0010222	特殊押輪T頭鉄丸・ナナ(3DkN対応型)	φ500用(M20*110*14本)							○	○								

A001 K形

7/7

A002 NS形																	
単価番号	名称	規格	(1)クボタ	(2)日本鋼鉄	(3)栗本鐵工	(8)大成機工	(9)コスモ	(19)イー・鉄造	(37)巴製作所	(45)南和田スチール							
A0020001	受挿片落管 φ300*100mm	D水NS内面EP		○	○			○									
A0020002	受挿片落管 φ300*150mm	D水NS内面EP		○	○			○									
A0020003	受挿片落管 φ300*200mm	D水NS内面EP		○	○			○									
A0020004	受挿片落管 φ300*250mm	D水NS内面EP		○	○			○									
A0020005	受挿片落管 φ350*150mm	D水NS内面EP		○	○												
A0020006	受挿片落管 φ350*200mm	D水NS内面EP		○	○												
A0020007	受挿片落管 φ350*250mm	D水NS内面EP		○	○												
A0020008	受挿片落管 φ350*300mm	D水NS内面EP		○	○												
A0020009	受挿片落管 φ400*150mm	D水NS内面EP		○	○												
A0020010	受挿片落管 φ400*200mm	D水NS内面EP		○	○												
A0020011	受挿片落管 φ400*250mm	D水NS内面EP		○	○												
A0020012	受挿片落管 φ400*300mm	D水NS内面EP		○	○												
A0020013	受挿片落管 φ400*350mm	D水NS内面EP		○	○												
A0020014	受挿片落管 φ450*200mm	D水NS内面EP		○	○												
A0020015	受挿片落管 φ450*250mm	D水NS内面EP		○	○												
A0020016	受挿片落管 φ450*300mm	D水NS内面EP		○	○												
A0020017	受挿片落管 φ450*350mm	D水NS内面EP		○	○												
A0020018	受挿片落管 φ450*400mm	D水NS内面EP		○	○												
A0020019	挿受片落管 φ300*100mm	D水NS内面EP		○	○			○									
A0020020	挿受片落管 φ300*150mm	D水NS内面EP		○	○			○									
A0020021	挿受片落管 φ300*200mm	D水NS内面EP		○	○			○									
A0020022	挿受片落管 φ300*250mm	D水NS内面EP		○	○			○									
A0020023	挿受片落管 φ350*150mm	D水NS内面EP		○	○												
A0020024	挿受片落管 φ350*200mm	D水NS内面EP		○	○												
A0020025	挿受片落管 φ350*250mm	D水NS内面EP		○	○												

A002 NS形

1/4

A002 NS形													
単価番号	名称	規格	(1)クボタ	(2)日本鋳鉄	(3)栗本鋳工	(8)大成機工	(9)コスモ	(19) 41-鋳造	(37) 巴製作所	(45) 岸和田スチール			
A0020026	挿受片落管 φ 350*300mm	D水NS内面EP		○	○								
A0020027	挿受片落管 φ 400*150mm	D水NS内面EP		○	○								
A0020028	挿受片落管 φ 400*200mm	D水NS内面EP		○	○								
A0020029	挿受片落管 φ 400*250mm	D水NS内面EP		○	○								
A0020030	挿受片落管 φ 400*300mm	D水NS内面EP		○	○								
A0020031	挿受片落管 φ 400*350mm	D水NS内面EP		○	○								
A0020032	挿受片落管 φ 450*200mm	D水NS内面EP		○	○								
A0020033	挿受片落管 φ 450*250mm	D水NS内面EP		○	○								
A0020034	挿受片落管 φ 450*300mm	D水NS内面EP		○	○								
A0020035	挿受片落管 φ 450*350mm	D水NS内面EP		○	○								
A0020036	挿受片落管 φ 450*400mm	D水NS内面EP		○	○								
A0020037	ロッキング φ 300mm	D水NS	○	○	○								
A0020038	ロッキング φ 350mm	D水NS	○	○	○								
A0020039	ロッキング φ 400mm	D水NS	○	○	○								
A0020040	ロッキング φ 450mm	D水NS	○	○	○								
A0020041	切管用挿しロリング φ 300mm	D水NS(リベットタイプ)	○	○	○								
A0020042	切管用挿しロリング φ 350mm	D水NS(リベットタイプ)	○	○	○								
A0020043	切管用挿しロリング φ 400mm	D水NS(リベットタイプ)	○	○	○								
A0020044	切管用挿しロリング φ 450mm	D水NS(リベットタイプ)	○	○	○								
A0020045	ライナ φ 300mm	D水NS	○	○	○								
A0020046	ライナ φ 350mm	D水NS	○	○	○								
A0020047	ライナ φ 400mm	D水NS	○	○	○								
A0020048	ライナ φ 450mm	D水NS	○	○	○								
A0020049	ゴム輪 φ 300mm	D水NS	○	○	○								
A0020050	ゴム輪 φ 350mm	D水NS	○	○	○								

A002 NS形

2/4

A002 NS形													
単価番号	名称	規格	(1)クボタ	(2)日本鋳鉄	(3)栗本鋳工	(8)大成機工	(9)コスモ	(19) 41-鋳造	(37) 巴製作所	(45) 岸和田スチール			
A0020051	ゴム輪 φ 400mm	D水NS	○	○	○								
A0020052	ゴム輪 φ 450mm	D水NS	○	○	○								
A0020053	切管用挿しロリング φ 300mm	D水NS(タッピンねじタイプ)	○	○	○								
A0020054	切管用挿しロリング φ 350mm	D水NS(タッピンねじタイプ)	○	○	○								
A0020055	切管用挿しロリング φ 400mm	D水NS(タッピンねじタイプ)	○	○	○								
A0020056	切管用挿しロリング φ 450mm	D水NS(タッピンねじタイプ)	○	○	○								
A0020057	切管用挿しロリング φ 300mm	D水NS(タッピンねじタイプ・継ぎ輪接合用)			○								
A0020058	切管用挿しロリング φ 350mm	D水NS(タッピンねじタイプ・継ぎ輪接合用)			○								
A0020059	切管用挿しロリング φ 400mm	D水NS(タッピンねじタイプ・継ぎ輪接合用)			○								
A0020060	切管用挿しロリング φ 450mm	D水NS(タッピンねじタイプ・継ぎ輪接合用)			○								
A0020065	バックアップリング φ 300		○	○	○								
A0020066	バックアップリング φ 350		○	○	○								
A0020067	バックアップリング φ 400		○	○	○								
A0020068	バックアップリング φ 450		○	○	○								
A0020069	T頭ネットナット(SUS304 焼付防止仕様)	φ 75用(M16*100*4本)			○				○	○			
A0020070	T頭ネットナット(SUS304 焼付防止仕様)	φ 100用(M20*100*4本)			○				○	○			
A0020071	T頭ネットナット(SUS304 焼付防止仕様)	φ 150用(M20*100*6本)			○				○	○			
A0020072	T頭ネットナット(SUS304 焼付防止仕様)	φ 200用(M20*100*6本)			○				○	○			
A0020073	T頭ネットナット(SUS304 焼付防止仕様)	φ 250用(M20*100*8本)			○				○	○			
A0020074	T頭ネットナット(SUS304 焼付防止仕様)	φ 300用(M20*100*8本)	○	○	○				○	○			
A0020075	T頭ネットナット(SUS304 焼付防止仕様)	φ 350用(M20*100*10本)	○	○	○				○	○			
A0020076	T頭ネットナット(SUS304 焼付防止仕様)	φ 400用(M20*110*12本)	○	○	○				○	○			
A0020077	T頭ネットナット(SUS304 焼付防止仕様)	φ 450用(M20*110*12本)	○	○	○				○	○			
A0020086	NS形継輪用特殊割押輪	φ 300mm本体のみ				○	○						
A0020087	NS形継輪用特殊割押輪	φ 350mm本体のみ				○	○						

A002 NS形

3/4

A002 NS形													
単価番号	名称	規格	(1)クボタ	(2)日本鋳鉄	(3)栗本鐵工	(8)大成機工	(9)コスモ	(19)4t-鑄造	(37)巴製作所	(45)岸和田スチール			
A0020088	NS形継輪用特殊割押輪	φ400mm本体のみ				○	○						
A0020089	NS形継輪用特殊割押輪	φ450mm本体のみ				○	○						

A002 NS形

4/4

A003 NS形(φ500-700)													
単価番号	名称	規格	(1)クボタ	(3)栗本鐵工	(8)大成機工	(37)巴製作所	(45)岸和田スチール	(53)山岡鉄管					
A0030001	直管S種φ500*6m	D水NS内面EP	○	○									
A0030002	直管S種φ600*6m	D水NS内面EP	○	○									
A0030003	直管S種φ700*6m	D水NS内面EP	○	○									
A0030004	三受十字管φ500*400mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030005	三受十字管φ600*400mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030006	三受十字管φ700*500mm	D水NS内面EP	○	○									
A0030007	二受丁字管φ500*350mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030008	二受丁字管φ500*400mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030009	二受丁字管φ500*450mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030010	二受丁字管φ500*500mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030011	二受丁字管φ600*400mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030012	二受丁字管φ600*450mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030013	二受丁字管φ600*500mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030014	二受丁字管φ600*600mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030015	二受丁字管φ700*450mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030016	二受丁字管φ700*500mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030017	二受丁字管φ700*600mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030018	二受丁字管φ700*700mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030019	受挿片落管φ500*250mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030020	受挿片落管φ500*300mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030021	受挿片落管φ500*350mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030022	受挿片落管φ500*400mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030023	受挿片落管φ500*450mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030024	受挿片落管φ600*300mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030025	受挿片落管φ600*350mm	D水NS内面EP	○	○				○					

A003 NS形(φ500-700)

1/5

A003 NS形(φ500-700)													
単価番号	名称	規格	(1)クボタ	(3)栗本鐵工	(8)大成機工	(37)巴製作所	(48)津和田スチール	(53)山岡鉄管					
A0030026	受挿片落管 φ600*400mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030027	受挿片落管 φ600*450mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030028	受挿片落管 φ600*500mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030029	受挿片落管 φ700*400mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030030	受挿片落管 φ700*450mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030031	受挿片落管 φ700*500mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030032	受挿片落管 φ700*600mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030033	挿受片落管 φ500*250mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030034	挿受片落管 φ500*300mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030035	挿受片落管 φ500*350mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030036	挿受片落管 φ500*400mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030037	挿受片落管 φ500*450mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030038	挿受片落管 φ600*300mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030039	挿受片落管 φ600*350mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030040	挿受片落管 φ600*400mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030041	挿受片落管 φ600*450mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030042	挿受片落管 φ600*500mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030043	挿受片落管 φ700*400mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030044	挿受片落管 φ700*450mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030045	挿受片落管 φ700*500mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030046	挿受片落管 φ700*600mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030047	90°曲管 φ500mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030048	90°曲管 φ600mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030049	90°曲管 φ700mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030050	45°曲管 φ500mm	D水NS内面EP	○	○				○					

A003 NS形(φ500-700)

2/5

A003 NS形(φ500-700)													
単価番号	名称	規格	(1)クボタ	(3)栗本鐵工	(8)大成機工	(37)巴製作所	(48)津和田スチール	(53)山岡鉄管					
A0030051	45°曲管 φ600mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030052	45°曲管 φ700mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030053	22 1/2°曲管 φ500mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030054	22 1/2°曲管 φ600mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030055	22 1/2°曲管 φ700mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030056	11 1/4°曲管 φ500mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030057	11 1/4°曲管 φ600mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030058	11 1/4°曲管 φ700mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030059	5 5/8°曲管 φ500mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030060	5 5/8°曲管 φ600mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030061	5 5/8°曲管 φ700mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030062	フランジ付T字管 φ500*75mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030063	フランジ付T字管 φ500*100mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030064	フランジ付T字管 φ600*75mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030065	フランジ付T字管 φ600*100mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030066	フランジ付T字管 φ700*75mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030067	フランジ付T字管 φ700*100mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030068	排水丁字管 φ500*200mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030069	排水丁字管 φ600*200mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030070	排水丁字管 φ700*300mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030071	継ぎ輪 φ500mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030072	継ぎ輪 φ600mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030073	継ぎ輪 φ700mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030074	短管1号(GF7.5K) φ500mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030075	短管1号(GF7.5K) φ600mm	D水NS内面EP	○	○				○					

A003 NS形(φ500-700)

3/5

A003 NS形(φ500-700)													
単価番号	名称	規格	(1)クボタ	(3)栗本鐵工	(8)大成機工	(37)巴製作所	(48)津和田スチール	(53)山岡鉄管					
A0030076	短管1号(GF7.5K)φ700mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030077	短管2号(GF7.5K)φ500mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030078	短管2号(GF7.5K)φ600mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030079	短管2号(GF7.5K)φ700mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030080	栓φ500mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030081	栓φ600mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030082	栓φ700mm	D水NS内面EP	○	○				○					
A0030083	押輪φ500mm	D水NS	○	○				○					
A0030084	押輪φ600mm	D水NS	○	○				○					
A0030085	押輪φ700mm	D水NS	○	○				○					
A0030086	ロッキングφ500mm	D水NS	○	○				○					
A0030087	ロッキングφ600mm	D水NS	○	○				○					
A0030088	ロッキングφ700mm	D水NS	○	○				○					
A0030089	切管用挿しロリングφ500mm	D水NS(リベットタイプ)	○	○				○					
A0030090	切管用挿しロリングφ600mm	D水NS(リベットタイプ)	○	○				○					
A0030091	切管用挿しロリングφ700mm	D水NS(リベットタイプ)	○	○				○					
A0030092	ライナφ500mm	D水NS	○	○				○					
A0030093	ライナφ600mm	D水NS	○	○				○					
A0030094	ライナφ700mm	D水NS	○	○				○					
A0030095	ゴム輪φ500mm	D水NS	○	○				○					
A0030096	ゴム輪φ600mm	D水NS	○	○				○					
A0030097	ゴム輪φ700mm	D水NS	○	○				○					
A0030098	バックアップリングφ500mm	D水NS	○	○				○					
A0030099	バックアップリングφ600mm	D水NS	○	○				○					
A0030100	バックアップリングφ700mm	D水NS	○	○				○					

A003 NS形(φ500-700)

4/5

A003 NS形(φ500-700)													
単価番号	名称	規格	(1)クボタ	(3)栗本鐵工	(8)大成機工	(37)巴製作所	(48)津和田スチール	(53)山岡鉄管					
A0030101	T頭ネルトナット(SUS304 焼付防止仕様)	φ500用(M20*125*14本)	○	○		○	○	○					
A0030102	T頭ネルトナット(SUS304 焼付防止仕様)	φ600用(M20*125*14本)	○	○		○	○	○					
A0030103	T頭ネルトナット(SUS304 焼付防止仕様)	φ700用(M24*145*16本)	○	○		○	○	○					
A0030104	45°両受曲管φ500mm	D水NS内面EP	○	○									
A0030105	45°両受曲管φ600mm	D水NS内面EP	○	○									
A0030106	45°両受曲管φ700mm	D水NS内面EP	○	○									
A0030107	22°1/2両受曲管φ500mm	D水NS内面EP	○	○									
A0030108	22°1/2両受曲管φ600mm	D水NS内面EP	○	○									
A0030109	22°1/2両受曲管φ700mm	D水NS内面EP	○	○									
A0030110	NS形継輪用特殊割押輪	φ500mm本体のみ			○								
A0030111	NS形継輪用特殊割押輪	φ600mm本体のみ			○								
A0030112	NS形継輪用特殊割押輪	φ700mm本体のみ			○								
A0030113	NS用継ぎ輪単体+特殊割押輪2組	φ500											
A0030114	NS用継ぎ輪単体+特殊割押輪2組	φ600											
A0030115	NS用継ぎ輪単体+特殊割押輪2組	φ700											

A003 NS形(φ500-700)

5/5

A004 伸縮可とう管														
単価番号	名 称	規 格	(8) 大成機工	(9) コスモ	(46) 水研									
A0040001	ホ-ル式伸縮可撓管K形 φ 75	D水B-K内面EP、受+挿h=200mm	○	○	○									
A0040002	ホ-ル式伸縮可撓管K形 φ 100	D水B-K内面EP、受+挿h=200mm	○	○	○									
A0040003	ホ-ル式伸縮可撓管K形 φ 150	D水B-K内面EP、受+挿h=200mm	○	○	○									
A0040004	ホ-ル式伸縮可撓管K形 φ 200	D水B-K内面EP、受+挿h=200mm	○	○	○									
A0040005	ホ-ル式伸縮可撓管K形 φ 250	D水B-K内面EP、受+挿h=300mm	○	○	○									
A0040006	ホ-ル式伸縮可撓管K形 φ 300	D水B-K内面EP、受+挿h=300mm	○	○	○									
A0040007	ホ-ル式伸縮可撓管K形 φ 350	D水B-K内面EP、受+挿h=300mm	○	○	○									
A0040008	ホ-ル式伸縮可撓管K形 φ 75	D水B-K内面EP、受+受h=200mm	○	○	○									
A0040009	ホ-ル式伸縮可撓管K形 φ 100	D水B-K内面EP、受+受h=200mm	○	○	○									
A0040010	ホ-ル式伸縮可撓管K形 φ 150	D水B-K内面EP、受+受h=200mm	○	○	○									
A0040011	ホ-ル式伸縮可撓管K形 φ 200	D水B-K内面EP、受+受h=200mm	○	○	○									
A0040012	ホ-ル式伸縮可撓管K形 φ 250	D水B-K内面EP、受+受h=300mm	○	○	○									
A0040013	ホ-ル式伸縮可撓管K形 φ 300	D水B-K内面EP、受+受h=300mm	○	○	○									
A0040014	ホ-ル式伸縮可撓管K形 φ 350	D水B-K内面EP、受+受h=300mm	○	○	○									
A0040015	ホ-ル式伸縮可撓管NS形 φ 500	D水B-NS内面EP、受+挿h=300mm	○	○	○									
A0040016	ホ-ル式伸縮可撓管NS形 φ 500	D水B-NS内面EP、受+受h=300mm	○	○	○									
A0040017	ホ-ル式伸縮可撓管NS形 φ 500	D水B-NS内面EP、挿+挿h=300mm	○	○	○									
A0040018	ホ-ル式伸縮可撓管GX形 φ 75	D水GX内面EP、受+挿h=200mm	○	○	○									
A0040019	ホ-ル式伸縮可撓管GX形 φ 100	D水GX内面EP、受+挿h=200mm	○	○	○									
A0040020	ホ-ル式伸縮可撓管GX形 φ 150	D水GX内面EP、受+挿h=200mm	○	○	○									
A0040021	ホ-ル式伸縮可撓管GX形 φ 200	D水GX内面EP、受+挿h=200mm	○	○	○									
A0040022	ホ-ル式伸縮可撓管GX形 φ 250	D水GX内面EP、受+挿h=300mm	○	○	○									
A0040023	ホ-ル式伸縮可撓管GX形 φ 300	D水GX内面EP、受+挿h=300mm	○	○	○									
A0040024	ホ-ル式伸縮可撓管GX形 φ 400	D水GX内面EP、受+挿h=300mm	○	○	○									
A0040025	ホ-ル式伸縮可撓管GX形 φ 75	D水GX内面EP、受+受h=200mm	○	○	○									

A004 伸縮可とう管														
単価番号	名 称	規 格	(8) 大成機工	(9) コスモ	(46) 水研									
A0040026	ホ-ル式伸縮可撓管GX形 φ 100	D水GX内面EP、受+受h=200mm	○	○	○									
A0040027	ホ-ル式伸縮可撓管GX形 φ 150	D水GX内面EP、受+受h=200mm	○	○	○									
A0040028	ホ-ル式伸縮可撓管GX形 φ 200	D水GX内面EP、受+受h=200mm	○	○	○									
A0040029	ホ-ル式伸縮可撓管GX形 φ 250	D水GX内面EP、受+受h=300mm	○	○	○									
A0040030	ホ-ル式伸縮可撓管GX形 φ 300	D水GX内面EP、受+受h=300mm	○	○	○									
A0040031	ホ-ル式伸縮可撓管GX形 φ 400	D水GX内面EP、受+受h=300mm	○	○	○									

A005 フランジ類																				
単価番号	名称	規格	(1)クボタ	(3)東本精工	(4)岡本	(5)ハズ	(7)通山精工所	(19)イー・録造	(34)興和ゴム	(35)ニキヤフタ	(37)巴製作所	(44)城北化工	(45)津和田システム	(47)SDC田中	(48)三堂鉄鋼	(49)ヤシタ建設	(50)日本鉄鋼	(53)山岡鉄管	(56)九州鉄線管	(57)朝日精工
A0050007	フランジ曲管	D水、φ 75*90° 内面EP Ⅲ類	○	○	○	○	○	○											○	
A0050008	フランジ曲管	D水、φ 100*90° 内面EP Ⅲ類	○	○	○	○	○	○											○	
A0050009	フランジ曲管	D水、φ 150*90° 内面EP Ⅲ類	○	○	○	○	○	○											○	
A0050010	フランジ曲管	D水、φ 200*90° 内面EP Ⅲ類	○	○	○	○	○	○											○	
A0050011	フランジ曲管	D水、φ 250*90° 内面EP Ⅲ類	○	○	○	○	○	○											○	
A0050012	フランジ曲管	D水、φ 300*90° 内面EP Ⅲ類	○	○	○	○	○	○										○	○	
A0050013	フランジ曲管	D水、φ 350*90° 内面EP Ⅲ類	○	○	○	○	○	○										○	○	
A0050014	フランジ曲管	D水、φ 400*90° 内面EP Ⅲ類	○	○	○	○	○	○										○	○	
A0050015	フランジ曲管	D水、φ 450*90° 内面EP Ⅲ類	○	○		○	○	○										○	○	
A0050016	フランジ曲管	D水、φ 500*90° 内面EP Ⅲ類	○	○		○	○	○										○	○	
A0050017	フランジ曲管	D水、φ 600*90° 内面EP Ⅲ類	○	○		○	○	○										○	○	
A0050018	フランジ曲管	D水、φ 700*90° 内面EP Ⅲ類	○	○		○	○	○										○	○	
A0050019	フランジ蓋	D水、φ 50mm内面EP Ⅱ類																		
A0050020	フランジ蓋	D水、φ 75mm内面EP Ⅱ類	○	○	○	○	○	○											○	○
A0050021	フランジ蓋	D水、φ 100mm内面EP Ⅱ類	○	○	○	○	○	○											○	○
A0050022	フランジ蓋	D水、φ 150mm内面EP Ⅱ類	○	○	○	○	○	○											○	○
A0050023	フランジ蓋	D水、φ 200mm内面EP Ⅱ類	○	○	○	○	○	○											○	○
A0050024	フランジ短管(RF-RF)	D水、φ 75*100内面EPフランジ 形式1 Ⅱ類	○	○	○	○	○	○											○	○
A0050025	フランジ短管(RF-RF)	D水、φ 75*150内面EPフランジ 形式1 Ⅱ類	○	○	○	○	○	○											○	○
A0050026	フランジ短管(RF-RF)	D水、φ 75*200内面EPフランジ 形式1 Ⅱ類	○	○	○	○	○	○											○	○
A0050027	フランジ短管(RF-RF)	D水、φ 75*250内面EPフランジ 形式1 Ⅱ類	○	○	○	○	○	○											○	○
A0050028	フランジ短管(RF-RF)	D水、φ 75*300内面EPフランジ 形式1 Ⅱ類	○	○	○	○	○	○											○	○
A0050029	フランジ短管(RF-RF)	D水、φ 75*400内面EPフランジ 形式1 Ⅱ類	○	○	○	○	○	○											○	○
A0050030	フランジ短管(RF-RF)	D水、φ 75*500内面EPフランジ 形式1 Ⅱ類	○	○	○	○	○	○											○	○
A0050031	フランジ短管(RF-GF)	D水、φ 75*100内面EPフランジ 形式2	○		○	○	○	○											○	○
A0050032	フランジ短管(RF-GF)	D水、φ 75*150内面EPフランジ 形式2	○		○	○	○	○											○	○
A0050033	フランジ短管(RF-GF)	D水、φ 75*200内面EPフランジ 形式2	○		○	○	○	○											○	○
A0050034	フランジ短管(RF-GF)	D水、φ 75*250内面EPフランジ 形式2	○		○	○	○	○											○	○
A0050035	フランジ短管(RF-GF)	D水、φ 75*300内面EPフランジ 形式2	○		○	○	○	○											○	○
A0050036	フランジ短管(RF-GF)	D水、φ 75*400内面EPフランジ 形式2	○		○	○	○	○											○	○
A0050037	フランジ短管(RF-GF)	D水、φ 75*500内面EPフランジ 形式2	○		○	○	○	○											○	○
A0050038	含フランジ	D水、φ 50mm内面EP				○														
A0050039	含フランジ	D水、φ 75mm内面EP			○	○														
A0050040	含フランジ	D水、φ 100mm内面EP			○	○														

A005 フランジ類

1/3

A005 フランジ類																				
単価番号	名称	規格	(1)クボタ	(3)東本精工	(4)岡本	(5)ハズ	(7)通山精工	(19)イー・録造	(34)興和ゴム	(35)ニキヤフタ	(37)巴製作所	(44)城北化工	(45)津和野システム	(47)SDC田中	(48)三堂鉄鋼	(49)サエス建設	(50)日本鉄鋼	(53)山岡鉄管	(56)九州鉄管	(57)朝日精工
A0050041	含フランジ	D水、φ 150mm内面EP			○	○														
A0050042	異径フランジ	D水、φ 75*50内面EP			○	○														
A0050043	異径フランジ	D水、φ 100*50内面EP			○	○														
A0050044	異径フランジ	D水、φ 100*75内面EP			○	○														
A0050045	異径フランジ	D水、φ 150*100内面EP				○														
A0050046	フランジ用ゴムパッキン	D水、φ 50mm全面パッキン厚さ3mm							○	○		○				○				
A0050047	フランジ用ゴムパッキン	D水、φ 75mm全面パッキン厚さ3mm							○	○		○				○				
A0050048	フランジ用ゴムパッキン	D水、φ 100mm全面パッキン厚さ3mm							○	○		○				○				
A0050049	フランジ用ゴムパッキン	D水、φ 125mm全面パッキン厚さ3mm							○	○		○				○				
A0050050	フランジ用ゴムパッキン	D水、φ 150mm全面パッキン厚さ3mm							○	○		○				○				
A0050051	フランジ用ゴムパッキン	D水、φ 200mm全面パッキン厚さ3mm							○	○		○				○				
A0050052	フランジ用ゴムパッキン	D水、φ 250mm全面パッキン厚さ3mm							○	○		○				○				
A0050053	フランジ用ゴムパッキン	D水、φ 300mm全面パッキン厚さ3mm、4mm							○	○		○				○				
A0050054	フランジ用ゴムパッキン	D水、φ 350mm全面パッキン厚さ3mm、4mm							○	○		○				○				
A0050055	GFカスケート1号	D水、φ 50mm								○						○				
A0050056	GFカスケート1号	D水、φ 75mm							○	○		○				○				
A0050057	GFカスケート1号	D水、φ 100mm							○	○		○				○				
A0050058	GFカスケート1号	D水、φ 150mm							○	○		○				○				
A0050059	GFカスケート1号	D水、φ 200mm							○	○		○				○				
A0050060	GFカスケート1号	D水、φ 250mm							○	○		○				○				
A0050061	GFカスケート1号	D水、φ 300mm							○	○		○				○				
A0050062	GFカスケート1号	D水、φ 350mm							○	○		○				○				
A0050063	GFカスケート1号	D水、φ 400mm							○	○		○				○				
A0050064	GFカスケート1号	D水、φ 450mm							○	○		○				○				
A0050065	GFカスケート1号	D水、φ 500mm							○	○		○				○				
A0050066	GFカスケート1号	D水、φ 600mm							○	○		○				○				
A0050067	GFカスケート1号	D水、φ 700mm							○	○		○				○				
A0050068	GFカスケート1号	D水、φ 800mm							○	○		○				○				
A0050069	フランジ用ネジナット	D水、M16*65mm φ 50									○		○	○	○		○			
A0050070	フランジ用ネジナット	D水、M16*70mm φ 75-150	○										○	○	○		○			
A0050071	フランジ用ネジナット	D水、M16*80mm φ 200	○								○		○	○	○		○			
A0050072	フランジ用ネジナット	D水、M20*85mm φ 250-300	○								○		○	○	○		○			
A0050073	フランジ用ネジナット	D水、M20*90mm φ 300(L2)	○								○		○	○	○		○			
A0050074	フランジ用ネジナット	D水、M22*95mm φ 350-400	○								○		○	○	○		○			

A005 フランジ類

2/3

A005 フランジ類																				
単価番号	名称	規格	(1)クボタ	(3)栗本精工	(4)岡本	(5)ハズ	(7)進山精工所	(19)ｲﾅｰ鍛造	(34)興和ゴム	(35)ｺｰｷﾔﾅｲﾀ	(37)巴製作所	(44)城北化工	(45)津和田ｽﾃｰﾑｽ	(47)SDC田中	(48)三笠鉄鋼	(49)ｻﾝｽｽﾅ機設	(50)日本鉄鋼	(53)山岡鉄管	(56)九州鉄管	(57)野日精工
A0050075	フランジ用ボルトナット	D水、M24*100mm φ450-600	○										○				○			
A0050076	フランジ用ボルトナット	D水、M24*110mm φ500	○								○		○	○			○			
A0050077	フランジ用ボルトナット	D水、M24*120mm φ600	○								○		○	○			○			
A0050078	フランジ用ボルトナット	D水、M30*110mm φ700	○								○		○				○			
A0050079	フランジ用ボルトナット	D水、M30*130mm φ700(L2)	○								○		○		○		○			

A005 フランジ類

A006 耐震補強継手														
単価番号	名称	規格	(8)大成機工	(9)コスモ										
A0060001	耐震補強継手(A、K形)	φ75mm	○	○										
A0060002	耐震補強継手(A、K形)	φ100mm	○	○										
A0060003	耐震補強継手(A、K形)	φ150mm	○	○										
A0060004	耐震補強継手(A・K形)	φ200mm	○											
A0060005	耐震補強継手(A・K形)	φ250mm	○											
A0060006	耐震補強継手(A・K形)	φ300mm	○											
A0060007	耐震補強継手(T形)	φ75mm	○	○										
A0060008	耐震補強継手(T形)	φ100mm	○	○										
A0060009	耐震補強継手(T形)	φ150mm	○	○										
A0060010	耐震補強継手(T形)	φ200mm	○	○										
A0060011	耐震補強継手(T形)	φ250mm	○	○										
A0060012	離脱防止金具(A・K形)普通タイプ	φ75mm	○											
A0060013	離脱防止金具(A・K形)普通タイプ	φ100mm	○											
A0060014	離脱防止金具(A・K形)普通タイプ	φ150mm	○											
A0060015	離脱防止金具(A・K形)普通タイプ	φ200mm	○											
A0060016	離脱防止金具(A・K形)普通タイプ	φ250mm	○											
A0060017	離脱防止金具(A・K形)普通タイプ	φ300mm	○											
A0060018	離脱防止金具(T形)普通タイプS	φ75mm	○	○										
A0060019	離脱防止金具(T形)普通タイプS	φ100mm	○	○										
A0060020	離脱防止金具(T形)普通タイプS	φ150mm	○	○										
A0060021	離脱防止金具(T形)普通タイプS	φ200mm	○	○										
A0060022	離脱防止金具(T形)普通タイプS	φ250mm	○	○										
A0060023	離脱防止金具(T形)普通タイプH	φ75mm	○	○										
A0060024	離脱防止金具(T形)普通タイプH	φ100mm	○	○										
A0060025	離脱防止金具(T形)普通タイプH	φ150mm	○	○										
A0060026	離脱防止金具(T形)普通タイプH	φ200mm	○	○										

A006 耐震補強継手

A006 耐震補強継手														
単価番号	名称	規格	(8) 大成機工	(9) コスモ										
A0060027	離脱防止金具(T形)普通タイプH	φ 250mm	○	○										

A006 耐震補強継手

2/2

A007 鋼鉄弁栓類																				
単価番号	名称	規格	(1)クボタ	(3)栗本機工	(5)ハズ	(8)大成機工	(9)コスモ	(11)前澤工業	(12)キョウエス工業	(13)清水機工所	(14)清水工業	(23)98・99・100	(26)前澤組設	(27)前田ハルマ	(29)日都ハルマ	(36)角田機工	(38)富士機工	(51)明和工業	(54)宮部機工	(55)川西水道
A0070001	ソトシール仕切弁	φ 50mm内外面EP、浅埋型	○	○	○			○	○	○	○					○			○	
A0070002	ソトシール仕切弁	φ 75mm内外面EP、浅埋型	○	○	○			○	○	○	○					○			○	
A0070003	ソトシール仕切弁	φ 100mm内外面EP、浅埋型	○	○	○			○	○	○	○					○			○	
A0070004	ソトシール仕切弁	φ 150mm内外面EP、浅埋型	○	○	○			○	○	○	○					○			○	
A0070005	ソトシール仕切弁	φ 200mm内外面EP、浅埋型	○	○	○			○	○	○	○					○			○	
A0070006	ソトシール仕切弁	φ 250mm内外面EP、浅埋型	○	○	○			○	○	○	○					○			○	
A0070007	ソトシール仕切弁	φ 300mm内外面EP、浅埋型	○	○	○			○	○	○						○				
A0070008	ソトシール仕切弁	φ 350mm内外面EP、浅埋型	○	○	○			○	○	○						○				
A0070009	K形ソトシール仕切弁(受+挿)	φ 75mm内外面EP、浅埋型	○	○				○	○							○			○	
A0070010	K形ソトシール仕切弁(受+挿)	φ 100mm内外面EP、浅埋型	○	○				○	○							○			○	
A0070011	K形ソトシール仕切弁(受+挿)	φ 150mm内外面EP、浅埋型	○	○				○	○							○			○	
A0070012	K形ソトシール仕切弁(受+挿)	φ 200mm内外面EP、浅埋型	○	○				○	○							○				
A0070013	K形ソトシール仕切弁(受+挿)	φ 250mm内外面EP、浅埋型	○	○				○	○							○				
A0070014	K形ソトシール仕切弁(受+挿)	φ 300mm内外面EP、浅埋型	○	○				○	○							○				
A0070015	GX形ソトシール仕切弁(受+挿)φ 75mm	内外面EP、浅埋型、(LR、LRS含む)	○	○				○	○	○						○			○	
A0070016	GX形ソトシール仕切弁(受+挿)φ 100mm	内外面EP、浅埋型、(LR、LRS含む)	○	○				○	○	○						○			○	
A0070017	GX形ソトシール仕切弁(受+挿)φ 150mm	内外面EP、浅埋型、(LR、LRS含む)	○	○				○	○	○						○			○	
A0070018	GX形ソトシール仕切弁(受+挿)φ 200mm	内外面EP、浅埋型、(LR、LRS含む)	○	○				○	○	○						○			○	
A0070019	GX形ソトシール仕切弁(受+挿)φ 250mm	内外面EP、浅埋型、(LR、LRS含む)	○	○				○	○	○						○			○	
A0070020	GX形ソトシール仕切弁(受+挿)φ 300mm	内外面EP、浅埋型、(LR、LRS含む)	○	○				○	○	○						○			○	
A0070021	GX形ソトシール仕切弁(受+挿)φ 400mm	内外面EP、浅埋型、(LR、LRS含む)																		
A0070022	GX形ソトシール仕切弁(受+挿)φ 75mm	内外面EP、浅埋型、(LR、LRS含む)	○	○				○	○	○						○			○	
A0070023	GX形ソトシール仕切弁(受+挿)φ 100mm	内外面EP、浅埋型、(LR、LRS含む)	○	○				○	○	○						○			○	
A0070024	GX形ソトシール仕切弁(受+挿)φ 150mm	内外面EP、浅埋型、(LR、LRS含む)	○	○				○	○	○						○			○	
A0070025	GX形ソトシール仕切弁(受+挿)φ 200mm	内外面EP、浅埋型、(LR、LRS含む)	○	○				○	○	○						○			○	
A0070026	GX形ソトシール仕切弁(受+挿)φ 250mm	内外面EP、浅埋型、(LR、LRS含む)	○	○				○	○	○						○			○	
A0070027	GX形ソトシール仕切弁(受+挿)φ 300mm	内外面EP、浅埋型、(LR、LRS含む)	○	○				○	○	○						○			○	
A0070028	GX形ソトシール仕切弁(受+挿)φ 400mm	内外面EP、浅埋型、(LR、LRS含む)	○	○				○	○	○						○			○	
A0070029	塩ビ管用ソトシール仕切弁	φ 50mm内外面EP				○	○				○									○
A0070030	HPPE用ソトシール弁	φ 50						○	○	○	○	○				○			○	
A0070031	HPPE用ソトシール弁	φ 75						○	○	○	○	○				○			○	
A0070032	HPPE用ソトシール弁	φ 100						○	○	○	○	○							○	
A0070033	ハタライ弁(ハイスランドタイプ・埋設型)	φ 300mm内外面EP	○	○				○			○									
A0070034	ハタライ弁(ハイスランドタイプ・埋設型)	φ 350mm内外面EP	○	○				○			○									

A007 鉄板弁栓類

1/3

A007 錆鉄弁栓類																					
単価番号	名称	規格	(1)クボタ	(3)栗本鐵工	(5)ハズ	(8)大成機工	(9)コスモ	(11)前澤工業	(12)キョウシエーエス	(13)清水鐵工	(14)清水工業	(23)大井物産	(26)前澤船装	(27)前田ハ&F	(28)日都ハ&F	(36)角田鐵工	(38)富士鐵工	(51)昭和工業	(54)宮部鐵工	(55)川西水道	
A0070035	ハタライ弁(スラグードタイプ)	φ400mm内外面EP	○	○				○			○										
A0070036	ハタライ弁(スラグードタイプ)	φ450mm内外面EP	○	○				○			○										
A0070037	ハタライ弁(スラグードタイプ)	φ500mm内外面EP	○	○				○			○										
A0070038	ハタライ弁(スラグードタイプ)	φ600mm内外面EP	○	○				○			○										
A0070039	ハタライ弁(スラグードタイプ)	φ700mm内外面EP	○	○				○			○										
A0070040	ハタライ弁(スラグードタイプ)	φ800mm内外面EP	○	○				○			○										
A0070041	NS形ハタライ弁(スラグードタイプ)	φ500mm内外面EP	○						○												
A0070042	NS形ハタライ弁(ハイスランドタイプ)	φ500mm内外面EP	○																		
A0070043	NS形ハタライ弁(スラグードタイプ) 初期通水、充水	φ300mm内外面EP							○												
A0070044	NS形ハタライ弁(スラグードタイプ) 初期通水、充水	φ350mm内外面EP			○				○												
A0070045	NS形ハタライ弁(スラグードタイプ) 初期通水、充水	φ400mm内外面EP			○				○												
A0070046	NS形ハタライ弁(スラグードタイプ) 初期通水、充水	φ450mm内外面EP			○				○												
A0070047	NS形ハタライ弁(スラグードタイプ) 初期通水、充水	φ500mm内外面EP	○	○					○												
A0070048	NS形ハタライ弁(ハイスランドタイプ) 初期通水、充水	φ300mm内外面EP																			
A0070049	NS形ハタライ弁(ハイスランドタイプ) 初期通水、充水	φ350mm内外面EP			○																
A0070050	NS形ハタライ弁(ハイスランドタイプ) 初期通水、充水	φ400mm内外面EP			○																
A0070051	NS形ハタライ弁(ハイスランドタイプ) 初期通水、充水	φ450mm内外面EP			○																
A0070052	NS形ハタライ弁(ハイスランドタイプ) 初期通水、充水	φ500mm内外面EP	○	○																	
A0070053	GX形ハタライ弁(スラグードタイプ) φ300mm	内面EP、外面耐食塗装、(LRS、LRS含む)	○	○																	
A0070054	GX形ハタライ弁(スラグードタイプ) φ400mm	内面EP、外面耐食塗装、(LRS、LRS含む)	○	○																	
A0070055	GX形ハタライ弁(ハイスランドタイプ) φ300mm	内面EP、外面耐食塗装、(LRS、LRS含む)	○	○																	
A0070056	GX形ハタライ弁(ハイスランドタイプ) φ400mm	内面EP、外面耐食塗装、(LRS、LRS含む)	○	○																	
A0070057	GX形充水ハタライ弁(スラグードタイプ) φ300mm	内面EP、外面耐食塗装、(LRS、LRS含む)	○																		
A0070058	GX形充水ハタライ弁(スラグードタイプ) φ400mm	内面EP、外面耐食塗装、(LRS、LRS含む)	○																		
A0070059	GX形充水ハタライ弁(ハイスランドタイプ) φ300mm	内面EP、外面耐食塗装、(LRS、LRS含む)	○																		
A0070060	GX形充水ハタライ弁(ハイスランドタイプ) φ400mm	内面EP、外面耐食塗装、(LRS、LRS含む)	○																		
A0070061	急速空気弁(甲型)	φ13mm内面EP、浅埋型							○	○						○	○				
A0070062	急速空気弁(甲型)	φ20mm内面EP、浅埋型							○	○						○	○				
A0070063	急速空気弁(甲型)	φ25mm内面EP、浅埋型				○		○	○	○	○					○	○				
A0070064	急速空気弁(乙型)	φ13mm内面EP、浅埋型							○	○						○	○				
A0070065	急速空気弁(乙型)	φ20mm内面EP、浅埋型							○	○	○					○	○				
A0070066	急速空気弁(乙型)	φ25mm内面EP、浅埋型				○		○	○	○	○					○	○				
A0070067	急速空気弁(フランジ一体型)	φ25mm内面EP、浅埋型							○	○						○					
A0070068	急速空気弁	φ75mm内面EP、浅埋型	○		○			○	○	○	○					○	○		○		

A007 錆鉄弁栓類

A007 錆鉄弁栓類																				
単価番号	名称	規格	(1)クボタ	(3)栗本鐵工	(5)ハズ	(8)大成機工	(9)コスモ	(11)前澤工業	(12)キョウシエーエス	(13)清水鐵工	(14)清水工業	(23)大井物産	(26)前澤船装	(27)前田ハ&F	(28)日都ハ&F	(36)角田鐵工	(38)富士鐵工	(51)昭和工業	(54)宮部鐵工	(55)川西水道
A0070069	急速空気弁	φ100mm内面EP、浅埋型	○		○			○	○	○						○	○		○	
A0070070	凍結防止急速空気弁	φ13mm内外面EP、フランジ付							○											
A0070071	凍結防止急速空気弁	φ20mm内外面EP、フランジ付							○											
A0070072	凍結防止急速空気弁	φ25mm内外面EP、フランジ付							○											
A0070073	凍結防止急速空気弁	φ75mm内外面EP							○											
A0070074	凍結防止急速空気弁	φ100mm内外面EP							○											
A0070075	小型空気弁	φ13mmH.S型							○				○	○	○					
A0070076	小型空気弁	φ20mmH.S型							○				○	○	○					
A0070077	小型空気弁	φ25mmH.S型							○				○	○	○					
A0070078	小型空気弁用保温カバー	各型共通							○				○	○	○					
A0070079	単口消火栓	φ75mm、フッポリールタイプ、内外面EP、浅埋型	○		○			○	○	○	○					○	○		○	
A0070080	補修弁	φ75mm×100mm、8”-8式、内外面EP	○		○			○	○	○	○					○	○		○	
A0070081	補修弁	φ75mm×150mm、8”-8式、内外面EP	○					○	○	○	○					○	○		○	
A0070082	補修弁	φ100mm×200mm、8”-8式、内外面EP	○		○			○	○	○	○						○		○	
A0070083	凍結防止急速空気弁(水管機用、771A型)	φ25 SUS304						○										○		
A0070084	凍結防止急速空気弁(水管機用、771A型)	φ50 SUS304						○										○		
A0070085	凍結防止急速空気弁(水管機用、771A型)	φ75 SUS304						○										○		

A007 錆鉄弁栓類

A009 GX形													
単価番号	名称	規格	(1)クボタ	(2)日本鑄鉄	(3)栗本鐵工	(4)岡本	(5)ハズ	(8)大成機工	(9)コスモ	(19)外一鑄造	(37)巴製作所		
A0090001	GX形鑄鉄管(1種)φ75*4m	D水GX内面EP	○	○	○								
A0090002	GX形鑄鉄管(1種)φ100*4m	D水GX内面EP	○	○	○								
A0090003	GX形鑄鉄管(1種)φ150*5m	D水GX内面EP	○	○	○								
A0090004	GX形鑄鉄管(1種)φ200*5m	D水GX内面EP	○	○	○								
A0090005	GX形鑄鉄管(1種)φ250*5m	D水GX内面EP	○	○	○								
A0090006	GX形鑄鉄管(1種)φ300*6m	D水GX内面EP	○	○	○								
A0090007	GX形鑄鉄管(1種)φ400*6m	D水GX内面EP	○	○	○								
A0090008	GX形鑄鉄管(S種)φ75*4m	D水GX内面EP	○	○	○								
A0090009	GX形鑄鉄管(S種)φ100*4m	D水GX内面EP	○	○	○								
A0090010	GX形鑄鉄管(S種)φ150*5m	D水GX内面EP	○	○	○								
A0090011	GX形鑄鉄管(S種)φ200*5m	D水GX内面EP	○	○	○								
A0090012	GX形鑄鉄管(S種)φ250*5m	D水GX内面EP	○	○	○								
A0090013	GX形鑄鉄管(S種)φ300*6m	D水GX内面EP	○	○	○								
A0090014	GX形鑄鉄管(S種)φ400*6m	D水GX内面EP	○	○	○								
A0090015	GX形二受丁字管φ75*75mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090016	GX形二受丁字管φ100*75mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090017	GX形二受丁字管φ100*100mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090018	GX形二受丁字管φ150*75mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090019	GX形二受丁字管φ150*100mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090020	GX形二受丁字管φ150*150mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090021	GX形二受丁字管φ200*100mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090022	GX形二受丁字管φ200*150mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090023	GX形二受丁字管φ200*200mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090024	GX形二受丁字管φ250*100mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090025	GX形二受丁字管φ250*150mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			

A009 GX形

1/11

A009 GX形													
単価番号	名称	規格	(1)クボタ	(2)日本鑄鉄	(3)栗本鐵工	(4)岡本	(5)ハズ	(8)大成機工	(9)コスモ	(19)外一鑄造	(37)巴製作所		
A0090026	GX形二受丁字管φ250*250mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090027	GX形二受丁字管φ300*100mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○						
A0090028	GX形二受丁字管φ300*150mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○						
A0090029	GX形二受丁字管φ300*200mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○						
A0090030	GX形二受丁字管φ300*300mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○						
A0090031	GX形二受丁字管φ400*300mm	D水GX内面EP	○	○	○		○						
A0090032	GX形二受丁字管φ400*400mm	D水GX内面EP	○	○	○		○						
A0090033	GX形受挿片落管φ100*75mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090034	GX形受挿片落管φ150*100mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090035	GX形受挿片落管φ200*150mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090036	GX形受挿片落管φ250*200mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090037	GX形受挿片落管φ300*100mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○						
A0090038	GX形受挿片落管φ300*150mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○						
A0090039	GX形受挿片落管φ300*200mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○						
A0090040	GX形受挿片落管φ300*250mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○						
A0090041	GX形受挿片落管φ400*200mm	D水GX内面EP	○	○	○		○						
A0090042	GX形受挿片落管φ400*300mm	D水GX内面EP	○	○	○		○						
A0090043	GX形挿受片落管φ100*75mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090044	GX形挿受片落管φ150*100mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090045	GX形挿受片落管φ200*150mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090046	GX形挿受片落管φ250*200mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090047	GX形挿受片落管φ300*100mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○						
A0090048	GX形挿受片落管φ300*150mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○						
A0090049	GX形挿受片落管φ300*200mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○						
A0090050	GX形挿受片落管φ300*250mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○						

A009 GX形

2/11

A009 GX形													
単価番号	名称	規格	(1)クボタ	(2)日本鑄鉄	(3)栗本鐵工	(4)岡本	(5)ハズ	(8)大成機工	(9)コスモ	(19)外一鑄造	(37)巴製作所		
A0090051	GX形挿受片落管 φ 400*200mm	D水GX内面EP	○	○	○		○						
A0090052	GX形挿受片落管 φ 400*300mm	D水GX内面EP	○	○	○		○						
A0090053	GX形90°曲管 φ 75mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090054	GX形90°曲管 φ 100mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090055	GX形90°曲管 φ 150mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090056	GX形90°曲管 φ 200mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090057	GX形90°曲管 φ 250mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090058	GX形90°曲管 φ 300mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○						
A0090059	GX形90°曲管 φ 400mm	D水GX内面EP	○	○	○		○						
A0090060	GX形45°曲管 φ 75mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090061	GX形45°曲管 φ 100mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090062	GX形45°曲管 φ 150mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090063	GX形45°曲管 φ 200mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090064	GX形45°曲管 φ 250mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090065	GX形45°曲管 φ 300mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○						
A0090066	GX形45°曲管 φ 400mm	D水GX内面EP	○	○	○		○						
A0090067	GX形22 1/2°曲管 φ 75mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090068	GX形22 1/2°曲管 φ 100mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090069	GX形22 1/2°曲管 φ 150mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090070	GX形22 1/2°曲管 φ 200mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090071	GX形22 1/2°曲管 φ 250mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090072	GX形22 1/2°曲管 φ 300mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○						
A0090073	GX形22 1/2°曲管 φ 400mm	D水GX内面EP	○	○	○		○						
A0090074	GX形11 1/4°曲管 φ 75mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090075	GX形11 1/4°曲管 φ 100mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			

A009 GX形

3/11

A009 GX形													
単価番号	名称	規格	(1)クボタ	(2)日本鑄鉄	(3)栗本鐵工	(4)岡本	(5)ハズ	(8)大成機工	(9)コスモ	(19)外一鑄造	(37)巴製作所		
A0090076	GX形11 1/4°曲管 φ 150mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090077	GX形11 1/4°曲管 φ 200mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090078	GX形11 1/4°曲管 φ 250mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090079	GX形11 1/4°曲管 φ 300mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○						
A0090080	GX形11 1/4°曲管 φ 400mm	D水GX内面EP	○	○	○		○						
A0090081	GX形5 5/8°曲管 φ 75mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090082	GX形5 5/8°曲管 φ 100mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090083	GX形5 5/8°曲管 φ 150mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090084	GX形5 5/8°曲管 φ 200mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090085	GX形5 5/8°曲管 φ 250mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090086	GX形5 5/8°曲管 φ 300mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○						
A0090087	GX形5 5/8°曲管 φ 400mm	D水GX内面EP	○	○	○		○						
A0090088	GX形45°両受曲管 φ 75mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090089	GX形45°両受曲管 φ 100mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090090	GX形45°両受曲管 φ 150mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090091	GX形45°両受曲管 φ 200mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090092	GX形45°両受曲管 φ 250mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090093	GX形45°両受曲管 φ 300mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○						
A0090094	GX形45°両受曲管 φ 400mm	D水GX内面EP	○	○	○		○						
A0090095	GX形22 1/2°両受曲管 φ 75mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090096	GX形22 1/2°両受曲管 φ 100mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090097	GX形22 1/2°両受曲管 φ 150mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090098	GX形22 1/2°両受曲管 φ 200mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090099	GX形22 1/2°両受曲管 φ 250mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090100	GX形22 1/2°両受曲管 φ 300mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○						

A009 GX形

4/11

A009 GX形													
単価番号	名称	規格	(1)クボタ	(2)日本鑄鉄	(3)栗本鐵工	(4)岡本	(5)ハズ	(8)大成機工	(9)コスモ	(19)外一鑄造	(37)巴製作所		
A0090101	GX形22 1/2" 両受曲管 φ400mm	D水GX内面EP	○	○	○		○						
A0090102	GX形フランジ付T字管 φ75*75	D水GX内面EP、F:GF7.5	○	○	○	○	○			○			
A0090103	GX形フランジ付T字管 φ100*75	D水GX内面EP、F:GF7.5	○	○	○	○	○			○			
A0090104	GX形フランジ付T字管 φ150*75	D水GX内面EP、F:GF7.5	○	○	○	○	○			○			
A0090105	GX形フランジ付T字管 φ200*75	D水GX内面EP、F:GF7.5	○	○	○	○	○			○			
A0090106	GX形フランジ付T字管 φ250*75	D水GX内面EP、F:GF7.5	○	○	○	○	○			○			
A0090107	GX形フランジ付T字管 φ300*75	D水GX内面EP、F:GF7.5	○	○	○	○	○						
A0090108	GX形フランジ付T字管 φ400*75	D水GX内面EP、F:GF7.5	○	○	○		○						
A0090109	GX形うず巻式フランジ付T字管 φ75*75mm	D水GX内面EP、F:GF7.5	○	○	○	○	○			○			
A0090110	GX形うず巻式フランジ付T字管 φ100*75mm	D水GX内面EP、F:GF7.5	○	○	○	○	○			○			
A0090111	GX形うず巻式フランジ付T字管 φ150*75mm	D水GX内面EP、F:GF7.5	○	○	○	○	○			○			
A0090112	GX形うず巻式フランジ付T字管 φ200*75mm	D水GX内面EP、F:GF7.5	○	○	○	○	○			○			
A0090113	GX形うず巻式フランジ付T字管 φ250*75mm	D水GX内面EP、F:GF7.5	○	○	○	○	○			○			
A0090114	GX形排水丁字管 φ300*100	D水GX内面EP	○	○	○	○	○						
A0090115	GX形排水丁字管 φ400*150	D水GX内面EP	○	○	○		○						
A0090116	GX形継ぎ輪 φ75mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090117	GX形継ぎ輪 φ100mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090118	GX形継ぎ輪 φ150mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090119	GX形継ぎ輪 φ200mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090120	GX形継ぎ輪 φ250mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090121	GX形継ぎ輪 φ300mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○						
A0090122	GX形継ぎ輪 φ400mm	D水GX内面EP	○	○	○		○						
A0090123	GX形継輪用特殊押輪 φ75mm	D水GX 本体のみ						○	○				
A0090124	GX形継輪用特殊押輪 φ100mm	D水GX 本体のみ						○	○				
A0090125	GX形継輪用特殊押輪 φ150mm	D水GX 本体のみ						○	○				

A009 GX形

5/11

A009 GX形													
単価番号	名称	規格	(1)クボタ	(2)日本鑄鉄	(3)栗本鐵工	(4)岡本	(5)ハズ	(8)大成機工	(9)コスモ	(19)外一鑄造	(37)巴製作所		
A0090126	GX形継輪用特殊押輪 φ200mm	D水GX 本体のみ						○	○				
A0090127	GX形継輪用特殊押輪 φ250mm	D水GX 本体のみ						○	○				
A0090128	GX形継輪用特殊押輪 φ300mm	D水GX 本体のみ						○	○				
A0090129	GX形継輪用特殊押輪 φ400mm	D水GX 本体のみ						○	○				
A0090130	GX形帽 φ75mm	D水GX内面EPプラグ付	○	○	○	○	○			○			
A0090131	GX形帽 φ100mm	D水GX内面EPプラグ付	○	○	○	○	○			○			
A0090132	GX形帽 φ150mm	D水GX内面EPプラグ付	○	○	○	○	○			○			
A0090133	GX形帽 φ200mm	D水GX内面EPプラグ付	○	○	○	○	○			○			
A0090134	GX形帽 φ250mm	D水GX内面EPプラグ付	○	○	○	○	○			○			
A0090135	GX形帽 φ300mm	D水GX内面EPプラグ付	○	○	○	○	○						
A0090136	GX形帽 φ400mm	D水GX内面EPプラグ付	○	○	○		○						
A0090137	GX形接合セット(異形管、SC弁)φ75	ゴム輪、押輪、ボルト、ナット	○	○	○		○						
A0090138	GX形接合セット(異形管、SC弁)φ100	ゴム輪、押輪、ボルト、ナット	○	○	○		○						
A0090139	GX形接合セット(異形管、SC弁)φ150	ゴム輪、押輪、ボルト、ナット	○	○	○		○						
A0090140	GX形接合セット(異形管、SC弁)φ200	ゴム輪、押輪、ボルト、ナット	○	○	○		○						
A0090141	GX形接合セット(異形管、SC弁)φ250	ゴム輪、押輪、ボルト、ナット	○	○	○		○						
A0090142	GX形接合セット(異形管、SC弁)φ300	ゴム輪、押輪、ボルト、ナット	○	○	○		○						
A0090143	GX形接合セット(異形管、SC弁)φ400	ゴム輪、押輪、ボルト、ナット	○	○	○		○						
A0090144	GX形用ライナ φ75mm	D水GX、ライナボード含む	○	○	○								
A0090145	GX形用ライナ φ100mm	D水GX、ライナボード含む	○	○	○								
A0090146	GX形用ライナ φ150mm	D水GX、ライナボード含む	○	○	○								
A0090147	GX形用ライナ φ200mm	D水GX、ライナボード含む	○	○	○								
A0090148	GX形用ライナ φ250mm	D水GX、ライナボード含む	○	○	○								
A0090149	GX形用ライナ φ300mm	D水GX、ライナボード含む	○	○	○								
A0090150	GX形用ライナ φ400mm	D水GX、ライナボード含む	○	○	○								

A009 GX形

6/11

A009 GX形													
単価番号	名称	規格	(1)クボタ	(2)日本鋳鉄	(3)栗本鋳工	(4)岡本	(5)ハズ	(8)大成機工	(9)コスモ	(19)外一鑄造	(37)巴製作所		
A0090151	GX形両受短管 φ75mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090152	GX形両受短管 φ100mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090153	GX形両受短管 φ150mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090154	GX形両受短管 φ200mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090155	GX形両受短管 φ250mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090156	GX形両受短管 φ300mm	D水GX内面EP	○	○	○	○	○						
A0090157	GX形両受短管 φ400mm	D水GX内面EP	○	○	○		○						
A0090158	GX形乙字管 φ75mm 300H	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090159	GX形乙字管 φ75mm 450H	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090160	GX形乙字管 φ100mm 300H	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090161	GX形乙字管 φ100mm 450H	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090162	GX形乙字管 φ150mm 300H	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090163	GX形乙字管 φ150mm 450H	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090164	GX形乙字管 φ200mm 300H	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090165	GX形乙字管 φ200mm 450H	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090166	GX形乙字管 φ250mm 300H	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090167	GX形乙字管 φ250mm 450H	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090168	GX形乙字管 φ300mm 300H	D水GX内面EP	○	○	○	○	○						
A0090169	GX形乙字管 φ300mm 450H	D水GX内面EP	○	○	○	○	○						
A0090170	GX切管ユニット(P-Linkセット)φ75mm	本体、ゴム輪	○	○	○								
A0090171	GX切管ユニット(P-Linkセット)φ100mm	本体、ゴム輪	○	○	○								
A0090172	GX切管ユニット(P-Linkセット)φ150mm	本体、ゴム輪	○	○	○								
A0090173	GX切管ユニット(P-Linkセット)φ200mm	本体、ゴム輪	○	○	○								
A0090174	GX切管ユニット(P-Linkセット)φ250mm	本体、ゴム輪	○	○	○								
A0090175	GX切管ユニット(P-Linkセット)φ300mm	本体、ゴム輪	○	○	○								

A009 GX形

7/11

A009 GX形													
単価番号	名称	規格	(1)クボタ	(2)日本鋳鉄	(3)栗本鋳工	(4)岡本	(5)ハズ	(8)大成機工	(9)コスモ	(19)外一鑄造	(37)巴製作所		
A0090176	GX切管ユニット(G-Linkセット)φ75mm	本体、ゴム輪、ボルト、ナット	○	○	○								
A0090177	GX切管ユニット(G-Linkセット)φ100mm	本体、ゴム輪、ボルト、ナット	○	○	○								
A0090178	GX切管ユニット(G-Linkセット)φ150mm	本体、ゴム輪、ボルト、ナット	○	○	○								
A0090179	GX切管ユニット(G-Linkセット)φ200mm	本体、ゴム輪、ボルト、ナット	○	○	○								
A0090180	GX切管ユニット(G-Linkセット)φ250mm	本体、ゴム輪、ボルト、ナット	○	○	○								
A0090181	GX切管ユニット(G-Linkセット)φ300mm	本体、ゴム輪、ボルト、ナット	○	○	○								
A0090182	GX切管ユニット(挿しロッキング)φ75mm		○	○	○								
A0090183	GX切管ユニット(挿しロッキング)φ100mm		○	○	○								
A0090184	GX切管ユニット(挿しロッキング)φ150mm		○	○	○								
A0090185	GX切管ユニット(挿しロッキング)φ200mm		○	○	○								
A0090186	GX切管ユニット(挿しロッキング)φ250mm		○	○	○								
A0090187	GX切管ユニット(挿しロッキング)φ300mm		○	○	○								
A0090188	GX切管ユニット(挿しロッキング)φ300mm(継ぎ輪接合用)		○		○								
A0090189	GX切管ユニット(挿しロッキング)φ400mm		○	○	○								
A0090190	GX切管ユニット(挿しロッキング)φ400mm(継ぎ輪接合用)		○		○								
A0090191	GX形押輪 φ75mm	D水GX	○	○	○		○						
A0090192	GX形押輪 φ100mm	D水GX	○	○	○		○						
A0090193	GX形押輪 φ150mm	D水GX	○	○	○		○						
A0090194	GX形押輪 φ200mm	D水GX	○	○	○		○						
A0090195	GX形押輪 φ250mm	D水GX	○	○	○		○						
A0090196	GX形押輪 φ300mm	D水GX	○	○	○		○						
A0090197	GX形押輪 φ400mm	D水GX	○	○	○		○						
A0090198	GX形短管1号 φ75mm(7.5k)	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090199	GX形短管1号 φ100mm(7.5k)	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090200	GX形短管1号 φ150mm(7.5k)	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			

A009 GX形

8/11

A009 GX形													
単価番号	名称	規格	(1)クボタ	(2)日本鑄鉄	(3)栗本鐵工	(4)岡本	(5)ハズ	(8)大成機工	(9)コスモ	(19)外一鑄造	(37)巴製作所		
A0090201	GX形短管1号 φ 200mm(7.5k)	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090202	GX形短管1号 φ 250mm(7.5k)	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090203	GX形短管1号 φ 300mm(7.5k)	D水GX内面EP	○	○	○	○	○						
A0090204	GX形短管1号 φ 400mm(7.5k)	D水GX内面EP	○	○	○		○						
A0090205	GX形短管2号 φ 75mm(7.5k)	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090206	GX形短管2号 φ 100mm(7.5k)	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090207	GX形短管2号 φ 150mm(7.5k)	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090208	GX形短管2号 φ 200mm(7.5k)	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090209	GX形短管2号 φ 250mm(7.5k)	D水GX内面EP	○	○	○	○	○			○			
A0090210	GX形短管2号 φ 300mm(7.5k)	D水GX内面EP	○	○	○	○	○						
A0090211	GX形短管2号 φ 400mm(7.5k)	D水GX内面EP	○	○	○		○						
A0090212	GX形メカ栓(直管)φ 75mm							○	○				
A0090213	GX形メカ栓(直管)φ 100mm							○	○				
A0090214	GX形メカ栓(直管)φ 150mm							○	○				
A0090215	GX形メカ栓(直管)φ 200mm							○	○				
A0090216	GX形メカ栓(直管)φ 250mm							○	○				
A0090217	GX形メカ栓(直管)φ 300mm							○	○				
A0090218	GX形メカ栓(直管)φ 400mm							○	○				
A0090219	GX形メカ栓(異形管)φ 75mm							○	○				
A0090220	GX形メカ栓(異形管)φ 100mm							○	○				
A0090221	GX形メカ栓(異形管)φ 150mm							○	○				
A0090222	GX形メカ栓(異形管)φ 200mm							○	○				
A0090223	GX形メカ栓(異形管)φ 250mm							○	○				
A0090224	GX形メカ栓(異形管)φ 300mm							○	○				
A0090225	GX形メカ栓(異形管)φ 400mm							○	○				

A009 GX形

9/11

A009 GX形													
単価番号	名称	規格	(1)クボタ	(2)日本鑄鉄	(3)栗本鐵工	(4)岡本	(5)ハズ	(8)大成機工	(9)コスモ	(19)外一鑄造	(37)巴製作所		
A0090226	GX形メカ帽	φ 75、NS形兼用、BN押輪付						○	○				
A0090227	GX形メカ帽	φ 100、NS形兼用、BN押輪付						○	○				
A0090228	GX形メカ帽	φ 150、NS形兼用、BN押輪付						○	○				
A0090229	GX形メカ帽	φ 200、NS形兼用、BN押輪付						○	○				
A0090230	GX形メカ帽	φ 250、NS形兼用、BN押輪付						○	○				
A0090231	GX形メカ帽	φ 300、NS形兼用、BN押輪付						○	○				
A0090232	GX形メカ帽	φ 350、NS形兼用、BN押輪付						○	○				
A0090233	GX形メカ帽	φ 400、NS形兼用、BN押輪付						○	○				
A0090234	GX形メカ帽	φ 450、NS形兼用、BN押輪付						○	○				
A0090235	GX形ゴム輪(直管)φ 75mm		○	○	○								
A0090236	GX形ゴム輪(直管)φ 100mm		○	○	○								
A0090237	GX形ゴム輪(直管)φ 150mm		○	○	○								
A0090238	GX形ゴム輪(直管)φ 200mm		○	○	○								
A0090239	GX形ゴム輪(直管)φ 250mm		○	○	○								
A0090240	GX形ゴム輪(直管)φ 300mm		○	○	○								
A0090241	GX形ゴム輪(直管)φ 400mm		○	○	○								
A0090242	GX形ゴム輪(異形管)φ 75mm		○	○	○		○						
A0090243	GX形ゴム輪(異形管)φ 100mm		○	○	○		○						
A0090244	GX形ゴム輪(異形管)φ 150mm		○	○	○		○						
A0090245	GX形ゴム輪(異形管)φ 200mm		○	○	○		○						
A0090246	GX形ゴム輪(異形管)φ 250mm		○	○	○		○						
A0090247	GX形ゴム輪(異形管)φ 300mm		○	○	○		○						
A0090248	GX形ゴム輪(異形管)φ 400mm		○	○	○		○						
A0090249	T鋼ホトナリ(SUS、焼付き防止仕様)	D水GX、φ 75用(M16*100*2本)	○	○	○		○				○		
A0090250	T鋼ホトナリ(SUS、焼付き防止仕様)	D水GX、φ 100用(M20*100*2本)	○	○	○		○				○		
A0090251	T鋼ホトナリ(SUS、焼付き防止仕様)	D水GX、φ 150用(M20*100*3本)	○	○	○		○				○		

A009 GX形

10/11

A009 GX形													
単価番号	名称	規格	(1)クボタ	(2)日本鋳鉄	(3)栗本鐵工	(4)岡本	(5)ハズ	(8)大成機工	(9)コスモ	(19)伊一鑄造	(37)巴製作所		
A0090252	T頭ホルト・ナット (SUS、焼付き防止仕様)	D水GX、φ200用(M20*100*3本)	○	○	○		○				○		
A0090253	T頭ホルト・ナット (SUS、焼付き防止仕様)	D水GX、φ250用(M20*100*4本)	○	○	○		○				○		
A0090254	T頭ホルト・ナット (SUS、焼付き防止仕様)	D水GX、φ300用(M20*110*4本)	○	○	○		○				○		
A0090255	T頭ホルト・ナット (SUS、焼付き防止仕様)	D水GX、φ400用(M20*110*6本)	○	○	○		○				○		

A009 GX形

B001 鋼管類													
単価番号	名称	規格	(15)スチール製鋼管管材	(20)桑名金属	(21)リケン	(22)シーケー金属	(41)日本継手						
B0010001	鋼管 φ13mm*4.0m	SGP-VB内面硬質塩化ビニル外面亜鉛めき	○										
B0010002	鋼管 φ20mm*4.0m	SGP-VB内面硬質塩化ビニル外面亜鉛めき	○										
B0010003	鋼管 φ25mm*4.0m	SGP-VB内面硬質塩化ビニル外面亜鉛めき	○										
B0010004	鋼管 φ30mm*4.0m	SGP-VB内面硬質塩化ビニル外面亜鉛めき	○										
B0010005	鋼管 φ40mm*4.0m	SGP-VB内面硬質塩化ビニル外面亜鉛めき	○										
B0010006	鋼管 φ50mm*4.0m	SGP-VB内面硬質塩化ビニル外面亜鉛めき	○										
B0010007	鋼管 φ75mm*4.0m	SGP-VB内面硬質塩化ビニル外面亜鉛めき	○										
B0010008	鋼管 φ100mm*4.0m	SGP-VB内面硬質塩化ビニル外面亜鉛めき	○										
B0010017	鋼管90°エルボ	φ13mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010018	鋼管90°エルボ	φ20mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010019	鋼管90°エルボ	φ25mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010020	鋼管90°エルボ	φ30mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010021	鋼管90°エルボ	φ40mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010022	鋼管90°エルボ	φ50mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010023	鋼管90°エルボ	φ75mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010024	鋼管90°エルボ	φ100mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010025	鋼管45°エルボ	φ13mm内面樹脂コーティング			○								
B0010026	鋼管45°エルボ	φ20mm内面樹脂コーティング			○								
B0010027	鋼管45°エルボ	φ25mm内面樹脂コーティング			○								
B0010028	鋼管45°エルボ	φ30mm内面樹脂コーティング			○								
B0010029	鋼管45°エルボ	φ40mm内面樹脂コーティング			○								
B0010030	鋼管45°エルボ	φ50mm内面樹脂コーティング			○								
B0010031	鋼管45°エルボ	φ75mm内面樹脂コーティング			○								
B0010032	鋼管45°エルボ	φ100mm内面樹脂コーティング			○								
B0010033	径違いエルボ	φ20*13内面樹脂コーティング			○		○						

B001 鋼管類

B001 鋼管類													
単価番号	名称	規格	(15) 鋼管鋼管管材料	(20) 桑名金属	(21) リケン	(22) シーケー金属	(41) 日本継手						
B0010034	径違いエルボ	φ 25*13内面樹脂コーティング			○		○						
B0010035	径違いエルボ	φ 25*20内面樹脂コーティング			○		○						
B0010036	径違いエルボ	φ 30*13内面樹脂コーティング			○		○						
B0010037	径違いエルボ	φ 30*20内面樹脂コーティング			○		○						
B0010038	径違いエルボ	φ 30*25内面樹脂コーティング			○		○						
B0010039	径違いエルボ	φ 40*13内面樹脂コーティング			○		○						
B0010040	径違いエルボ	φ 40*20内面樹脂コーティング			○		○						
B0010041	径違いエルボ	φ 40*25内面樹脂コーティング			○		○						
B0010042	径違いエルボ	φ 40*30内面樹脂コーティング			○		○						
B0010043	径違いエルボ	φ 50*13内面樹脂コーティング			○		○						
B0010044	径違いエルボ	φ 50*20内面樹脂コーティング			○		○						
B0010045	径違いエルボ	φ 50*25内面樹脂コーティング			○		○						
B0010046	径違いエルボ	φ 50*30内面樹脂コーティング			○		○						
B0010047	径違いエルボ	φ 50*40内面樹脂コーティング			○		○						
B0010048	径違いエルボ	φ 75*13内面樹脂コーティング											
B0010049	径違いエルボ	φ 75*20内面樹脂コーティング											
B0010050	径違いエルボ	φ 75*25内面樹脂コーティング			○								
B0010051	径違いエルボ	φ 75*30内面樹脂コーティング			○								
B0010052	径違いエルボ	φ 75*40内面樹脂コーティング			○								
B0010053	径違いエルボ	φ 75*50内面樹脂コーティング			○								
B0010054	径違いエルボ	φ 100*13内面樹脂コーティング											
B0010055	径違いエルボ	φ 100*20内面樹脂コーティング											
B0010056	径違いエルボ	φ 100*25内面樹脂コーティング											
B0010057	径違いエルボ	φ 100*30内面樹脂コーティング											
B0010058	径違いエルボ	φ 100*40内面樹脂コーティング			○								

B001 鋼管類

2/9

B001 鋼管類													
単価番号	名称	規格	(15) 鋼管鋼管管材料	(20) 桑名金属	(21) リケン	(22) シーケー金属	(41) 日本継手						
B0010059	径違いエルボ	φ 100*50内面樹脂コーティング			○								
B0010060	径違いエルボ	φ 100*75内面樹脂コーティング			○								
B0010061	チース	φ 13mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010062	チース	φ 20mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010063	チース	φ 25mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010064	チース	φ 30mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010065	チース	φ 40mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010066	チース	φ 50mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010067	チース	φ 75mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010068	チース	φ 100mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010069	径違いチース	φ 20*13内面樹脂コーティング			○		○						
B0010070	径違いチース	φ 25*13内面樹脂コーティング			○								
B0010071	径違いチース	φ 25*20内面樹脂コーティング			○		○						
B0010072	径違いチース	φ 30*13内面樹脂コーティング			○								
B0010073	径違いチース	φ 30*20内面樹脂コーティング			○		○						
B0010074	径違いチース	φ 30*25内面樹脂コーティング			○		○						
B0010075	径違いチース	φ 40*13内面樹脂コーティング			○								
B0010076	径違いチース	φ 40*20内面樹脂コーティング			○		○						
B0010077	径違いチース	φ 40*25内面樹脂コーティング			○		○						
B0010078	径違いチース	φ 40*30内面樹脂コーティング			○		○						
B0010079	径違いチース	φ 50*13内面樹脂コーティング			○		○						
B0010080	径違いチース	φ 50*20内面樹脂コーティング			○		○						
B0010081	径違いチース	φ 50*25内面樹脂コーティング			○		○						
B0010082	径違いチース	φ 50*30内面樹脂コーティング			○		○						
B0010083	径違いチース	φ 50*40内面樹脂コーティング			○		○						

B001 鋼管類

3/9

B001 鋼管類													
単価番号	名称	規格	(15) 鋼管鋼管管材料	(20) 桑名金属	(21) リケン	(22) シーケ-金属	(41) 日本継手						
B0010084	径違いチース	φ 75*13内面樹脂コーティング			○								
B0010085	径違いチース	φ 75*20内面樹脂コーティング			○								
B0010086	径違いチース	φ 75*25内面樹脂コーティング			○								
B0010087	径違いチース	φ 75*30内面樹脂コーティング			○								
B0010088	径違いチース	φ 75*40内面樹脂コーティング			○								
B0010089	径違いチース	φ 75*50内面樹脂コーティング			○								
B0010090	径違いチース	φ 100*13内面樹脂コーティング			○								
B0010091	径違いチース	φ 100*20内面樹脂コーティング			○								
B0010092	径違いチース	φ 100*25内面樹脂コーティング			○								
B0010093	径違いチース	φ 100*30内面樹脂コーティング			○								
B0010094	径違いチース	φ 100*40内面樹脂コーティング			○								
B0010095	径違いチース	φ 100*50内面樹脂コーティング			○								
B0010096	径違いチース	φ 100*75内面樹脂コーティング			○								
B0010097	六角ニッブル	φ 13mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010098	六角ニッブル	φ 20mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010099	六角ニッブル	φ 25mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010100	六角ニッブル	φ 30mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010101	六角ニッブル	φ 40mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010102	六角ニッブル	φ 50mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010103	六角ニッブル	φ 75mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010104	六角ニッブル	φ 100mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010105	プラグ	φ 13mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010106	プラグ	φ 20mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010107	プラグ	φ 25mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010108	プラグ	φ 30mm内面樹脂コーティング			○		○						

B001 鋼管類

4/9

B001 鋼管類													
単価番号	名称	規格	(15) 鋼管鋼管管材料	(20) 桑名金属	(21) リケン	(22) シーケ-金属	(41) 日本継手						
B0010109	プラグ	φ 40mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010110	プラグ	φ 50mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010111	プラグ	φ 75mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010112	プラグ	φ 100mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010113	ソケット	φ 13mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010114	ソケット	φ 20mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010115	ソケット	φ 25mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010116	ソケット	φ 30mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010117	ソケット	φ 40mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010118	ソケット	φ 50mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010119	ソケット	φ 75mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010120	ソケット	φ 100mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010121	径違いソケット	φ 20*13内面樹脂コーティング			○		○						
B0010122	径違いソケット	φ 25*13内面樹脂コーティング			○								
B0010123	径違いソケット	φ 25*20内面樹脂コーティング			○		○						
B0010124	径違いソケット	φ 30*13内面樹脂コーティング			○								
B0010125	径違いソケット	φ 30*20内面樹脂コーティング			○		○						
B0010126	径違いソケット	φ 30*25内面樹脂コーティング			○		○						
B0010127	径違いソケット	φ 40*13内面樹脂コーティング			○								
B0010128	径違いソケット	φ 40*20内面樹脂コーティング			○		○						
B0010129	径違いソケット	φ 40*25内面樹脂コーティング			○		○						
B0010130	径違いソケット	φ 40*30内面樹脂コーティング			○		○						
B0010131	径違いソケット	φ 50*13内面樹脂コーティング			○								
B0010132	径違いソケット	φ 50*20内面樹脂コーティング			○		○						
B0010133	径違いソケット	φ 50*25内面樹脂コーティング			○		○						

B001 鋼管類

5/9

B001 鋼管類													
単価番号	名称	規格	(15) 鋼管鋼管管材料	(20) 桑名金属	(21) リケン	(22) シーケ-金属	(41) 日本継手						
B0010134	径違いソケット	φ 50*30内面樹脂コーティング			○		○						
B0010135	径違いソケット	φ 50*40内面樹脂コーティング			○		○						
B0010136	径違いソケット	φ 75*13内面樹脂コーティング			○								
B0010137	径違いソケット	φ 75*20内面樹脂コーティング			○								
B0010138	径違いソケット	φ 75*25内面樹脂コーティング			○								
B0010139	径違いソケット	φ 75*30内面樹脂コーティング			○								
B0010140	径違いソケット	φ 75*40内面樹脂コーティング			○								
B0010141	径違いソケット	φ 75*50内面樹脂コーティング			○								
B0010142	径違いソケット	φ 100*13内面樹脂コーティング											
B0010143	径違いソケット	φ 100*20内面樹脂コーティング			○								
B0010144	径違いソケット	φ 100*25内面樹脂コーティング			○								
B0010145	径違いソケット	φ 100*30内面樹脂コーティング			○								
B0010146	径違いソケット	φ 100*40内面樹脂コーティング			○								
B0010147	径違いソケット	φ 100*50内面樹脂コーティング			○								
B0010148	径違いソケット	φ 100*75内面樹脂コーティング			○								
B0010149	フッシング	φ 20*13内面樹脂コーティング			○		○						
B0010150	フッシング	φ 25*13内面樹脂コーティング			○		○						
B0010151	フッシング	φ 25*20内面樹脂コーティング			○		○						
B0010152	フッシング	φ 30*13内面樹脂コーティング			○		○						
B0010153	フッシング	φ 30*20内面樹脂コーティング			○		○						
B0010154	フッシング	φ 30*25内面樹脂コーティング			○		○						
B0010155	フッシング	φ 40*13内面樹脂コーティング			○		○						
B0010156	フッシング	φ 40*20内面樹脂コーティング			○		○						
B0010157	フッシング	φ 40*25内面樹脂コーティング			○		○						
B0010158	フッシング	φ 40*30内面樹脂コーティング			○		○						

B001 鋼管類

6/9

B001 鋼管類													
単価番号	名称	規格	(15) 鋼管鋼管管材料	(20) 桑名金属	(21) リケン	(22) シーケ-金属	(41) 日本継手						
B0010159	フッシング	φ 50*13内面樹脂コーティング			○								
B0010160	フッシング	φ 50*20内面樹脂コーティング			○		○						
B0010161	フッシング	φ 50*25内面樹脂コーティング			○		○						
B0010162	フッシング	φ 50*30内面樹脂コーティング			○		○						
B0010163	フッシング	φ 50*40内面樹脂コーティング			○		○						
B0010164	フッシング	φ 75*13内面樹脂コーティング			○								
B0010165	フッシング	φ 75*20内面樹脂コーティング			○		○						
B0010166	フッシング	φ 75*25内面樹脂コーティング			○		○						
B0010167	フッシング	φ 75*30内面樹脂コーティング			○		○						
B0010168	フッシング	φ 75*40内面樹脂コーティング			○		○						
B0010169	フッシング	φ 75*50内面樹脂コーティング			○		○						
B0010170	フッシング	φ 100*13内面樹脂コーティング											
B0010171	フッシング	φ 100*20内面樹脂コーティング			○		○						
B0010172	フッシング	φ 100*25内面樹脂コーティング			○		○						
B0010173	フッシング	φ 100*30内面樹脂コーティング			○		○						
B0010174	フッシング	φ 100*40内面樹脂コーティング			○		○						
B0010175	フッシング	φ 100*50内面樹脂コーティング			○		○						
B0010176	フッシング	φ 100*75内面樹脂コーティング			○		○						
B0010177	クロス	φ 13mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010178	クロス	φ 20mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010179	クロス	φ 25mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010180	クロス	φ 30mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010181	クロス	φ 40mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010182	ユニオン	φ 13mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010183	ユニオン	φ 20mm内面樹脂コーティング			○		○						

B001 鋼管類

7/9

B001 鋼管類													
単価番号	名称	規格	(15) 鋼管鋼管管材料	(20) 桑名金属	(21) リケン	(22) シーケ-金属	(41) 日本継手						
B0010184	ユニオン	φ 25mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010185	ユニオン	φ 30mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010186	ユニオン	φ 40mm内面樹脂コーティング			○		○						
B0010187	Hiナットソケット	φ 13mmワックリング付内面樹脂コーティング		○	○	○							
B0010188	Hiナットソケット	φ 20mmワックリング付内面樹脂コーティング		○	○	○							
B0010189	Hiナットソケット	φ 25mmワックリング付内面樹脂コーティング		○	○	○							
B0010190	Hiナットソケット	φ 30mmワックリング付内面樹脂コーティング		○	○	○							
B0010191	Hiナットソケット	φ 40mmワックリング付内面樹脂コーティング		○	○	○							
B0010192	Hiナットソケット	φ 50mmワックリング付内面樹脂コーティング		○	○	○							
B0010193	Hiナットソケット	φ 75mmワックリング付内面樹脂コーティング		○	○	○							
B0010194	Hiナットチース	φ 13mmワックリング付内面樹脂コーティング		○	○	○							
B0010195	Hiナットチース	φ 20mmワックリング付内面樹脂コーティング		○	○	○							
B0010196	Hiナットチース	φ 25mmワックリング付内面樹脂コーティング		○	○	○							
B0010197	Hiナットチース	φ 30mmワックリング付内面樹脂コーティング		○	○	○							
B0010198	Hiナットチース	φ 40mmワックリング付内面樹脂コーティング		○	○	○							
B0010199	Hiナットチース	φ 50mmワックリング付内面樹脂コーティング		○	○	○							
B0010200	Hiナットチース	φ 75mmワックリング付内面樹脂コーティング			○								
B0010201	Hiナット径違いチース	φ 20*13ワックリング付内面樹脂コーティング		○		○							
B0010202	Hiナット径違いチース	φ 25*13ワックリング付内面樹脂コーティング		○		○							
B0010203	Hiナット径違いチース	φ 25*20ワックリング付内面樹脂コーティング		○		○							
B0010204	Hiナット径違いチース	φ 30*13ワックリング付内面樹脂コーティング		○		○							
B0010205	Hiナット径違いチース	φ 30*20ワックリング付内面樹脂コーティング		○		○							
B0010206	Hiナット径違いチース	φ 40*13ワックリング付内面樹脂コーティング		○		○							
B0010207	Hiナット径違いチース	φ 40*20ワックリング付内面樹脂コーティング		○		○							
B0010208	Hiナット径違いチース	φ 40*30ワックリング付内面樹脂コーティング		○		○							

B001 鋼管類

8/9

B001 鋼管類													
単価番号	名称	規格	(15) 鋼管鋼管管材料	(20) 桑名金属	(21) リケン	(22) シーケ-金属	(41) 日本継手						
B0010209	Hiナット径違いチース	φ 50*13ワックリング付内面樹脂コーティング		○		○							
B0010210	Hiナット径違いチース	φ 50*20ワックリング付内面樹脂コーティング		○		○							
B0010211	Hiナット径違いチース	φ 50*25ワックリング付内面樹脂コーティング		○		○							
B0010212	Hiナット径違いチース	φ 50*30ワックリング付内面樹脂コーティング		○		○							
B0010213	Hiナット径違いチース	φ 50*40ワックリング付内面樹脂コーティング		○		○							
B0010214	Hiナット径違いチース	φ 75*50ワックリング付内面樹脂コーティング		○		○							
B0010215	Hiナットエルボ	φ 13mmワックリング付内面樹脂コーティング		○	○	○							
B0010216	Hiナットエルボ	φ 20mmワックリング付内面樹脂コーティング		○	○	○							
B0010217	Hiナットエルボ	φ 25mmワックリング付内面樹脂コーティング		○	○	○							
B0010218	Hiナットエルボ	φ 30mmワックリング付内面樹脂コーティング		○	○	○							
B0010219	Hiナットエルボ	φ 40mmワックリング付内面樹脂コーティング		○	○	○							
B0010220	Hiナットエルボ	φ 50mmワックリング付内面樹脂コーティング		○	○	○							

B001 鋼管類

9/9

B002 硬質塩化ビニル管(HIVP)														
単価番号	名称	規格	(17) 糖水化学	(23) 芳香族ポリオレフィン	(24) 超有機材									
B0020002	HIVP直管	φ 13*4.0m	○	○	○									
B0020004	HIVP直管	φ 20*4.0m	○	○	○									
B0020006	HIVP直管	φ 25*4.0m	○	○	○									
B0020008	HIVP直管	φ 30*4.0m	○	○	○									
B0020010	HIVP直管	φ 40*4.0m	○	○	○									
B0020012	HIVP直管	φ 50*4.0m	○	○	○									
B0020014	HIVP直管	φ 75*4.0m	○	○	○									
B0020016	HIVP直管	φ 100*4.0m	○	○	○									
B0020017	HITSソケット	φ 13mm	○	○	○									
B0020018	HITSソケット	φ 20mm	○	○	○									
B0020019	HITSソケット	φ 25mm	○	○	○									
B0020020	HITSソケット	φ 30mm	○	○	○									
B0020021	HITSソケット	φ 40mm	○	○	○									
B0020022	HITSソケット	φ 50mm	○	○	○									
B0020023	HITS径違いソケット	φ 20*13	○	○	○									
B0020024	HITS径違いソケット	φ 25*13	○	○	○									
B0020025	HITS径違いソケット	φ 25*20	○	○	○									
B0020026	HITS径違いソケット	φ 30*20	○	○	○									
B0020027	HITS径違いソケット	φ 30*25	○	○	○									
B0020028	HITS径違いソケット	φ 40*25	○	○	○									
B0020029	HITS径違いソケット	φ 40*30	○	○	○									
B0020030	HITS径違いソケット	φ 50*30	○	○	○									
B0020031	HITS径違いソケット	φ 50*40	○	○	○									
B0020032	HITSチース	φ 13mm	○	○	○									
B0020033	HITSチース	φ 20mm	○	○	○									

B002 硬質塩化ビニル管(HIVP)														
単価番号	名称	規格	(17) 糖水化学	(23) 芳香族ポリオレフィン	(24) 超有機材									
B0020034	HITSチース	φ 25mm	○	○	○									
B0020035	HITSチース	φ 30mm	○	○	○									
B0020036	HITSチース	φ 40mm	○	○	○									
B0020037	HITSチース	φ 50mm	○	○	○									
B0020038	HITS径違いチース	φ 20*13	○	○	○									
B0020039	HITS径違いチース	φ 25*13	○	○	○									
B0020040	HITS径違いチース	φ 25*20	○	○	○									
B0020041	HITS径違いチース	φ 30*13	○	○	○									
B0020042	HITS径違いチース	φ 30*20	○	○	○									
B0020043	HITS径違いチース	φ 30*25	○	○	○									
B0020044	HITS径違いチース	φ 40*13	○	○	○									
B0020045	HITS径違いチース	φ 40*20	○	○	○									
B0020046	HITS径違いチース	φ 40*25	○	○	○									
B0020047	HITS径違いチース	φ 40*30	○	○	○									
B0020048	HITS径違いチース	φ 50*13	○	○	○									
B0020049	HITS径違いチース	φ 50*20	○	○	○									
B0020050	HITS径違いチース	φ 50*25	○	○	○									
B0020051	HITS径違いチース	φ 50*30	○	○	○									
B0020052	HITS径違いチース	φ 50*40	○	○	○									
B0020053	HITSエルボ	φ 13mm	○	○	○									
B0020054	HITSエルボ	φ 20mm	○	○	○									
B0020055	HITSエルボ	φ 25mm	○	○	○									
B0020056	HITSエルボ	φ 30mm	○	○	○									
B0020057	HITSエルボ	φ 40mm	○	○	○									
B0020058	HITSエルボ	φ 50mm	○	○	○									

B002 硬質塩化ビニル管(HIVP)													
単価番号	名称	規格	(17) 積水化学	(23) 7R 99 ミックス	(24) 旭有機材								
B0020059	HITSキャップ	φ 13mm	○	○	○								
B0020060	HITSキャップ	φ 20mm	○	○	○								
B0020061	HITSキャップ	φ 25mm	○	○	○								
B0020062	HITSキャップ	φ 30mm	○	○	○								
B0020063	HITSキャップ	φ 40mm	○	○	○								
B0020064	HITSキャップ	φ 50mm	○	○	○								
B0020065	HITSバルブソケット	φ 13mm	○	○	○								
B0020066	HITSバルブソケット	φ 20mm	○	○	○								
B0020067	HITSバルブソケット	φ 25mm	○	○	○								
B0020068	HITSバルブソケット	φ 30mm	○	○	○								
B0020069	HITSバルブソケット	φ 40mm	○	○	○								
B0020070	HITSバルブソケット	φ 50mm	○	○	○								
B0020071	HITSシモグ(ユニオンソケット)	φ 13mm	○		○								
B0020072	HITSシモグ(ユニオンソケット)	φ 20mm	○		○								
B0020073	HITSシモグ(ユニオンソケット)	φ 25mm	○		○								
B0020074	HITSシモグ(ユニオンソケット)	φ 30mm	○		○								
B0020075	HITSシモグ(ユニオンソケット)	φ 40mm	○		○								
B0020076	HITSシモグ(ユニオンソケット)	φ 50mm	○		○								

B002 硬質塩化ビニル管(HIVP)

3/3

B003 ビニールユニオン													
単価番号	名称	規格	(17) 積水化学	(43) 7R 7 化成									
B0030001	ビニールユニオン	φ 13mm	○	○									
B0030002	ビニールユニオン	φ 20mm	○	○									
B0030003	ビニールユニオン	φ 25mm	○	○									
B0030004	ビニールユニオン	φ 30mm	○	○									
B0030005	ビニールユニオン	φ 40mm	○	○									
B0030006	ビニールユニオン	φ 50mm	○	○									

B003 ビニールユニオン

1/1

B004 ゴム輪形硬質塩化ビニル管(HIVP-RR)													
単価番号	名称	規格	(8) 大成機工	(9) コスモ	(17) 積水化学	(23) 旭硝子	(55) 川西水産						
B0040002	HIVP-RR直管	φ50*5mmゴム輪共			○	○							
B0040004	HIVP-RR直管	φ75*5mmゴム輪共			○	○							
B0040006	HIVP-RR直管	φ100*5mmゴム輪共			○	○							
B0040008	HIVP-RR直管	φ150*5mmゴム輪共			○	○							
B0040009	HIVP-RR 両受ソケット	φ50mm			○	○							
B0040010	HIVP-RR 両受ソケット	φ75mm			○	○							
B0040011	HIVP-RR 両受ソケット	φ100mm			○	○							
B0040012	HIVP-RR 両受ソケット	φ150mm			○	○							
B0040013	HIVP-RR 片受ソケット	φ50mm			○	○							
B0040014	HIVP-RR 片受ソケット	φ75mm			○	○							
B0040015	HIVP-RR 片受ソケット	φ100mm			○	○							
B0040016	HIVP-RR 片受ソケット	φ150mm			○	○							
B0040017	HIVP-RR 径違いソケット	φ75*50RR受口*RR挿口			○	○							
B0040018	HIVP-RR 径違いソケット	φ100*75RR受口*RR挿口			○	○							
B0040019	HIVP-RR 径違いソケット	φ150*100RR受口*RR挿口			○	○							
B0040020	90°ヘント	HIVP-RR、φ50mmゴム輪共			○	○							
B0040021	90°ヘント	HIVP-RR、φ75mmゴム輪共			○	○							
B0040022	90°ヘント	HIVP-RR、φ100mmゴム輪共			○	○							
B0040023	90°ヘント	HIVP-RR、φ150mmゴム輪共			○	○							
B0040024	45°ヘント	HIVP-RR、φ50mmゴム輪共			○	○							
B0040025	45°ヘント	HIVP-RR、φ75mmゴム輪共			○	○							
B0040026	45°ヘント	HIVP-RR、φ100mmゴム輪共			○	○							
B0040027	45°ヘント	HIVP-RR、φ150mmゴム輪共			○	○							
B0040028	22°1/2ヘント	HIVP-RR、φ50mmゴム輪共			○	○							
B0040029	22°1/2ヘント	HIVP-RR、φ75mmゴム輪共			○	○							

B004 ゴム輪形硬質塩化ビニル管(HIVP-RR)

1/4

B004 ゴム輪形硬質塩化ビニル管(HIVP-RR)													
単価番号	名称	規格	(8) 大成機工	(9) コスモ	(17) 積水化学	(23) 旭硝子	(55) 川西水産						
B0040030	22°1/2ヘント	HIVP-RR、φ100mmゴム輪共			○	○							
B0040031	22°1/2ヘント	HIVP-RR、φ150mmゴム輪共			○	○							
B0040032	11°1/4ヘント	HIVP-RR、φ50mmゴム輪共			○	○							
B0040033	11°1/4ヘント	HIVP-RR、φ75mmゴム輪共			○	○							
B0040034	11°1/4ヘント	HIVP-RR、φ100mmゴム輪共			○	○							
B0040035	11°1/4ヘント	HIVP-RR、φ150mmゴム輪共			○	○							
B0040036	5°5/8ヘント	HIVP-RR、φ50mmゴム輪共			○	○							
B0040037	5°5/8ヘント	HIVP-RR、φ75mmゴム輪共			○	○							
B0040038	5°5/8ヘント	HIVP-RR、φ100mmゴム輪共			○	○							
B0040039	5°5/8ヘント	HIVP-RR、φ150mmゴム輪共			○	○							
B0040040	Sヘント	HIVP-RR、φ50、H250、ゴム輪共				○							
B0040041	Sヘント	HIVP-RR、φ75、H300、ゴム輪共				○							
B0040042	Sヘント	HIVP-RR、φ100、H300、ゴム輪共				○							
B0040043	Sヘント	HIVP-RR、φ150、H300、ゴム輪共				○							
B0040044	RR塩ビ用離脱防止金具	RR継手用、φ50mmFCD、L型	○	○	○	○	○						
B0040045	RR鋳鉄異形管用離脱防止金具	φ50mm	○	○									
B0040046	RR鋳鉄異形管用離脱防止金具	φ75mm	○	○									
B0040047	RR鋳鉄異形管用離脱防止金具	φ100mm	○	○									
B0040048	RR鋳鉄異形管用離脱防止金具	φ150mm	○	○									
B0040049	VCジョイント	φ50mm内面EP離脱防止ゴム輪共	○	○			○						
B0040050	VCジョイント	φ75mm内面EP離脱防止ゴム輪共	○	○			○						
B0040051	VCジョイント	φ100mm内面EP離脱防止ゴム輪共	○	○			○						
B0040052	VCジョイント	φ150mm内面EP離脱防止ゴム輪共	○	○			○						
B0040053	VSジョイント	φ50mm内面EP離脱防止ゴム輪共	○	○			○						
B0040054	VSジョイント	φ75mm内面EP離脱防止ゴム輪共	○	○			○						

B004 ゴム輪形硬質塩化ビニル管(HIVP-RR)

2/4

B004 ゴム輪形硬質塩化ビニル管(HIVP-RR)													
単価番号	名称	規格	(8) 大成機工	(9) コスモ	(17) 積水化学	(23) ケミカル	(55) 川西水運						
B0040055	VSジョイント	φ100mm内面EP離脱防止ゴム輪共	○	○			○						
B0040056	VSジョイント	φ150mm内面EP離脱防止ゴム輪共	○	○			○						
B0040057	VSジョイント片落	φ50×40内面EP離脱防止ゴム輪共	○	○			○						
B0040058	VC短管1号	φ50mmゴム輪離脱防止金具共内面EP	○	○			○						
B0040059	VC短管1号ロング型	φ50mmゴム輪離脱防止金具共内面EP	○	○			○						
B0040060	VC短管1号ロング型	φ75mmゴム輪離脱防止金具共内面EP	○	○			○						
B0040061	VC短管1号ロング型	φ100mmゴム輪離脱防止金具共内面EP	○	○			○						
B0040062	VC短管1号ロング型	φ150mmゴム輪離脱防止金具共内面EP	○	○			○						
B0040063	VC短管2号	φ75mmゴム輪離脱防止金具共内面EP	○				○						
B0040064	VC短管2号	φ100mmゴム輪離脱防止金具共内面EP	○				○						
B0040065	VC短管2号	φ150mmゴム輪離脱防止金具共内面EP	○				○						
B0040066	片落VC短管1号	φ75*50ゴム輪離脱防止金具共内面EP	○	○			○						
B0040067	片落VC短管1号	φ100*50ゴム輪離脱防止金具共内面EP		○			○						
B0040068	片落VC短管1号	φ150*50ゴム輪離脱防止金具共内面EP		○			○						
B0040069	片落VC短管2号	φ75*50ゴム輪離脱防止金具共内面EP	○				○						
B0040070	片落VC短管2号	φ100*50ゴム輪離脱防止金具共内面EP	○				○						
B0040071	片落VCジョイント	φ75*50ゴム輪離脱防止金具共内面EP	○	○			○						
B0040072	片落VCジョイント	φ100*50ゴム輪離脱防止金具共内面EP	○	○			○						
B0040073	片落VCジョイント	φ150*50ゴム輪離脱防止金具共内面EP	○	○			○						
B0040074	片落VSジョイント	φ75*50ゴム輪離脱防止金具共内面EP	○	○			○						
B0040075	片落VSジョイント	φ100*50ゴム輪離脱防止金具共内面EP	○	○			○						
B0040076	片落VSジョイント	φ150*50ゴム輪離脱防止金具共内面EP	○	○			○						
B0040077	塩ビ管用曲管(鋳鉄製)	φ50×90"内面EP	○	○			○						
B0040078	塩ビ管用曲管(鋳鉄製)	φ50×45"内面EP	○	○			○						
B0040079	塩ビ管用曲管(鋳鉄製)	φ50×22 1/2"内面EP	○	○			○						

B004 ゴム輪形硬質塩化ビニル管(HIVP-RR)

B004 ゴム輪形硬質塩化ビニル管(HIVP-RR)													
単価番号	名称	規格	(8) 大成機工	(9) コスモ	(17) 積水化学	(23) ケミカル	(55) 川西水運						
B0040080	塩ビ管用曲管(鋳鉄製)	φ50×11 1/4"内面EP	○	○			○						
B0040081	塩ビ管用曲管(鋳鉄製)	φ50×5 5/8"内面EP					○						
B0040082	塩ビ管管末用キャップ(鋳鉄製)	φ50、内面EP	○	○			○						
B0040083	塩ビ管用三受丁字管(鋳鉄製)	φ50*50、内面EP	○	○			○						
B0040084	塩ビ管用継手(鋳鉄製)用ゴム輪	φ50	○										
B0040085	塩ビ管用継手(鋳鉄製)用離脱防止リング・ピース	φ50	○										
B0040086	塩ビ管用継手(鋳鉄製)用押輪	φ50	○										

B004 ゴム輪形硬質塩化ビニル管(HIVP-RR)

B005 割丁字管														
単価番号	名称	規格	(8) 大成機工	(9) コスモ										
B0050001	CIP用割丁字管	φ 75*50 内面EP、捨ハルブ付	○											
B0050002	CIP用割丁字管	φ 100*50 内面EP、捨ハルブ付	○											
B0050003	CIP用割丁字管	φ 150*50 内面EP、捨ハルブ付	○											
B0050004	CIP用割丁字管	φ 200*50 内面EP、捨ハルブ付	○											
B0050005	CIP用割丁字管	φ 250*50 内面EP、捨ハルブ付	○											
B0050006	CIP用割丁字管	φ 300*50 内面EP、捨ハルブ付	○											
B0050007	CIP用割丁字管	φ 350*50 内面EP、捨ハルブ付	○											
B0050008	CIP用割丁字管	φ 400*50 内面EP、捨ハルブ付	○											
B0050009	CIP用割丁字管	φ 450*50 内面EP、捨ハルブ付	○											
B0050010	CIP用割丁字管	φ 500*50 内面EP、捨ハルブ付	○											
B0050011	CIP用割丁字管	φ 100*75 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050012	CIP用割丁字管	φ 150*75 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050013	CIP用割丁字管	φ 200*75 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050014	CIP用割丁字管	φ 250*75 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050015	CIP用割丁字管	φ 300*75 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050016	CIP用割丁字管	φ 350*75 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050017	CIP用割丁字管	φ 400*75 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050018	CIP用割丁字管	φ 450*75 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050019	CIP用割丁字管	φ 500*75 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050020	CIP用割丁字管	φ 600*75 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050021	CIP用割丁字管	φ 150*100 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050022	CIP用割丁字管	φ 200*100 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050023	CIP用割丁字管	φ 250*100 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050024	CIP用割丁字管	φ 300*100 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050025	CIP用割丁字管	φ 350*100 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										

B005 割丁字管

1/4

B005 割丁字管														
単価番号	名称	規格	(8) 大成機工	(9) コスモ										
B0050026	CIP用割丁字管	φ 400*100 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050027	CIP用割丁字管	φ 450*100 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050028	CIP用割丁字管	φ 500*100 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050029	CIP用割丁字管	φ 600*100 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050030	CIP用割丁字管	φ 200*150 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050031	CIP用割丁字管	φ 250*150 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050032	CIP用割丁字管	φ 300*150 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050033	CIP用割丁字管	φ 350*150 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050034	CIP用割丁字管	φ 400*150 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050035	CIP用割丁字管	φ 450*150 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050036	CIP用割丁字管	φ 500*150 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050037	CIP用割丁字管	φ 600*150 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050038	CIP用割丁字管	φ 250*200 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050039	CIP用割丁字管	φ 300*200 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050040	CIP用割丁字管	φ 350*200 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050041	CIP用割丁字管	φ 400*200 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050042	CIP用割丁字管	φ 450*200 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050043	CIP用割丁字管	φ 500*200 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050044	CIP用割丁字管	φ 600*200 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050045	CIP用同径割丁字管	φ 75*75 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050046	CIP用同径割丁字管	φ 100*100 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050047	CIP用同径割丁字管	φ 150*150 内面EP、ソフトシール弁付	○	○										
B0050048	CIP用割丁字管	φ 100*75 内面EP、CIP用フランジ型	○	○										
B0050049	CIP用割丁字管	φ 150*75 内面EP、CIP用フランジ型	○	○										
B0050050	CIP用割丁字管	φ 200*75 内面EP、CIP用フランジ型	○	○										

B005 割丁字管

2/4

B005 割丁字管													
単価番号	名称	規格	(8) 大成機工	(9) コスモ									
B0050051	CIP用割丁字管	φ250*75 内面EP、CIP用フランジ型	○	○									
B0050052	CIP用割丁字管	φ300*75 内面EP、CIP用フランジ型	○	○									
B0050053	CIP用割丁字管	φ350*75 内面EP、CIP用フランジ型	○	○									
B0050054	CIP用割丁字管	φ400*75 内面EP、CIP用フランジ型	○	○									
B0050055	CIP用割丁字管	φ450*75 内面EP、CIP用フランジ型	○	○									
B0050056	CIP用割丁字管	φ500*75 内面EP、CIP用フランジ型	○	○									
B0050057	CIP用割丁字管	φ600*75 内面EP、CIP用フランジ型	○	○									
B0050058	CIP用割丁字管	φ150*100 内面EP、CIP用フランジ型	○	○									
B0050059	CIP用割丁字管	φ200*100 内面EP、CIP用フランジ型	○	○									
B0050060	CIP用割丁字管	φ250*100 内面EP、CIP用フランジ型	○	○									
B0050061	CIP用割丁字管	φ300*100 内面EP、CIP用フランジ型	○	○									
B0050062	CIP用割丁字管	φ350*100 内面EP、CIP用フランジ型	○	○									
B0050063	CIP用割丁字管	φ400*100 内面EP、CIP用フランジ型	○	○									
B0050064	CIP用割丁字管	φ450*100 内面EP、CIP用フランジ型	○	○									
B0050065	CIP用割丁字管	φ500*100 内面EP、CIP用フランジ型	○	○									
B0050066	CIP用割丁字管	φ600*100 内面EP、CIP用フランジ型	○	○									
B0050067	CIP用割丁字管	φ200*150 内面EP、CIP用フランジ型	○	○									
B0050068	CIP用割丁字管	φ250*150 内面EP、CIP用フランジ型	○	○									
B0050069	CIP用割丁字管	φ300*150 内面EP、CIP用フランジ型	○	○									
B0050070	CIP用割丁字管	φ350*150 内面EP、CIP用フランジ型	○	○									
B0050071	CIP用割丁字管	φ400*150 内面EP、CIP用フランジ型	○	○									
B0050072	CIP用割丁字管	φ450*150 内面EP、CIP用フランジ型	○	○									
B0050073	CIP用割丁字管	φ500*150 内面EP、CIP用フランジ型	○	○									
B0050074	CIP用割丁字管	φ600*150 内面EP、CIP用フランジ型	○	○									
B0050075	HPPE用割丁字管	φ75*50 内面EP、捨てバルブ付	○	○									
B0050076	HPPE用割丁字管	φ100*50 内面EP、捨てバルブ付	○	○									

B005 割丁字管													
単価番号	名称	規格	(8) 大成機工	(9) コスモ									
B0050077	HPPE用割丁字管	φ75*75 内面EP、ソトシール弁付	○	○									
B0050078	HPPE用割丁字管	φ100*75 内面EP、ソトシール弁付	○	○									
B0050079	HPPE用割丁字管	φ100*100 内面EP、ソトシール弁付	○	○									
B0050080	HPPE用割丁字管	φ75*75 内面EP フランジ型、CIP用フランジ型	○	○									
B0050081	HPPE用割丁字管	φ100*75 内面EP フランジ型、CIP用フランジ型	○	○									
B0050082	HPPE用割丁字管	φ100*100 内面EP フランジ型、CIP用フランジ型	○	○									

B006 可とう割丁字管													
単価番号	名称	規格	(8) 大成機工	(9) コスモ									
B0060051	可とう分岐割丁字管	φ150*100 内外面EP ソフトシー ル弁付	○	○									
B0060052	可とう分岐割丁字管	φ200*100 内外面EP ソフトシー ル弁付	○	○									
B0060053	可とう分岐割丁字管	φ250*100 内外面EP ソフトシー ル弁付	○	○									
B0060054	可とう分岐割丁字管	φ300*100 内外面EP ソフトシー ル弁付	○	○									
B0060055	可とう分岐割丁字管	φ350*100 内外面EP ソフトシー ル弁付	○	○									
B0060056	可とう分岐割丁字管	φ400*100 内外面EP ソフトシー ル弁付	○	○									
B0060057	可とう分岐割丁字管	φ450*100 内外面EP ソフトシー ル弁付	○	○									
B0060058	可とう分岐割丁字管	φ500*100 内外面EP ソフトシー ル弁付	○	○									
B0060059	可とう分岐割丁字管	φ600*100 内外面EP ソフトシー ル弁付	○	○									
B0060060	可とう分岐割丁字管	φ150*150 内外面EP ソフトシー ル弁付	○	○									
B0060061	可とう分岐割丁字管	φ200*150 内外面EP ソフトシー ル弁付	○	○									
B0060062	可とう分岐割丁字管	φ250*150 内外面EP ソフトシー ル弁付	○	○									
B0060063	可とう分岐割丁字管	φ300*150 内外面EP ソフトシー ル弁付	○	○									
B0060064	可とう分岐割丁字管	φ350*150 内外面EP ソフトシー ル弁付	○	○									
B0060065	可とう分岐割丁字管	φ400*150 内外面EP ソフトシー ル弁付	○	○									
B0060066	可とう分岐割丁字管	φ450*150 内外面EP ソフトシー ル弁付	○	○									
B0060067	可とう分岐割丁字管	φ500*150 内外面EP ソフトシー ル弁付	○	○									
B0060068	可とう分岐割丁字管	φ600*150 内外面EP ソフトシー ル弁付	○	○									
B0060069	可とう分岐割丁字管	φ200*200 内外面EP ソフトシー ル弁付	○	○									
B0060070	可とう分岐割丁字管	φ250*200 内外面EP ソフトシー ル弁付	○	○									
B0060071	可とう分岐割丁字管	φ300*200 内外面EP ソフトシー ル弁付	○	○									
B0060072	可とう分岐割丁字管	φ350*200 内外面EP ソフトシー ル弁付	○	○									
B0060073	可とう分岐割丁字管	φ400*200 内外面EP ソフトシー ル弁付	○	○									
B0060074	可とう分岐割丁字管	φ450*200 内外面EP ソフトシー ル弁付	○	○									
B0060075	可とう分岐割丁字管	φ500*200 内外面EP ソフトシー ル弁付	○	○									

B006 可とう割丁字管													
単価番号	名称	規格	(8) 大成機工	(9) コスモ									
B0060076	可とう分岐割丁字管	φ600*200 内外面EP ソフトシー ル弁付	○	○									

B007 耐震型割丁字管														
単価番号	名称	規格	(8) 大成機工	(9) コスモ										
B0070001	耐震型割丁字管	φ 200*200 捨てバルブ付 K形受	○											
B0070002	耐震型割丁字管	φ 250*200 捨てバルブ付 K形受	○											
B0070003	耐震型割丁字管	φ 250*250 捨てバルブ付 K形受	○											
B0070004	耐震型割丁字管	φ 300*200 捨てバルブ付 K形受	○											
B0070005	耐震型割丁字管	φ 300*250 捨てバルブ付 K形受	○											
B0070006	耐震型割丁字管	φ 300*300 捨てバルブ付 K形受	○											
B0070007	耐震型割丁字管	φ 200*200 捨てバルブ付 K形挿	○											
B0070008	耐震型割丁字管	φ 250*200 捨てバルブ付 K形挿	○											
B0070009	耐震型割丁字管	φ 250*250 捨てバルブ付 K形挿	○											
B0070010	耐震型割丁字管	φ 300*200 捨てバルブ付 K形挿	○											
B0070011	耐震型割丁字管	φ 300*250 捨てバルブ付 K形挿	○											
B0070012	耐震型割丁字管	φ 300*300 捨てバルブ付 K形挿	○											
B0070013	耐震型割丁字管	φ 75*75 ソフトシール弁付 K形受	○											
B0070014	耐震型割丁字管	φ 100*75 ソフトシール弁付 K形受	○											
B0070015	耐震型割丁字管	φ 100*100 ソフトシール弁付 K形受	○											
B0070016	耐震型割丁字管	φ 150*75 ソフトシール弁付 K形受	○											
B0070017	耐震型割丁字管	φ 150*100 ソフトシール弁付 K形受	○											
B0070018	耐震型割丁字管	φ 150*150 ソフトシール弁付 K形受	○											
B0070019	耐震型割丁字管	φ 200*75 ソフトシール弁付 K形受	○											
B0070020	耐震型割丁字管	φ 200*100 ソフトシール弁付 K形受	○											
B0070021	耐震型割丁字管	φ 200*150 ソフトシール弁付 K形受	○											
B0070022	耐震型割丁字管	φ 200*200 ソフトシール弁付 K形受	○	○										
B0070023	耐震型割丁字管	φ 250*75 ソフトシール弁付 K形受	○											
B0070024	耐震型割丁字管	φ 250*100 ソフトシール弁付 K形受	○											
B0070025	耐震型割丁字管	φ 250*150 ソフトシール弁付 K形受	○											

B007 耐震型割丁字管

B007 耐震型割丁字管														
単価番号	名称	規格	(8) 大成機工	(9) コスモ										
B0070026	耐震型割丁字管	φ 250*200 ソフトシール弁付 K形受	○	○										
B0070027	耐震型割丁字管	φ 250*250 ソフトシール弁付 K形受	○	○										
B0070028	耐震型割丁字管	φ 300*75 ソフトシール弁付 K形受	○											
B0070029	耐震型割丁字管	φ 300*100 ソフトシール弁付 K形受	○											
B0070030	耐震型割丁字管	φ 300*150 ソフトシール弁付 K形受	○											
B0070031	耐震型割丁字管	φ 300*200 ソフトシール弁付 K形受	○	○										
B0070032	耐震型割丁字管	φ 300*250 ソフトシール弁付 K形受	○	○										
B0070033	耐震型割丁字管	φ 300*300 ソフトシール弁付 K形受	○	○										
B0070034	耐震型割丁字管	φ 75*75 ソフトシール弁付 K形挿	○											
B0070035	耐震型割丁字管	φ 100*75 ソフトシール弁付 K形挿	○											
B0070036	耐震型割丁字管	φ 100*100 ソフトシール弁付 K形挿	○											
B0070037	耐震型割丁字管	φ 150*75 ソフトシール弁付 K形挿	○											
B0070038	耐震型割丁字管	φ 150*100 ソフトシール弁付 K形挿	○											
B0070039	耐震型割丁字管	φ 150*150 ソフトシール弁付 K形挿	○											
B0070040	耐震型割丁字管	φ 200*75 ソフトシール弁付 K形挿	○											
B0070041	耐震型割丁字管	φ 200*100 ソフトシール弁付 K形挿	○											
B0070042	耐震型割丁字管	φ 200*150 ソフトシール弁付 K形挿	○											
B0070043	耐震型割丁字管	φ 200*200 ソフトシール弁付 K形挿	○	○										
B0070044	耐震型割丁字管	φ 250*75 ソフトシール弁付 K形挿	○											
B0070045	耐震型割丁字管	φ 250*100 ソフトシール弁付 K形挿	○											
B0070046	耐震型割丁字管	φ 250*150 ソフトシール弁付 K形挿	○											
B0070047	耐震型割丁字管	φ 250*200 ソフトシール弁付 K形挿	○	○										
B0070048	耐震型割丁字管	φ 250*250 ソフトシール弁付 K形挿	○	○										
B0070049	耐震型割丁字管	φ 300*75 ソフトシール弁付 K形挿	○											
B0070050	耐震型割丁字管	φ 300*100 ソフトシール弁付 K形挿	○											

B007 耐震型割丁字管

B007 耐震型割丁字管													
単価番号	名称	規格	(8)大成機工	(9)コスモ									
B0070051	耐震型割丁字管	φ 300×150 ソフトシル弁付 K形挿	○										
B0070052	耐震型割丁字管	φ 300×200 ソフトシル弁付 K形挿	○	○									
B0070053	耐震型割丁字管	φ 300×250 ソフトシル弁付 K形挿	○	○									
B0070054	耐震型割丁字管	φ 300×300 ソフトシル弁付 K形挿	○	○									

B007 耐震型割丁字管

3/3

B008 水道配水用ポリエチレン管														
単価番号	名称	規格	(8)大成機工	(9)コスモ	(12)キョウエスジーエス	(17)積水化学	(23)タカミックス	(25)タプチ	(26)前澤給装	(27)前田パルプ	(29)日邦パルプ	(49)サンエス護膜	(55)川西水道	(58)ヨツギ
B0080001	SP直管	HPPE φ50×5.0				○	○							
B0080003	SP直管	HPPE φ75×5.0				○	○							
B0080005	SP直管	HPPE φ100×5.0				○	○							
B0080007	EFソケット	φ50				○	○							
B0080008	EFソケット	φ75				○	○							
B0080009	EFソケット	φ100				○	○							
B0080010	SPレデュース	φ75×φ50				○	○							
B0080011	SPレデュース	φ100×φ50				○	○							
B0080012	SPレデュース	φ100×φ75				○	○							
B0080013	SPキャップ	φ50				○	○							
B0080014	SPキャップ	φ75				○	○							
B0080015	SPキャップ	φ100				○	○							
B0080016	SP90° ベンド	φ50				○	○							
B0080017	SP45° ベンド	φ50				○	○							
B0080018	SP22° 1/2ベンド	φ50				○	○							
B0080019	SP11° 1/4ベンド	φ50				○	○							
B0080020	SPフランジ短管	φ50(GF形はハッキン含む)				○	○							
B0080021	SPフランジ短管	φ75(GF形はハッキン含む)				○	○							
B0080022	EF受口付直管	φ50×5.0				○	○							
B0080023	EF受口付直管	φ75×5.0				○	○							
B0080024	EF受口付直管	φ100×5.0				○	○							
B0080025	EF片受チーズ	φ50×φ50					○							
B0080026	EF両受チーズ	φ50×φ50				○	○							
B0080027	EF両受チーズ	φ75×φ50				○	○							
B0080028	EF両受チーズ	φ75×φ75				○	○							

B008 水道配水用ポリエチレン管

1/8

B008 水道配水用ポリエチレン管														
単価番号	名称	規格	(8) 大成機工	(9) コスモ	(12) キョウエスジー	(17) 積水化学	(23) ケイ'99ミクス	(25) タブチ	(26) 前澤給装	(27) 前田パルプ	(29) 日邦パルプ	(49) サンエス護膜	(55) 川西水道	(58) ヨツギ
B0080029	EF両受チーズ	φ100×φ50				○	○							
B0080030	EF両受チーズ	φ100×φ75				○	○							
B0080031	EF両受チーズ	φ100×φ100				○	○							
B0080032	EFレデュース(片受)	φ75×φ50				○	○							
B0080033	EFレデュース(片受)	φ100×φ50				○	○							
B0080034	EFレデュース(片受)	φ100×φ75				○	○							
B0080035	EFキャップ	φ50				○	○							
B0080036	EFキャップ	φ75				○	○							
B0080037	EFキャップ	φ100				○	○							
B0080038	EF片受90° ベンド	φ50				○	○							
B0080039	EF片受90° ベンド	φ75				○	○							
B0080040	EF片受90° ベンド	φ100				○	○							
B0080041	EF片受45° ベンド	φ50				○	○							
B0080042	EF片受45° ベンド	φ75				○	○							
B0080043	EF片受45° ベンド	φ100				○	○							
B0080044	EF片受22° 1/2ベンド	φ50				○	○							
B0080045	EF片受22° 1/2ベンド	φ75				○	○							
B0080046	EF片受22° 1/2ベンド	φ100				○	○							
B0080047	EF片受11° 1/4ベンド	φ50				○	○							
B0080048	EF片受11° 1/4ベンド	φ75				○	○							
B0080049	EF片受11° 1/4ベンド	φ100				○	○							
B0080050	EF両受90° ベンド	φ50				○	○							
B0080051	EF両受90° ベンド	φ75				○	○							
B0080052	EF両受90° ベンド	φ100				○	○							
B0080053	EF両受45° ベンド	φ50				○	○							

B008 水道配水用ポリエチレン管

2/8

B008 水道配水用ポリエチレン管														
単価番号	名称	規格	(8) 大成機工	(9) コスモ	(12) キョウエスジー	(17) 積水化学	(23) ケイ'99ミクス	(25) タブチ	(26) 前澤給装	(27) 前田パルプ	(29) 日邦パルプ	(49) サンエス護膜	(55) 川西水道	(58) ヨツギ
B0080054	EF両受45° ベンド	φ75				○	○							
B0080055	EF両受45° ベンド	φ100				○	○							
B0080056	EF両受22° 1/2ベンド	φ50				○	○							
B0080057	EF両受22° 1/2ベンド	φ75				○	○							
B0080058	EF両受22° 1/2ベンド	φ100				○	○							
B0080059	EF両受11° 1/4ベンド	φ50				○	○							
B0080060	EF両受11° 1/4ベンド	φ75				○	○							
B0080061	EF両受11° 1/4ベンド	φ100				○	○							
B0080062	EF片受フランジ短管	φ50(GF形はハッキン含む)				○	○							
B0080063	EF片受フランジ短管	φ75(GF形はハッキン含む)					○							
B0080064	SP Sベンド	φ50×300				○	○							
B0080065	SP Sベンド	φ50×450				○	○							
B0080066	SP Sベンド	φ50×600				○	○							
B0080067	EF片受Sベンド	φ50×300				○	○							
B0080068	EF片受Sベンド	φ50×450				○	○							
B0080069	EF片受Sベンド	φ50×600				○	○							
B0080070	EF片受Sベンド	φ75×300				○	○							
B0080071	EF片受Sベンド	φ75×450				○	○							
B0080072	EF片受Sベンド	φ75×600				○	○							
B0080073	EF片受Sベンド	φ100×300				○	○							
B0080074	EF片受Sベンド	φ100×450				○	○							
B0080075	EF片受Sベンド	φ100×600				○	○							
B0080076	EF両受Sベンド	φ50×300				○	○							
B0080077	EF両受Sベンド	φ50×450				○	○							
B0080078	EF両受Sベンド	φ50×600				○	○							
B0080079	EF両受Sベンド	φ75×300				○	○							

B008 水道配水用ポリエチレン管

3/8

B008 水道配水用ポリエチレン管														
単価番号	名称	規格	(8)大成機工	(9)コスモ	(12)キッパースジ-エス	(17)積水化学	(23)ケホ・ダウミクス	(25)タブチ	(26)前澤給装	(27)前田パルプ	(29)日邦パルプ	(49)サンエス護膜	(55)川西水道	(58)ヨツギ
B0080080	EF両受Sベンド	φ 75 × 450				○	○							
B0080081	EF両受Sベンド	φ 75 × 600				○	○							
B0080082	EF両受Sベンド	φ 100 × 300				○	○							
B0080083	EF両受Sベンド	φ 100 × 450				○	○							
B0080084	EF両受Sベンド	φ 100 × 600				○	○							
B0080085	PPジョイント	φ 50	○	○									○	
B0080086	PPジョイント	φ 75	○	○									○	
B0080087	PPジョイント	φ 100	○	○									○	
B0080088	PPジョイント片落	φ 75 × φ 50	○	○									○	
B0080089	PPジョイント片落	φ 100 × φ 50											○	
B0080090	PPジョイント片落	φ 100 × φ 75	○	○									○	
B0080091	PCジョイント	φ 50	○	○									○	
B0080092	PCジョイント	φ 75	○	○									○	
B0080093	PCジョイント	φ 100	○	○									○	
B0080094	PCジョイント片落	φ 75 × φ 50	○	○									○	
B0080095	PCジョイント片落	φ 100 × φ 50	○	○									○	
B0080096	PCジョイント片落	φ 100 × φ 75	○	○									○	
B0080097	PCジョイント片落	φ 150 × φ 50	○	○										
B0080098	PCジョイント片落	φ 150 × φ 75	○	○									○	
B0080099	PCジョイント片落	φ 150 × φ 100	○	○									○	
B0080100	PC短管1号	φ 50、GFタイプ	○	○									○	
B0080101	PC短管1号	φ 75、GFタイプ	○	○									○	
B0080102	PC短管1号	φ 100、GFタイプ	○	○									○	
B0080103	PC短管1号(片落)	DIP φ 75 × HPE φ 50、GFタイプ	○	○									○	
B0080104	PC短管1号(片落)	DIP φ 100 × HPE φ 75、GFタイプ	○	○									○	
B0080105	PC短管1号(片落)	DIP φ 150 × HPE φ 75、GFタイプ											○	

B008 水道配水用ポリエチレン管

4/8

B008 水道配水用ポリエチレン管														
単価番号	名称	規格	(8) 大成機工	(9) コスモ	(12) キワエスジ-エス	(17) 積水化学	(23) ケー・ダウミクス	(25) タブチ	(26) 前澤給装	(27) 前田パルプ	(29) 日邦パルプ	(49) サンエス護膜	(55) 川西水道	(58) ヨツギ
B0080106	PC短管1号(片落)	DIP φ 150 × HPE φ 100、GFタイプ	○	○									○	
B0080107	PC短管2号	DIP-K φ 75 × HPE φ 75											○	
B0080108	PC短管2号	DIP-K φ 100 × HPE φ 100											○	
B0080109	PC短管2号(片落)	DIP-K φ 75 × HPE φ 50	○										○	
B0080110	PC短管2号(片落)	DIP-K φ 100 × HPE φ 50											○	
B0080111	PC短管2号(片落)	DIP-NS φ 75 × HPE φ 50	○											
B0080112	PC短管2号(片落)	DIP-NS φ 100 × HPE φ 50												
B0080113	PVジョイント	φ 50	○	○									○	
B0080114	PVジョイント	φ 75	○	○									○	
B0080115	PVジョイント	φ 100	○	○									○	
B0080116	PVジョイント(片落)	V φ 40 × HPE φ 50		○										
B0080117	PVジョイント(片落)	V φ 50 × HPE φ 75	○	○										
B0080118	PVジョイント(片落)	V φ 50 × HPE φ 100		○										
B0080119	PVジョイント(片落)	V φ 75 × HPE φ 50	○	○										
B0080120	PVジョイント(片落)	V φ 75 × HPE φ 100	○	○										
B0080121	PVジョイント(片落)	V φ 100 × HPE φ 75	○	○										
B0080122	PVジョイント(片落)	V φ 150 × HPE φ 100		○										
B0080123	PPチーズ	φ 50 × 50	○	○									○	
B0080124	PPチーズ	φ 75 × 50											○	
B0080125	PPチーズ	φ 75 × 75	○	○									○	
B0080126	PPチーズ	φ 100 × 50											○	
B0080127	PPチーズ	φ 100 × 75	○	○									○	
B0080128	PPチーズ	φ 100 × 100	○	○									○	
B0080129	PPチーズF型	φ 75 × 75、台付、GF	○	○									○	
B0080130	PPチーズF型	φ 100 × 75、台付、GF	○	○									○	
B0080131	PPチーズF型うずまき式	φ 75 × 75、GF	○	○									○	

B008 水道配水用ポリエチレン管

5/8

B008 水道配水用ポリエチレン管														
単価番号	名称	規格	(8)大成機工	(9)コスモ	(12)キョウエスシーエス	(17)積水化学	(23)タキタテックス	(25)タプチ	(26)前澤給装	(27)前田パルプ	(29)日邦パルプ	(49)サンエス護膜	(55)川西水道	(58)ヨツギ
B0080132	PPチーズF型うずまき式	φ100×75、GF	○	○									○	
B0080133	PPキャップ	φ50	○	○									○	
B0080134	PPキャップ	φ75	○	○									○	
B0080135	PPキャップ	φ100	○	○									○	
B0080136	PP90° ベンド	φ50	○	○									○	
B0080137	PP90° ベンド	φ75	○	○									○	
B0080138	PP90° ベンド	φ100	○	○									○	
B0080139	PP45° ベンド	φ50	○	○									○	
B0080140	PP45° ベンド	φ75	○	○									○	
B0080141	PP45° ベンド	φ100	○	○									○	
B0080142	PP22° 1/2ベンド	φ50	○	○									○	
B0080143	PP22° 1/2ベンド	φ75	○	○									○	
B0080144	PP22° 1/2ベンド	φ100	○	○									○	
B0080145	PP11° 1/4ベンド	φ50		○									○	
B0080146	PP11° 1/4ベンド	φ75	○	○									○	
B0080147	PP11° 1/4ベンド	φ100	○	○									○	
B0080148	PE挿し口付鋳鉄製フランジ短管	φ50、GF				○	○							
B0080149	PE挿し口付鋳鉄製フランジ短管	φ75、GF				○	○							
B0080150	PE挿し口付鋳鉄製フランジ短管	φ100、GF				○	○							
B0080151	PE挿し口付鋳鉄製丁字管	φ75×75、7.5k、GF			○	○	○							
B0080152	PE挿し口付鋳鉄製丁字管	φ100×75、7.5k、GF			○	○	○							
B0080153	PE挿し口付うず巻き式鋳鉄製丁字管	φ75×75、7.5k、GF		○			○							
B0080154	PE挿し口付うず巻き式鋳鉄製丁字管	φ100×75、7.5k、GF		○			○							
B0080155	DIP用異管種継手(K・T形)	DIP φ75×HPPE φ50					○							
B0080156	DIP用異管種継手(K・T形)	DIP φ100×HPPE φ50					○							
B0080157	DIP用異管種継手(K・T形)	DIP φ75×HPPE φ75				○	○							

B008 水道配水用ポリエチレン管														
単価番号	名称	規格	(8) 大成機工	(9) コスモ	(12) キョウエスシーエス	(17) 積水化学	(23) タキタテックス	(25) タプチ	(26) 前澤給装	(27) 前田パルプ	(29) 日邦パルプ	(49) サンエス護膜	(55) 川西水道	(58) ヨツギ
B0080158	DIP用異管種継手(K・T形)	DIP φ 100 × HPPE φ 75					○							
B0080159	DIP用異管種継手(K・T形)	DIP φ 100 × HPPE φ 100				○	○							
B0080160	DIP用異管種継手(NS形)	DIP φ 75 × HPPE φ 50					○							
B0080161	DIP用異管種継手(NS形)	DIP φ 100 × HPPE φ 50					○							
B0080162	DIP用異管種継手(NS形)	DIP φ 75 × HPPE φ 75					○							
B0080163	DIP用異管種継手(NS形)	DIP φ 100 × HPPE φ 75					○							
B0080164	DIP用異管種継手(NS形)	DIP φ 100 × HPPE φ 100					○							
B0080165	DIP用異管種継手(GX形)	DIP φ 75 × HPPE φ 50		○		○	○							
B0080166	DIP用異管種継手(GX形)	DIP φ 75 × HPPE φ 75				○	○							
B0080167	DIP用異管種継手(GX形)	DIP φ 100 × HPPE φ 50					○							
B0080168	DIP用異管種継手(GX形)	DIP φ 100 × HPPE φ 75					○							
B0080169	DIP用異管種継手(GX形)	DIP φ 100 × HPPE φ 100				○	○							
B0080170	VP用異管種継手	φ 50 VP受口→HPPE-SP												
B0080171	溶剤浸透防止スリーブ	φ 50直管用					○					○		○
B0080172	溶剤浸透防止スリーブ	φ 50分岐部用					○							
B0080173	溶剤浸透防止スリーブ	φ 75直管用					○					○		○
B0080174	溶剤浸透防止スリーブ	φ 75分岐部用					○							
B0080175	溶剤浸透防止スリーブ	φ 100直管用					○					○		○
B0080176	溶剤浸透防止スリーブ	φ 100分岐部用					○							
B0080177	フクロジョイント	φ 50 ※補修用資材	○	○										
B0080178	フクロジョイント	φ 75 ※補修用資材	○	○										
B0080179	フクロジョイント	φ 100 ※補修用資材	○	○										
B0080180	補修バンド	φ 50 ※補修用資材							○					
B0080181	PPソケット	φ 50 ※補修用資材 FCD製											○	
B0080182	変換ソケット	φ 50 × 30 HPPE→PP							○	○	○			
B0080183	変換ソケット	φ 50 × 40 HPPE→PP							○	○	○			

B008 水道配水用ポリエチレン管														
単価番号	名称	規格	(8) 大成機工	(9) コスモ	(12) キョウエスジー・エス	(17) 積水化学	(23) ケイ・ケイ・ケイ	(25) タブチ	(26) 前澤給装	(27) 前田パルプ	(29) 日邦パルプ	(48) サンエス護膜	(55) 川西水道	(58) ヨツギ
B0080184	変換ソケット	φ 50 × 50 HPPE→PP						○	○	○	○			

B008 水道配水用ポリエチレン管

C001 漏水防止金具														
単価番号	名称	規格	(8) 大成機工											
C0010001	DIP用漏水防止金具	φ 75mm	○											
C0010002	DIP用漏水防止金具	φ 100mm	○											
C0010003	DIP用漏水防止金具	φ 150mm	○											
C0010004	DIP用漏水防止金具	φ 200mm	○											
C0010005	DIP用漏水防止金具	φ 250mm	○											
C0010006	DIP用漏水防止金具	φ 300mm	○											
C0010007	DIP用漏水防止金具	φ 350mm	○											
C0010008	DIP用漏水防止金具	φ 400mm	○											
C0010009	DIP用漏水防止金具	φ 450mm	○											
C0010010	DIP用漏水防止金具	φ 500mm	○											
C0010011	DIP用漏水防止金具	φ 600mm	○											

C001 漏水防止金具

C002 折損修理用金具(三ツ割 ニツ割)													
単価番号	名称	規格	(8) 大成機工	(9) コスモ	(27) 前田ハルマ	(29) 日邦ハルマ							
C0020001	CIP用漏水補修金具(直管部用)	φ 75mm	○	○									
C0020002	CIP用漏水補修金具(直管部用)	φ 100mm	○	○									
C0020003	CIP用漏水補修金具(直管部用)	φ 150mm	○	○									
C0020004	CIP用漏水補修金具(直管部用)	φ 200mm	○	○									
C0020005	CIP用漏水補修金具(直管部用)	φ 250mm	○	○									
C0020006	CIP用漏水補修金具(直管部用)	φ 300mm	○	○									
C0020007	CIP用漏水補修金具(直管部用)	φ 350mm	○	○									
C0020008	CIP用漏水補修金具(直管部用)	φ 400mm	○	○									
C0020009	CIP用漏水補修金具(直管部用)	φ 450mm	○	○									
C0020010	CIP用漏水補修金具(直管部用)	φ 500mm	○	○									
C0020011	CIP用漏水補修金具(直管部用)	φ 600mm	○	○									
C0020012	CIP用漏水補修金具(直管部用)	φ 700mm	○										
C0020013	CIP用漏水補修金具(直管部用)	φ 800mm	○										
C0020014	CIP用漏水補修金具(継手部用)	φ 75mm	○	○									
C0020015	CIP用漏水補修金具(継手部用)	φ 100mm	○	○									
C0020016	CIP用漏水補修金具(継手部用)	φ 150mm	○	○									
C0020017	CIP用漏水補修金具(継手部用)	φ 200mm	○	○									
C0020018	CIP用漏水補修金具(継手部用)	φ 250mm	○	○									
C0020019	CIP用漏水補修金具(継手部用)	φ 300mm	○	○									
C0020020	CIP用漏水補修金具(継手部用)	φ 350mm	○	○									
C0020021	CIP用漏水補修金具(継手部用)	φ 400mm	○	○									
C0020022	CIP用漏水補修金具(継手部用)	φ 450mm	○										
C0020023	CIP用漏水補修金具(継手部用)	φ 500mm	○										
C0020024	CIP用漏水補修金具(継手部用)	φ 600mm	○										
C0020025	CIP用漏水補修金具(継手部用)	φ 700mm	○										

C002 折損修理用金具(三ツ割 ニツ割)

1/3

C002 折損修理用金具(三ツ割 ニツ割)													
単価番号	名称	規格	(8) 大成機工	(9) コスモ	(27) 前田ハルマ	(29) 日邦ハルマ							
C0020026	ACP用漏水補修金具(直管部用)	φ 75mm	○	○									
C0020027	ACP用漏水補修金具(直管部用)	φ 100mm	○	○									
C0020028	ACP用漏水補修金具(直管部用)	φ 125mm	○	○									
C0020029	ACP用漏水補修金具(直管部用)	φ 150mm	○	○									
C0020030	ACP用漏水補修金具(直管部用)	φ 200mm	○	○									
C0020031	ACP用漏水補修金具(直管部用)	φ 250mm	○										
C0020032	ACP用漏水補修金具(直管部用)	φ 300mm	○										
C0020033	ACP用漏水補修金具(直管部用)	φ 350mm	○										
C0020034	塩ビ管用漏水補修金具(ソケット用)	φ 40mm	○	○									
C0020035	塩ビ管用漏水補修金具(ソケット用)	φ 50mm	○	○									
C0020036	塩ビ管用漏水補修金具(ソケット用)	φ 75mm	○	○									
C0020037	塩ビ管用漏水補修金具(ソケット用)	φ 100mm	○	○									
C0020038	塩ビ管用漏水補修金具(テース用)	φ 40*40mm	○										
C0020039	塩ビ管用漏水補修金具(テース用)	φ 50*40mm	○										
C0020040	塩ビ管用漏水補修金具(テース用)	φ 50*50mm	○										
C0020041	塩ビ管用漏水補修金具(テース用)	φ 75*40mm	○										
C0020042	塩ビ管用漏水補修金具(テース用)	φ 75*50mm	○										
C0020043	塩ビ管用漏水補修金具(テース用)	φ 75*75mm	○										
C0020044	塩ビ管用漏水補修金具(テース用)	φ 100*40mm	○										
C0020045	塩ビ管用漏水補修金具(テース用)	φ 100*50mm	○										
C0020046	塩ビ管用漏水補修金具(テース用)	φ 100*75mm	○										
C0020047	塩ビ管用漏水補修金具(テース用)	φ 100*100mm	○										
C0020048	修理用クランプ(VP、SP)	φ 50 L=100mm				○							
C0020049	修理用クランプ(VP、SP)	φ 50 L=200mm				○							
C0020050	修理用クランプ(CP、VP、SP)	φ 75 L=150mm			○	○							

C002 折損修理用金具(三ツ割 ニツ割)

2/3

C002 折損修理用金具(三ツ割 ニツ割)													
単価番号	名称	規格	(8) 大成機工	(9) コスモ	(27) 前田ハルフ	(29) 日邦ハルフ							
C0020051	修理用クランプ(CP、VP、SP)	φ 75 L=200mm			○	○							
C0020052	修理用クランプ(CP、VP、SP)	φ 75 L=300mm			○	○							
C0020053	修理用クランプ(CP、VP、SP)	φ 75 L=400mm			○	○							
C0020054	修理用クランプ(CP、VP、SP)	φ 100 L=150mm			○	○							
C0020055	修理用クランプ(CP、VP、SP)	φ 100 L=200mm			○	○							
C0020056	修理用クランプ(CP、VP、SP)	φ 100 L=300mm			○	○							
C0020057	修理用クランプ(CP、VP、SP)	φ 100 L=400mm			○	○							
C0020058	修理用クランプ(CP、VP、SP)	φ 150 L=200mm			○	○							
C0020059	修理用クランプ(CP、VP、SP)	φ 150 L=300mm			○	○							
C0020060	修理用クランプ(CP、VP、SP)	φ 150 L=400mm			○	○							
C0020061	修理用クランプ(CP、VP、SP)	φ 200 L=200mm			○	○							
C0020062	修理用クランプ(CP、VP、SP)	φ 200 L=300mm			○	○							
C0020063	修理用クランプ(CP、VP、SP)	φ 200 L=400mm			○	○							
C0020064	修理用クランプ(CP、VP、SP)	φ 250 L=200mm			○	○							
C0020065	修理用クランプ(CP、VP、SP)	φ 250 L=300mm			○	○							
C0020066	修理用クランプ(CP、VP、SP)	φ 250 L=400mm			○	○							
C0020067	修理用クランプ(CP、VP、SP)	φ 300 L=200mm			○	○							
C0020068	修理用クランプ(CP、VP、SP)	φ 300 L=300mm			○	○							
C0020069	修理用クランプ(CP、VP、SP)	φ 300 L=400mm			○	○							

C002 折損修理用金具(三ツ割 ニツ割)

3/3

C003 給水類(1)分水栓類													
単価番号	名称	規格	(17) 積水化学	(25) タフチ	(26) 前澤給装	(27) 前田ハルフ	(29) 日邦ハルフ						
C0030001	VP用サドル分水栓	φ 40*13		○	○	○	○						
C0030002	VP用サドル分水栓	φ 40*20			○	○	○						
C0030003	VP用サドル分水栓	φ 40*25		○	○	○	○						
C0030004	VP用サドル分水栓	φ 50*13		○	○	○	○						
C0030005	VP用サドル分水栓	φ 50*20			○	○	○						
C0030006	VP用サドル分水栓	φ 50*25		○	○	○	○						
C0030007	VP用サドル分水栓	φ 75*13			○	○	○						
C0030008	VP用サドル分水栓	φ 75*20			○	○	○						
C0030009	VP用サドル分水栓	φ 75*25			○	○	○						
C0030010	VP用サドル分水栓	φ 75*30			○	○	○						
C0030011	VP用サドル分水栓	φ 100*13			○	○	○						
C0030012	VP用サドル分水栓	φ 100*20			○	○	○						
C0030013	VP用サドル分水栓	φ 100*25			○	○	○						
C0030014	VP用サドル分水栓	φ 100*30			○	○	○						
C0030015	VP用サドル分水栓	φ 150*13			○	○	○						
C0030016	VP用サドル分水栓	φ 150*20			○	○	○						
C0030017	VP用サドル分水栓	φ 150*25			○	○	○						
C0030018	VP用サドル分水栓	φ 150*30			○	○	○						
C0030019	CIP用サドル分水栓	φ 50*13			○								
C0030020	CIP用サドル分水栓	φ 50*20			○								
C0030021	CIP用サドル分水栓	φ 50*25			○								
C0030022	CIP用サドル分水栓	φ 75*13		○	○	○	○						
C0030023	CIP用サドル分水栓	φ 75*20		○	○	○	○						
C0030024	CIP用サドル分水栓	φ 75*25		○	○	○	○						
C0030025	CIP用サドル分水栓	φ 75*30		○	○	○	○						

C003 給水類(1)分水栓類

1/4

C003 給水類(1)分水栓類													
単価番号	名称	規格	(17)積水化学	(25)タフチ	(26)前澤給装	(27)前田ハルフ	(29)日邦ハルフ						
C0030026	CIP用サドル分水栓	φ 100×13		○	○	○	○						
C0030027	CIP用サドル分水栓	φ 100×20		○	○	○	○						
C0030028	CIP用サドル分水栓	φ 100×25		○	○	○	○						
C0030029	CIP用サドル分水栓	φ 100×30		○	○	○	○						
C0030030	CIP用サドル分水栓	φ 150×13		○	○	○	○						
C0030031	CIP用サドル分水栓	φ 150×20		○	○	○	○						
C0030032	CIP用サドル分水栓	φ 150×25		○	○	○	○						
C0030033	CIP用サドル分水栓	φ 150×30		○	○	○	○						
C0030034	CIP用サドル分水栓	φ 200×13		○	○	○	○						
C0030035	CIP用サドル分水栓	φ 200×20		○	○	○	○						
C0030036	CIP用サドル分水栓	φ 200×25		○	○	○	○						
C0030037	CIP用サドル分水栓	φ 200×30		○	○	○	○						
C0030038	CIP用サドル分水栓	φ 250×13		○	○	○	○						
C0030039	CIP用サドル分水栓	φ 250×20		○	○	○	○						
C0030040	CIP用サドル分水栓	φ 250×25		○	○	○	○						
C0030041	CIP用サドル分水栓	φ 250×30		○	○	○	○						
C0030042	CIP用サドル分水栓	φ 300×13		○	○	○	○						
C0030043	CIP用サドル分水栓	φ 300×20		○	○	○	○						
C0030044	CIP用サドル分水栓	φ 300×25		○	○	○	○						
C0030045	CIP用サドル分水栓	φ 300×30		○	○	○	○						
C0030046	CIP用サドル分水栓	φ 350×13		○	○	○	○						
C0030047	CIP用サドル分水栓	φ 350×20		○	○	○	○						
C0030048	CIP用サドル分水栓	φ 350×25		○	○	○	○						
C0030049	CIP用サドル分水栓	φ 350×30		○	○	○	○						
C0030050	HPPE用サドル分水栓	φ 50 × 20		○	○	○	○						

C003 給水類(1)分水栓類

2/4

C003 給水類(1)分水栓類													
単価番号	名称	規格	(17)積水化学	(25)タフチ	(26)前澤給装	(27)前田ハルフ	(29)日邦ハルフ						
C0030051	HPPE用サドル分水栓	φ 50 × 25		○	○	○	○						
C0030052	HPPE用サドル分水栓	φ 50 × 30			○								
C0030053	HPPE用サドル分水栓	φ 75 × 20		○	○	○	○						
C0030054	HPPE用サドル分水栓	φ 75 × 25		○	○	○	○						
C0030055	HPPE用サドル分水栓	φ 75 × 30		○	○	○	○						
C0030056	HPPE用サドル分水栓	φ 100 × 20		○	○	○	○						
C0030057	HPPE用サドル分水栓	φ 100 × 25		○	○	○	○						
C0030058	HPPE用サドル分水栓	φ 100 × 30		○	○	○	○						
C0030059	EFサドル付分水栓	φ 50 × 20	○	○	○		○						
C0030060	EFサドル付分水栓	φ 50 × 25	○	○	○		○						
C0030061	EFサドル付分水栓	φ 75 × 20	○	○	○		○						
C0030062	EFサドル付分水栓	φ 75 × 25	○	○	○		○						
C0030063	EFサドル付分水栓	φ 75 × 30	○	○	○		○						
C0030064	EFサドル付分水栓	φ 100 × 20	○	○	○		○						
C0030065	EFサドル付分水栓	φ 100 × 25	○	○	○		○						
C0030066	EFサドル付分水栓	φ 100 × 30	○	○	○		○						
C0030067	ホリエチレン管用サドル分水栓	φ 40×13		○	○	○	○						
C0030068	ホリエチレン管用サドル分水栓	φ 40×20		○	○	○	○						
C0030069	ホリエチレン管用サドル分水栓	φ 40×25				○							
C0030070	仮設ホリエチレン管用サドル分水栓	φ 50×20		○	○	○	○						
C0030071	仮設ホリエチレン管用サドル分水栓	φ 50×25		○	○	○	○						
C0030072	分水栓閉止キャップ	φ 13mm		○	○	○	○						
C0030073	分水栓閉止キャップ	φ 20mm		○	○	○	○						
C0030074	分水栓閉止キャップ	φ 25mm		○	○	○	○						
C0030075	分水栓閉止キャップ	φ 30mm		○	○	○	○						
C0030076	分水栓閉止キャップ	φ 40mm		○		○	○						

C003 給水類(1)分水栓類

3/4

C003 給水類(1)分水栓類													
単価番号	名称	規格	(17)積水化学	(25)タフチ	(26)前澤給装	(27)前田ﾊﾞﾙﾌﾞ	(29)日邦ﾊﾞﾙﾌﾞ						
C0030077	分水栓閉止キャップ	φ 50mm		○		○	○						
C0030078	密着形銅ｺｱ	φ 20		○	○	○	○						
C0030079	密着形銅ｺｱ	φ 25		○	○	○	○						
C0030080	密着形銅ｺｱ	φ 30		○	○	○	○						

C003 給水類(1)分水栓類

4/4

C004 給水類(2)給水資材													
単価番号	名称	規格	(25)タフチ	(26)前澤給装	(27)前田ﾊﾞﾙﾌﾞ	(29)日邦ﾊﾞﾙﾌﾞ	(42)名古屋ﾊﾞﾙﾌﾞ						
C0040001	HI袋ナット	φ 13mm	○	○	○	○	○						
C0040002	HI袋ナット	φ 20mm	○	○	○	○	○						
C0040003	HI袋ナット	φ 25mm	○	○	○	○	○						
C0040004	HI袋ナット	φ 30mm	○	○	○	○	○						
C0040005	HI袋ナット	φ 40mm	○	○	○	○	○						
C0040006	メーターパッキン	φ 13mm、ゴムパッキン	○	○	○	○	○						
C0040007	メーターパッキン	φ 20mm、ゴムパッキン	○	○	○	○	○						
C0040008	メーターパッキン	φ 25mm、ゴムパッキン	○	○	○	○	○						
C0040009	メーターパッキン	φ 30mm、ゴムパッキン	○	○	○	○	○						
C0040010	メーターパッキン	φ 40mm、ゴムパッキン	○	○	○	○	○						
C0040011	メーターパッキン	φ 13mm、金属入りパッキン	○	○	○	○							
C0040012	メーターパッキン	φ 20mm、金属入りパッキン	○	○	○	○							
C0040013	メーターパッキン	φ 25mm、金属入りパッキン	○	○	○	○							
C0040014	メーターパッキン	φ 30mm、金属入りパッキン	○	○	○	○							
C0040015	メーターパッキン	φ 40mm、金属入りパッキン	○	○	○	○							
C0040016	キスコマ	φ 13mm		○	○	○	○						
C0040017	キスコマ	φ 20mm		○	○	○	○						
C0040018	キスコマ	φ 25mm		○	○	○	○						
C0040019	フランジ伸縮ユニオン	φ 50mm、片フランジ		○	○	○							
C0040020	フランジ伸縮ユニオン	φ 75mm、片フランジ		○	○								
C0040021	フランジ伸縮ユニオン	φ 75mm、両フランジ			○								
C0040022	フランジ伸縮ユニオン	φ 100mm、両フランジ			○								
C0040023	メーターユニオン	φ 13mm袋ナット、HJシモク金属入りパッキン	○	○	○	○							
C0040024	メーターユニオン	φ 20mm袋ナット、HJシモク金属入りパッキン	○	○	○	○							
C0040025	メーターユニオン	φ 25mm袋ナット、HJシモク金属入りパッキン	○	○	○	○							

C004 給水類(2)給水資材

1/2

C004 給水類(2)給水資材													
単価番号	名称	規格	(25)タフチ	(26)前澤給装	(27)前田バルブ	(29)日邦バルブ	(42)名古屋バルブ						
C0040026	メーターユニオン	φ 30mm袋ナット、Hシモク金属入りハッキン	○	○	○	○							
C0040027	メーターユニオン	φ 40mm袋ナット、Hシモク金属入りハッキン	○	○	○	○							
C0040028	Hシモク	φ 13mm	○	○	○	○							
C0040029	Hシモク	φ 20mm	○	○	○	○							
C0040030	Hシモク	φ 25mm	○	○	○	○							
C0040031	Hシモク	φ 30mm	○	○	○	○							
C0040032	Hシモク	φ 40mm	○	○	○	○							
C0040033	Hシモク	φ 50mm	○	○	○	○							

C004 給水類(2)給水資材

2/2

C005 給水類(3)メーター関係													
単価番号	名称	規格	(25)タフチ	(26)前澤給装	(27)前田バルブ	(29)日邦バルブ	(30)東洋バルブ	(31)キッツ					
C0050001	スリースバルブ(鉛レス)	φ 13mmJIS10kg/・					○	○					
C0050002	スリースバルブ(鉛レス)	φ 20mmJIS10kg/・					○	○					
C0050003	スリースバルブ(鉛レス)	φ 25mmJIS10kg/・					○	○					
C0050004	スリースバルブ(鉛レス)	φ 30mmJIS10kg/・					○	○					
C0050005	スリースバルブ(鉛レス)	φ 40mmJIS10kg/・					○	○					
C0050006	スリースバルブ(鉛レス)	φ 50mmJIS10kg/・					○	○					
C0050007	逆止弁付直結止水栓	φ 13mm金属入ハッキン含む	○	○	○	○							
C0050008	逆止弁付直結止水栓	φ 20mm金属入ハッキン含む	○	○	○	○							
C0050009	逆止弁付直結止水栓	φ 25mm金属入ハッキン含む	○	○	○	○							
C0050010	直結止水栓	φ 40mm、ボール式金属入ハッキン含む		○	○	○							
C0050011	逆止弁付異径直結止水栓	φ 20*13金属入ハッキン含む	○	○	○	○							
C0050012	逆止弁付異径直結止水栓	φ 25*20金属入ハッキン含む	○	○	○	○							
C0050013	直結止水栓用伸縮ユニオン	φ 13mm	○	○	○	○							
C0050014	直結止水栓用伸縮ユニオン	φ 20mm	○	○	○	○							
C0050015	直結止水栓用伸縮ユニオン	φ 25mm	○	○	○	○							
C0050016	直結止水栓用伸縮ユニオン	φ 40mm		○	○	○							
C0050017	異径直結止水栓用伸縮ユニオン	φ 20×13mm	○	○	○	○							
C0050018	異径直結止水栓用伸縮ユニオン	φ 25×13mm	○	○	○	○							
C0050019	異径直結止水栓用伸縮ユニオン	φ 25×20mm	○	○	○	○							
C0050020	メーターバイパスユニット	φ 40mm逆止弁付(マスー体型)		○		○							
C0050021	メーターバイパスユニット	φ 50mm逆止弁付(マスー体型)		○		○							
C0050022	メーターユニット	φ 13mm		○		○							
C0050023	メーターユニット	φ 20mm		○		○							
C0050024	メーターユニット	φ 25mm				○							
C0050025	メーターユニット	φ 13mm減圧弁付		○		○							

C005 給水類(3)メーター関係

1/2

C005 給水類(3)メーター関係													
単価番号	名称	規格	(25)タフチ	(26)前澤給装	(27)前田ハルフ	(29)日邦ハルフ	(30)東洋ハルフ	(31)キッツ					
C0050026	メーターユニット	φ20mm減圧弁付	○	○		○							
C0050027	メーターユニット	φ25mm減圧弁付				○							
C0050028	吸排気弁	φ20本体のみ		○		○							
C0050029	吸排気弁	φ25本体のみ		○		○							
C0050030	吸排気弁	φ20内ねじボール弁付		○		○							
C0050031	吸排気弁	φ25内ねじボール弁付		○		○							

C005 給水類(3)メーター関係

2/2

C006 給水類(4)量水器筐類													
単価番号	名称	規格	(28)東本商事	(32)日之出水	(43)アロン化成	(59)前澤化成	(60)ランドキョウ						
C0060001	量水器筐(小)	φ20mm用、蓋・本体樹脂製	○	○	○	○							
C0060002	量水器筐(小)	φ25mm用、蓋・本体樹脂製	○	○	○	○							
C0060003	量水器筐(小)	φ20mm用、蓋・本体樹脂製	○	○		○							
C0060004	量水器筐(小)	φ25mm用、蓋・本体樹脂製	○	○		○							
C0060005	量水器筐(小)	φ20mm用、蓋(FCD500)製・本体(FC200)製		○			○						
C0060006	量水器筐(小)	φ25mm用、蓋(FCD500)製・本体(FC200)製		○			○						
C0060007	量水器筐	φ40mm、蓋FRP、本体FRP製				○							
C0060008	量水器BOX40用レジンコンクリート	50KMR-2-50K		○									
C0060009	量水器BOX40用レジンコンクリート	400AMR-2-400A		○									
C0060010	量水器BOX40用レジンコンクリート	200BMR-2-200B		○									
C0060011	量水器BOX40用レジンコンクリート	200BMMR-2-200BM		○									
C0060012	量水器BOX40用レジンコンクリート	300DMMR-2-300DM		○									
C0060013	量水器BOX50-100用レジンコンクリート	50KMR-4-50K		○									
C0060014	量水器BOX50-100用レジンコンクリート	400AMR-4-400A		○									
C0060015	量水器BOX50-100用レジンコンクリート	200BMR-4-200B		○									
C0060016	量水器BOX50-100用レジンコンクリート	200BMMR-4-200BM		○									
C0060017	量水器BOX50-100用レジンコンクリート	300DMMR-4-300DM		○									
C0060018	40用量水器鉄蓋	10L、MR-2L-10L		○									
C0060019	50-100用量水器鉄蓋	10L、MR-4L-10L		○									

C006 給水類(4)量水器筐類

1/1

C007 筐類1(φ500用)													
単価番号	名称	規格	(32) 日之出水	(33) 給平コンクリート	(62) タイモン								
C0070001	消火栓用鉄蓋	φ500(FCD)	○	○	○								
C0070002	空気弁用鉄蓋	φ500(FCD)	○	○	○								
C0070003	バタフライ弁用鉄蓋	φ500(FCD)	○	○	○								
C0070004	φ500鉄蓋用ホルトセット	M16*150mm	○	○	○								
C0070005	φ500鉄蓋用ホルトセット	M16*250mm	○	○	○								
C0070006	φ500ホ`ッス用下樹	200A(REC)	○	○	○								
C0070007	φ500ホ`ッス用下樹	200AC(REC)	○										
C0070008	φ500ホ`ッス用下樹	100B(REC)	○	○	○								
C0070009	φ500ホ`ッス用下樹	200B(REC)	○	○	○								
C0070010	φ500ホ`ッス用下樹	300B(REC)	○	○	○								
C0070011	φ500ホ`ッス用下樹	200C(REC)	○	○	○								
C0070012	φ500ホ`ッス用下樹	300C(REC)	○	○	○								
C0070013	φ500ホ`ッス用調整リング	10K(REP、REC)	○	○	○								
C0070014	φ500ホ`ッス用調整リング	30K(REP、REC)	○	○	○								
C0070015	φ500ホ`ッス用調整リング	50K(REP、REC)	○	○	○								
C0070016	φ500ホ`ッス用傾斜調整リング	傾斜3%(REP、REC)	○	○	○								
C0070017	φ500ホ`ッス用傾斜調整リング	傾斜5%(REP、REC)	○	○	○								
C0070018	φ500ホ`ッス用底板	外径 φ 700、t=40mm	○	○	○								

C008 筐類2(φ250用)													
単価番号	名称	規格	(32) 日之出水	(33) 給平コンクリート	(62) タイモン								
C0080001	制水弁用鉄蓋(蓋、受枠セット)	φ250(FCD)	○	○	○								
C0080002	泥吐弁用鉄蓋(蓋、受枠セット)	φ250(FCD)	○	○	○								
C0080003	制水弁用鉄蓋(蓋のみ)	φ250(FCD)	○	○	○								
C0080004	泥吐弁用鉄蓋(蓋のみ)	φ250(FCD)	○	○	○								
C0080005	φ250鉄蓋用受枠	(FCD)	○	○	○								
C0080006	φ250鉄蓋用ホルトセット	M10×95mm	○	○	○								
C0080007	φ250鉄蓋用ホルトセット	M10×170mm	○	○	○								
C0080008	φ250ホ`ッス用下樹	150A(REC)	○	○	○								
C0080009	φ250ホ`ッス用下樹	100B(REC)	○	○	○								
C0080010	φ250ホ`ッス用下樹	150B(REC)	○	○									
C0080011	φ250ホ`ッス用下樹	200B(REC)	○	○	○								
C0080012	φ250ホ`ッス用下樹	300B(REC)	○	○	○								
C0080013	φ250ホ`ッス用下樹	300C(REC)	○	○	○								
C0080014	φ250ホ`ッス用下樹	300AC(REC)	○	○									
C0080015	φ250ホ`ッス用調整リング	10K(REP、REC)	○	○	○								
C0080016	φ250ホ`ッス用調整リング	30K(REP、REC)	○	○	○								
C0080017	φ250ホ`ッス用調整リング	50K(REP、REC)	○	○	○								
C0080018	φ250ホ`ッス用傾斜調整リング	傾斜3%(REP、REC)	○	○	○								
C0080019	φ250ホ`ッス用傾斜調整リング	傾斜5%(REP、REC)	○	○	○								
C0080020	φ250ホ`ッス用底板	外径 φ 600(60S)、t=60mm(CR)	○	○	○								
C0080021	φ250ホ`ッス用底板	外径 φ 500(60SS)、t=60mm(CR)	○	○	○								
C0080022	φ250ホ`ッス用アダプタ	t=50mm(REC)	○										

C009 防食テープ													
単価番号	名称	規格	(40) 日東電工										
C0090001	防食テープ(1巻換算)	50mm*10m	○										
C0090002	防食テープ(1巻換算)	100mm*10m	○										
C0090003	防食テープ(1巻換算)	150mm*10m	○										
C0090004	防食テープ(1巻換算)	200mm*10m	○										
C0090009	プラスチック系防食テープ	100mm*10m塩化ビニール											
C0090010	マステック	粘土状、棒状	○										
C0090011	ペースト	下塗り用、缶入り	○										

C009 防食テープ

1/1

D001 ホリスリーブ													
単価番号	名称	規格	(1) クボタ	(3) 栗本鐵工	(40) サンエス護膜	(52) マキノ化学	(63) 信明産業						
D0010001	ホリエチレンスリーブ	φ 50*5.0			○								
D0010002	ホリエチレンスリーブ	φ 75*5.0	○	○	○	○							
D0010003	ホリエチレンスリーブ	φ 100*5.0	○	○	○	○							
D0010004	ホリエチレンスリーブ	φ 150*6.0	○	○	○	○							
D0010005	ホリエチレンスリーブ	φ 200*6.0	○	○	○	○							
D0010006	ホリエチレンスリーブ	φ 250*6.0	○	○	○	○							
D0010007	ホリエチレンスリーブ	φ 300*7.0	○	○	○	○							
D0010008	ホリエチレンスリーブ	φ 350*7.0	○	○	○	○							
D0010009	ホリエチレンスリーブ	φ 400*7.0	○	○	○	○							
D0010010	ホリエチレンスリーブ	φ 450*7.0	○	○	○	○							
D0010011	ホリエチレンスリーブ	φ 500*7.5	○	○	○	○							
D0010012	ホリエチレンスリーブ	φ 600*7.5	○	○	○	○							
D0010013	ホリエチレンスリーブ	φ 700*7.5	○	○	○	○							
D0010014	ホリエチレンスリーブ	φ 800*7.5	○	○	○	○							
D0010029	固定バンド	φ 50mm			○		○						
D0010030	固定バンド	φ 75mm	○	○	○		○						
D0010031	固定バンド	φ 100mm	○	○	○		○						
D0010032	固定バンド	φ 150mm	○	○	○		○						
D0010033	固定バンド	φ 200mm	○	○	○		○						
D0010034	固定バンド	φ 250mm	○	○	○		○						
D0010035	固定バンド	φ 300mm	○	○	○		○						
D0010036	固定バンド	φ 350mm	○	○	○		○						
D0010037	固定バンド	φ 400mm	○	○	○		○						
D0010038	固定バンド	φ 450mm	○	○	○		○						
D0010039	固定バンド	φ 500mm	○	○	○		○						

D001 ホリスリーブ

1/2

D001 ホリスリーブ													
単価番号	名称	規格	(1)クボタ	(3)栗本鐵工	(48)サンスエス護膜	(52)マキノ化学	(63)信明産業						
D0010040	固定バンド	φ 600mm	○	○	○		○						
D0010041	固定バンド	φ 700mm	○	○	○		○						
D0010042	固定バンド	φ 800mm	○	○	○		○						
D0010043	粘着テープ	10m、50mm*0.2mm	○										

D001 ホリスリーブ

D002 ホリエチレンパイプ													
単価番号	名称	規格	(23)タネタテミクス	(39)イノアック									
D0020001	ホリエチレンパイプ1種(軟質)	φ 13mm 2層管 m当り	○	○									
D0020002	ホリエチレンパイプ1種(軟質)	φ 20mm 2層管 m当り	○	○									
D0020003	ホリエチレンパイプ1種(軟質)	φ 25mm 2層管 m当り	○	○									
D0020004	ホリエチレンパイプ1種(軟質)	φ 30mm 2層管 m当り	○	○									
D0020005	ホリエチレンパイプ1種(軟質)	φ 40mm 2層管 m当り	○	○									
D0020006	ホリエチレンパイプ1種(軟質)	φ 50mm 2層管 m当り	○	○									

D002 ホリエチレンパイプ

D003 ポリエチレン管用継手													
単価番号	名称	規格	(25)タフチ	(26)前澤給装	(27)前田ハルフ	(29)日邦ハルフ	(31)キツツ	(39)イノアック					
D0030001	PPオネジ	φ 13mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030002	PPオネジ	φ 20mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030003	PPオネジ	φ 25mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030004	PPオネジ	φ 30mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030005	PPオネジ	φ 40mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030006	PPオネジ	φ 50mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030007	PPメネジ	φ 13mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030008	PPメネジ	φ 20mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030009	PPメネジ	φ 25mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030010	PPメネジ	φ 30mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030011	PPメネジ	φ 40mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030012	PPメネジ	φ 50mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030013	PP90°エルボ	φ 13mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030014	PP90°エルボ	φ 20mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030015	PP90°エルボ	φ 25mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030016	PP90°エルボ	φ 30mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030017	PP90°エルボ	φ 40mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030018	PP90°エルボ	φ 50mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030019	PPチース	φ 13mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030020	PPチース	φ 20mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030021	PPチース	φ 25mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030022	PPチース	φ 30mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030023	PPチース	φ 40mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030024	PPチース	φ 50mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030025	PP異径チース	φ 20*13mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					

D003 ポリエチレン管用継手

1/5

D003 ポリエチレン管用継手													
単価番号	名称	規格	(25)タフチ	(26)前澤給装	(27)前田ハルフ	(29)日邦ハルフ	(31)キツツ	(39)イノアック					
D0030026	PP異径チース	φ 25*13mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030027	PP異径チース	φ 25*20mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030028	PP異径チース	φ 30*13mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030029	PP異径チース	φ 30*20mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030030	PP異径チース	φ 30*25mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030031	PP異径チース	φ 40*13mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030032	PP異径チース	φ 40*20mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030033	PP異径チース	φ 40*25mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030034	PP異径チース	φ 40*30mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030035	PP異径チース	φ 50*13mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030036	PP異径チース	φ 50*20mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030037	PP異径チース	φ 50*25mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030038	PP異径チース	φ 50*30mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030039	PP異径チース	φ 50*40mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030040	PPソケット	φ 13mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030041	PPソケット	φ 20mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030042	PPソケット	φ 25mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030043	PPソケット	φ 30mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030044	PPソケット	φ 40mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030045	PPソケット	φ 50mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030046	PP異径ソケット	φ 20*13mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030047	PP異径ソケット	φ 25*13mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030048	PP異径ソケット	φ 25*20mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030049	PP異径ソケット	φ 30*13mm(インコア付)				○		○					
D0030050	PP異径ソケット	φ 30*20mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					

D003 ポリエチレン管用継手

2/5

D003 ポリエチレン管用継手													
単価番号	名称	規格	(25)タフチ	(26)前澤給装	(27)前田ハルフ	(29)日邦ハルフ	(31)キツ	(39)イノアック					
D0030051	PP異径ソケット	φ 30*25mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030052	PP異径ソケット	φ 40*13mm(インコア付)											
D0030053	PP異径ソケット	φ 40*20mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030054	PP異径ソケット	φ 40*25mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030055	PP異径ソケット	φ 40*30mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030056	PP異径ソケット	φ 50*13mm(インコア付)											
D0030057	PP異径ソケット	φ 50*20mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030058	PP異径ソケット	φ 50*25mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030059	PP異径ソケット	φ 50*30mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030060	PP異径ソケット	φ 50*40mm(インコア付)	○	○	○	○	○	○					
D0030061	PP分水栓用直結ソケット(内ネジ)	φ 13mm(インコア付)	○	○	○	○	○						
D0030062	PP分水栓用直結ソケット(内ネジ)	φ 20mm(インコア付)	○	○	○	○	○						
D0030063	PP分水栓用直結ソケット(内ネジ)	φ 25mm(インコア付)	○	○	○	○	○						
D0030064	PP分水栓用直結ソケット(内ネジ)	φ 30mm(インコア付)	○	○	○	○	○						
D0030065	PP分水栓用直結ソケット(内ネジ)	φ 40mm(インコア付)	○	○	○	○	○						
D0030066	PP分水栓用直結ソケット(内ネジ)	φ 50mm(インコア付)	○	○	○	○	○						
D0030067	PP塩ビソケット(外ネジ)	φ 13mm(インコア付)		○	○	○	○						
D0030068	PP塩ビソケット(外ネジ)	φ 20mm(インコア付)		○	○	○	○						
D0030069	PP塩ビソケット(外ネジ)	φ 25mm(インコア付)		○	○	○	○						
D0030070	PP塩ビソケット(外ネジ)	φ 30mm(インコア付)		○	○	○	○						
D0030071	PP塩ビソケット(外ネジ)	φ 40mm(インコア付)		○	○	○	○						
D0030072	PP塩ビソケット(外ネジ)	φ 50mm(インコア付)		○	○	○	○						
D0030073	PPリング(アセタル樹脂製)	φ 13mm	○	○	○	○							
D0030074	PPリング(アセタル樹脂製)	φ 20mm	○	○	○	○							
D0030075	PPリング(アセタル樹脂製)	φ 25mm	○	○	○	○							

D003 ポリエチレン管用継手

3/5

D003 ポリエチレン管用継手													
単価番号	名称	規格	(25)タフチ	(26)前澤給装	(27)前田ハルフ	(29)日邦ハルフ	(31)キツ	(39)イノアック					
D0030076	PPリング(アセタル樹脂製)	φ 30mm	○	○	○	○							
D0030077	PPリング(アセタル樹脂製)	φ 40mm	○	○	○	○							
D0030078	PPリング(アセタル樹脂製)	φ 50mm	○	○	○	○							
D0030079	PPインコア	φ 13mm	○	○	○	○							
D0030080	PPインコア	φ 20mm	○	○	○	○							
D0030081	PPインコア	φ 25mm	○	○	○	○							
D0030082	PPインコア	φ 30mm	○	○	○	○							
D0030083	PPインコア	φ 40mm	○	○	○	○							
D0030084	PPインコア	φ 50mm	○	○	○	○							
D0030085	PPメーター用ソケット	φ 13mm(インコア付)	○	○	○	○	○						
D0030086	PPメーター用ソケット	φ 20mm(インコア付)	○	○	○	○	○						
D0030087	PPメーター用ソケット	φ 25mm(インコア付)	○	○	○	○	○						
D0030088	PPメーター用ソケット	φ 13mm*20P(インコア付)	○	○	○	○	○						
D0030089	PPメーター用ソケット	φ 13mm*25P(インコア付)		○	○	○							
D0030090	PPメーター用ソケット	φ 20mm*25P(インコア付)	○	○	○	○	○						
D0030091	PPメーター用ソケット	φ 40mm(インコア付)	○	○	○	○	○						
D0030092	PP60°ヘンド	φ 13mm(インコア付)	○	○	○	○	○						
D0030093	PP60°ヘンド	φ 20mm(インコア付)	○	○	○	○	○						
D0030094	PP60°ヘンド	φ 25mm(インコア付)	○	○	○	○	○						
D0030095	PP60°ロングヘンド	φ 13mm(インコア付)	○	○	○	○	○						
D0030096	PP60°ロングヘンド	φ 20mm(インコア付)	○	○	○	○	○						
D0030097	PP60°ロングヘンド	φ 25mm(インコア付)	○	○	○	○	○						
D0030098	PP60°ロングヘンド	φ 20mm*13(インコア付)		○	○	○							
D0030099	PPエンド	φ 13mm(インコア付)	○	○	○	○	○						
D0030100	PPエンド	φ 20mm(インコア付)	○	○	○	○	○						

D003 ポリエチレン管用継手

4/5

D003 ホリエチレン管用継手													
単価番号	名称	規格	(25)タフチ	(26)前澤給装	(27)前田ハルフ	(29)日邦ハルフ	(31)キツ	(39)イノアツカ					
D0030101	PPエンド	φ25mm(インコア付)	○	○	○	○	○						
D0030102	PPエンド	φ30mm(インコア付)	○	○	○	○	○						
D0030103	PPエンド	φ40mm(インコア付)	○	○	○	○	○						
D0030104	PPエンド	φ50mm(インコア付)	○	○	○	○	○						
D0030105	ホリ・塩ビ管用継手	φ13mm(インコア付)	○	○	○	○							
D0030106	ホリ・塩ビ管用継手	φ20mm(インコア付)	○	○	○	○							
D0030107	ホリ・塩ビ管用継手	φ25mm(インコア付)	○	○	○	○							
D0030108	ホリ・塩ビ管用継手	φ30mm(インコア付)	○	○	○	○							
D0030109	ホリ・塩ビ管用継手	φ40mm(インコア付)	○	○	○	○							
D0030110	ホリ・塩ビ管用継手	φ50mm(インコア付)	○	○	○	○							
D0030111	ホリ管補修バンド	φ13mm	○	○									
D0030112	ホリ管補修バンド	φ20mm	○	○									
D0030113	ホリ管補修バンド	φ25mm	○	○									
D0030114	ホリ管補修バンド	φ30mm	○	○									
D0030115	ホリ管補修バンド	φ40mm	○	○									
D0030116	ホリ管補修バンド	φ50mm	○	○									

D003 ホリエチレン管用継手

5/5

D004 ホリエチレン管用継手(ワンタッチ式)													
単価番号	名称	規格	(25)タフチ	(26)前澤給装	(27)前田ハルフ	(29)日邦ハルフ	(42)名古屋ハルフ						
D0040001	PVソケット(ワンタッチ式)	φ13mm	○	○	○	○	○						
D0040002	PVソケット(ワンタッチ式)	φ20mm	○	○	○	○	○						
D0040003	PVソケット(ワンタッチ式)	φ25mm	○	○	○	○	○						
D0040004	PVソケット(ワンタッチ式)	φ30mm	○	○	○	○	○						
D0040005	PVソケット(ワンタッチ式)	φ40mm	○	○	○	○	○						
D0040006	PVソケット(ワンタッチ式)	φ50mm	○	○	○	○	○						
D0040007	PVソケット(ワンタッチ式)	φ20mm*13	○	○	○	○	○						
D0040008	PVソケット(ワンタッチ式)	φ25mm*20	○	○	○	○	○						
D0040009	PVエルボ(ワンタッチ式)	φ13mm	○	○	○	○	○						
D0040010	PVエルボ(ワンタッチ式)	φ20mm	○	○	○	○	○						
D0040011	PVエルボ(ワンタッチ式)	φ25mm	○	○	○	○	○						
D0040012	PVエルボ(ワンタッチ式)	φ30mm	○	○	○	○	○						
D0040013	PVエルボ(ワンタッチ式)	φ40mm	○	○	○	○	○						
D0040014	PVエルボ(ワンタッチ式)	φ50mm	○	○	○	○	○						
D0040015	PPオネジ(ワンタッチ式)	φ13mm	○	○	○	○	○						
D0040016	PPオネジ(ワンタッチ式)	φ20mm	○	○	○	○	○						
D0040017	PPオネジ(ワンタッチ式)	φ25mm	○	○	○	○	○						
D0040018	PPオネジ(ワンタッチ式)	φ30mm	○	○	○	○	○						
D0040019	PPオネジ(ワンタッチ式)	φ40mm	○	○	○	○	○						
D0040020	PPオネジ(ワンタッチ式)	φ50mm	○	○	○	○	○						
D0040021	PPメネジ(ワンタッチ式)	φ13mm	○	○	○	○	○						
D0040022	PPメネジ(ワンタッチ式)	φ20mm	○	○	○	○	○						
D0040023	PPメネジ(ワンタッチ式)	φ25mm	○	○	○	○	○						
D0040024	PPメネジ(ワンタッチ式)	φ30mm	○	○	○	○	○						
D0040025	PPメネジ(ワンタッチ式)	φ40mm	○	○	○	○	○						

D004 ホリエチレン管用継手(ワンタッチ式)

1/5

D004 ホリエチレン管用継手(ワタッチ式)													
単価番号	名称	規格	(25)ﾀﾌﾞﾁ	(26)前澤給装	(27)前田ﾊﾞﾙﾌﾞ	(29)日邦ﾊﾞﾙﾌﾞ	(42)名古屋ﾊﾞﾙﾌﾞ						
D0040026	PPﾒﾈｼﾞ(ワタッチ式)	φ 50mm	○	○	○	○	○						
D0040027	PP90° ﾍﾙﾎﾞ(ワタッチ式)	φ 13mm	○	○	○	○	○						
D0040028	PP90° ﾍﾙﾎﾞ(ワタッチ式)	φ 20mm	○	○	○	○	○						
D0040029	PP90° ﾍﾙﾎﾞ(ワタッチ式)	φ 25mm	○	○	○	○	○						
D0040030	PP90° ﾍﾙﾎﾞ(ワタッチ式)	φ 30mm	○	○	○	○	○						
D0040031	PP90° ﾍﾙﾎﾞ(ワタッチ式)	φ 40mm	○	○	○	○	○						
D0040032	PP90° ﾍﾙﾎﾞ(ワタッチ式)	φ 50mm	○	○	○	○	○						
D0040033	PPﾁｰｽﾞ(ワタッチ式)	φ 13mm	○	○	○	○	○						
D0040034	PPﾁｰｽﾞ(ワタッチ式)	φ 20mm	○	○	○	○	○						
D0040035	PPﾁｰｽﾞ(ワタッチ式)	φ 25mm	○	○	○	○	○						
D0040036	PPﾁｰｽﾞ(ワタッチ式)	φ 30mm	○	○	○	○	○						
D0040037	PPﾁｰｽﾞ(ワタッチ式)	φ 40mm	○	○	○	○	○						
D0040038	PPﾁｰｽﾞ(ワタッチ式)	φ 50mm	○	○	○	○	○						
D0040039	PP異径ﾁｰｽﾞ(ワタッチ式)	φ 20 × 13mm	○	○	○	○	○						
D0040040	PP異径ﾁｰｽﾞ(ワタッチ式)	φ 25 × 13mm	○	○	○	○	○						
D0040041	PP異径ﾁｰｽﾞ(ワタッチ式)	φ 25 × 20mm	○	○	○	○	○						
D0040042	PP異径ﾁｰｽﾞ(ワタッチ式)	φ 30 × 13mm	○	○	○	○	○						
D0040043	PP異径ﾁｰｽﾞ(ワタッチ式)	φ 30 × 20mm	○	○	○	○	○						
D0040044	PP異径ﾁｰｽﾞ(ワタッチ式)	φ 30 × 25mm	○	○	○	○	○						
D0040045	PP異径ﾁｰｽﾞ(ワタッチ式)	φ 40 × 13mm	○	○	○	○	○						
D0040046	PP異径ﾁｰｽﾞ(ワタッチ式)	φ 40 × 20mm	○	○	○	○	○						
D0040047	PP異径ﾁｰｽﾞ(ワタッチ式)	φ 40 × 25mm	○	○	○	○	○						
D0040048	PP異径ﾁｰｽﾞ(ワタッチ式)	φ 40 × 30mm	○	○	○	○	○						
D0040049	PP異径ﾁｰｽﾞ(ワタッチ式)	φ 50 × 13mm	○	○	○	○	○						
D0040050	PP異径ﾁｰｽﾞ(ワタッチ式)	φ 50 × 20mm	○	○	○	○	○						

D004 ホリエチレン管用継手(ワタッチ式)

2/5

D004 ホリエチレン管用継手(ワタッチ式)													
単価番号	名称	規格	(25)ﾀﾌﾞﾁ	(26)前澤給装	(27)前田ﾊﾞﾙﾌﾞ	(29)日邦ﾊﾞﾙﾌﾞ	(42)名古屋ﾊﾞﾙﾌﾞ						
D0040051	PP異径ﾁｰｽﾞ(ワタッチ式)	φ 50 × 25mm	○	○	○	○	○						
D0040052	PP異径ﾁｰｽﾞ(ワタッチ式)	φ 50 × 30mm	○	○	○	○	○						
D0040053	PP異径ﾁｰｽﾞ(ワタッチ式)	φ 50 × 40mm	○	○	○	○	○						
D0040054	PPソケット(ワタッチ式)	φ 13mm	○	○	○	○	○						
D0040055	PPソケット(ワタッチ式)	φ 20mm	○	○	○	○	○						
D0040056	PPソケット(ワタッチ式)	φ 25mm	○	○	○	○	○						
D0040057	PPソケット(ワタッチ式)	φ 30mm	○	○	○	○	○						
D0040058	PPソケット(ワタッチ式)	φ 40mm	○	○	○	○	○						
D0040059	PPソケット(ワタッチ式)	φ 50mm	○	○	○	○	○						
D0040060	PP異径ソケット(ワタッチ式)	φ 20 × 13mm	○	○	○	○	○						
D0040061	PP異径ソケット(ワタッチ式)	φ 25 × 13mm	○	○	○	○	○						
D0040062	PP異径ソケット(ワタッチ式)	φ 25 × 20mm	○	○	○	○	○						
D0040063	PP異径ソケット(ワタッチ式)	φ 30 × 13mm		○	○		○						
D0040064	PP異径ソケット(ワタッチ式)	φ 30 × 20mm	○	○	○	○	○						
D0040065	PP異径ソケット(ワタッチ式)	φ 30 × 25mm	○	○	○	○	○						
D0040066	PP異径ソケット(ワタッチ式)	φ 40 × 13mm					○						
D0040067	PP異径ソケット(ワタッチ式)	φ 40 × 20mm	○	○	○	○	○						
D0040068	PP異径ソケット(ワタッチ式)	φ 40 × 25mm	○	○	○	○	○						
D0040069	PP異径ソケット(ワタッチ式)	φ 40 × 30mm	○	○	○	○	○						
D0040070	PP異径ソケット(ワタッチ式)	φ 50 × 13mm					○						
D0040071	PP異径ソケット(ワタッチ式)	φ 50 × 20mm	○	○		○	○						
D0040072	PP異径ソケット(ワタッチ式)	φ 50 × 25mm	○	○	○	○	○						
D0040073	PP異径ソケット(ワタッチ式)	φ 50 × 30mm	○	○	○	○	○						
D0040074	PP異径ソケット(ワタッチ式)	φ 50 × 40mm	○	○	○	○	○						
D0040075	PP分水栓用直結ソケット(内ネジ)(ワタッチ式)	φ 13mm	○	○	○	○	○						

D004 ホリエチレン管用継手(ワタッチ式)

3/5

D004 ポリエチレン管用継手(ワンタッチ式)													
単価番号	名称	規格	(25) タフチ	(26) 前澤給装	(27) 前田ハルフ	(29) 日邦ハルフ	(42) 名古屋ハルフ						
D0040076	PP分水栓用直結ソケット(内ネジ)(ワンタッチ式)	φ 20mm	○	○	○	○	○						
D0040077	PP分水栓用直結ソケット(内ネジ)(ワンタッチ式)	φ 25mm	○	○	○	○	○						
D0040078	PP分水栓用直結ソケット(内ネジ)(ワンタッチ式)	φ 30mm	○	○	○	○	○						
D0040079	PP分水栓用直結ソケット(内ネジ)(ワンタッチ式)	φ 40mm	○	○	○	○	○						
D0040080	PP分水栓用直結ソケット(内ネジ)(ワンタッチ式)	φ 50mm	○	○	○	○	○						
D0040081	PP塩ビソケット(外ネジ)(ワンタッチ式)	φ 13mm					○						
D0040082	PP塩ビソケット(外ネジ)(ワンタッチ式)	φ 20mm			○		○						
D0040083	PP塩ビソケット(外ネジ)(ワンタッチ式)	φ 25mm			○		○						
D0040084	PP塩ビソケット(外ネジ)(ワンタッチ式)	φ 30mm			○		○						
D0040085	PP塩ビソケット(外ネジ)(ワンタッチ式)	φ 40mm			○		○						
D0040086	PP塩ビソケット(外ネジ)(ワンタッチ式)	φ 50mm					○						
D0040087	PPメーター用ソケット(ワンタッチ式)	φ 13mm	○	○	○	○	○						
D0040088	PPメーター用ソケット(ワンタッチ式)	φ 20mm	○	○	○	○	○						
D0040089	PPメーター用ソケット(ワンタッチ式)	φ 25mm	○	○	○	○	○						
D0040090	PPメーター用ソケット(ワンタッチ式)	φ 13 × 20Pmm		○	○	○	○						
D0040091	PPメーター用ソケット(ワンタッチ式)	φ 20 × 25Pmm		○	○		○						
D0040092	PPメーター用ソケット(ワンタッチ式)	φ 40mm	○	○	○	○							
D0040093	PP60°ヘンド(ワンタッチ式)	φ 13mm	○	○	○	○	○						
D0040094	PP60°ヘンド(ワンタッチ式)	φ 20mm	○	○	○	○	○						
D0040095	PP60°ヘンド(ワンタッチ式)	φ 25mm	○	○	○	○	○						
D0040096	PP60°ロングヘンド(ワンタッチ式)	φ 13mm	○	○	○	○	○						
D0040097	PP60°ロングヘンド(ワンタッチ式)	φ 20mm	○	○	○	○	○						
D0040098	PP60°ロングヘンド(ワンタッチ式)	φ 25mm	○	○	○	○	○						
D0040099	PP60°ロングヘンド(ワンタッチ式)	φ 13 × 20Pmm	○	○	○	○	○						
D0040100	PP60°ロングヘンド(ワンタッチ式)	φ 20 × 25Pmm					○						

D004 ポリエチレン管用継手(ワンタッチ式)													
単価番号	名称	規格	(25) タフチ	(26) 前澤給装	(27) 前田ハルフ	(29) 日邦ハルフ	(42) 名古屋ハルフ						
D0040101	PPエンド(ワンタッチ式)	φ 13mm			○		○						
D0040102	PPエンド(ワンタッチ式)	φ 20mm			○		○						
D0040103	PPエンド(ワンタッチ式)	φ 25mm			○		○						
D0040104	PPエンド(ワンタッチ式)	φ 30mm			○		○						
D0040105	PPエンド(ワンタッチ式)	φ 40mm			○		○						
D0040106	PPエンド(ワンタッチ式)	φ 50mm			○		○						

E001 不断水弁及び取付工														
単価番号	名称	規格	(8) 大成機工	(9) コスモ	(46) 水研									
E0010001	鑄鉄管用不断水弁	φ 75mm	○	○	○									
E0010002	鑄鉄管用不断水弁	φ 100mm	○	○	○									
E0010003	鑄鉄管用不断水弁	φ 125mm	○	○										
E0010004	鑄鉄管用不断水弁	φ 150mm	○	○	○									
E0010005	鑄鉄管用不断水弁	φ 200mm	○	○	○									
E0010006	鑄鉄管用不断水弁	φ 250mm	○	○	○									
E0010007	鑄鉄管用不断水弁	φ 300mm	○	○	○									
E0010008	鑄鉄管用不断水弁	φ 350mm	○	○	○									
E0010009	鑄鉄管用不断水弁	φ 400mm	○	○	○									
E0010019	VP管用不断水弁	φ 75mm	○	○	○									
E0010020	VP管用不断水弁	φ 100mm	○	○	○									
E0010021	VP管用不断水弁	φ 150mm	○	○	○									

E002 エア-バック式不断水工法														
単価番号	名称	規格	(10) クロダイト											
E0020001	エア-バック(鑄鉄管用)	φ 75	○											
E0020002	エア-バック(鑄鉄管用)	φ 100	○											
E0020003	エア-バック(鑄鉄管用)	φ 150	○											
E0020004	エア-バック(石綿管用)	φ 75	○											
E0020005	エア-バック(石綿管用)	φ 100	○											
E0020006	エア-バック(石綿管用)	φ 150	○											
E0020007	エア-バック(VP管用)	φ 75	○											
E0020008	エア-バック(VP管用)	φ 100	○											
E0020009	エア-バック(VP管用)	φ 150	○											
E0020010	ストップ-サドル(鑄鉄管用)	φ 75	○											
E0020011	ストップ-サドル(鑄鉄管用)	φ 100	○											
E0020012	ストップ-サドル(鑄鉄管用)	φ 150	○											
E0020013	ストップ-サドル(石綿管用)	φ 75	○											
E0020014	ストップ-サドル(石綿管用)	φ 100	○											
E0020015	ストップ-サドル(石綿管用)	φ 150	○											
E0020016	ストップ-サドル(VP管用)	φ 75	○											
E0020017	ストップ-サドル(VP管用)	φ 100	○											
E0020018	ストップ-サドル(VP管用)	φ 150	○											

令和8年度 資材承認メーカー連絡先一覧表

番号	会社名	住所	電話番号
1	(株)クボタ 中部支社	名古屋市中村区名駅三丁目22番8号大東海ビル3階	052-564-5151
2	日本鉄管(株) 中部支社	名古屋市区西牛島町5番2号	052-582-9808
3	(株)栗本鐵工所 名古屋支店	名古屋市中村区名駅南1丁目17番23号	052-551-6932
4	(株)岡本	岐阜県岐阜市曙町5番地	058-271-7251
5	(株)ハズ 名古屋営業所	名古屋市中区金山1丁目12番14号金山総合ビル5階	052-856-6667
7	(株)遠山鐵工所 営業部	東京都北区赤羽1丁目64-11 CDビルディング5階	03-5939-7702
8	大成機工(株) 名古屋支店	名古屋市中村区名駅3-22-8大東海ビル	052-551-0461
9	コスモ工機(株) 名古屋支店	名古屋市中区栄二丁目4番18号岡谷鋼機ビルディング 3階	052-253-7180
10	(株)クロダイト 中部営業所	愛知県高浜市八幡町一丁目1番地1	0566-53-6833
11	前澤工業(株) 名古屋支店	名古屋市中区錦二丁目14-21円山ビル11F	052-218-7691
12	(株)キッツエスジーエス 名古屋支店	名古屋市中区丸の内1丁目9-16 丸の内oneビル6F	052-222-7282
13	(株)清水鐵工所 本社営業部	滋賀県彦根市安清町4番16号	0749-22-2551
14	清水工業(株) 本社営業所	滋賀県彦根市楡町250番地	0749-25-2550
15	JFE商事鋼管管材(株) 名古屋支店	愛知県名古屋市中村区名駅3丁目28番12号大名古屋ビルディング 23F	052-583-2687
17	積水化学工業(株) 中部営業部 設備システム営業所	名古屋市中村区名駅1-1-3 JRビル42F	052-307-6806
19	(株)イトー鋳造 大阪営業所	大阪市大正区小林西1丁目17-31	06-6556-5000
20	桑名金属工業(株)	名古屋市中村区名駅4-24-8 いちご名古屋ビル3階	052-212-5035
21	リケンNPR(株) 西日本営業部 名古屋営業所	名古屋市中区錦1-13-26名古屋伏見ビル6階	052-201-8681
22	シーケー金属株式会社 名古屋支店	名古屋市中区大須4-1-18ビル9F	052-251-1761
23	(株)クボタケミックス 中部支店	名古屋市中村区名駅3丁目22番8号大東海ビル	090-9021-5974
24	旭有機材(株) 名古屋営業所	名古屋市中区錦1-4-16KDX名古屋日銀前ビル4F	052-222-8533
25	(株)タブチ 名古屋支店	名古屋市瑞穂区惣作町1丁目6 1F	052-855-2185
26	前澤給装工業(株) 名古屋支店	名古屋市千種区千種1丁目15番1号	052-745-8211
27	前田バルブ工業(株) 本社営業所	名古屋市港区船見町29番1	052-618-3800
28	栗本商事(株) 大阪パイプシステム営業部	大阪府大阪市西区新町2-4-2 なにわ筋SIAビル9階	06-6110-7452
29	(株)日邦バルブ 名古屋営業所	名古屋市千種区今池4丁目1番29号ビル2階	052-735-6511
30	(株)キッツ (東洋バルブ)	名古屋市中区丸の内1丁目9-16 丸の内oneビル6F	052-204-1230
31	(株)キッツ 給装企画管理グループ	東京都港区東新橋1丁目9番1号 東京汐留ビルディング5F	03-5568-9222
32	日之出水道機器(株) 名古屋営業所	名古屋市名東区上社1丁目603番地	052-726-8067
33	植平コンクリート工業(株) 営業1課	奈良県宇陀市榛原比布1312-1	0745-82-2162
34	興和ゴム工業(株) 東京営業所	東京都中央区東日本橋1丁目9番2号バインコート日本橋201	03-5829-5640
35	コーキマテリアル(株) 営業課	大阪市西区新町4丁目10番31号	06-6531-2401
36	角田鉄工(株) 本社営業課	滋賀県彦根市日夏町2789	0749-25-2500
37	(株)巴製作所 営業部	兵庫県尼崎市金楽寺町2丁目4番24号	06-6401-1530
38	富士鉄工(株)	大阪市城東区嶋野西2丁目12番4号	06-6962-1131
39	(株)イノアック住環境 中部総括営業所	名古屋市中村区名駅南二丁目13番4号	052-581-1077
40	日東電工ベースマテリアル(株) 名古屋営業所	名古屋市中区栄2丁目3番1号名古屋広小路ビル 3階	0120-21-8280
41	日本継手(株) 中部営業所	名古屋市中川区富船町4-1-8岡谷物流富船第二物流センター1F	052-352-4191
42	名古屋バルブ工業(株) 営業課	名古屋市中川区五月通3-17	052-352-3641
43	アロン化成(株) 名古屋支店	名古屋市中区錦一丁目4番6号大樹生命名古屋ビル6F	052-203-0378
44	(株)城北化工	愛知県西春日井郡豊山町大字豊場字流川72	0568-28-0218
45	岸和田ステンレス(株) 業務部	大阪府岸和田市臨海町20番地	072-438-0351
46	(株)水研 名古屋支店	名古屋市東区砂田橋5丁目8-28	052-712-5222
47	(株)SDC田中	大阪市住吉区帝塚山中1-10-6	06-6672-3701
48	(株)三笠・鋳螺 名古屋支店	愛知県名古屋市中区宝神5-803	052-381-7571
49	サンエス護謨工業(株) 大阪支店	大阪市中央区森ノ宮中央1丁目9番18号	06-6942-5681
50	日本鋳螺(株)	大阪府東大阪市吉田4-4-32	072-962-0761
51	明和工業(株) 名古屋営業所	名古屋市千種区内山3-17-4スズシン第二ビル2F	052-753-7660
52	マキノ化学工業(株) (酒井化学工業(株))	滋賀県高島町マキノ町寺久保643	0740-27-1245
53	山岡鉄管(株) 大阪営業所	大阪市北区堂島1-1-25新山本ビル7F	06-6442-6622

令和8年度 資材承認メーカー連絡先一覧表

番号	会社名	住所	電話番号
54	宮部鉄工(株)	滋賀県彦根市東沼波町1131	0749-22-2001
55	(株)川西水道機器 中部営業所	愛知県一宮市緑3丁目11-26	0586-27-9901
56	九州鑄鉄管(株) 東京支店	東京都千代田区内神田二丁目7-12 第一電建ビル	03-3525-4551
57	朝日鑄工(株)	大阪府堺市西区鳳東町6-616	072-271-1561
58	ヨツギ(株) 名古屋支店	愛知県名古屋市東区泉三丁目27番12号	052-931-2551
59	前澤化成工業(株) 名古屋営業所	愛知県名古屋市中区錦2-9-29 ORE名古屋伏見ビル	052-218-6921
60	(株)グランドボックス 南大阪営業所	大阪府堺市南区別所477	072-294-5511
62	(株)ダイモン 営業部 中京エリア	山口県防府市佐波1丁目6番10号	0835-22-0248
63	(株)信明産業 大阪営業所	大阪府豊中市三国1丁目3番20号カピルA号	06-6333-2010

2026.6月末時点

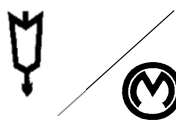
水道工事関連 資材メーカー商標一覧表(1)

1	(株)クボタ	
2	日本鑄鉄管(株)	
3	(株)栗本鐵工所	
4	(株)岡本	NBK
5	(株)ハス	
6		
7	(株)遠山鐵工所	
8	大成機工(株)	
9	コスモ工機(株)	
10	クロダイト工業(株)	
11	前澤工業(株)	
12	(株)キッツエスジーエス	
13	(株)清水鐵工所	
14	清水工業(株)	

15	J F E スチール(株)	JFE
16		
17	積水化学工業(株)	
18		
19	(株)イトー鑄造	
20	桑名金属工業(株)	
21	(株)リケン	
22	シーケー金属(株)	CK
23	(株)クボタケミックス	
24	旭有機材(株)	
25	(株)タブチ	TBC
26	前澤給装工業(株)	
27	前田バルブ工業(株)	
28	栗本商事(株)	

29	(株)日邦バルブ	
30	(株)キッツ (東洋バルブ)	
31	(株)キッツ	KITZ
32	日之出水道機器(株)	
33	植平コンクリート工業(株)	
34	興和ゴム工業(株)	
35	コーマテリアル(株)	
36	角田鉄工(株)	STK
37	(株)巴製作所	
38	富士鉄工(株)	
39	(株)イノック住環境	INOAC
40	日東電工(株)	
41	日本継手(株)	
42	名古屋バルブ工業(株)	

水道工事関連 資材メーカー商標一覧表(2)

43	アロン化成(株)	
44	(株)城北化工	
45	岸和田ステンレス(株)	
46	(株)水研	
47	(株)SDC田中	
48	(株)三笠・鋁螺	
49	サエス護謨工業(株)	
50	日本鋁螺(株)	
51	明和工業(株)	
52	マキ化学工業(株)	
53	山岡鉄管(株)	
54	宮部鉄工(株)	
55	(株)川西水道機器	
56	九州鑄鉄管(株)	

[illegible][illegible]

第 9 章

水道管接合部施工管理基準書

2024（令和 6）年 7 月
鈴 鹿 市 上 下 水 道 局

***** 水道管接合部施工管理基準 *****

1. 総則

- ① 本基準は全ての材質の導・送・配水管とその付属施設（以下、水道管）及び給水管の施工について、鈴鹿市水道工事設計及び施工管理基準書に含まれる以下の基準を補完するものである。本基準において定めのない部分は、各基準の定めに従う。

- ・第2章 鈴鹿市水道工事施工管理基準書
- ・第5章-1 配水用ポリエチレン管標準基準書

- ② 制水弁、消火栓、空気弁、割丁字管分岐部等のフランジ接合箇所も本基準による管理の対象とする。

- ③ この章の本文中にある接合部及び接合箇所とは下表にある接合方式を指し、その中で【重要接合部】とは下表のうち※で示す接合部を指す。

この表にない継手形式の管理は監督員と受注者との協議で決定する。

	直管部	異形管部	継ぎ輪	特殊押輪	P、G-Link
K 形	※ボルト接合	※ボルト接合	※ボルト接合	※ボルト接合	—
NS 形（φ75-250）	プッシュオン	プッシュオン	※ボルト接合	※ボルト接合	—
NS 形（φ300-450）	プッシュオン	※ボルト接合	※ボルト接合	※ボルト接合	—
NS 形（φ500 以上）	※ボルト接合	※ボルト接合	※ボルト接合	※ボルト接合	—
GX 形（φ75-400）	プッシュオン	※ボルト接合	※ボルト接合	※ボルト接合	※ボルト接合
フランジ	ボルト接合	ボルト接合	—	—	—
HPPE	EF 又は効接合	EF 又は効接合	—	—	—

2. 水道管の施工について

- ① 水道管は関係団体が発行する「接合要領書」等の技術資料に従って確実に施工し、全接合箇所の測定結果を本章末の継手チェックシートに記入すること。
- ② 特殊押輪は製造メーカーが定める方法に従って確実に施工し、全接合箇所の測定結果を本章末の継手チェックシートに記入すること。
- ③ 時間的制約がある場合や狭隘道路など難度の高い現場で連絡工事等を行う場合、接合及び解体工法や作業手順について事前に発注者と受注者とで十分な協議を行い、必要であれば管材メーカーまたは特殊押輪の製造メーカーによる技術指導を受けること。

- ④ 配管に使用する機材(管切断機、レバーホイスト、融着機等)は常に最適に整備されたものを使用し、受注者の責任において適宜精度管理を行うこと。
特にボルトの接合に使用する工具は正確なトルク管理ができるものを使用すること。

3. 継手チェックシートの記入と提出について

- ① 継手チェックシートは鈴鹿市上下水道局が規定する様式を使用し、接合部全箇所において現地で施工時に記入し、継手施工者とその他にもう1名の在場作業員が内容を確認し「現場確認」欄に押印またはサインを記すこと。

- ② 【重要接合部】については、当日施工分の継手チェックシートの写しを翌施工日の作業開始までに監督員に提出する。提出方法は直接持参、FAX または原本をスキャンしたものの電子メール送付とする。電子メールで提出の場合、送信前までにウイルスチェックを行うこと。

- ③ 継手チェックシートの原本は工事完成まで保管し、出来形管理資料として全数を提出する。電算機により再入力したものや新たに書き直したものの提出は認めない。

また、受注者は監督員から継手チェックシートの提出を求められた場合、工事期間中であっても速やかに原本を提出すること。

(継手チェックシート記入時の注意点)

- a. 「継手施工者」欄は実際に施工した配水管技能者の氏名を記入する。
 - b. ボルト接合継手の「トルク」欄には、接合部 1 箇所ごとの締付トルクを記入する。
 - c. その他の諸数値についてはチェックシート備考欄の記述に従い計測し、記入する。
- ④ 継手チェックシートは接合部の施工が確実に実施されたことを事後に証明する資料にもなるため、適切に記入し必要な確認を受けることが求められる。

- ⑤ フランジ用継手チェックシートの使い分けは以下の通り。

RF-GF 接合 (ガスケット 1 号使用)	溝形フランジ継手チェックシート (メタルタッチの場合)
RF-GF 接合 (ガスケット 2 号使用)	溝形フランジ継手チェックシート (メタルタッチでない場合)
RF-RF 接合	大平面座形フランジ継手チェックシート

4. 接合状況の写真管理について

- ① 水道管の接合状況写真は、布設完了後以下の要領で撮影すること。

撮影方法	撮影頻度	近景撮影項目	遠景撮影項目
【重要接合部】	接合部ごと ※特押部含む	接合部の状態とマーキングが確認できること。	測点又は管番号が確認できること。
HPPE 接合部 EF 接合	接合箇所ごと	管番号又は測点、冷却時間、インジケータの隆起が確認できること。	—
HPPE 接合部 メカニカル接合	接合箇所ごと	接合部の状態とマーキングが確認できること。	—
上記以外	1 日 1 箇所以上（接合完了後全景を撮影）		

※第2章 6.写真管理基準も参照のこと

【重要接合部】ではボルト全箇所について締付完了後マーキングを塗布し、近景ではマーキングを確認できる写真を、遠景では測点または管番号が確認できる写真を撮影する（別紙参照）。

- ② 撮影した写真は出来高管理資料として整理し提出すること。
- ③ 受注者は監督員より工事期間中に接合状況写真の提出を求められた場合、速やかに提出すること。
- ④ 提出写真においてマーキングの状態や測点または管番号が確認できない時は、発注者と受注者との協議により該当箇所を再度掘削して確認する場合もある。

5. 監督員立会いについて

- ① 監督員による現場立会は 1 週間に 1 回以上、及び連絡工 1 箇所ごとに 1 回以上行う事とし、立会日時は監督員と受注者との協議または監督員の抜き打ちとする。
- ② 現場立会には監督員または監督員が定める代行者が臨場し、重要接合部については締付完了時のトルク値確認及び締付完了箇所のマーキング確認を行い、検収結果を写真に収める。
- ③ 監督員または監督員が定める代行者が立ち会った箇所を含む継手チェックシート

は、記載内容を確認後、「現場立会」欄に立ち会った職員が記名する。

- ④ 受注者は、交通量が多い道路や交差点部など埋戻し完了後の再確認が困難な箇所の施工時には監督員の立会を求めること。

6. 通水作業について

- ① 通水作業は、その作業当日までに通水該当路線の全てのチェックシートまたはチェックシートの写しを揃え、監督員とGLまたは別の監督員が承認してから実施する（接合方法を問わず）。
- ② 小規模な連絡工事または給水管工事において管布設作業と通水作業を同日に実施する場合、監督員または監督員が定める代行者が臨場し接合を確認した後、通水作業を実施する。

(別紙)

【重要接合部】における写真撮影の例
(近景)



接合箇所毎に、締付が完了した全てのボルトについて鑄鉄管及び特殊押輪の躯体色と明確に区別できる色で本体部分とボルトの両方を通過するように記し、その状況が確認できるように撮影する。

(遠景)



接合箇所毎に、測点または管番号が確認できるように撮影する。

ボルト接合部チェックシート

【重要接合部】に該当するチェックシート

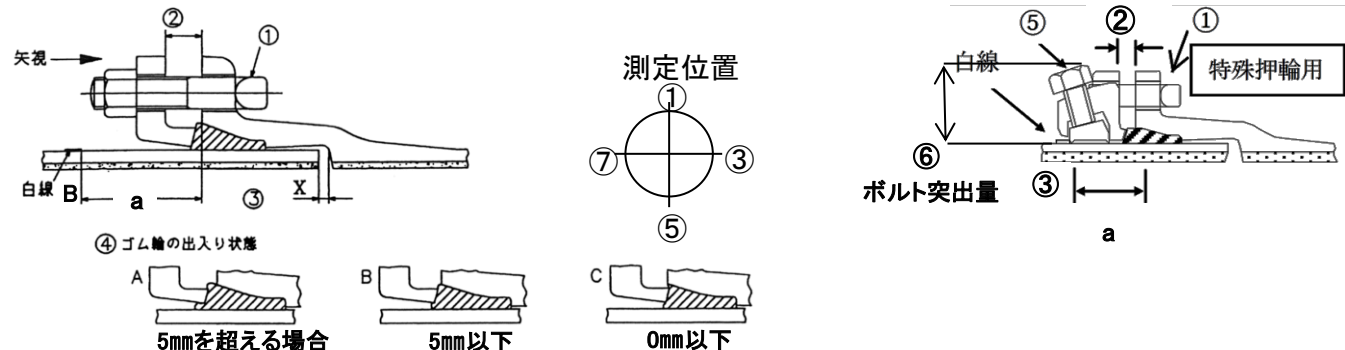
K形継手チェックシート

年 月 日

工事名	
図面No.・測点	
呼び径	

継手施工	現場確認

現場立会	局担当者



管 No.							
管の種類							
略 図							
継 手 No.							
清 掃							
滑 剤							
①ボルト	数						
	トルク (N・m)						
②押輪～ 受口端面間隔	①						
	③						
	⑤						
	⑦						
③受口端面～ 白線Bの間隔(a) または胴付間隔 (X)	①						
	③						
	⑤						
	⑦						
④ゴム輪の 出入状態	①						
	③						
	⑤						
	⑦						
⑤押しボルト ※特押使用時	数						
	トルク (N・m)						
	⑥						
判 定							

判定基準

②押輪－受口端面の間隔 : 最大値－最小値 $\leq$ 5mm(同一円周上)

③受口端面－白線の間隔(a) : 呼び径 75～250A $\leq$ 95mm
呼び径300～700A $\leq$ 107mm
または胴付間隔(X) : 呼び径800～2600 X $\leq$ 表2の値(接合要領書参照)

④ゴム輪の出入状態 : 同一円周上にA,CまたはA,B,Cが同時に存在しないこと。

⑥ボルトの突出量 : 鋳鉄管外面から縦ボルト頭頂部までの寸法が均一であることを確認し、均一であれば「○」を記入する。

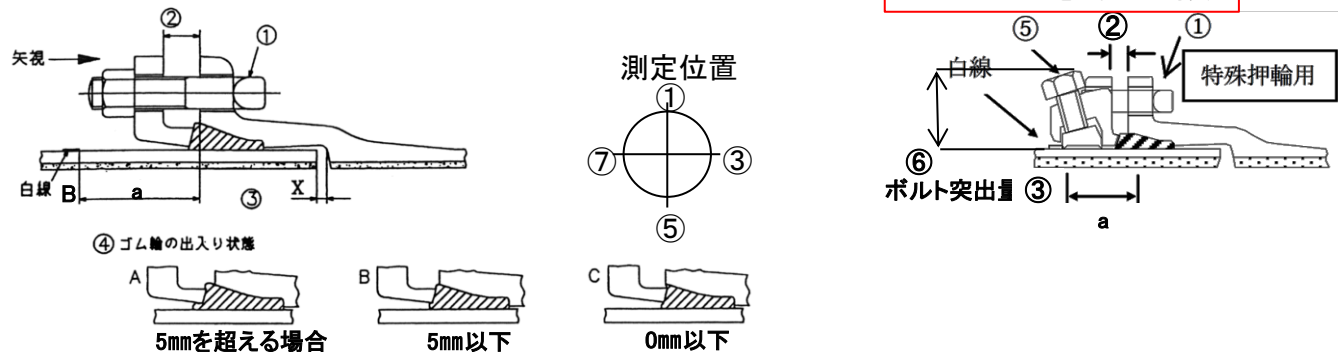
K形継手チェックシート

施工した配水管技能者

年 月 日

工事名		継手施工	現場確認	現場立会	局担当者
図面No.・測点		内容を確認した臨場作業員			
呼び径		現場立会した局員			

チェックシートを確認した局員



管 No.									
管の種類									
略 図									
継 手 No.									
清 掃									
滑 剤									
①ボルト	数								
	トルク (N・m)								
②押輪～受口端面間隔	①								
	③								
	⑤								
	⑦								
③受口端面～白線Bの間隔(a)または胴付間隔(X)	①								
	③								
	⑤								
	⑦								
④ゴム輪の出入状態	①								
	③								
	⑤								
	⑦								
⑤押しボルト※特押使用時	数								
	トルク (N・m)								
	⑥								
判 定									

判定基準

②押輪－受口端面の間隔 : 最大値－最小値 ≤ 5mm (同一円周上)

③受口端面－白線の間隔(a) : 呼び径 75～250A ≤ 95mm
 呼び径 300～700A ≤ 107mm
 または胴付間隔(X) : 呼び径 800～2600 X ≤ 表2の値 (接合要領書参照)

④ゴム輪の出入状態 : 同一円周上にA, CまたはA, B, Cが同時に存在しないこと。

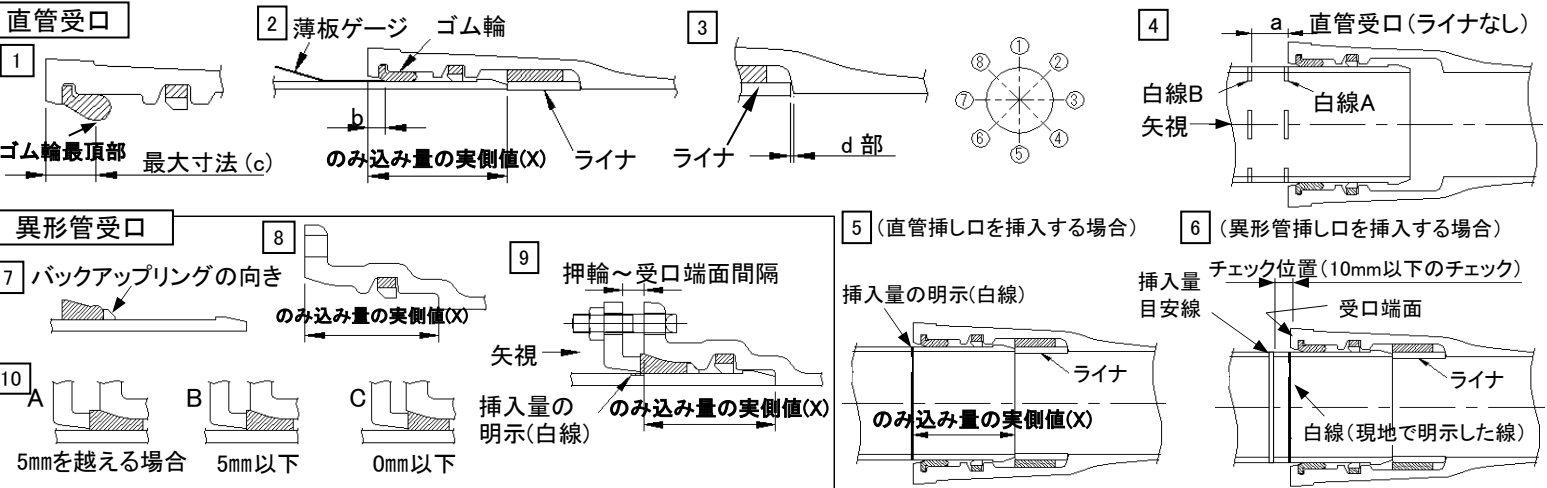
⑥ボルトの突出量 : 鋳鉄管外面から縦ボルト頭頂部までの寸法が均一であることを確認し、均一であれば「○」を記入する。

NS形継手チェックシート(φ 300～φ 450)

年 月 日

工事名	
図面No.・測点	
呼び径	

継手施工	現場確認	現場立会	局担当者



管 No.							
管の種類							
略図／ライナ							

継手 No.							
清掃							—
ロッキング・ロッキング心出し用ゴムの確認							—
ライナ位置の確認(d部)※1							3
挿し口の挿入量の明示(白線)							5 9
受口端面～ゴム輪最頂部の最大寸法(c)							1
滑 剤							—
明示した白線位置の確認※2							5 9
挿し口の抜け出しチェック (异形管受口)※3							—
挿入量目安線(赤線)と受口端面間 距離の確認(异形管挿し口)※4							6
マーキング(白線)の明示 (异形管挿し口)※5							6
薄板ゲージの 入り込み量(b) (ゴム輪の位置確認)	全周チェック						2
	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
	⑦						
受口端面～白線B 間隔(a)	①						4
	③						
	⑤						
	⑦						
バックアップリングの向き※6							7
ボルト・ナット	数						—
	トルク(N・m)						—
押輪～受口端面 間隔※7	①						9
	③						
	⑤						
	⑦						
ゴム輪の 出入り状態※8	①						10
	③						
	⑤						
	⑦						
判 定							—

判定基準 受口端面～ゴム輪間隔(b)＜受口端面～ゴム輪最頂部の最大寸法(c)

※1 ライナが受口奥部に当たっている事を、4.5mmの隙間ゲージを用いて確認する。

※2 接合直後に、明示した白線が全周にわたり受口端面の位置にあるか確認する。

※3 挿し口を异形管受口に挿入し、ストップを取り外した後、挿し口を上下左右前後に振って抜けないことを確認する。

※4 挿入量目安線(赤線)と受口端面間距離が全周にわたり10mm以下であるか確認する。

※5 挿し口外周へ受口端面位置の白線を表示したか確認する。

※6 バックアップリングの向き : テーパ部は挿し口端面側、切断部は受口内面切欠き部をさけた位置にあること。

※7 押輪～受口端面間隔 : 最大値－最小値≤5mm(同一円周上)。

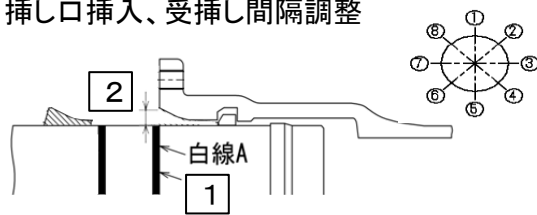
※8 ゴム輪の出入り状況 : 同一円周上にA、CまたはA、B、Cが同時に存在しないこと。

NS形直管チェックシート(φ500～φ1000)

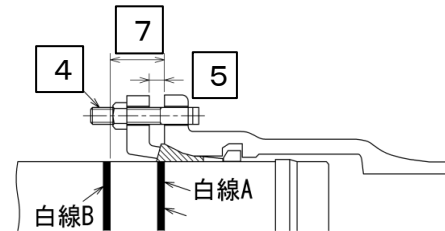
年 月 日

工事名		継手施工	現場確認	現場立会	局担当者
図面No.・測点					
呼び径					

挿し口挿入、受挿し間隔調整



ボルトナット取付

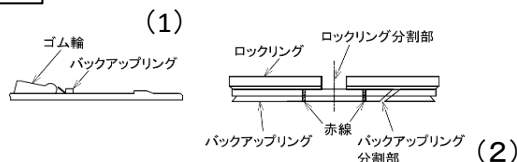


7 の最大-最小値の許容値

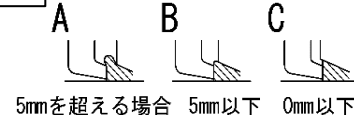
単位: mm

呼び径	X
500	31
600	31
700	32
800	32
900	32
1000	33

3 バックアップリングの向き、分割部の位置



6 ゴム輪の出入り状態



5mmを超える場合 5mm以下 0mm以下

管 No.							
管の種類							
略 図							
継手No.							—
清 掃							—
挿入量の確認	①						1
	③						
	⑤						
	⑦						
受挿し隙間の調整							2
バックアップリングの向き、分割部の位置※1	(1)						3
	(2)						
滑 剤							—
押輪分割部の上下配置							—
ボルト・ナット	数						4
	トルク N・m						
押輪～受口間隔※2	①						5
	③						
	⑤						
	⑦						
ゴム輪の出入り状態※3	①						6
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
	⑦						
	⑧						
白線B～受口間隔※4	①						7
	③						
	⑤						
	⑦						
判 定							—

判定基準

※1 バックアップリングの向き、分割部の位置

- (1)バックアップリングの羽根部がゴム輪側にあること。
- (2)バックアップリング分割部とロックリング分割部が重ならないこと。

※2 押輪～受口間隔:最大値-最小値≤5mm(同一円周上)

※3 ゴム輪の出入り状態

- (1)同一円周上にA、CまたはA、B、Cが同時に存在しないこと。
- (2)ゴム輪の角部が押輪に乗り上げためくれ状態(右図)が存在しないこと。

※4 白線B～受口間隔:最大値-最小値≤X(X:上表参照)

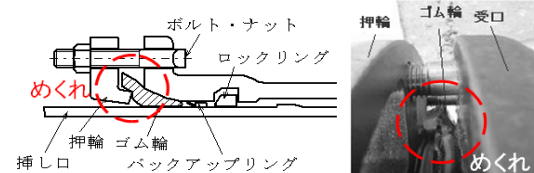
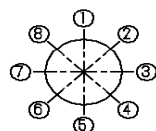
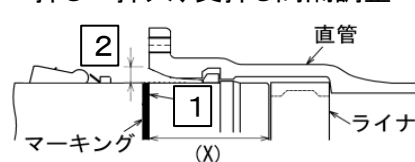


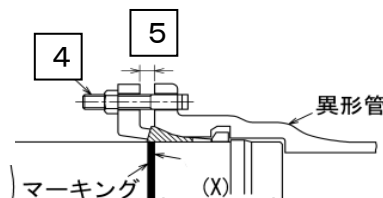
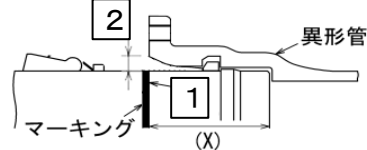
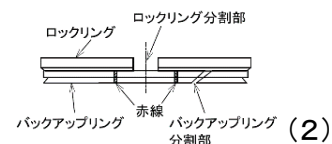
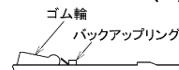
図 接合不良の例

工事名		継手施工	現場確認	現場立会	局担当者
図面No.・測点					
呼び径					

挿し口挿入、受挿し間隔調整



ボルトナット取付

3 バックアップリングの向き、分割部の位置
(1)

6 ゴム輪の出入り状態



5mmを超える場合 5mm以下 0mm以下

管 No.									
管の種類									
略 図									
継手No.									—
清 掃									—
挿し口の挿入量(X)の明示									1
挿入量の確認※1	①								1
	③								
	⑤								
	⑦								
抜け出しチェック									—
受挿し隙間の調整									2
バックアップリングの向き、 分割部の位置※2	(1)								3
	(2)								
滑 剤									—
押輪分割部の上下配置									—
ボルト・ナット	数								4
	トルク N・m								
押輪～受口間隔※3	①								5
	③								
	⑤								
	⑦								
ゴム輪の出入り状態※4	①								6
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
	⑦								
	⑧								
判 定	めくれ								—

判定基準

※1 挿入量確認: 現地で明示した白線上に受口端面があること。

※2 バックアップリングの向き、分割部の位置

(1) バックアップリングの羽根部がゴム輪側にあること。

(2) バックアップリング分割部とロックリング分割部が重ならないこと。

※3 押輪～受口間隔: 最大値－最小値≤5mm(同一円周上)

※4 ゴム輪の出入り状態

(1) 同一円周上にA、CまたはA、B、Cが同時に存在しないこと。

(2) ゴム輪の角部が押輪に乗り上げためくれ状態(右図)が存在しないこと。

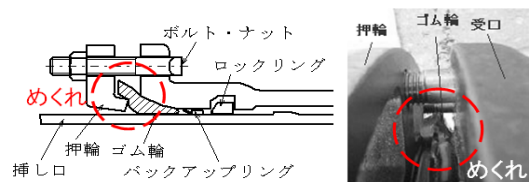


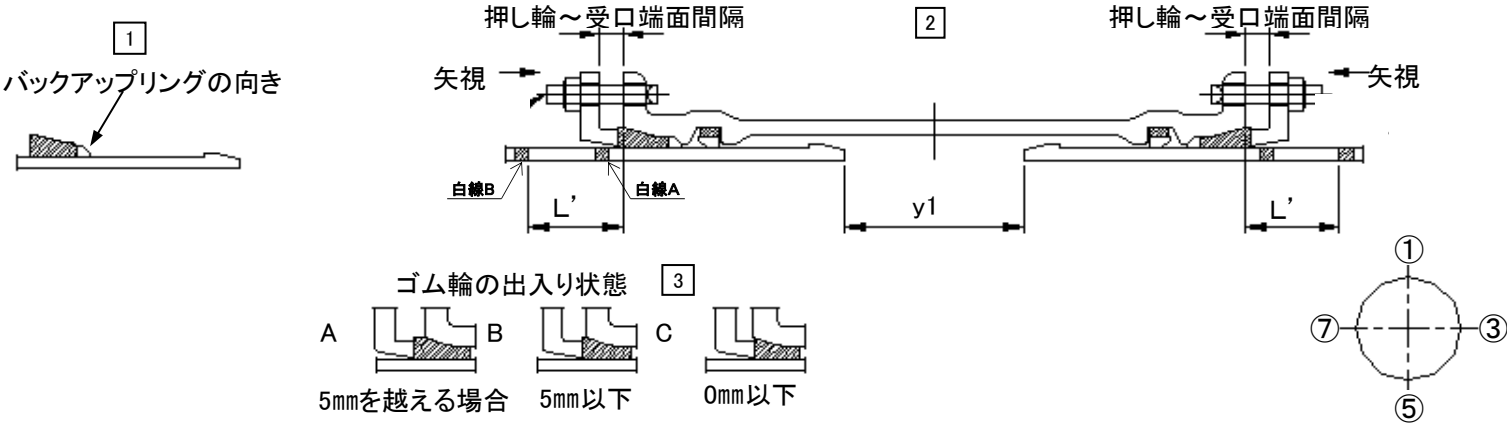
図 接合不良の例

NS形継ぎ輪チェックシート(φ75～φ450)

年 月 日

工事名	
図面No.・測点	
呼び径	

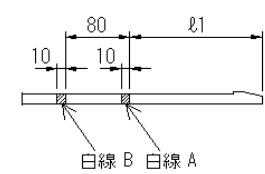
継手施工	現場確認	現場立会	局担当者



管 No			
管の種類			
略図			
継手No			
清掃			—
受口溝(ロックリング)の確認			—
バックアップリングの向き※1			1
両挿し口端の間隔(y1)※2	①		2
	③		
	⑤		
	⑦		
受口端面～白線Bの間隔(L')※3	①		2
	③		
	⑤		
	⑦		
滑 剤			—
ボルト・ナット	数		—
	トルク(N・m)		—
押輪～受口端面間隔※4	①		2
	③		
	⑤		
	⑦		
ゴム輪の出入り状況※5	①		3
	③		
	⑤		
	⑦		
押しボルト ※特殊押輪使用時	数		4
	トルク(N・m)		
	ボルト突出量		
判定			—

備考

1. 白線表示の位置



2. 両挿し口端の間隔 (y1)

呼び径	y1
75、100	220
150～250	250
300～450	300

単位mm

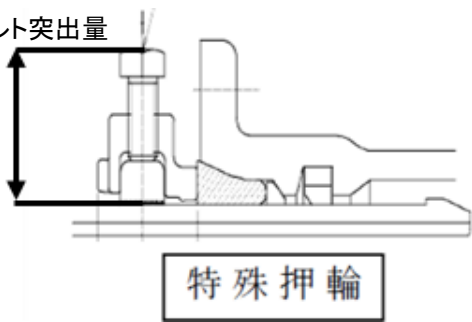
呼び径	l1
75	165
100	170
150	195
200	195
250	195
300	230
350	240
400	240
450	245

3. 挿し口白線Bと受口端面の間隔 (L')

単位mm

呼び径	75	100	150～250	300	350、400	450
L'	80	85	100	150	160	165

4 継ぎ輪用特殊押輪使用
ボルト突出量



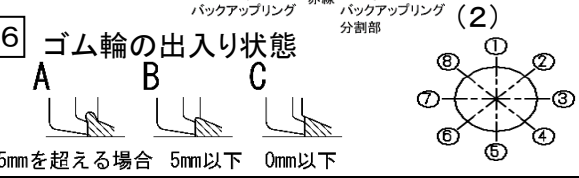
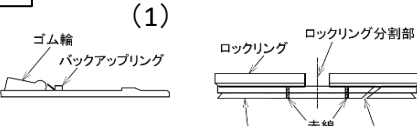
判定基準 ※1 バックアップリングの向き :テーパ部は挿し口端面側、切断部は受口内面切欠き部をさけた位置にあること。
※2 せめ配管する場合に記入すること。
※3 一方から順次配管する場合に記入すること。
※4 押輪～受口間隔 :最大値-最小値≤5mm(同一円周上)
※5 ゴム輪の出入り状況 :同一円周上にA、CまたはA、B、Cが同時に存在しないこと。

NS形継ぎ輪チェックシート(φ500～φ1000)

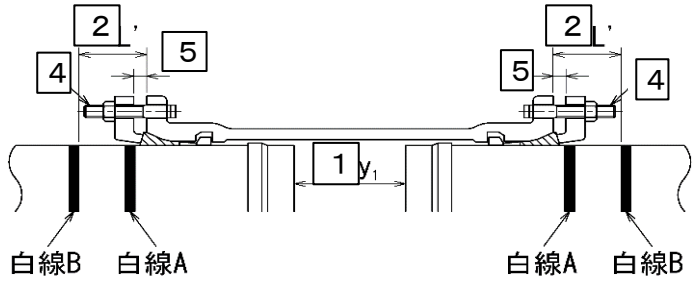
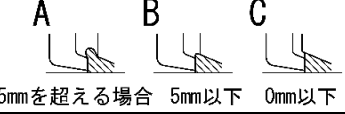
年 月 日

工事名		継手施工	現場確認	現場立会	局担当者
図面No.・測点					
呼び径					

3 バックアップリングの向き、分割部の位置



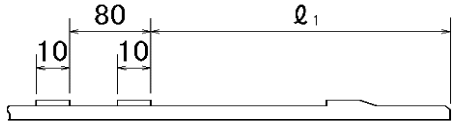
6 ゴム輪の出入り状態



管 No.			
管の種類			
略 図			
継手No.			
清 掃			—
両挿し口端の間隔 (y ₁)	①		1
	③		
	⑤		
	⑦		
受口端面～白線の間隔 (L')	①		2
	③		
	⑤		
	⑦		
受挿し隙間の調整			—
バックアップリングの向き、分割部の位置※1	(1)		3
	(2)		
滑 剤			—
押輪分割部の上下配置			—
ボルト・ナット	数		4
	トルク N・m		
押輪～受口間隔※2	①		5
	③		
	⑤		
	⑦		
ゴム輪の出入り状態※3	①		6
	②		
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
	⑦		
	⑧		
	めくれ		
判 定			—

備考

1. 白線表示の位置



呼び径	L ₁ (mm)
500	220
600	220
700	257
800	265
900	265
1000	268

2. 両挿し口端の間隔 (y₁) および L' 寸法 (y₁ の場合)

呼び径	y ₁ (mm)	L' (mm)
500	260	105
600	260	105
700	300	87
800	305	98
900	305	98
1000	310	103

判定基準

※1 バックアップリングの向き、分割部の位置

(1) バックアップリングの羽根根部がゴム輪側にあること。

(2) バックアップリング分割部とロックリング分割部が重ならないこと。

※2 押輪～受口間隔: 最大値～最小値 ≤ 5mm (同一円周上)

※3 ゴム輪の出入り状態

(1) 同一円周上に A、C または A、B、C が同時に存在しないこと。

(2) ゴム輪の角部が押輪に乗り上げためくれ状態 (右図) が存在しないこと。

注 両挿し口端の間隔 (y₁) は、一方から配管する場合には記入不要。
L' (受口端面～白線の間隔) は、せめ配管の場合には記入不要。

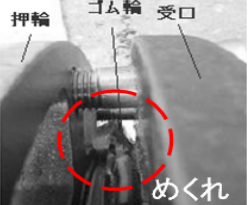
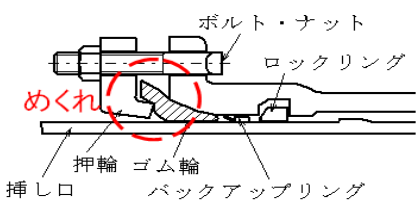


図 接合不良の例

GX形継手 チェックシート(直管・P-Link)

年 月 日

工事名

図面No.・測点

呼び径

継手施工

現場確認

現場立会

局担当者

1 直管

チェックゲージ

b

ゴム輪

b:チェックゲージの入り込み量

3 P-Link

締め付けトルク: 100N・m

チェックゲージ

b

ゴム輪 (直管用)

b寸法の合格範囲

呼び径	合格範囲 (mm)
75	54~63
100	57~66
150	57~66
200	63~72
250	63~72
300	70~80

2

矢視

白線

1

2

3

4

5

6

7

8

4

締め付けトルク: 100N・m

a

実測値(X)

白線

白線 (現地で明示した線)

5

(直管挿し口を挿入する場合)

ライナボード

ライナ

実測値(X)

d部

白線 (現地で明示した線)

6

(異形管挿し口、P-Linkを挿入する場合)

チェック位置 (10mm以下のチェック)

挿入量目安線 (赤線)

受口端面

ライナボード

ライナ

d部

白線 (現地で明示した線)

管 No.							
管の種類							
略図／ライナ							

継手 No.								—
挿し口突部の有無								—
清掃・異物の除去								—
ライナの位置確認(d部)※1								5 6
受口溝(ロックリング)の確認								—
挿し口の挿入量の明示								4 5
爪、押しボルトの確認(P-Link)								—
滑 剤								—
マーキング(白線)位置の確認※2								4 5
挿入量目安線(赤線)と受口端面間距離の確認(異形管挿し口)※3								6
マーキング(白線)の明示(異形管挿し口)※4								6
受口端面～ゴム輪 間隔(b)※5	全周チェック							1 3
	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
	⑦							
受口端面～白線 間隔(a) ^{注)}	①							2 4
	③							
	⑤							
	⑦							
押しボルト	本数							4
	トルク確認							
判定								—
備考								

判定基準

※1 ライナが受口奥部に当たっていることを確認する。
※2 接合直後にマーキング(白線)位置が全周にわたり受口端面の位置にあるか確認する。
※3 挿入量目安線(赤線)と受口端面間距離が全周にわたり10mm以下であるか確認する。
※4 挿し口外周へ受口端面位置の白線を表示したか確認する。
※5 受口端面～ゴム輪間隔(b)が表に示す合格範囲内であること。また、曲げ接合してチェックゲージがゴム輪位置まで挿入できない場合は、チェックできなかったことを記載する。
注) P-Linkの場合は受口端面からの直部長さ ④ a 寸法を記入する。

GX形継手 チェックシート(直管・P-Link)

年 月 日

施工した配水管技能者

工事名

図面No.・測点

呼び径

内容を確認した臨場作業員

現場立会した局員

継手施工

現場確認

現場立会

局担当者

1 直管

チェックゲージ

ゴム輪

b: チェックゲージの入り込み量

呼び径

合格範囲 (mm)

75

8~18

100

8~18

150

11~21

200

11~21

250

11~21

300

14~24

350

14~25

400

14~25

450

14~25

2

矢視

白線

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

3 P-Link 締め付けトルク: 100N・m

チェックゲージ

ゴム輪 (直管用)

b

呼び径

合格範囲 (mm)

75

54~63

100

57~66

150

57~66

200

63~72

250

63~72

300

70~80

4 締め付けトルク: 100N・m

実測値 (X)

白線

白線 (現地で明示した線)

5 (直管挿し口を挿入する場合)

ライナボード

ライナ

実測値 (X)

d部

白線 (現地で明示した線)

6 (異形管挿し口、P-Linkを挿入する場合)

チェック位置 (10mm以下のチェック)

挿入量目安線 (赤線)

受口端面

ライナボード

ライナ

d部

白線 (現地で明示した線)

管 No.

管の種類

略図/ライナ

継手 No.

挿し口突部の有無

清掃・異物の除去

ライナの位置確認(d部)※1

受口溝(ロッキング)の確認

挿し口の挿入量の明示

爪、押しボルトの確認(P-Link)

滑 剤

マーキング(白線)位置の確認※2

挿入量目安線(赤線)と受口端面間距離の確認(異形管挿し口)※3

マーキング(白線)の明示(異形管挿し口)※4

受口端面～ゴム輪間隔(b)※5

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

受口端面～白線間隔(a)注)

①

③

⑤

⑦

押しボルト

本数

トルク確認

判 定

備 考

挿し口突部の「有」・「無」の区別を記入する。※挿し口突部が「無」の場合には、P-Linkもしくは挿し口リングを使用する。

接合要領書に従って、管を清掃したら「OK」を記入する。

ライナが受口奥部に当たっていたら「OK」を記入する。

接合要領書に従って、受口溝、ロッキングおよびロッキングホルダを確認したら「OK」を記入する。(直管受口の場合)

のみ込み量の実測値(X)を白線で明示したら「OK」を記入する。(P-Link・ライナ付直管受口の場合)

接合要領書に従って、爪および押しボルトを確認したら「OK」を記入する。(P-Linkの場合)

接合要領書に従って、滑剤を塗布したら「OK」を記入する。

マーキング(白線)位置が全周にわたり受口端面の位置にあれば「OK」を記入する。

挿入量目安線(赤線)と受口端面間距離が全周にわたり10mm以下であれば「OK」を記入する。

挿し口外周に受口端面位置の白線を明示したら「OK」を記入する。

全周にわたってb寸法が合格範囲に入っていれば「OK」を記入する。

1・3 のように、受口端面からゴム輪までの間隔(b) (mm)を記入する。

2 のように、受口端面から白線Bまでの間隔(a) (mm)を記入する。
または
4 のように、受口端面からP-Link直部受口端までの間隔(a) (mm)を記入する。

締め付けた押しボルトの本数(本)を記入する。(P-Linkの場合)

押しボルトを規定のトルク(100N・m)で締め付ければ「OK」を記入する。(P-Linkの場合)

全てのチェック項目を満足していれば「OK」を記入する。

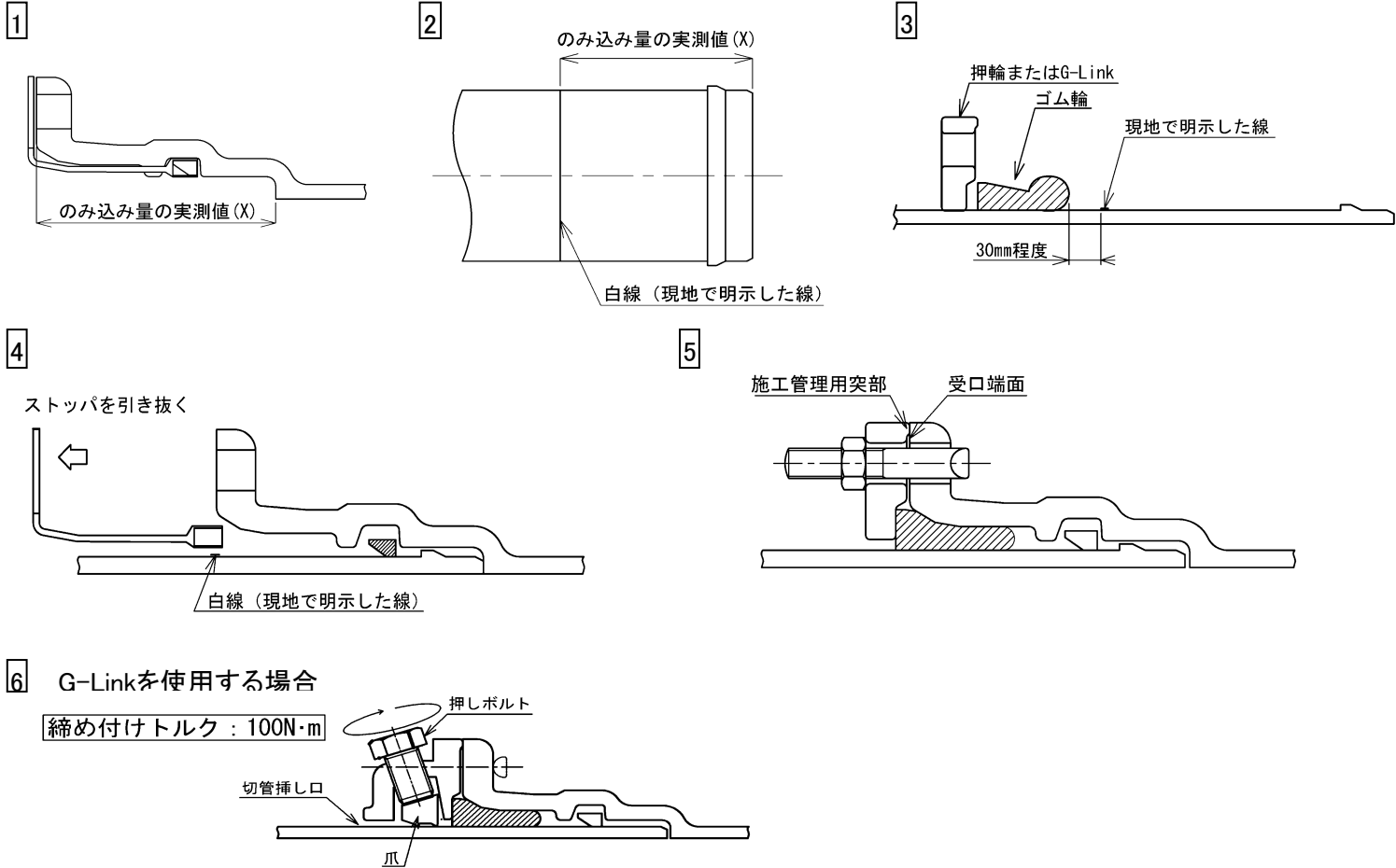
判定基準 : ※1 ライナが受口奥部に当たっていることを確認する。
※2 接合直後にマーキング(白線)位置が全周にわたり受口端面の位置にあるか確認する。
※3 挿入量目安線(赤線)と受口端面間距離が全周にわたり10mm以下であるか確認する。
※4 挿し口外周へ受口端面位置の白線を表示したか確認する。
※5 受口端面～ゴム輪間隔(b)が表に示す合格範囲内であること。また、曲げ接合してチェックゲージがゴム輪位置まで挿入できない場合は、チェックできなかったことを記載する。
注) P-Linkの場合は受口端面からの直部長さ④ a 寸法を記入する。

GX形継手 チェックシート(異形管・G-Link)

年 月 日

工事名	
図面No.・測点	
呼び径	

継手施工	現場確認	現場立会	局担当者



管 No.								
管の種類								
略図								
継手 No.								—
挿し口突部の有無 ^{注)}								—
清掃・異物の除去								—
ロックリング、ストップの確認								—
挿し口の挿入量の明示								12
爪、押ボルトの確認(G-Link)								—
ゴム輪、押輪またはG-Linkの確認								3
滑 剤								—
ストップの引き抜き								4
抜け出しチェック(挿し口突部有り)※2								—
T頭ボルト	本数							5
受口端面～ 施工管理用突部 の隙間 ※1	箇所数							5
	隙間ゲージ 確認							
押しボルト	本数							6
	トルク確認							
判 定								—
備 考								

判定基準 ※1 受口端面と押輪またはG-Linkの施工管理用突部との間に0.5mm以上の隙間がないこと。
※2 挿し口を異形管受口に挿入し、ストップを取り外した後、挿し口を上下左右前後に振って抜けないことを確認する。
注)挿し口突部のない挿し口を異形管受口と接合する場合は、G-Linkを使用すること。

GX形継手 チェックシート(異形管・G-Link)

施工した配水管技能者

年 月 日

工事名		継手施工	現場確認	現場立会	局担当者
図面No.・測点		内容を確認した臨場作業員			
呼び径		現場立会した局員			

チェックシートを確認した局員

1

2

3

4

5

6

G-linkを使用する場合

締め付けトルク：100N・m

管 No.									
管の種類									
略図									
継手 No.									—
挿し口突部の有無 ^{注)}									—
清掃・異物の除去									—
ロックリング、ストッパの確認									—
挿し口の挿入量の明示									1 2
爪、押ボルトの確認(G-Link)									—
ゴム輪、押輪またはG-Linkの確認									3
滑 剤									—
ストッパの引き抜き									4
抜け出しチェック(挿し口突部有り)※2									—
T頭ボルト	本数								5
受口端面～ 施工管理用突部 の隙間 ※1	箇所数								5
	隙間ゲージ 確認								
押しボルト	本数								6
	トルク確認								
判 定									—
備 考									

判定基準

※1 受口端面と押輪またはG-Linkの施工管理用突部との間に0.5mm以上の隙間がないこと。

※2 挿し口を異形管受口に挿入し、ストッパを取り外した後、挿し口を上下左右前後に振って抜けないことを確認する。

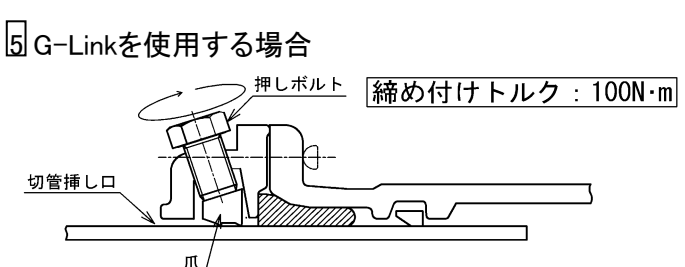
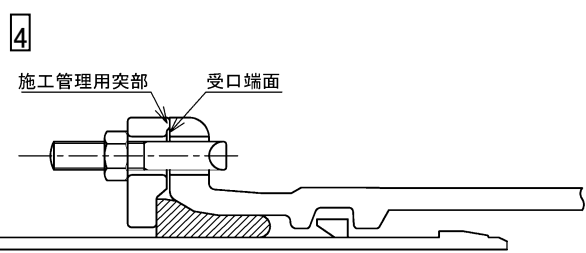
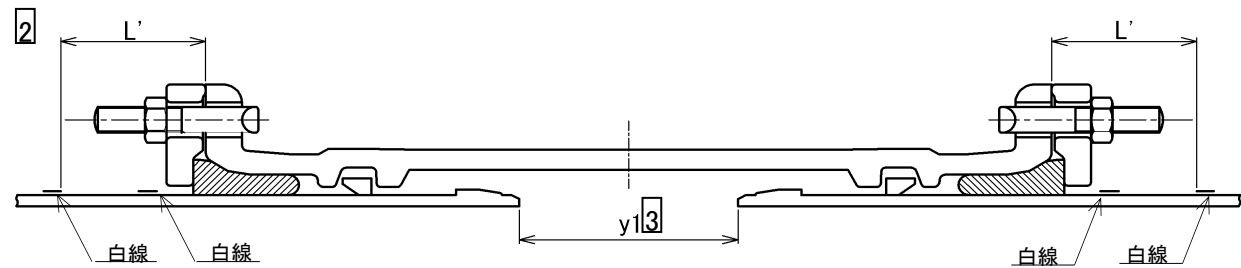
注)挿し口突部のない挿し口を異形管受口と接合する場合は、G-Linkを使用すること。

GX形継手 継ぎ輪チェックシート

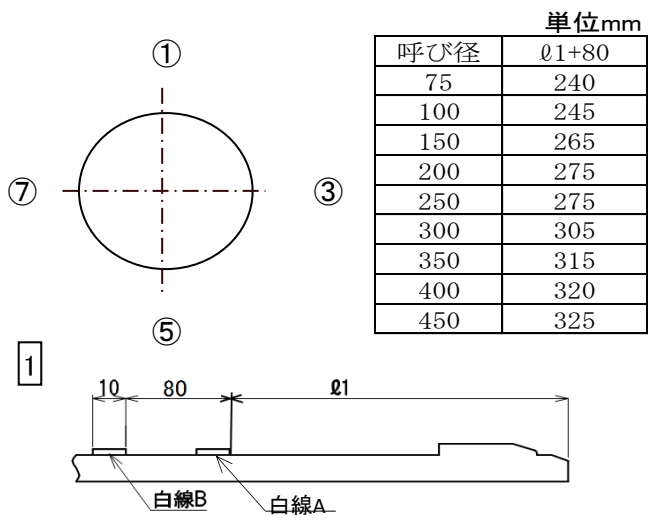
年 月 日

工事名	
図面No.・測点	
呼び径	

継手施工	現場確認	現場立会	局担当者



管 No.			
管の種類			
略図			
継手 No.			—
挿し口突部の有無 ^{注1)}			—
清掃・異物の除去			—
白線A,Bの明示			1
爪、押ボルトの確認(G-Link)			—
ゴム輪、押輪またはG-Linkの確認			—
滑 剤			—
ロックリング、ストッパの確認			—
ストッパの引き抜き			—
受口端面～ 白線の間隔 (L') ^{注2)}	①		2
	③		
	⑤		
	⑦		
両挿し口端の 間隔 (y1) ^{注2)}	①		3
	③		
	⑤		
	⑦		
T頭ボルト	本数		4
受口端面～ 施工管理用突部 の隙間 ※	箇所数		4
	隙間ゲージ 確認		
押しボルト	本数		5
	トルク確認		
判 定			



(i) 一方から順次配管していく場合

呼び径	L'
75	90
100	95
150	110
200	120
250	120
300	135
350	145
400	150
450	155

(ii) せめ配管の場合

呼び径	Y
75	190
100	200
150	240
200	250
250	250
300	300
350	300
400	300
450	300

判定基準 ※ 受口端面と押輪またはG-Linkの施工管理突部との間に0.5mm以上の隙間がないこと。
注1) 挿し口突部の無い挿し口を異形管受口と接合する場合は、G-Linkを使用すること。
注2) 一方から順次配管していく場合にはL'寸法、せめ配管の場合はy1寸法を記入すること。

GX形継手 継ぎ輪チェックシート

施工した配水管技能者

年 月 日

工事名		継手施工	現場確認	現場立会	局担当者
図面No.・測点		内容を確認した臨場作業員			
呼び径		現場立会した局員			

チェックシートを確認した局員

2

4

5

G-Linkを使用する場合

締め付けトルク：100N・m

管 No.			
管の種類			
略図			

継手 No.

—

挿し口突部の有無^{注1)}

挿し口突部の「有」「無」の区別を記入する。※挿し口突部が「無」の場合には、G-Linkもしくは挿し口リングを使用する。

清掃・異物の除去

接合要領書に従って、管を清掃したら「OK」を記入する。

白線A,Bの明示

白線A,Bを明示したら「OK」を記入する。(切管挿し口に接合する場合)

爪、押ボルトの確認(G-Link)

接合要領書に従って、爪および押しボルトを確認したら「OK」を記入する。(G-Linkの場合)

ゴム輪、押輪またはG-Linkの確認

接合要領書に従って、ゴム輪、押輪またはG-Linkを確認したら「OK」を記入する。

滑 剤

接合要領書に従って、滑剤を塗布したら「OK」を記入する。

ロックリング、ストッパの確認

接合要領書に従って、ロックリングおよびストッパを確認したら「OK」を記入する。

ストッパの引き抜き

ストッパを引き抜いたら「OK」を記入する。

受口端面～白線の間隔 (L')^{注2)}

①

③

⑤

⑦

挿し口白線Bと受口端面の間隔(L') (mm)を記入する。(順次配管の場合)

両挿し口端の間隔 (y1)^{注2)}

①

③

⑤

⑦

両挿し口の間隔(y1) (mm)を記入する。(せめ配管の場合)

T頭ボルト

本数

締め付けたT頭ボルトの本数(本)を記入する。

受口端面～施工管理用突部の隙間 ※

箇所数

隙間ゲージ確認

押輪の施工管理用突部と受口端面の隙間を隙間ゲージで確認した箇所数(箇所)を記入する。

接合要領書に従って、隙間のないことを隙間ゲージで確認したら「OK」を記入する。

押しボルト

本数

締め付けた押しボルトの本数(本)を記入する。(G-Linkの場合)

トルク確認

押しボルトを規定のトルク(100N・m)で締め付ければ「OK」を記入する。(G-Linkの場合)

判 定

全てのチェック項目を満足していれば「OK」を記入する。

備 考

単位mm

呼び径	Ø1+80
75	240
100	245
150	265
200	275
300	305
350	315
400	320
450	325

(i) 一方から順次配管していく場合

単位mm

呼び径	L'
75	90
100	95
150	110
200	120
250	120
300	135
350	145
400	150
450	155

(ii) せめ配管の場合

単位mm

呼び径	Y
75	190
100	200
150	240
200	250
250	250
300	300
400	300
450	300

判定基準 ※ 受口端面と押輪またはG-Linkの施工管理突部との間に0.5mm以上の隙間がないこと。
注1) 挿し口突部の無い挿し口を異形管受口と接合する場合は、G-Linkを使用すること。
注2) 一方から順次配管していく場合にはL'寸法、せめ配管の場合はy1寸法を記入すること。

その他のチェックシート

【重要接合部】に含まれない継手形式

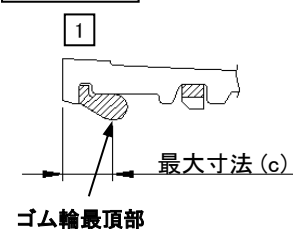
NS形継手チェックシート(φ75～φ250)

年 月 日

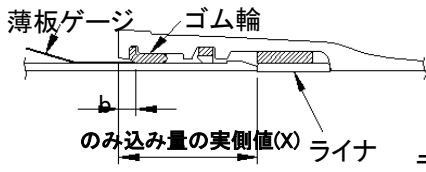
工事名	
図面No.・測点	
呼び径	

継手施工	現場確認	現場立会	局担当者

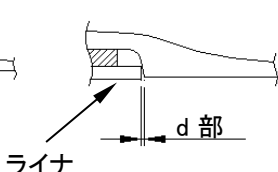
直管受口



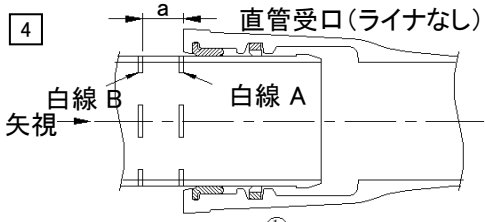
2



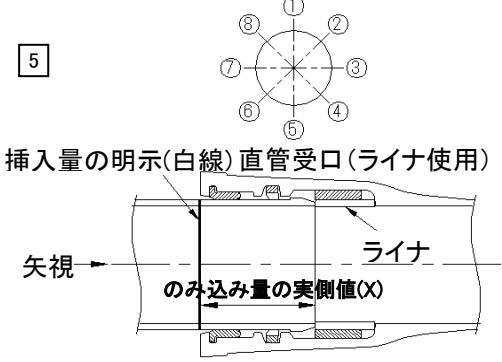
3



4

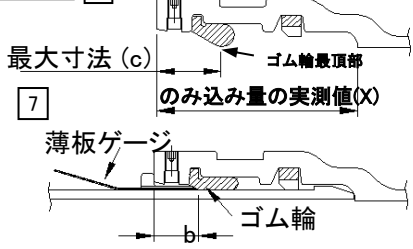


5

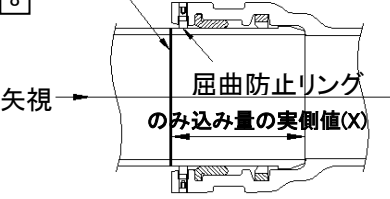


異形管受口

6



8



管 No.							
管の種類							
略図／ライナ							
継手 No.							
清掃							—
ロッキング・ロッキング心出し用ゴムの確認							—
ライナ位置の確認(d部) ^{※1}							3
挿し口の挿入量の明示(白線)							5 8
受口端面～ゴム輪最頂部の最大寸法(c)							1 6
滑 剤							—
明示した白線位置の確認 ^{※2}							5 8
薄板ゲージの 入り込み量(b) (ゴム輪の位置確認)	全周チェック						2 7
	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
	⑦						
受口端面～白線B 間隔(a)	①						4
	③						
	⑤						
	⑦						
屈曲防止リングの確認 ^{※3}							8
判 定							—

判定基準 受口端面～ゴム輪間隔(b)＜受口端面～ゴム輪最頂部の最大寸法(c)
※1 ライナが受口奥部に当たっている事を、4.5mmの隙間ゲージを用いて確認する。
※2 接合直後に、明示した白線が全周にわたり受口端面の位置にあるか確認する。
※3 屈曲防止用突部(直管挿し口の場合は挿し口外面)と屈曲防止リングの間に薄板ゲージが入らないこと。

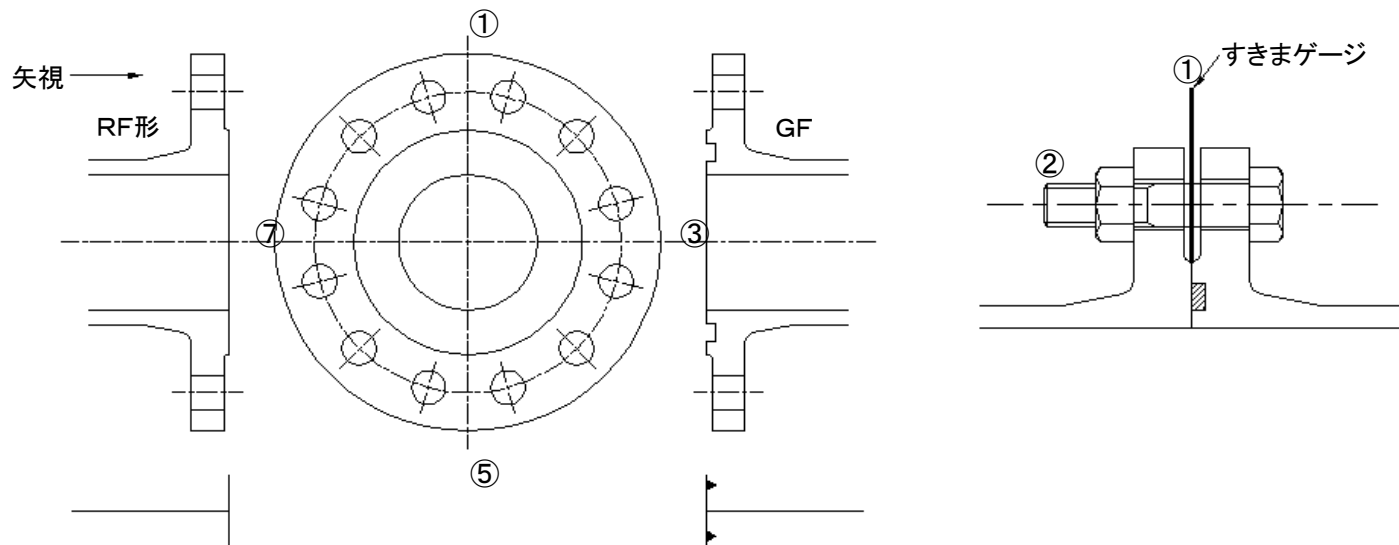
溝形フランジ継手チェックシート(メタルタッチの場合)

年 月 日

工事名	
図面No.・測点	
呼び径	

継手施工	現場確認	現場立会	局担当者

呼び圧力



管 No.							
管の種類							
略 図							
継 手 No.							
清 掃							
接着剤使用の有無							
①すきまゲージ (1mm厚)に よるチェック	①						
	③						
	⑤						
	⑦						
②ボルト	数						
	トルク (N・m)						
判 定							

判定基準 ①すきまゲージによるチェック : フランジ面間に1mm厚のすきまゲージが入らないこと。
②ボルトの締め付けトルク : 60N・m以上

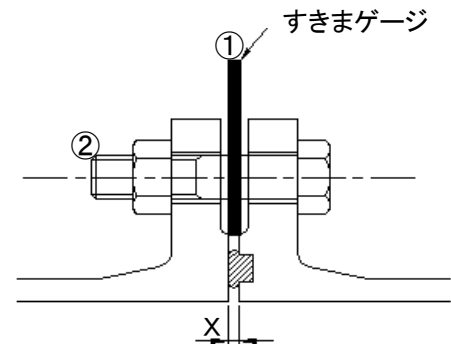
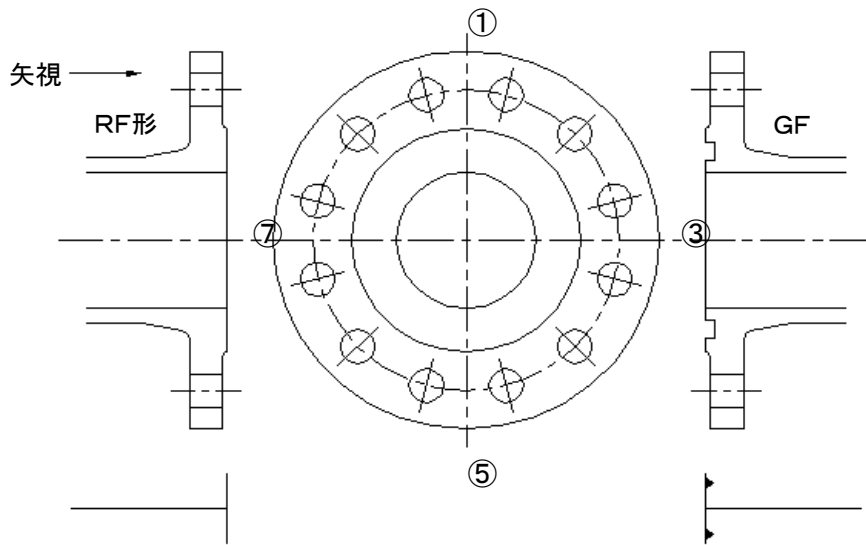
溝形フランジ継手チェックシート(メタルタッチでない場合)

年 月 日

工事名	
図面No.・測点	
呼び径	

継手施工	現場確認	現場立会	局担当者

呼び圧力



メタルタッチでない溝形フランジの標準間隔

呼び径	標準間隔	
	下限	上限
75～900	3.5	4.5
1000～1500	4.5	6.0
1600～2400	6.0	8.0
2600	7.5	9.5

注) 標準間隔は上図のX寸法をいう。

管 No.							
管の種類							
略 図							
継 手 No.							
清 掃							
接着剤使用の有無							
①すきまゲージ (上限用と下限用) によるチェック	①						
	③						
	⑤						
	⑦						
②ボルト	数						
	ゆるみ チェック						
判 定							

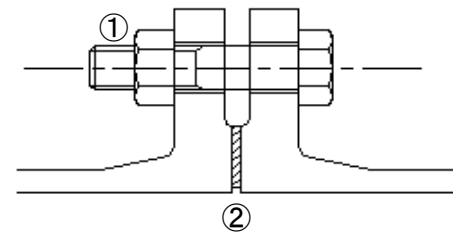
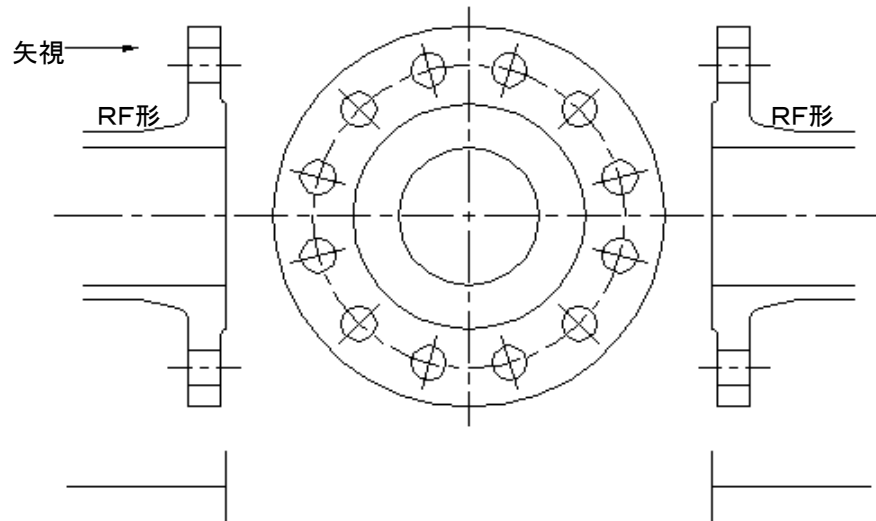
判定基準 ①すきまゲージによるチェック : 表にある上限のすきまゲージが挿入できないで、下限のすきまゲージが挿入できること。
②ボルトのゆるみチェック : 容易にゆるまないこと。

大平面座形フランジ継手チェックシート

年 月 日

工事名	
図面No.・測点	
呼び径	

継手施工	現場確認	現場立会	局担当者



大平面座形フランジのボルト 標準締め付けトルク

呼び径	ボルトの呼び	標準締め付けトルク (N・m)
75～200	M 16	60
250・300	M 20	90
350・400	M 22	120
450～600	M 24	260

注) 呼び径700以上については、接合要領書巻末に参考値を掲載。

管 No.							
管の種類							
略 図							
継 手 No.							
清 掃							
接着剤使用の有無							
①ボルト	数						
	トルク (N・m)						
②ガスケットの位置							
判 定							

判定基準 ①ボルトの締め付けトルク : 表の標準締め付けトルクによる。
 ②ガスケットの位置 : フランジ面の平行にかたよりなく接合されていること、およびガスケットのずれがないこと。

EF 接合チェックシート

工事番号： 年度（ ）第 号 工事名：

呼び径： mm 施工場所：

発電機の機種名：

コントローラの機種名：

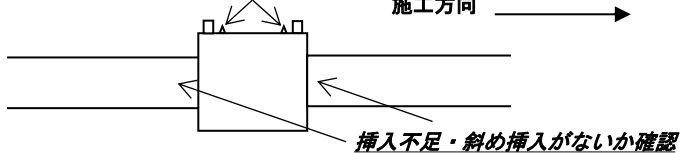
正常作動確認： ☐ 正常 (100V～110V) ☐ 異常

正常作動確認： ☐ 正常 (エラー表示なし) ☐ 異常

確認ポイント

インジケータ隆起確認

施工方向 →



継手No.

略図

天 候

接 合	管の点検・清掃										
	切削長さの マーキング※										
	融着面の切削※										
	融着面の清掃※										
	挿入標線の記入										
	管と継手の 挿入・固定										
検 査	正常終了の確認※	正・異	正・異	正・異	正・異	正・異	正・異	正・異	正・異	正・異	正・異
	通電終了時間※	：	：	：	：	：	：	：	：	：	：
	インジケータの確認※										
冷 却	冷却時間(分)※										
	固定の 解除時刻※	：	：	：	：	：	：	：	：	：	：
効 継 手	インコア取付										
	ボルト締付 完了時間	：	：	：	：	：	：	：	：	：	：
接合総合判定		合・否	合・否	合・否	合・否	合・否	合・否	合・否	合・否	合・否	合・否

備考：メカニカル接合時※印項目は記入不要

施工年月日

継手施工

現場確認

現場立会

局監督員

年 月 日

第 10 章

鈴鹿市水道用鉄蓋及び

同用レジンコンクリート製下柵

仕様書

2023（令和5）年7月
鈴 鹿 市 上 下 水 道 局

目 次

〔水道用鉄蓋〕	・・・・・・・・ 5
〔レジンコンクリート製下柵〕	・・・・・・・・ 11

仕 様 書

制定：平成 20 年 3 月 6 日

改定：令和 5 年 7 月 14 日

1.適用範囲

この仕様書は、鈴鹿市が仕切弁、消火栓等に設置する水道用鉄蓋（以下、「鉄蓋」という。）と同鉄蓋用レジンコンクリート製下柵（以下、「下柵」という。）について規定する。

2.引用規格

次に掲げる規格は、この仕様書に引用されることによって、この仕様書の規定の一部を構成する。

なお、これらの引用規格は、その最新版を適用する。

JWWA B 132 水道用円形鉄蓋

JWWA K 148 水道用レジンコンクリート製ボックス

JIS A 1181 レジンコンクリートの試験方法

JIS A 6201 コンクリート用フライアッシュ

JIS B 0205 一般用メートルねじ

JIS B 0209 一般用メートルねじー公差ー

JIS B 0403 鋳造品一寸法公差方式及び削り代方式

JIS B 0405 普通公差ー第 1 部：個々に公差の指定がない長さ寸法及び角度寸法に対する公差

JIS B 7502 マイクロメータ

JIS B 7503 ダイヤルゲージ

JIS B 7507 ノギス

JIS B 7512 鋼製巻尺

JIS G 3112 鉄筋コンクリート用棒鋼

JIS G 3532 鉄線

JIS G 5502 球状黒鉛鋳鉄品

JIS K 6919 繊維強化プラスチック用液状不飽和ポリエステル樹脂

JIS R 3411 ガラスチョップドストランドマット

JIS R 3412 ガラスロービング

JIS Z 2201 金属材料引張試験片

JIS Z 2241 金属材料引張試験方法

JIS Z 2243 ブリネル硬さ試験方法

JIS Z 8203 国際単位（SI）及びその使い方

JIS Z 8401 数値の丸め方

3.定 義

この仕様書で用いる主な用語の定義は、次による。

- a) 鉄 蓋 : 蓋と受枠との総称。
- b) 急勾配受け: 蓋と受枠との接触面を急勾配とし、嵌合させた際の蓋のがたつきを防止した構造。
- c) 蝶 番 : 蓋と受枠とを連結し、蓋を開閉するときに転回、旋回を中心として作用する金具。
- d) 閉 塞 蓋 : 雨水及び土砂の流入を少なくするため、蓋の開閉用穴を自動的に塞ぐ小蓋。
- e) 下 桷 : 地下式消火栓及びバルブ類等の室築造に用いる部材のうち上部鉄蓋を除く側壁、底版及び調整リングの総称。
- f) 接 合 材 : 下桷を組み立てた際、接合部のがたつきや点接触を防止して、下桷の強度及び耐久性を保持するため、下桷同士の接合面に断絶がないように盛付ける材料。エポキシ樹脂系やウレタン樹脂系のものがある。
- g) 旧仕様品 : この基準書に基づき 2019 年 6 月 30 日以前に製造された製品を指す。

〔水道用鉄蓋〕

4.種 類

鉄蓋は T-25 荷重仕様とし、その種類は表 1 のとおりとする。

表 1 鉄蓋の種類

種類	
仕切弁、泥吐弁、小型空気弁鉄蓋	円形 1 号 (250)
消火栓、空気弁、バタフライ弁鉄蓋	円形 3 号 (500)

※ () 内は内径寸法を示す。

5.構造、形状及び寸法

5-1 構造及び形状

鉄蓋の構造及び形状は、JWWA B 132 (水道用円形鉄蓋) に準拠したものとし、以下の構造を有するものとする。

- 蓋の表面には、視認性を向上させるためのカラー標示が出来る構造であること。
- 蓋は、別図－①上図に示すキャップを管理 No.として現場で着脱できる構造であり、且つ識別が容易であること(旧仕様品のみ)。
- 蓋と受枠との接触面は、機械加工して急勾配受けとし、蓋のがたつきを防止出来る構造であること。また、勾配は衝撃による蓋の飛び上がりを防止出来る角度とし、蓋の互換性を有すること。
- 蓋は、雨水及び土砂の流入を極力防止するため、開閉器具用穴を自動的に閉塞出来る閉塞蓋を取付けた構造であること。
- 蓋は、別図－②に示す専用開閉器具の使用により軽く開放できる構造であること。
- 蓋と受枠とは、蓋の逸脱防止のため蝶番にて連結出来る構造とする。1 号規格鉄蓋は 120° 垂直転回及び 360° 水平転回が、3 号規格鉄蓋は 180° 垂直転回及び 360° 水平転回が可能であり、操作時に蓋の逸脱がないものであること。
- 蝶番は、雨水及び土砂の流入が防止出来る様、蓋裏取付け構造とし、蓋と受枠との着脱が可能であること。
- 受枠のフランジは、下柵の上部壁と、ボルトにて緊結できる構造であること。
- 調整駒は、受枠施工時の道路勾配に対する微調整、アンカーボルトの締付け過ぎによる受枠の変形防止機能を有し、施工性、操作性が簡単な構造であること。
- 鉄蓋の施工は、調整部の耐久性を確保するため、高流動性、超早強性、無収縮を有する調整部材を用いて、別紙「施工基準書」に基づいて行うこと。

5-2.寸 法

寸法検査は別図－③a、③b に示す添付検査図面に基づいて行う。

寸法の公差は、特別に指示のない場合、鑄放し寸法については JIS B 0403（鑄造品一寸法公差方式及び削り代方式）の CT11（肉厚は CT12）を適用し、削り加工寸法については JIS B 0405（普通公差－第 1 部：個々に公差の指示がない長さ寸法及び角度寸法に対する公差）の m(中級)を適用する。

表 2 寸法許容差（単位:mm）

鑄 造 加 工（JIS B 0403）						
長 さ の 許 容 差						
寸法 の区分	10 以下	10 を超え 16 以下	16 を超え 25 以下	25 を超え 40 以下	40 を超え 63 以下	63 を超え 100 以下
CT11	±1.4	±1.5	±1.6	±1.8	±2.0	±2.2
寸法 の区分	100 を超え 160 以下	160 を超え 250 以下	250 を超え 400 以下	400 を超え 630 以下	630 を超え 1000 以下	1000 を超え 1600 以下
CT11	±2.5	±2.8	±3.1	±3.5	±4.0	±4.5
肉 厚 の 許 容 差						
寸法 の区分	10 以下	10 を超え 16 以下	16 を超え 25 以下	25 を超え 40 以下	40 を超え 63 以下	
CT12	±2.1	±2.2	±2.3	±2.5	±2.8	
削 り 加 工（JIS B 0405）						
寸法 の区分	0.5 以上 6 以下	6 を超え 30 以下	30 を超え 120 以下	120 を超え 400 以下	400 を超え 1000 以下	
m(中級)	±0.1	±0.2	±0.3	±0.5	±0.8	

6.材 料

鉄蓋の材料は、JIS G 5502 に規定する球状黒鉛鑄鉄品と同等以上のものとし、11-3-1～11-3-3 によって試験を行ったとき、表 3 の規定に適合しなければならない。

表 3 材 料

種類	記号	引張強さ (N/mm ²) {kgf/mm ² }	伸び (%)	硬さ (HBW)	黒鉛球 状化率 (%)
3 号規格鉄蓋	FCD 700	700{71}以上	5～12	235 以上	80 以上
1 号規格鉄蓋・受枠	FCD 600	600{61}以上	8～15	210 以上	

7.表 示

蓋の裏面には、製造業者の責任表示として次の事項を鋳出し、又は容易に消えない方法で表示しなければならない。

- a. 材料記号（FCD700 等）
- b. 製造年
- c. 製造業者名またはその略号

8.塗 料

鉄蓋の塗料は、乾燥が速やかで、密着性に富み、防食性及び耐候性に優れたものを用いる。

9.外 観

9-1 鉄蓋の外観

鉄蓋の内外面は滑らかで、こぶ、きず、錆ばり、巣などの有害な欠点があってはならない。
ただし、軽微なものについては、アーク溶接等による補修を行うことができる。

9-2 塗装後の外観

塗装後の外観は、塗に残し、あわ、ふくれ、はがれ、異物の付着、塗りだまり、著しい粘着などの使用上有害な欠点があってはならない。

9-3 鉄蓋表面のデザイン

鉄蓋表面のデザインは、別図－④を標準としカラー標示とすること。

10.性 能

10-1 荷重たわみ性

鉄蓋の荷重たわみ性は、11-4 項によって試験を行ったとき、表 4 の規定に適合しなければならない。

表 4 荷重たわみ

	たわみ(mm)	残留たわみ(mm)
1 号規格	0.8 以下	0.1 以下
3 号規格	1.8 以下	0.1 以下

10-2 耐荷重性

鉄蓋の耐荷重性は、11-5 項によって試験を行ったとき、鉄蓋に割れ及びひびがあってはならない。

10-3 開閉操作性

蓋の開閉操作性は、11-6 項によって試験を行ったとき、蓋の開閉、転回、旋回が容易に行われなければならない。また、操作時に蓋の逸脱があってはならない。

11.試験方法

11-1 外観及び形状

鉄蓋の外観及び形状は目視によって調べる。

11-2 寸 法

鉄蓋の寸法は、JIS B 7502 に規定するマイクロメータ、JIS B 7507 に規定するノギス、JIS B 7512 に規定する鋼性巻尺、またはこれらと同等以上の精度を有するものを用いて測定する。

11-3 材料試験

材料試験は、JIS G 5502 の 12.(試験)に規定された方法によって、供試材を 3 個(予備含む)鋳造し、そのうち 1 個の供試材を用いて次によって行う。なお、各試験片の採取位置は、別図一⑤のとおりとする。

11-3-1 引張試験

引張試験は、供試材から JIS Z 2201 の 4 号試験片を作製して、JIS Z 2241 によって試験を行い、引張強さと伸びを測定する。

11-3-2 硬さ試験

硬さ試験は、供試材から作製した試験片を用いて、JIS Z 2243 によって試験を行い、硬さを測定する。

11-3-3 黒鉛球状化率判定試験

黒鉛球状化率判定試験は、11-3-2 の試験を行った試験片を良く研磨し、JIS G 5502 の 12.6（黒鉛球状化率判定試験）によって行う。

11-4 荷重たわみ試験

鉄蓋の荷重たわみ試験は、別図－⑥-1、⑥-2の様に供試体をかたつかないように試験機定盤上に載せ、蓋の上面中心部に厚さ 6mm の良質のゴム板を敷き、その上に厚さ 50mm の鉄製載荷板を置き、JIS B 7503 に規定する目量 0.01mm のダイヤルゲージを、測定子が蓋上面中央に接する様にマグネットベースで固定、配置する。ダイヤルゲージの目盛りを 0 にした後、鉄製載荷板へ表 5 に示す試験荷重を一樣な速さで 5 分以内に加え、1 分間保持した後、この時のたわみを測定する。試験は、あらかじめ蓋と受枠を喰い込み状態にするため、試験荷重と同一の荷重を加え、荷重を取り除いた後に試験を行う。

また、残留たわみは、荷重を取り去った後のたわみを測定する。

なお、たわみの測定は、別図－⑥-1、⑥-2によるほか、蓋中心及び中心を通る直線の両端の 3 箇所にダイヤルゲージを配置し、その差によってもよい。

表 5 荷重たわみの試験荷重

種類	載荷板サイズ (mm)	試験荷重 (kN){tf}
1 号規格	φ170	55{5.6}
3 号規格	200×250	105{10.7}

11-5 耐荷重試験

鉄蓋の耐荷重試験は、11-4 と同様の方法により、表 6 に示す試験荷重を負荷した後、割れ及びひびの有無を目視によって調べる。

表 6 耐荷重性の試験荷重

種類	試験荷重 (kN){tf}
1 号規格	180{18.4}
3 号規格	350{35.7}

11-6 開閉操作性試験

蓋の開閉操作性試験は、塗装後において蓋と受枠とを嵌合させ、開閉器具を用いて蓋の開閉、転回、旋回の操作性、及び蓋の逸脱の有無について確認する。

11-7 試験結果の数値の表し方

試験結果の数値の表し方は、JIS Z 8401 によって丸める。

12.検査実施要領

12-1 新規採用検査

新たに指名を受けようとする製造業者の場合は、鉄蓋の種類ごとに当該仕様書の 5.～10.の規定に適合していることを 12-3 項によって確認する。

12-2 更新検査

更新検査は、原則として本市が検査日、検査場所をあらかじめ決定し、12-3 にて年 1 回行うものとする。

ただし、本市が不必要と認めた場合は、これを省略することがある。

また、既納入分といえども、その必要がある場合には臨時に検査を行うことがある。

12-3 検査要領

検査は、当該仕様書に基づき製作された製品から、本市検査員指示のもとに 3 組を準備し、そのうちの 1 組について行う。

検査は、本市検査員立会のもと、以下の項目について 11.によって行い、5～10.の規定に適合しなければならない。

- a. 構造、形状及び寸法検査
- b. 材料検査（引張、伸び、硬さ、黒鉛球状化率）
- c. 表示検査
- d. 外観検査
- e. 性能検査（荷重たわみ性、耐荷重性、開閉操作性）

なお、検査に供する製品及び検査費用については、製造業者の負担とする。

12-4 再検査

12-3 項の検査のいずれかの項目において、規格値を満足しない場合は、その項目について再検査を行う。

再検査に用いる供試材は、材料検査については、11-3 項において予備に鋳造した残り 2 個を、製品については、12-3 項において準備した残り 2 組を用いる。

なお、再検査は、残り 2 個又は 2 組ともに規格値を満足した場合のみ合格とする。

〔レジンコンクリート製下柵〕

13.種 類

レジンコンクリート製下柵は T-25 荷重仕様とし、その種類は表 1 のとおりとする。

表 1 レジンコンクリート製下柵の種類

種類	
仕切弁、泥吐弁、小型空気弁鉄蓋用	円形 1 号 (250) 用
消火栓、空気弁、バタフライ弁鉄蓋用	円形 3 号 (500) 用

※ () 内は内径寸法を示す。

14.構造、形状及び寸法

13-1 構造及び形状

下柵の構造及び形状は、JWWA K 148 (水道用レジンコンクリート製ボックス) に準拠したものとし、以下の構造を有するものとする。

- 下柵は、内周面へのガラス繊維補強や、内部へ鉄筋を配した補強により、部材強度の向上と破損時の部材の散在を防止した構造であること。
- 下柵の上部壁フランジには、鉄蓋の受枠とボルトにて緊結できるようインサートナットを埋め込んだ構造であること。
- 下柵の組み立ては、下柵の強度及び耐久性を保持するため、下柵同士の接合面に断絶がないように接合材を用いて、別紙「施工基準書」に基づいて行うこと。

13-2 寸 法

下柵及び調整リングの主要寸法は、別図一⑦に示す添付検査図面による。

寸法の許容差は、特別に指示のない場合、表 2 のとおりとする。

表 2 寸法許容差

種類	区 分	許容差 (mm)				
		調整リング	上部壁	中部壁	下部壁	底版
1 号規格用	内径	± 3	± 3	± 3	± 3	± 3
	外径	± 3	± 3	—	(± 3)	± 4
	インサートナットPCD	—	± 3	—	(± 3)	—
	高さ	± 5	± 5	± 5	± 5	± 3
	肉厚	± 3	± 3	± 3	± 3	± 3
3 号規格用	内径	± 3	± 3	± 3	± 3	± 3
	外径	± 4	± 4	—	—	± 4
	インサートナットPCD	—	± 4	—	—	—
	高さ	± 5	± 5	± 5	± 5	± 3
	肉厚	± 3	± 3	± 3	± 3	± 3

15.材料

下柵の製造に使用する原材料は以下のとおりとし、レジンコンクリートは 18-3-1～18-3-3 によって試験を行ったとき、表 3 の規格に適合しなければならない。

- a. 合成樹脂：合成樹脂は、JIS K 6919 の規格に適合したもの、または品質がこれらと同等以上のものでなければならない。
- b. 硬化材及び硬化促進剤：樹脂の硬化剤及び硬化促進剤は、良質の材料を用い、品質に悪影響を及ぼさないものでなければならない。
- c. 骨材：骨材は、清浄、強硬及び耐久的で適度な粒度を持ち、ごみ、泥、薄い石片、細長の石片等の有害物を含んではならない。
- d. 充てん（填）材：充てん材は、JIS A 6201 の規格に適合したコンクリート用フライアッシュ又は炭酸カルシウム、若しくはこれに準ずるもので、品質がこれらと同等以上のものでなければならない。
- e. 補強材：ガラス繊維は、JIS R 3411 又は JIS R 3412 の規格に適合したものでなくてはならない。鉄筋は、JIS G 3112 または JIS G 3532 に適合するもの、あるいは機械的性質がこれと同等以上のものでなくてはならない。

表 3 レジンコンクリートの品質

品 質	圧縮強度 (N/cm ²) {kgf/cm ² }	曲げ強度 (N/cm ²) {kgf/cm ² }	吸水率 (%)
規格値	9,000 {918}以上	3,500 {357}以上	±0.3 以内

15.表 示

下柵には、製造業者の責任表示として次の事項を容易に消えない方法で表示しなければならない。

- a. 種類及び高さ、又はその略号
- b. 製造年
- c. 製造業者名又はその略号

16.外 観

下柵の内外面にはきず、欠け等の使用上有害な欠点があってはならない。

なお、“きず、欠け”とは、性能に悪影響を与えるおそれのあるものをいう。

17.性 能

下柵の軸方向耐荷重性は、18-4 によって試験を行った時、割れ及びひびがあってはならない。

18.試験方法

18-1 外観及び形状

下柵等の外観及び形状は、目視によって調べる。

18-2 寸 法

下柵及び調整リングの寸法は、JIS B 7507 に規定するノギス、JIS B 7512 に規定する鋼製巻尺、またはこれらと同等以上の精度を有するものを用いて測定する。

18-3 材料試験

18-3-1 圧縮強度試験

圧縮強度試験は、JIS A1181 によって供試体を予備を含め 6 個作製し、そのうち 3 個を用いて JIS A 1181 に準じて行う。このとき供試体は、80℃で 4 時間乾燥させたものを使用する。試験結果は、供試体 3 個の平均値による。

なお、圧縮強度試験方法を別図－⑧に示す。

18-3-2 曲げ強度試験

曲げ強度試験は、JIS A 1181 に準じて、片面にガラス繊維を 900(g/m²)積層補強した幅 60mm、高さ 30mm、長さ 240mm の供試体を 6 個(予備含む)作製し、そのうち 3 個を用いて JIS A 1181 に準じて行う。このとき供試体は、80℃で 4 時間乾燥させたものを使用する。試験結果は、供試体 3 個の平均値による。

なお、曲げ強度試験方法を別図－⑧に示す。

18-3-3 吸水性試験

吸水性試験は、直径 75mm、高さ 150mm の円柱状の供試体を 6 個(予備含む)作製し、そのうち 3 個を用いて JIS K 6919 の 5.2.5(吸水率)、又は 5.2.6(煮沸吸水率)に準じて行う。このとき供試体は、80℃で 4 時間乾燥させたものを使用する。試験結果は、供試体 3 個の平均値による。

18-4 軸方向耐荷重試験

下柵の軸方向耐荷重試験は、試験機定盤上に載せて組み立てた下柵の上に鉄蓋を設置して、蓋の上面中心部に厚さ 6mm のゴム板を敷き、その上に 200×500mm の鉄製載荷板を置き、この箇所に表 3 に示す試験荷重を鉛直方向に一様な速さで加える。

なお、下柵組み立てにあたっては、接合面に断絶がないように接合材を盛付けて組み立てる。軸方向耐荷重試験方法を別図－⑨に示す。

表 3 軸方向耐荷重の試験荷重

1 号 試験荷重 (kN){tf}	3 号 試験荷重 (kN){tf}
105{10.7}	150{15.3}

18-5 試験結果の数値の表し方

試験結果の数値の表し方は、JIS Z 8401 によって丸める。

19.検査実施要領

19-1 新規採用検査

新たに指名を受けようとする製造業者の場合は、下柵の種類ごとに当該仕様書の 13.~17.の規定に適合していることを 19-3 によって確認する。

19-2 更新検査

更新検査は、原則として本市が検査日、検査場所をあらかじめ決定し、19-3 にて年 1 回行うものとする。

ただし、本市が不必要と認めた場合は、これを省略することがある。

また、既納入分といえども、その必要がある場合には臨時に検査を行うことがある。

19-3 検査要領

検査は、当該仕様書に基づき製作されたものの中から供試体を準備して行う。

材料検査に用いる供試体は項目毎に 6 個を準備し、そのうちの 3 個について行う。

検査に用いる下柵は 3 組を準備し、そのうちの 1 組について行う。

検査は、当局検査員立会のもと、以下の項目について 18.によって行い、13.~17.の規定に適合しなければならない。

- a. 構造、形状及び寸法検査
- b. 材料検査（圧縮、曲げ、吸水率）
- c. 表示検査
- d. 外観検査
- e. 性能検査（軸方向耐荷重性）

なお、検査に供する製品及び検査費用については、製造業者の負担とする。

19-4 再検査

19-3 の検査のいずれかの項目において、規格値を満足しない場合は、その項目について再検査を行う。

再検査に用いる供試体は、材料検査については、18-3 において予備に製作した残りの 3 個を、下柵については、19-3 において準備した残り 2 組を用いる。

なお、再検査は、3 個又は残り 2 組ともに規格値を満足した場合のみ合格とする。

20.一般事項

20-1 単位の表記

本仕様書の中で { } を付して示してある単位及び数値は、従来単位によるものであり、参考として併記したものである。

20-2 仕様書の発効

本仕様書の発効は、平成 20 年 3 月 6 日とする。

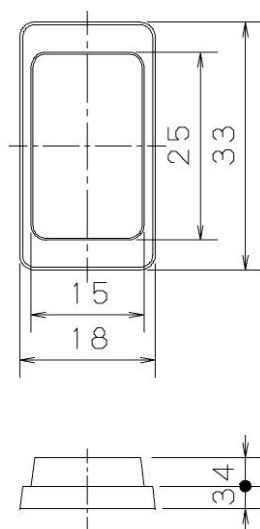
21.疑 義

以上の事項に該当しない疑義については、協議の上決定するものとする。

別図一① ※旧仕様品のみ適用

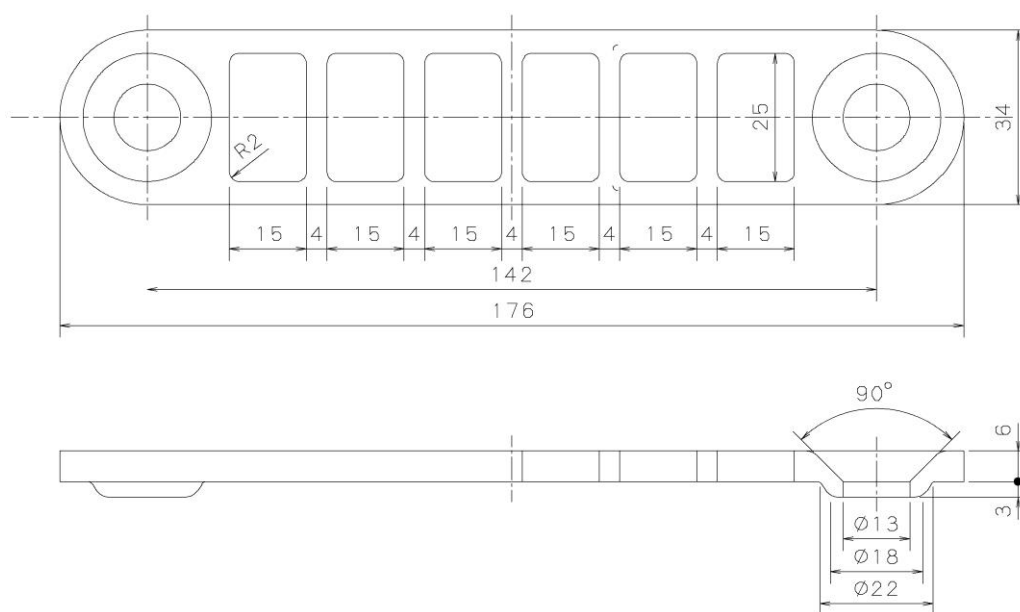
キャップ

キャップ詳細図



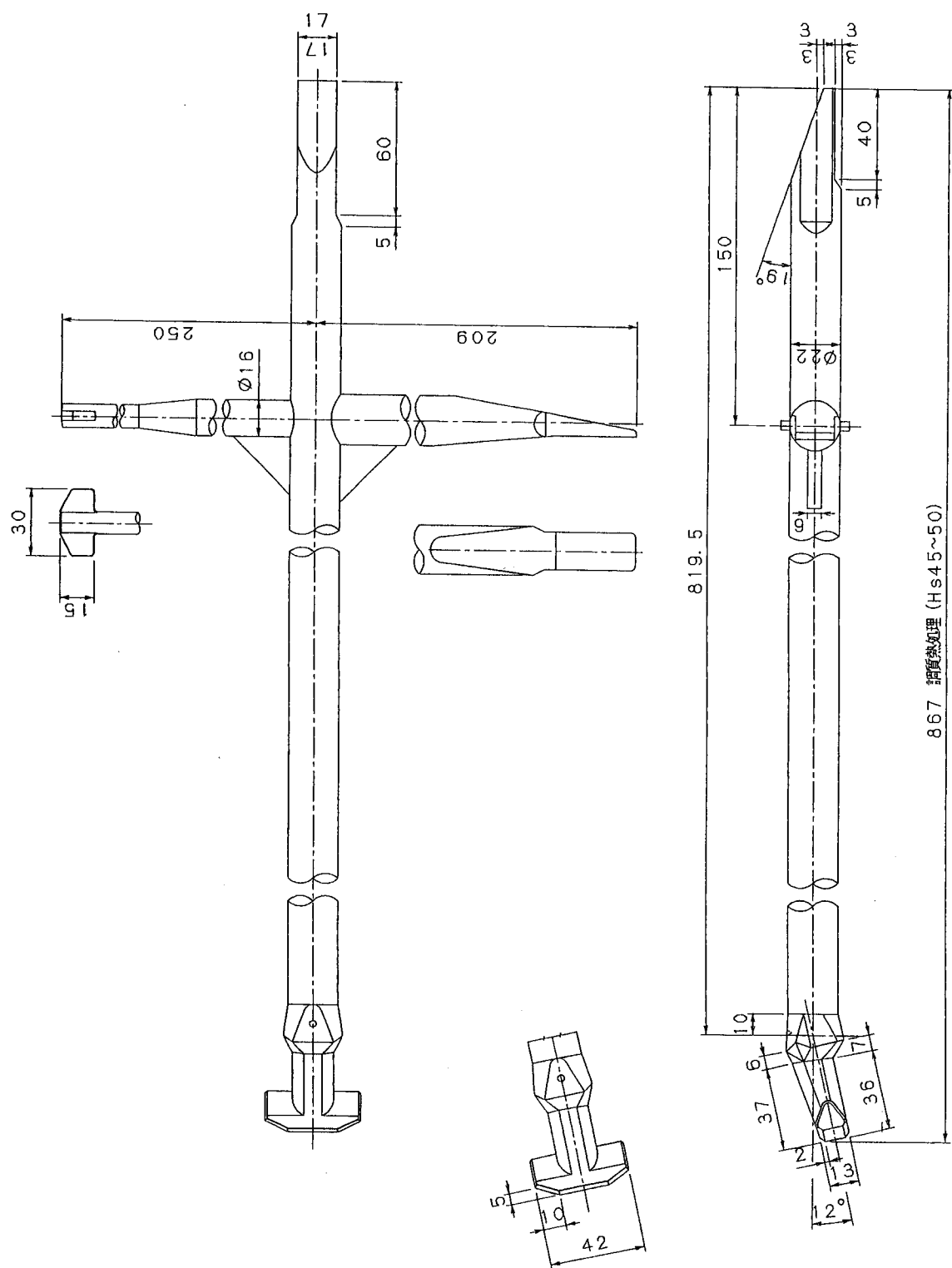
参考図

プレート取付金具詳細図



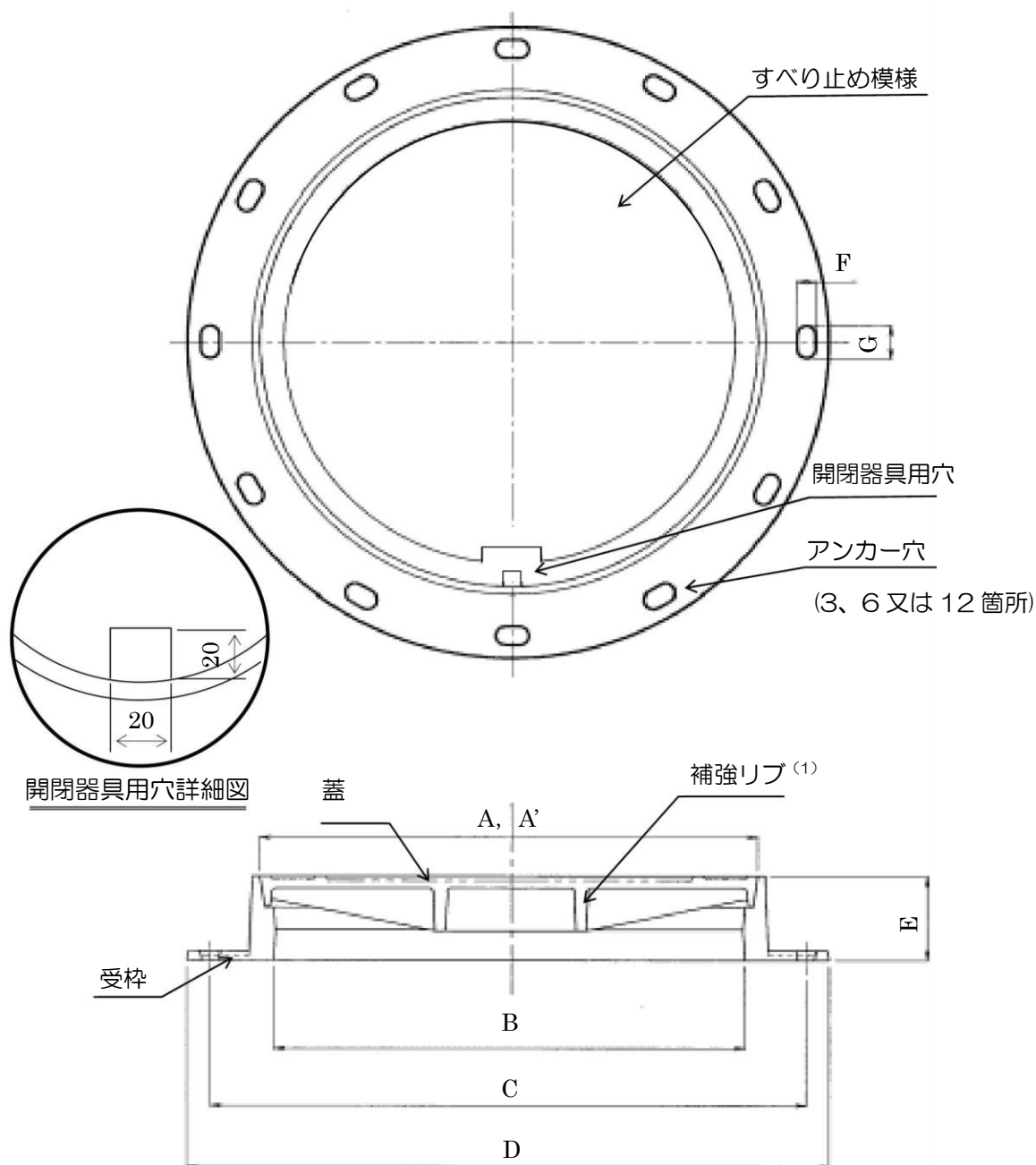
専用開閉器具

(単位 mm)



別図－③a

鉄蓋の主要寸法（円形 1 号（250））



単位 mm

A, A' (参考)		B		C		D		E		F		G	
寸法	許容差	寸法	許容差	寸法	許容差	寸法	許容差	寸法	許容差	寸法	許容差	寸法	許容差
230	±0.3	250	±3.1	305	±3.1	340	±3.1	150	±2.5	16	±1.5	25	±1.6

注⁽¹⁾ 蓋の補強リブを設けた場合を示す。

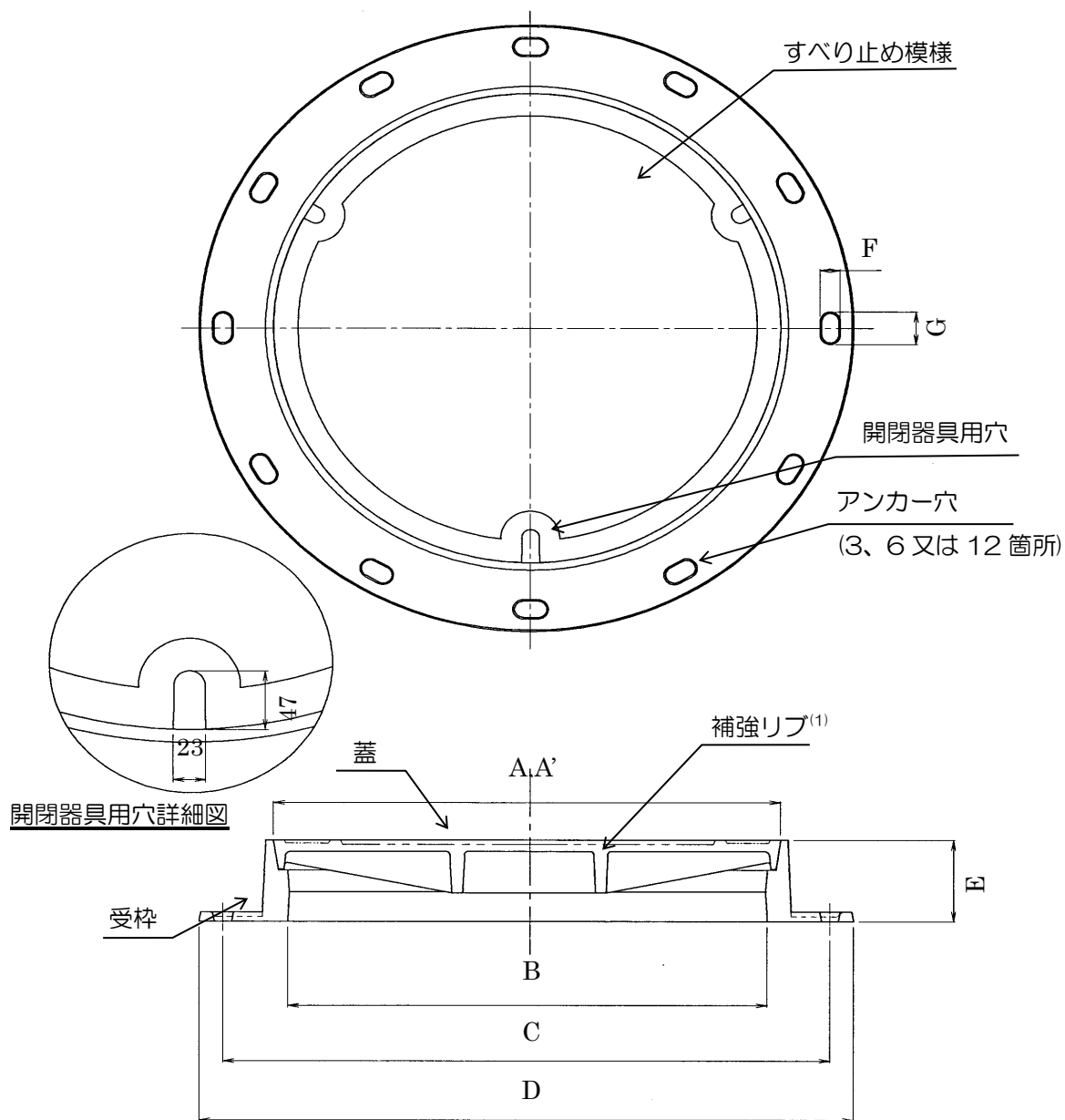
備考1. A は蓋の外形寸法、A' は受枠の内径寸法を示す。

2. B は、受枠のフランジ内径の寸法であり、有効内径とは異なる。

3. ボックスと緊結するボルトについては、M10 を標準とする。

別図－③b

鉄蓋の主要寸法（円形 3 号（500））



A,A' (参考)		B		C		D		E		F		G	
寸法	許容差	寸法	許容差	寸法	許容差	寸法	許容差	寸法	許容差	寸法	許容差	寸法	許容差
530	±0.3	500	±3.5	600	±3.5	660	±4.0	100	±2.2	22	±1.6	40	±1.8

注⁽¹⁾ 蓋の補強リブを設けた場合を示す。

備考 1. A は蓋の外形寸法、A' は受枠の内径寸法を示す。

2. B は、受枠のフランジ内径の寸法であり、有効内径とは異なる。

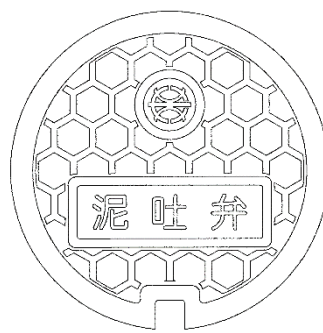
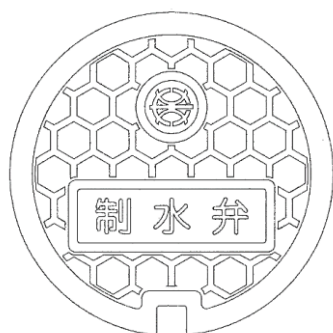
3. ボックスと緊結するボルトについては、M16 を標準とする。

鉄蓋表面のデザイン

〈 3号規格用鉄蓋 〉



〈 1号規格用鉄蓋 〉



鉄蓋表面のデザイン

(消火栓)



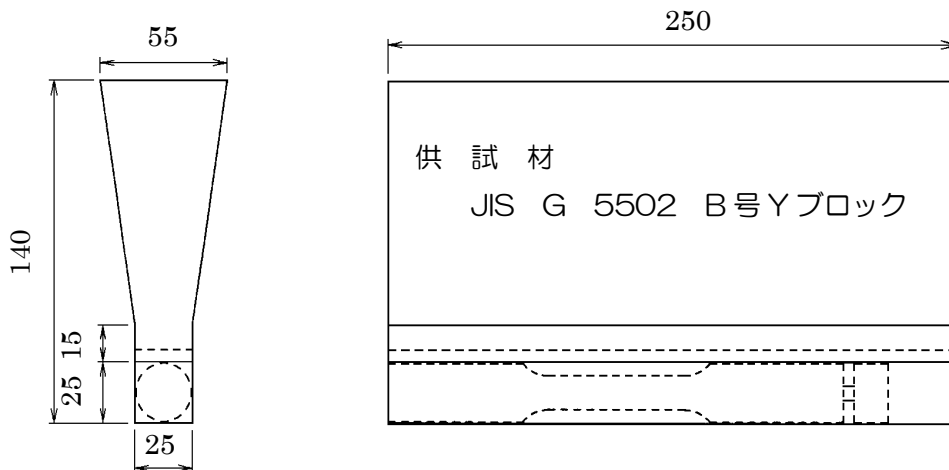
(空気弁等)



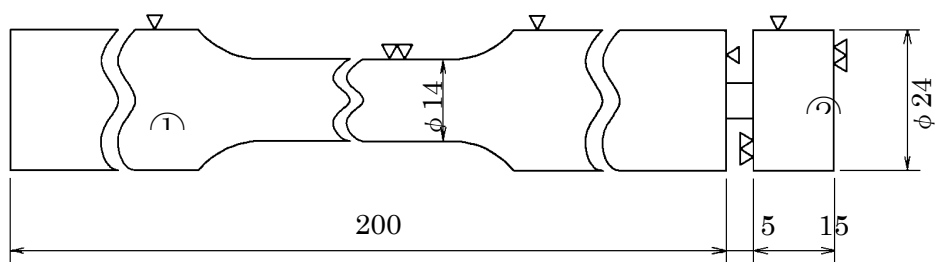
バタフライ弁

材質試験片採取位置

(単位 mm)



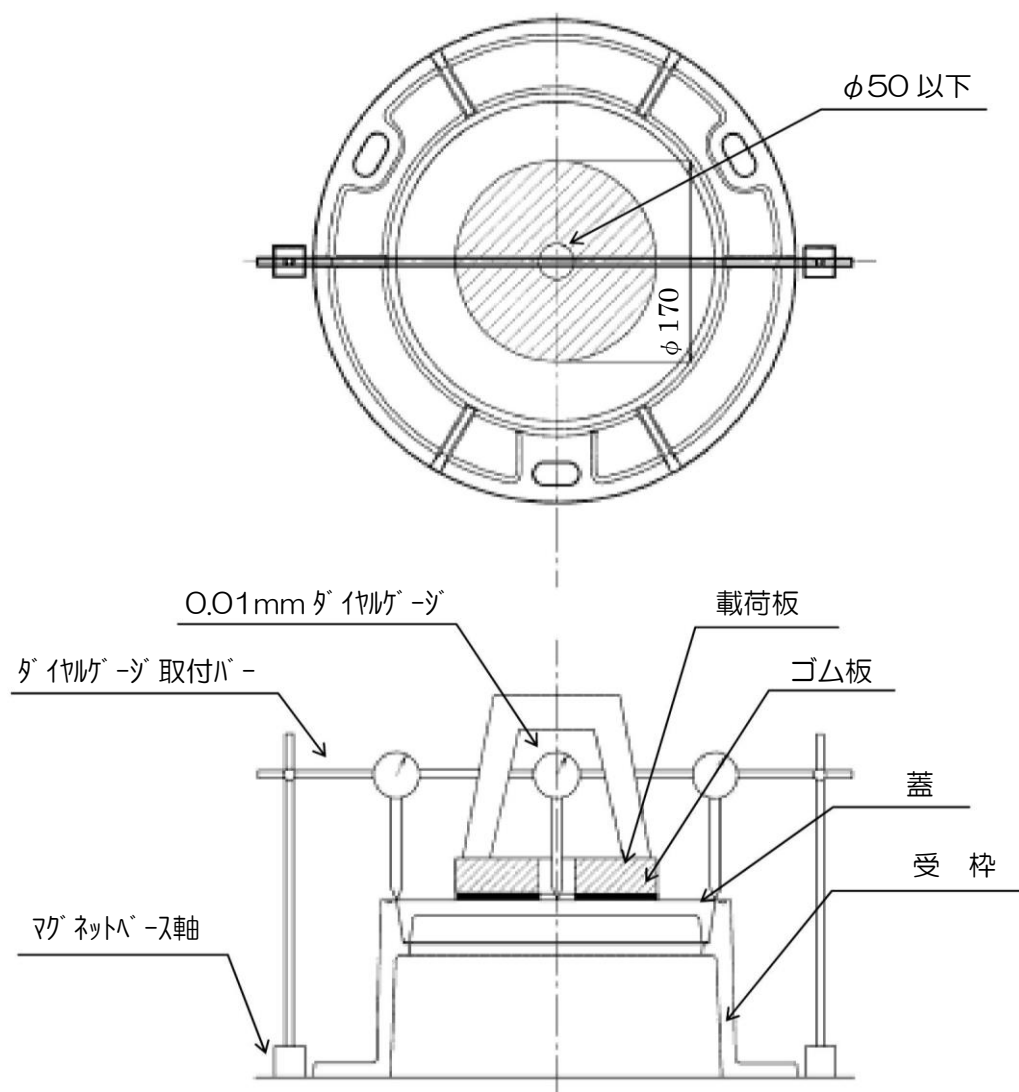
- ① 引張試験片 ② 硬さ試験片 ・ 黒鉛球状化率判定試験片



荷重たわみ試験要領図

(単位 mm)

－1号(φ250)－

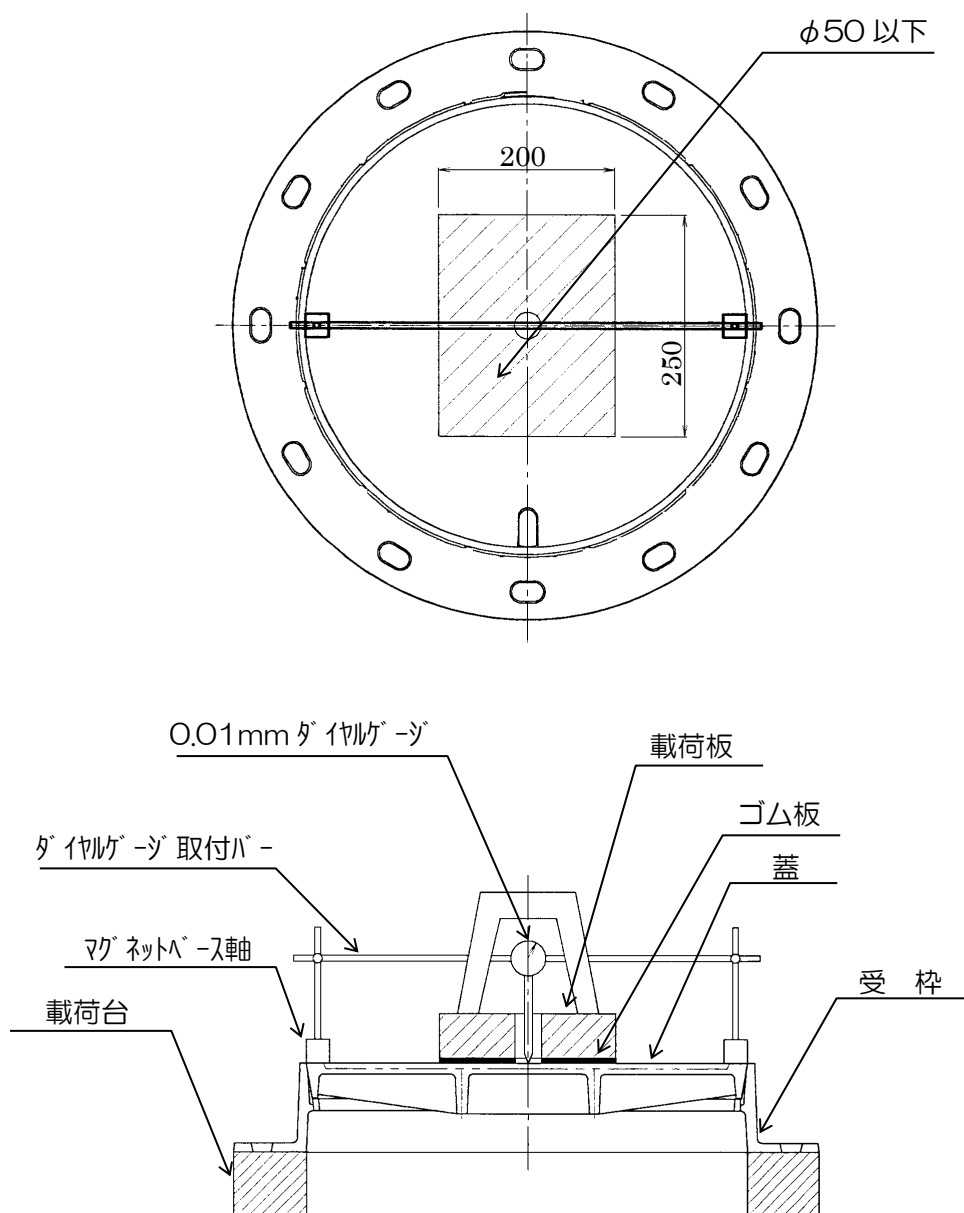


注) 本要領図は試験治具の取付け方法及び位置関係を示すもので製品の形状とは一部異なる部分がある

荷重たわみ試験要領図

(単位 mm)

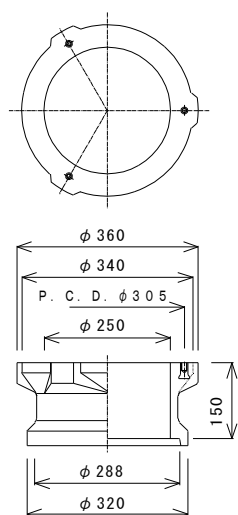
－3号(φ500)－



注) 本要領図は試験治具の取付け方法及び位置関係を示すもので製品の形状とは一部異なる部分がある

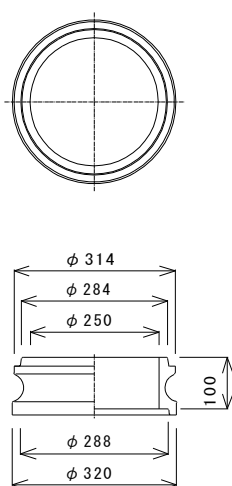
下桧の主要寸法（1号φ250）

円形上部壁



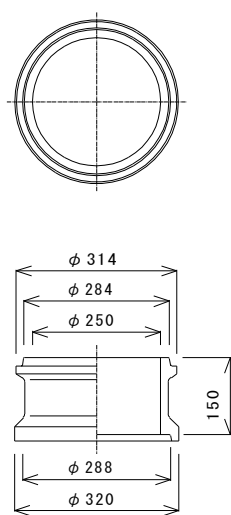
円形中部壁

H=100mm



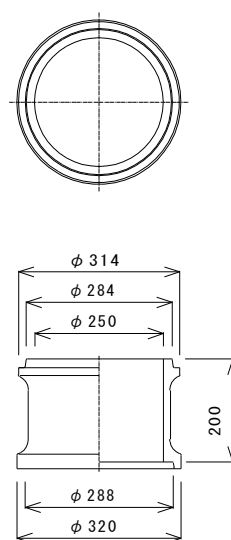
円形中部壁

H=150mm



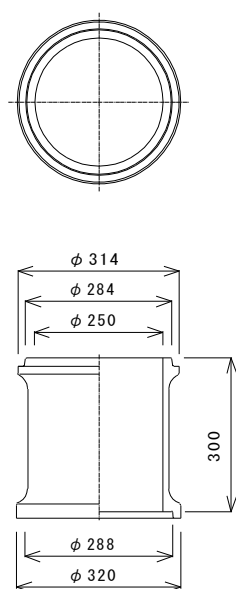
円形中部壁

H=200mm



円形中部壁

H=300mm



円形下部壁

H=300mm

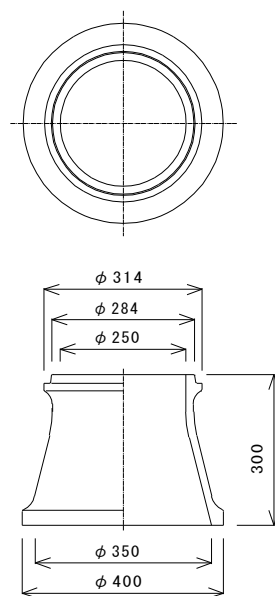
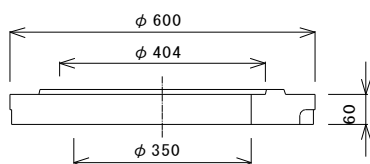
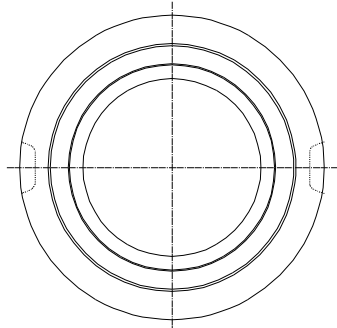


図-⑦-2

参考図

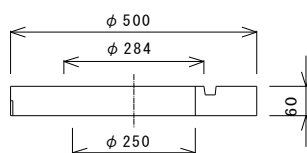
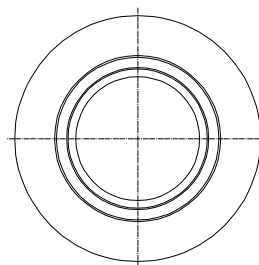
円形底板

下部壁用



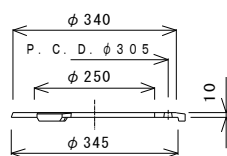
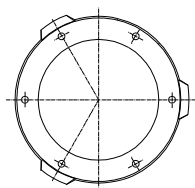
円形底板

上、中部壁用



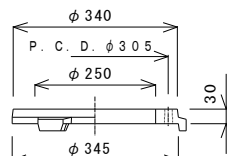
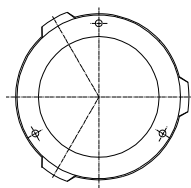
調整リング

H=10mm



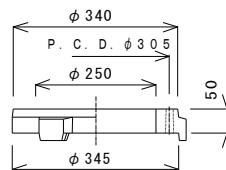
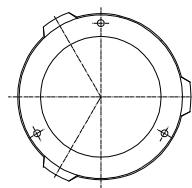
調整リング

H=30mm



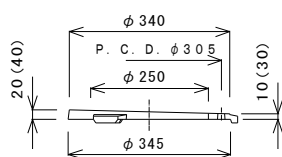
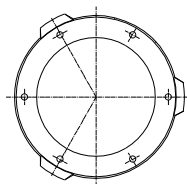
調整リング

H=50mm



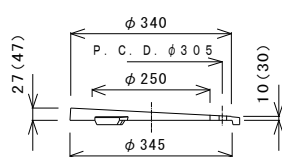
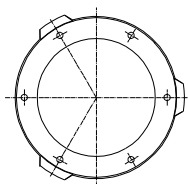
調整リング

H=10(43)mm 5%傾



調整リング

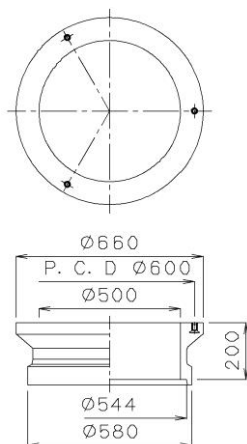
H=10(30)mm 3%傾



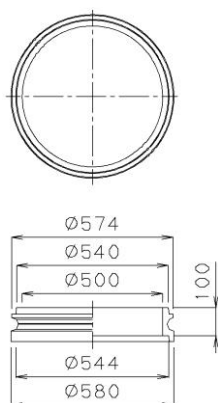
※ 調整リング 5 製品の材質はレジコンクリート、硬質プラスチック、再生硬質プラスチックとする。

下柵の主要寸法（3号φ500）

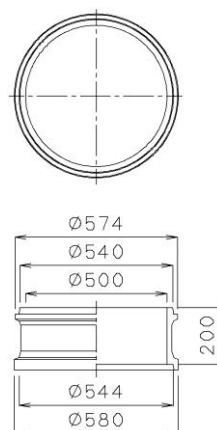
円形上部壁



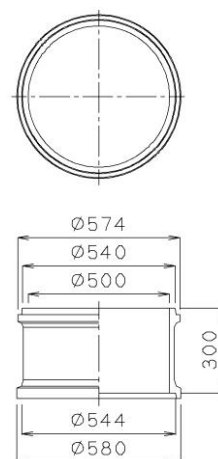
円形中部壁
H=100mm



円形中部壁
H=200mm

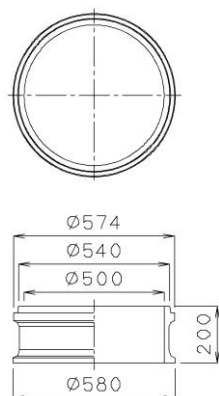


円形中部壁
H=300mm



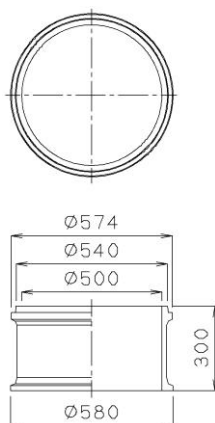
円形下部壁

H=200mm



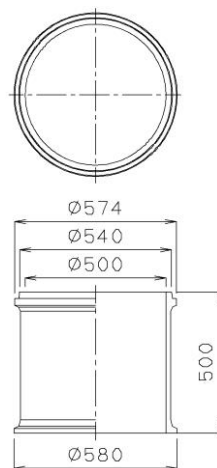
円形下部壁

H=300mm

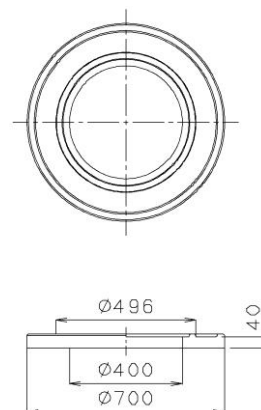


円形下部壁

H=500mm



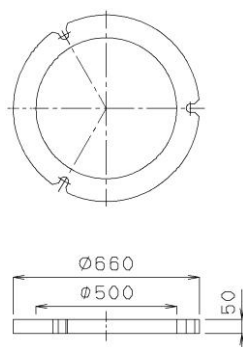
円形底板



参考図

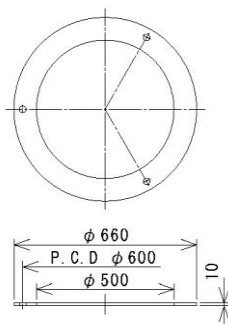
調整リング

H=50mm



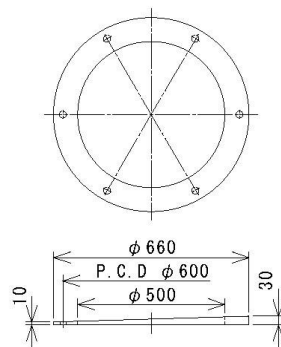
調整リング

H=10mm



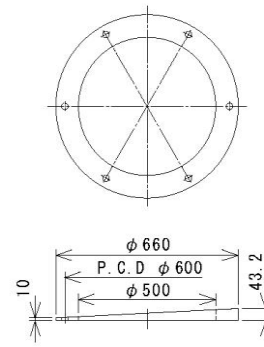
調整リング

H=10(30)mm 3%傾斜



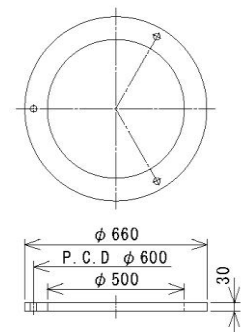
調整リング

H=10(43)mm 5%傾斜

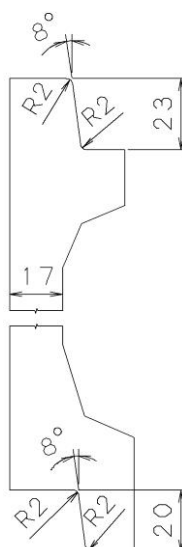


調整リング

H=30mm



嵌合部詳細寸法



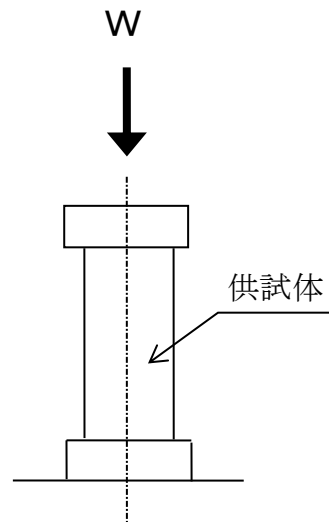
※ これら 5 製品の材質はレジンコンクリート、硬質プラスチック、再生硬質プラスチックとする。

材料試験要領図

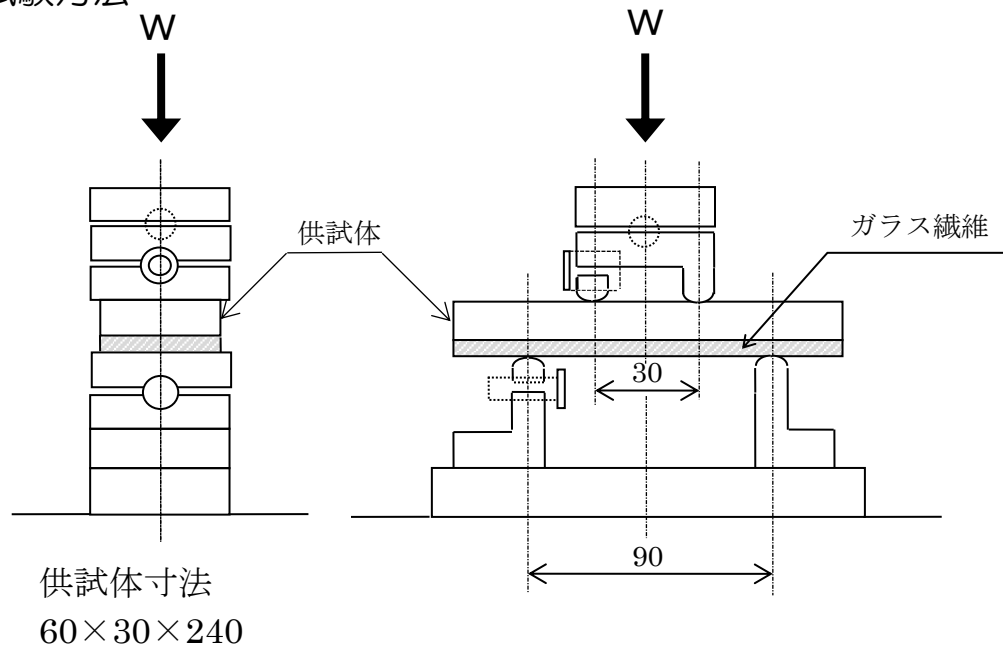
(単位 mm)

圧縮強度試験方法

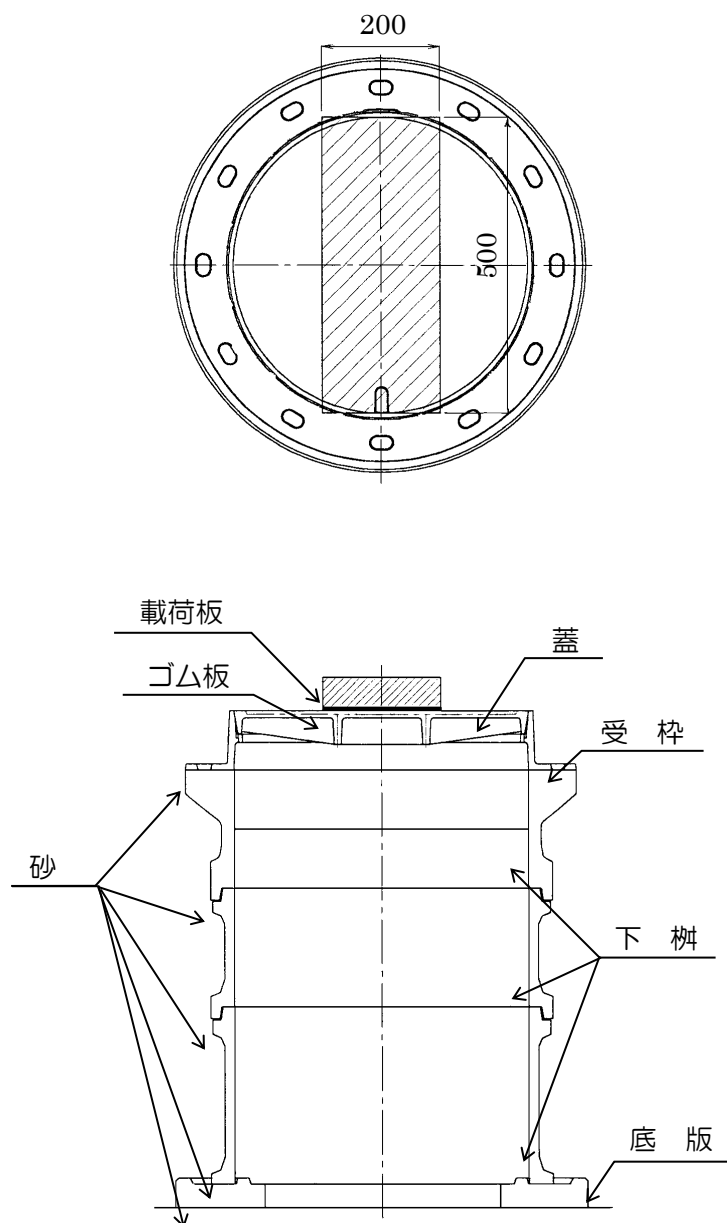
供試体寸法
 $\phi 75 \times 150$



曲げ強度試験方法



軸方向耐荷重試験要領図 (単位 mm)



注) 本要領図は試験治具の取付け方法及び位置関係を示すもので製品の形状とは一部異なる部分がある

第 11 章

付 属 資 料

2026（令和 8）年 7 月
鈴 鹿 市 上 下 水 道 局

水道工事基準書改定箇所
(令和 7 年 7 月 版→令和 8 年 7 月 版)
適用日:令和 8 年 7月

各章 「SGP-PB」を「SGP-VB」または「GP」に変更。

第1章 鈴鹿市水道工事設計基準書

新旧対照表による

第2章 鈴鹿市水道工事施工管理基準書

新旧対照表による

第3章 鈴鹿市水道工事設計標準図集

新旧対照表による

第4章 給水管施工標準図集

令和8年版に差替え

第7章 配管詳細図(オフセット)作成用記号及び名称集

新旧対照表による

第8章 鈴鹿市水道工事承認資材一覧表

承認企業の連絡先及び承認資材等を最新のものに変更

新旧対照表

新

旧

備考

第 1 章

2. 工法

(12) 既設管から分岐する際に使用する割丁字管について

既設管から分岐を行う場合に使用する割丁字管は、以下の条件を基本とする。

なお、配水管は必要に応じて導水管または送水管と読み替える。

表 1 割丁字管の選定

分岐元	分岐先	割丁字管
耐震管	φ40 以上の給水管	捨てバルブ型
	φ50 の配水管	
	φ75～100 の配水管	通常型
	φ150～300 の配水管	耐震型※1
非耐震管	φ40 以上の給水管	捨てバルブ型
	φ50 の配水管	
	φ75～300 の配水管	通常型

※1 令和 8 年度は移行期間につき、可とう割丁字管への変更を認める。

表 2 割丁字管の種別

割丁字管	付属弁	分岐先の継手
捨てバルブ型	簡易弁	フランジ
通常型	ソフトシール仕切弁	フランジ
耐震型	ソフトシール仕切弁	K 形受、挿し口

※1 分岐先が φ50 の場合の選定フロー

平成元年度以降の配水管から φ50 の配水管を分岐

付属弁を制水弁として使用する

YES

タイプ I

NO

タイプ II

タイプ I --- 通常型の割丁字管を使用し、φ75 で分岐後、φ50 に縮小する。

割丁字管 (ソフトシール仕切弁付) φ○○×75

PC 短管 1 号片落 φ75×50 形式 2

HPPE φ50

※SP フランジ短管 (φ75) →EF レデューサー等も可。

第 1 章

2. 工法

(12) 既設管から分岐する際に使用する割丁字管について

既設管から分岐を行う場合に使用する割丁字管は、以下の条件を基本とする。

なお、配水管は必要に応じて導水管または送水管と読み替える。

分岐元	分岐先	使用する割丁字管	置積
配水管	φ40 以上の給水管	捨てバルブ型	なし
配水管 (昭和 63 年度以前)	φ50 の配水管	捨てバルブ型	なし
	φ75 以上の配水管	通常型	あり
配水管 (平成元年度以降)	φ50～100 の配水管	通常型 ※1	※1
	φ150 以上の配水管	免震構造型	あり

捨てバルブ型 --- 割丁字管の付属弁が仕切弁として使用できないもの

通常型 --- 割丁字管の付属弁が仕切弁として使用できるもの

免震構造型 --- 免震構造をもつ割丁字管で、付属弁が仕切弁として使用できるもの

※1 分岐先が φ50 の場合の選定フロー

平成元年度以降の配水管から φ50 の配水管を分岐

付属弁を制水弁として使用する

YES

タイプ I

NO

タイプ II

タイプ I --- 通常型の割丁字管を使用し、φ75 で分岐後、φ50 に縮小する。

割丁字管 (ソフトシール仕切弁付) (φ○○mm)

PC短管1号片落 (φ75mm × φ50mm) 形式

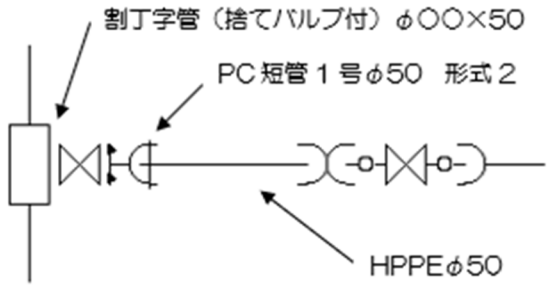
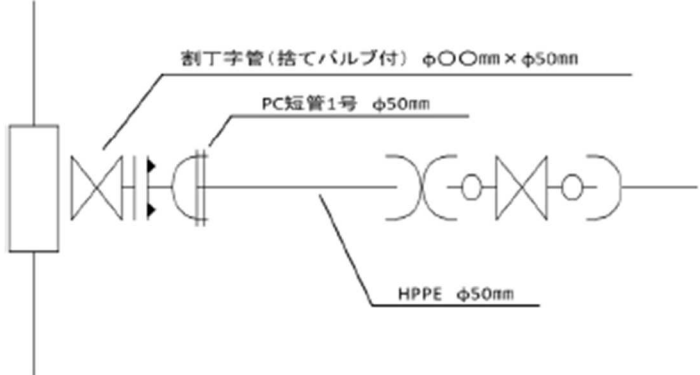
HPPE SPI直管 (φ50mm)

※SP フランジ短管 (φ75) →EF レデューサー等も可。

耐震型割丁字管を採用したことにより内容を変更。

分岐元が耐震管の場合、耐震型割丁字管を使用することを基本とした。

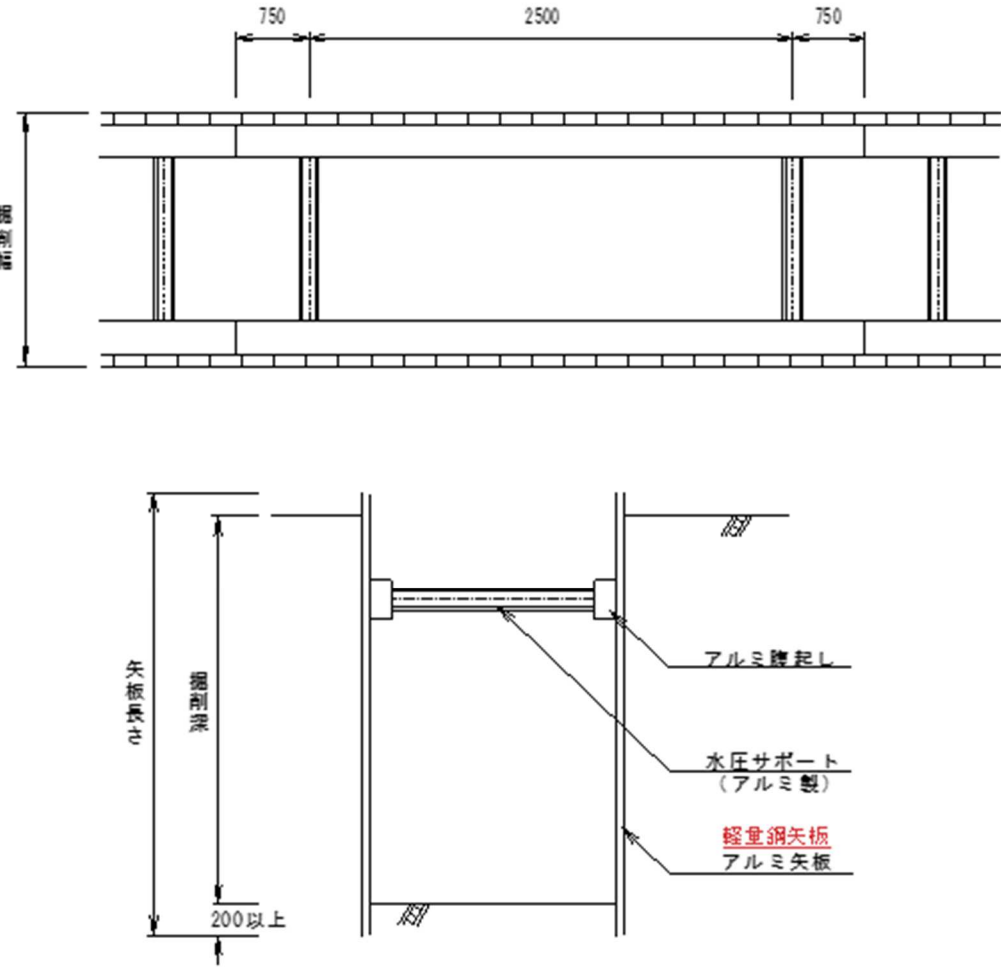
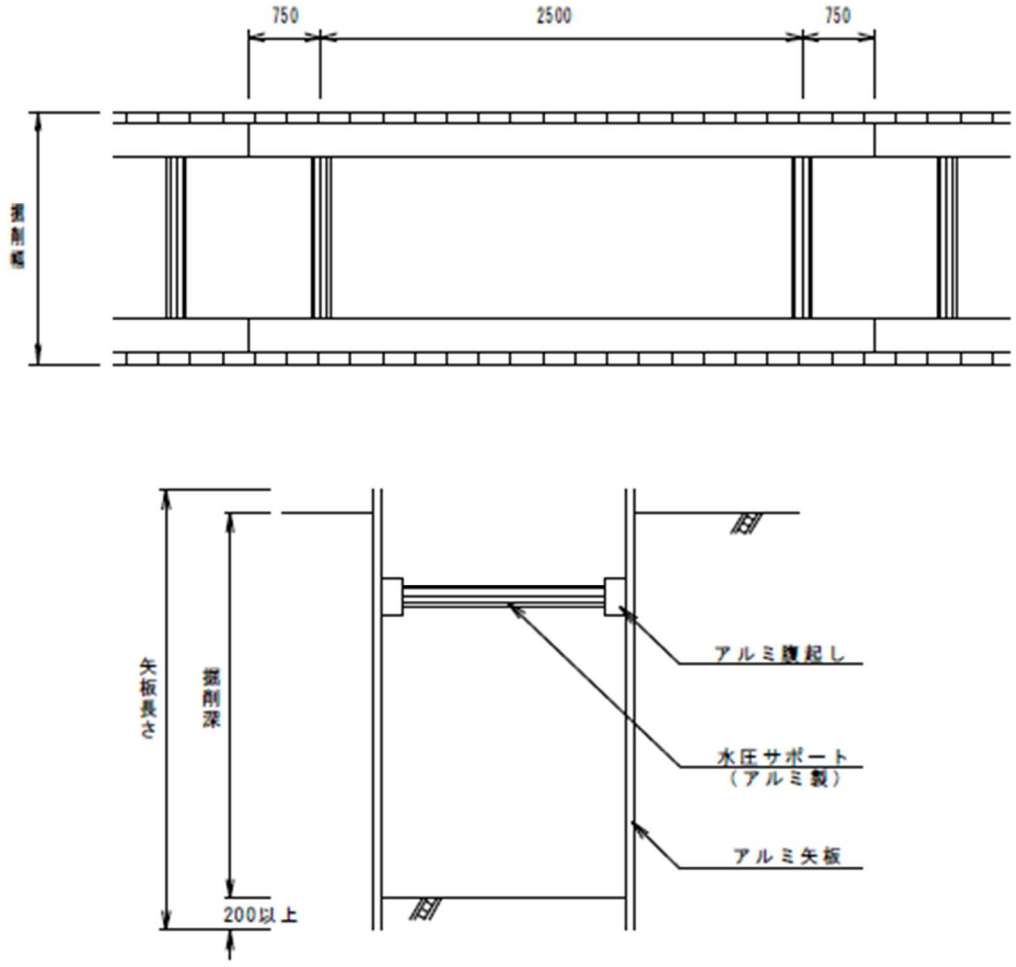
新旧対照表

新	旧	備考
タイプⅡ --- 捨てバルブ型の割丁字管を使用し、φ50で分岐後、別途制水弁を設ける。  ※制水弁は基準書で定める位置に設けること。 割丁字管の設計、施工における留意事項 ・ 分岐元がφ50の場合、分岐は割丁字管を用いず切り取りで対応すること。 ・ 割丁字管の付属弁を制水弁として使用する場合、筐積を行い、弁栓番号を割り当て管理すること。 ・ 割丁字管の付属弁を制水弁とした場合、「弁の操作が危険である箇所」または「弁の操作により交通に大きな影響を与える箇所」であるときは、基準書で定める位置に別途制水弁を設置することができる。 ・ 国道、県道及び片側2車線以上の市道に設置する場合、筐積の有無に関わらず維持管理Gと協議すること。 ・ 割丁字管の付属弁を制水弁として使用しない場合、近接工事による破損防止措置を講じること。(付属弁が横倒しできるものは、横倒しするなど) ・ 割丁字管、付属弁及び本管接続部等の铸铁部は、ポリスリーブで被覆すること。 ・ 既設管への継手補強は、その目的が耐震補強であるのか、離脱防止であるのかを検討して、材料の選定を行うこと。	タイプⅡ --- 捨てバルブ型の割丁字管を使用し、φ50で分岐後、別途制水弁を設ける。  ※制水弁は基準書で定める位置に設けること。 割丁字管の設計、施工における留意事項 ・ 分岐元がφ50の場合、分岐は割丁字管を用いず切り取りで対応すること。 ・ 筐積を行うのは「通常の制水弁として使用可能な弁」のみとし、こうして設置した弁には弁栓番号を割り当て、制水弁として管理すること。 ・ 割丁字管付属弁を制水弁とした場合、「作業時において作業者が危険にさらされる」、または「弁操作により周辺交通に大きな影響を与える」場所であると判断されたときのみ、上記の弁とは別に基準書に定める位置へ別途制水弁を設けることとする。 ・ 国道、県道、及び片側2車線以上の市道において分岐する場合、筐積の有無に関わらず維持管理Gと協議すること。なお、筐積をしない割丁字管付属弁は近接工事による破損防止のため、弁を横倒しして埋設すること。横倒しできない場合は、破損防止措置を講じること。 ・ 割丁字管付属弁にもポリスリーブを被覆し、フランジ短管との接合部も確実に覆われるように施工すること。 ・ 既設管への継手補強は、その目的が耐震補強であるのか、離脱防止であるのかを検討して、材料の選定を行うこと。	語句修正

新旧対照表

新	旧	備考																																		
第2章 3. 現場 (7) 埋戻工について 埋戻工は三重県公共工事共通仕様書の作業土工の埋戻しによるほか、以下に準じること。 a. 保護砂の投入は配管した水道管をすらすことなく、管下回りへの充填、転圧が入念に行えるよう、バックホウ投入もしくは人力投入にて適切に行うこと。 b. 水道管の周囲は空隙が生じないよう入念に突き固めること。 c. 埋戻の層厚については、水道管を埋設する個所の管理者が定める復旧基準に従い施工すること。 例) 市道 路床（路盤下 1mまで） 1 層 20cm 路体（路盤下 1m以深） 1 層 30cm 5. 品質管理基準 ***** 5. 品質管理基準 ***** 表-2 に規定するものを除き、「三重県公共工事共通仕様書及び同鈴鹿市の取扱い要領」による。 表-2 開削配管工事に関する品質管理 <table><tr><th>工種</th><th>種別</th><th>測定項目</th><th>規格値</th><th>測定基準</th><th>摘要</th></tr><tr><td rowspan="2">管 市設工</td><td rowspan="2">鑄鉄管（内面エポキシ樹脂粉体塗装）</td><td>ピンホール</td><td>火花が出るようなピンホールがないこと</td><td rowspan="2">JWWA G 112の規定による。</td><td rowspan="2">他現場からの流用品のみ対象。</td></tr><tr><td>塗膜厚さ</td><td>0.3mm以上</td></tr><tr><td>管 市設工</td><td>埋戻（路盤部）</td><td>現場密度</td><td>上記要領に準じる。</td><td>上記要領に準じる。</td><td>100m²/工事未満の場合、省略可。</td></tr></table>	工種	種別	測定項目	規格値	測定基準	摘要	管 市設工	鑄鉄管（内面エポキシ樹脂粉体塗装）	ピンホール	火花が出るようなピンホールがないこと	JWWA G 112の規定による。	他現場からの流用品のみ対象。	塗膜厚さ	0.3mm以上	管 市設工	埋戻（路盤部）	現場密度	上記要領に準じる。	上記要領に準じる。	100m ² /工事未満の場合、省略可。	第2章 3. 現場 (7) 埋戻工について a. クッション材（砂）の投入は配管した水道管をすらすことなく、管下回りへの充填、転圧が入念に行えるよう、バックホウ投入もしくは人力投入にて適切に行うこと。 b. 水道管の周囲は空隙が生じないよう入念に突き固めること。 c. 埋戻の層厚については、水道管を埋設する個所の管理者が定める復旧基準に従い施工すること。 例) 市道 路床（路盤下 1mまで） 1 層 20cm 路体（路盤下 1m以深） 1 層 30cm 5. 品質管理基準 ***** 5. 品質管理基準 ***** 表-2 に規定するものを除き、「三重県公共工事共通仕様書及び同鈴鹿市の取扱い要領」による。 表-2 開削配管工事に関する品質管理 <table><tr><th>工種</th><th>種別</th><th>測定項目</th><th>規格値</th><th>測定基準</th><th>摘要</th></tr><tr><td rowspan="2">管 市設工</td><td rowspan="2">鑄鉄管（内面エポキシ樹脂粉体塗装）</td><td>ピンホール</td><td>火花が出るようなピンホールがないこと</td><td rowspan="2">JWWA G 112の規定による。</td><td rowspan="2">他現場からの流用品のみ対象。</td></tr><tr><td>塗膜厚さ</td><td>0.3mm以上</td></tr></table>	工種	種別	測定項目	規格値	測定基準	摘要	管 市設工	鑄鉄管（内面エポキシ樹脂粉体塗装）	ピンホール	火花が出るようなピンホールがないこと	JWWA G 112の規定による。	他現場からの流用品のみ対象。	塗膜厚さ	0.3mm以上	埋戻工について、三重県公共工事共通仕様書の作業土工に準じて施工するよう文言を追加。 クッション砂を保護砂に語句修正。 品質管理項目を新規追加。
工種	種別	測定項目	規格値	測定基準	摘要																															
管 市設工	鑄鉄管（内面エポキシ樹脂粉体塗装）	ピンホール	火花が出るようなピンホールがないこと	JWWA G 112の規定による。	他現場からの流用品のみ対象。																															
		塗膜厚さ	0.3mm以上																																	
管 市設工	埋戻（路盤部）	現場密度	上記要領に準じる。	上記要領に準じる。	100m ² /工事未満の場合、省略可。																															
工種	種別	測定項目	規格値	測定基準	摘要																															
管 市設工	鑄鉄管（内面エポキシ樹脂粉体塗装）	ピンホール	火花が出るようなピンホールがないこと	JWWA G 112の規定による。	他現場からの流用品のみ対象。																															
		塗膜厚さ	0.3mm以上																																	

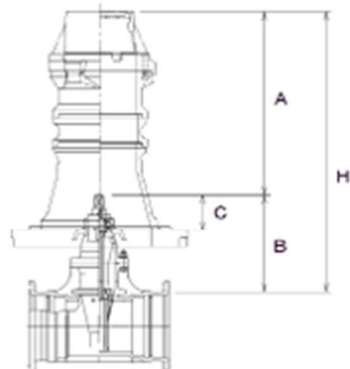
新旧対照表

新	旧	備考
第3章 ***** 2. 土留工〔アルミ矢板〕標準工法図 ***** (参考) 矢板幅 250mm、または333mm  矢板幅 250mm、または333mm 750 2500 750 掘削面 掘削深 200以上 アルミ盛りし 水圧サポート (アルミ製) 軽量鋼矢板 アルミ矢板	第3章 ***** 2. 土留工〔アルミ矢板〕標準工法図 ***** (参考) 矢板幅 333mm  750 2500 750 掘削面 掘削深 200以上 アルミ盛りし 水圧サポート (アルミ製) アルミ矢板	各種矢板に適用できるよう修正。

新旧対照表

新

***** 3. ソフトシール弁設計寸法一覧表 *****



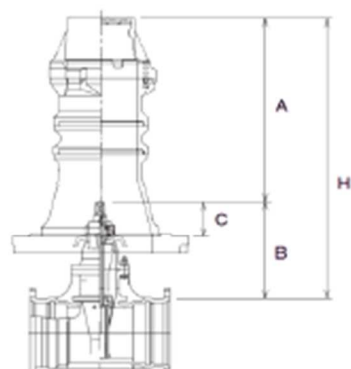
A ソフトシール弁設計寸法一覧表 GX 形（受挿、両受）

呼び径	土流り	I			II			III			ブロック組合せ	管積高
		A	B	C	A	B	C	A	B	C		
75	900	630	270	120	630	270	120	615	285	135	①②③⑦⑩	750
75	1000	730	270	120	730	270	120	715	285	135	①②⑤⑦⑩	850
75	1100	830	270	120	830	270	120	815	285	135	①②⑥⑦⑩	950
75	1200	930	270	120	930	270	120	915	285	135	①②③⑥⑦⑩	1050
100	900	595	305	105	595	305	105	595	305	105	①②④⑦⑩	700
100	1000	695	305	105	695	305	105	695	305	105	①②④⑦⑩	800
100	1100	795	305	105	795	305	105	795	305	105	①②③④⑦⑩	900
100	1200	895	305	105	895	305	105	895	305	105	①②④⑤⑦⑩	1000
150	900	545	355	105	545	355	105	533	367	117	①②⑦⑩	650
150	1000	645	355	105	645	355	105	633	367	117	①②③⑦⑩	750
150	1100	745	355	105	745	355	105	733	367	117	①②⑤⑦⑩	850
150	1200	845	355	105	845	355	105	833	367	117	①②⑥⑦⑩	950
200	1200	790	410	110	792	408	108	770	430	130	①②③④⑦⑩	900
200	1300	890	410	110	892	408	108	870	430	130	①②④⑤⑦⑩	1000
200	1400	990	410	110	992	408	108	970	430	130	①②④⑥⑦⑩	1100
200	1500	1090	410	110	1092	408	108	1070	430	130	①②③④⑥⑦⑩	1200
250	1200	725	475	125	724	476	126	711	489	139	①②⑤⑦⑩	850
250	1300	825	475	125	824	476	126	811	489	139	①②⑥⑦⑩	950
250	1400	925	475	125	924	476	126	911	489	139	①②③⑥⑦⑩	1050
250	1500	1025	475	125	1024	476	126	1011	489	139	①②⑤⑥⑦⑩	1150
300	1300	750	550	100	750	550	100	750	550	100	①②⑤⑦⑩	850
300	1400	850	550	100	850	550	100	850	550	100	①②⑥⑦⑩	950
300	1500	950	550	100	950	550	100	950	550	100	①②③⑥⑦⑩	1050
300	1600	1050	550	100	1050	550	100	1050	550	100	①②⑤⑥⑦⑩	1150

メーカー名 I --- (株)クボタ、角田鉄工 (株)、宮部鉄工 (株)
II --- (株)栗本鐵工所、III --- 前澤工業 (株)

旧

***** 3. ソフトシール弁設計寸法一覧表 *****



A ソフトシール弁設計寸法一覧表 GX 形（受挿、両受）

呼び径	土流り	I			II			II			ブロック組合せ	管積高
		A	B	C	A	B	C	A	B	C		
75	900	630	270	120	630	270	120	615	285	135	①②③⑦⑩	750
75	1000	730	270	120	730	270	120	715	285	135	①②⑤⑦⑩	850
75	1100	830	270	120	830	270	120	815	285	135	①②⑥⑦⑩	950
75	1200	930	270	120	930	270	120	915	285	135	①②③⑥⑦⑩	1050
100	900	595	305	105	595	305	105	595	305	105	①②④⑦⑩	700
100	1000	695	305	105	695	305	105	695	305	105	①②④⑦⑩	800
100	1100	795	305	105	795	305	105	795	305	105	①②③④⑦⑩	900
100	1200	895	305	105	895	305	105	895	305	105	①②④⑤⑦⑩	1000
150	900	545	355	105	545	355	105	533	367	117	①②⑦⑩	650
150	1000	645	355	105	645	355	105	633	367	117	①②③⑦⑩	750
150	1100	745	355	105	745	355	105	733	367	117	①②⑤⑦⑩	850
150	1200	845	355	105	845	355	105	833	367	117	①②⑥⑦⑩	950
200	1200	790	410	110	792	408	108	770	430	130	①②③④⑦⑩	900
200	1300	890	410	110	892	408	108	870	430	130	①②④⑤⑦⑩	1000
200	1400	990	410	110	992	408	108	970	430	130	①②④⑥⑦⑩	1100
200	1500	1090	410	110	1092	408	108	1070	430	130	①②③④⑥⑦⑩	1200
250	1200	725	475	125	724	476	126	711	489	139	①②⑤⑦⑩	850
250	1300	825	475	125	824	476	126	811	489	139	①②⑥⑦⑩	950
250	1400	925	475	125	924	476	126	911	489	139	①②③⑥⑦⑩	1050
250	1500	1025	475	125	1024	476	126	1011	489	139	①②⑤⑥⑦⑩	1150
300	1300	750	550	100	750	550	100	750	550	100	①②⑤⑦⑩	850
300	1400	850	550	100	850	550	100	850	550	100	①②⑥⑦⑩	950
300	1500	950	550	100	950	550	100	950	550	100	①②③⑥⑦⑩	1050
300	1600	1050	550	100	1050	550	100	1050	550	100	①②⑤⑥⑦⑩	1150

メーカー名 I --- (株)クボタ、角田鉄工 (株)、宮部鉄工 (株)
II --- (株)栗本鐵工所、III --- 前澤工業 (株)

組合せの誤記を修正。
管積高 700、800

新旧对照表

[illegible]

新旧対照表

新	旧	備考																																																																																																																																
② フランジ一体型急速空気弁 土被り 800 A. HPPE用 PE挿し口付フランジ付丁字管 <table><tr><td colspan="2">設計条件</td><td colspan="2">本管口径 φ 75</td><td colspan="2">土被り = 800</td><td colspan="4">フランジ配管 = 100</td></tr><tr><td></td><td colspan="2">急速空気弁</td><td colspan="2">丁字管</td><td colspan="5">寸 法</td></tr><tr><td></td><td>口径 φ</td><td>t1</td><td>呼び径</td><td>D2</td><td>K1</td><td>l</td><td>h</td><td>H</td><td>C</td></tr><tr><td>クボタ</td><td rowspan="10">25</td><td>-</td><td rowspan="10">75*75</td><td rowspan="10">900</td><td>-</td><td rowspan="10">140</td><td rowspan="10">95</td><td rowspan="10">150</td><td rowspan="10">705</td></tr><tr><td>ハス</td><td>-</td></tr><tr><td>前澤工業</td><td>-</td></tr><tr><td>(株)キッツエスジーエス</td><td>135</td></tr><tr><td>清水精工</td><td>130</td></tr><tr><td>清水工業</td><td>-</td></tr><tr><td>角田鉄工</td><td>172</td></tr><tr><td>富士鉄工</td><td>-</td></tr><tr><td>宮部鉄工</td><td>125</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> <table><tr><td colspan="2">設計条件</td><td colspan="2">本管口径 φ 100</td><td colspan="2">土被り = 800</td><td colspan="4">フランジ配管 = 100</td></tr><tr><td></td><td colspan="2">急速空気弁</td><td colspan="2">丁字管</td><td colspan="5">寸 法</td></tr><tr><td></td><td>口径 φ</td><td>t1</td><td>呼び径</td><td>D2</td><td>K1</td><td>l</td><td>h</td><td>H</td><td>C</td></tr><tr><td>クボタ</td><td rowspan="10">25</td><td>-</td><td rowspan="10">100*75</td><td rowspan="10">130.0</td><td>-</td><td rowspan="10">160</td><td rowspan="10">95</td><td rowspan="10">150</td><td rowspan="10">705</td></tr><tr><td>ハス</td><td>-</td></tr><tr><td>前澤工業</td><td>-</td></tr><tr><td>(株)キッツエスジーエス</td><td>135</td></tr><tr><td>清水精工</td><td>130</td></tr><tr><td>清水工業</td><td>-</td></tr><tr><td>角田鉄工</td><td>172</td></tr><tr><td>富士鉄工</td><td>-</td></tr><tr><td>宮部鉄工</td><td>125</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> フランジ一体型急速空気弁の寸法表を新規追加。	設計条件		本管口径 φ 75		土被り = 800		フランジ配管 = 100					急速空気弁		丁字管		寸 法						口径 φ	t1	呼び径	D2	K1	l	h	H	C	クボタ	25	-	75*75	900	-	140	95	150	705	ハス	-	前澤工業	-	(株)キッツエスジーエス	135	清水精工	130	清水工業	-	角田鉄工	172	富士鉄工	-	宮部鉄工	125										設計条件		本管口径 φ 100		土被り = 800		フランジ配管 = 100					急速空気弁		丁字管		寸 法						口径 φ	t1	呼び径	D2	K1	l	h	H	C	クボタ	25	-	100*75	130.0	-	160	95	150	705	ハス	-	前澤工業	-	(株)キッツエスジーエス	135	清水精工	130	清水工業	-	角田鉄工	172	富士鉄工	-	宮部鉄工	125									
設計条件		本管口径 φ 75		土被り = 800		フランジ配管 = 100																																																																																																																												
	急速空気弁		丁字管		寸 法																																																																																																																													
	口径 φ	t1	呼び径	D2	K1	l	h	H	C																																																																																																																									
クボタ	25	-	75*75	900	-	140	95	150	705																																																																																																																									
ハス		-																																																																																																																																
前澤工業		-																																																																																																																																
(株)キッツエスジーエス		135																																																																																																																																
清水精工		130																																																																																																																																
清水工業		-																																																																																																																																
角田鉄工		172																																																																																																																																
富士鉄工		-																																																																																																																																
宮部鉄工		125																																																																																																																																
設計条件		本管口径 φ 100		土被り = 800		フランジ配管 = 100																																																																																																																												
	急速空気弁		丁字管		寸 法																																																																																																																													
	口径 φ	t1	呼び径	D2	K1	l	h	H	C																																																																																																																									
クボタ	25	-	100*75	130.0	-	160	95	150	705																																																																																																																									
ハス		-																																																																																																																																
前澤工業		-																																																																																																																																
(株)キッツエスジーエス		135																																																																																																																																
清水精工		130																																																																																																																																
清水工業		-																																																																																																																																
角田鉄工		172																																																																																																																																
富士鉄工		-																																																																																																																																
宮部鉄工		125																																																																																																																																

新旧対照表

新	旧			備考								
第7章 その他												
<table><tr><td>耐震型割丁字管 (ワトシール弁付)</td><td>耐震型割丁字管φ□□ × φ△△(ワトシール弁付)</td><td></td><td>異径も同径も同じ記号。</td></tr></table>	耐震型割丁字管 (ワトシール弁付)	耐震型割丁字管φ□□ × φ△△(ワトシール弁付)		異径も同径も同じ記号。				耐震型割丁字管を追加。				
耐震型割丁字管 (ワトシール弁付)	耐震型割丁字管φ□□ × φ△△(ワトシール弁付)		異径も同径も同じ記号。									
配水用ポリエチレン（HPPE）管 1												
<table><tr><td>EFソケット</td><td>EFφ□□、または EFソケットφ□□</td><td></td><td></td></tr></table>	EFソケット	EFφ□□、または EFソケットφ□□			<table><tr><td>EFソケット</td><td>EFφ□□</td><td></td><td></td></tr></table>	EFソケット	EFφ□□			EF ソケットの表記を追加。		
EFソケット	EFφ□□、または EFソケットφ□□											
EFソケット	EFφ□□											

鈴鹿市水道工事設計及び施工管理基準書

本書は年度ごとの改定以外に部分的な改訂を行う場合があります。

部分的な改訂は、鈴鹿市上下水道局ウェブサイトに掲載しますので、適宜確認をお願いします。

（問い合わせ先）

鈴鹿市上下水道局 水道工務課

電話 059-368-1675

e-mail suidokomu@city.suzuka.lg.jp